

博士(保健学)学位論文

子どもの運動・スポーツにおける継続要因の検討

—日韓の子どもと保護者および大学生の調査から—

Factors Facilitating the Continued Exercise of Children

— Questionnaire Survey of Children, Their Parents, and

University Students in Japan and South Korea —

2013年

指導教員 小林 正子 教授

学籍番号 0902151

金 美 珍

KIM, Mi jin

女 子 栄 養 大 学

目 次

序章	1
1. 緒言	1
2. 研究の目的	3
3. 研究の枠組み	4
4. 日韓の運動状況	5
5. 概念規定	13
6. 予備調査	14
第1章 小学生と保護者を対象とした運動継続要因の検討（研究1） ..	16
I .はじめに	16
II . 対象と方法	17
1. 対象	17
2. 韓国の調査地域の詳細	17
3. 調査方法	18
4. 解析方法	19
III . 結果	20
1. 子どもの幼児期および現在の状況	20
2. 親の状況	25
3. 現在の子どもの運動状況と運動に関する項目との関連	27
IV . 考察	32
V . まとめ	40
第2章 日韓の大学生の運動継続要因の検討（研究2）	42
I . 研究の目的	42
II . 方法	43

1. 対象	43
2. 調査方法	43
3. 調査内容	44
4. 解析方法	45
5. 論理的配慮	47
Ⅲ. 結 果	48
1. 対象者の属性	48
2. 小学校時から現在までの運動・スポーツ実施状況	49
3. 運動継続状況	51
4. 運動継続要因	53
5. 一般大生の運動を中断した理由	56
6. 因子分析	56
Ⅳ. 考察	62
1. 小学校時から現在までの運動・スポーツ実施状況	62
2. 運動継続状況	65
3. 運動継続要因の因子構成について	68
4. 運動継続状況と運動継続要因の因子得点との関連	71
Ⅴ. 研究の限界と展望	76
Ⅵ. まとめ	77
総括	80
結語	84
謝辞	85
参考文献	87

序章

1. 緒言

子どもの健康にとって運動は重要な要素である。しかし、近年子どもの運動不足やそれに伴う体力低下が先進諸国共通の問題¹⁾となっている。運動実施率に関して10代の子どもの国際比較²⁾によると、日本は先進諸国の中で低い位置づけとなっている。

日本においては、昭和60年頃から子どもの体力が低下しはじめ、平成10年には過去最低を記録したことから、こうした状況を改善するためにさまざまな取り組みが展開されてきた。たとえば国家的な施策として新体力テストが導入され、さらに、子どもを元気にする取り組みが各地で展開され、また、体力低下要因を多角的に検討し³⁾、それに関連する研究も数多く報告されている^{4)~6)}。これ以降、毎年発表される「体力・運動能力調査報告書」⁷⁾によると子どもの体力は近年わずかながら向上に転じつつあり、体力向上施策が少しずつ成果を上げ始めているようにみられる。同時に、健康日本21や特定健診などの施策により、成人の運動への関心も高まってきた。しかし、体力テストの結果が平均的に好転しているとはいえ、依然として体力の二極化現象がみられており⁸⁾、運動を殆ど行わない子どもも存在することがうかがわれる現状である。

一方、韓国においては、日本と同様に1985年頃より体格の増大に相反する青少年の体力低下が問題視され、文化体育観光部が3年周期に実施する「国民体力実態調査」⁹⁾では、小・中・高校生の体力低下は依然として続いていることが報告されている。しかし、同調査では、韓国の成人や高齢者においては、国民の運動・スポー

ツに対する関心や意識が高まっていることや、実際にスポーツ参加率が高くなっていることも報告されている。Fujii et al¹⁰⁾は韓国の子どもから成人までの体力を調査して、学童期では男女とも低下傾向を示しているが成人期以後では逆にわずかながら増大傾向を示していると報告しているが、これは、2000年代から週休2日制が導入されたことにより、余暇時間をスポーツ活動に利用する成人が増加したのではないかと推察される。

このように、両国とも世界的なヘルスプロモーションの影響を受けて、成人や中高年の運動意識が高まっているが、理想的には子どもの頃から運動習慣を身に付け継続することが、生涯の健康にとって重要である。

ところが、日本も韓国も進学における競争が激しく、子どもには活発な身体活動が必要であるにもかかわらず、受験勉強のために運動継続が難しくなる現状があることも事実である。この状況は日本よりも韓国において深刻である。また、運動に親しむ機会のないまま成長する子どももみられる。

運動習慣を形成するためには、個人の身体要因（運動可能な身体状況・体力）、環境要因（時間、施設設備、費用、指導者）、社会的要因（周囲の理解、運動集団への所属）、および個人の心理的要因（外発的動機づけ・運動の効果に対する理解、目的意識、内発的動機づけ・運動自体の楽しみ、運動志向性、運動有能感）などが影響するとされている¹¹⁻¹⁵⁾。

また、Boreham and Riddoch¹⁶⁾は、子ども時代に適切な身体活動を行うことによって得られる恩恵を3つにまとめている。一つは、子ども時代における健康状態の改善である。2つ目は大人になった

際の生物的な持ち越し効果である。3つ目は、大人への行動的な持ち越し効果である。すなわち、活動的な子どもは、大人になってからも活動的な日常生活を送るということであり、同時に子ども時代の身体活動はその後の健康にも影響を与えることであると述べている。そして、生涯にわたって身体活動と健康状態とは相互に影響を及ぼすと考えられる。

さらに、文部科学省¹⁷⁾では、国民一人ひとりの生涯にわたる健康を実現するためには、ヘルスプロモーションの理念に基づく適切な生活行動の基礎を子どもの頃から身に付けさせることが重要であると報告されている。

以上のように、子どもや青少年が運動に親しみ、運動を継続することは、身体発育や健康のためにも、またその後の発達段階における運動習慣の持ち越しを促す上でも重要であるが、理想どおりにいかない現状が存在する。そこで、日本と韓国において運動継続要因について詳細に比較検討することは、互いの国の運動継続要因や継続における課題がより明確になると考えられることから、本研究を行うに至った。

2. 研究の目的

子どもの頃からの健康な生活習慣は、青少年期、及び成人期における健康行動につながる。運動は健康な生活習慣の大きな要素の1つである。生涯にわたる心身の健康の保持増進のために、身体活動としての運動習慣を子ども時代に身に付けるためには、子どもたちが運動に積極的に参加できる動機づけの視点から関連要因を明らかにする必要があると考えられる。

そこで本研究は、日本と韓国の子どもとその保護者および大学生の運動実施状況や運動に対する意識を把握し、両国の状況を比較しながら、子ども時代から運動に親しみ、参加し、継続するための要因について検討することを目的とした。

本研究は、予備調査を踏まえて、以下の第 1 章と 2 章、そしてそれらを総合した総括により構成される。

第 1 章は、日本と韓国の子どもと保護者を対象に、身体活動の状況や意識調査に基づき、両国の子どもの運動参加や継続性に関連する要因について検討する。

第 2 章は、日本と韓国における大学生を対象に、幼少時からの運動継続状況を把握し、各々の運動継続要因の因子構造とその項目、特徴を明らかにする。そして、運動を継続してきた者と途中でやめた者との違いを把握して、運動継続に必要な要因とは何かを明らかにする。

以上の子どもと大学生の 2 つの研究結果を併せて、運動継続のために必要な要因について総合的に検討する。

3. 研究の枠組み（図 序 - 1）

本研究では、日本と韓国の子どもや大学生の運動継続要因を検討するにあたって、研究枠組みを図 序 - 1 のように設定した。この設定については、先行研究を参考に構築した。

まず、子ども時期の「幼児期の遊びや運動の状況」「子どもの運動に対する意識」「友達との運動参加」「親のサポート」が子どもの運動実施にどのように関連するかを基軸にし、さらに、大学生の幼少期から現在までの運動継続群においての運動継続要因の因子を

検討する。「基本的属性」はすべての要因に関わる要因と位置づけた。

4. 日韓の運動状況

1) 両国のこれまでの主な健康施策

①日本

スポーツ振興を通じた子どもの体力の向上（文部科学省）

スポーツ振興法の規定に基づき、平成 12 年 9 月に文部大臣告示として策定された。計画策定から 5 年が経過したことに伴い、中央教育審議会スポーツ・青少年分科会の意見を踏まえ、平成 18 年 9 月に計画を改定した¹⁸⁾。人間が発達・成長し、創造的な活動を行っていくために必要不可欠なものであり、「人間力」の重要な要素である子どもの体力について、スポーツの振興を通じ、その低下傾向に歯止めをかけ、上昇傾向に転ずることを目指した¹⁹⁾。

そこには以下のことがあげられている。

1. 子どもの体力向上国民運動の展開（家庭へのアプローチ）
2. 子どもを惹きつけるスポーツ環境の充実（学校と地域の連携）
3. 教員の指導力の向上
4. 子どもが体を動かしたくなる場の充実
5. 児童生徒の運動に親しむ資質・能力や体力を培う学校体育の充実
6. 運動部活動改善・充実

また、平成 24 年 3 月に、今後 5 年間に総合的かつ計画的に取り組むべき施策として、子どものスポーツ機会の充実を目指し、学校や地域等において、すべての子どもがスポーツを楽しむことができる

環境の整備を図ることがあげられている。そうした取組みの結果として、今後10年以内に子どもの体力が昭和60年頃の水準を上回ることができるよう、5年ごとの計画で、体力の向上傾向が維持され、確実なものとなることを目標としている²⁰⁾。

国民健康づくり運動対策

昭和 53 年度第 1 次国民健康づくり対策に端を発し、昭和 63 年度は第 2 次国民健康づくり対策（アクティブ 80 ヘルスプラン）、そして第 3 次国民健康づくり対策をすすめ、平成 12 年度には「21 世紀における国民健康づくり運動（健康日本 21）」を打ち出すなど、長期にわたり展開されてきた。さらに平成 18 年度には、健康フロンティア戦略を発展させ、健康寿命の延伸を目指し、予防重視の健康づくり運動である新健康フロンティア戦略が開始された。「21 世紀における国民健康づくり運動」には、重点分野として国民自らの取り組みを盛り込んだ 9 分野があり、「運動・スポーツ」は重点分野の 1 つである。「健康づくりのための運動指針 2006」には、生活強度に応じた運動量や運動方法等が具体的に記載されている²¹⁾。また、平成 23 年度からスタートした「Smart Life Project」にも、すこやかな生活習慣国民運動を実施し、「適度な運動」「適切な食生活」「禁煙」という 3 つのテーマで、具体的アクションへの認知と理解向上を目指している²²⁾。

健康運動指導士の養成事業

昭和 63 年から厚生大臣の認定事業として、生涯を通じた国民の健康づくりに寄与する目的で創設され、生活習慣病を予防し、健康水準を保持・増進する観点から大きく貢献していた。平成 18 年度からは、公益財団法人健康・体力づくり事業財団独自の事業として

継続して実施している。今般の医療制度改革においては、生活習慣病予防が生涯を通じた個人の健康づくりだけでなく、中長期的な医療費適正化対策の柱の一つとして位置づけられており、今後展開される本格的な生活習慣病対策においては、一次予防に留まらず二次予防も含めた健康づくりのための運動を指導する専門家の必要性が増しており、とくに平成 20 年度から実施の特定健診・特定保健指導において運動・身体活動支援を担うことについて、健康運動指導士への期待がますます高まっている²³⁾。

② 韓国

少・中等学校体育活性化方案（Sports for all students）

文化体育観光部²⁴⁾と教育科学技術部²⁵⁾は“楽しい学校及び学生体力増進のために”を目標に、「少・中等学校体育活性化方案」を発表した。2007 年 7 月に学校スポーツクラブ運営計画を樹立して、非組織的に運営されている体育クラブ活動を「学校スポーツクラブ」として教育庁に登録・管理し体系的に運営した結果、学校スポーツクラブ参加率は 2007 年 8.1%、2008 年 17.1%、2009 年 27.4%、2010 年 37.6%と徐々に増加してきた。2015 年までは、学校スポーツクラブ参加率を 50%、また、身体活動 7560（週 5 日 60 分以上運動）実践率 30%に増進することを目標としている²⁶⁾。

Health Plan2020 とスポーツ 7330 政策

1995 年国民健康増進法の制定と国民健康増進基金設置を機会に、韓国政府は健康増進事業を国民健康水準向上と保健医療発展の政策手段として強調した。このような政策変化に合わせ政府は 2002 年国民健康増進総合計画 2010 を樹立した。国民健康増進総合計画（Health Plan）2010 のスローガンは「すべての国民が一緒につく

る健康な社会」であったが、次の国民健康増進総合計画（Health Plan）2020 では「すべての国民が一緒につくって享受する健康な社会」と一歩踏み込み、地域社会参加が一層強調されている。

Health Plan 2020 の目標は、健康寿命延長、健康平等性である。16 の領域の中で身体活動は 3 番目に設定されている。定期的な身体活動実践率の増加（中程度の身体活動実践率を 2008 年 14.5% から 2020 年 20% に増加、一日 30 分以上、週 5 日以上歩く成人人口比率を 2008 年 46.9% から 2020 年 55.0% へ増加）、健康増進のため身体活動推進基盤を支援、身体活動増加のため平等性を引き上げることを目標としている²⁷⁾。

また、2005 年から韓国政府が推進しているスポーツ 7330（週 3 回以上、1 日 30 分運動）キャンペーンがある。スポーツ 7330 は生活体育参加率向上を目標にし、1 段階から 3 段階まで年次的に推進されている。1 段階では生活体育参加率 40%、2 段階では 40~50%、3 段階では 50% の目標達成を推進している²⁶⁾。

このように、近年の韓国における運動・スポーツ政策は、特別の才能を持つエリートのためばかりでなく、子どもを含めた国民全体に必要であるというような認識に転換している。

生活体育指導士

1962 年 9 月 17 日法律第 1146 号として、国民体育振興法が制定されて国民の生活体育に対しての関心が次第に増大し始めた。さらに、生活の豊かさから来る余暇時間を活用して健康や体力を高め、幸福な人生を営むするための身体活動の欲求が強くなっていた。従来のエリート体育から国民の健康や福利増進のための生活体育に転換していく現視点で重要な役割をしているのが生活体育指導士

である。生活体育指導士は 1 級、2 級、3 級に区分され、国民体育振興法第 1 条（体育指導士）及び同法 22 条（生活体育指導士の養成と資質向上）で 25 条の生活体育指導士研修及び資格検定に関する規則、体育施設の設置、利用に関する法律第 26 条と同法施行規則 28 条による資格を与えている。1 級及び 2 級は体育科学研究所で教育を実施し、3 級は全国 21 ヲ所の研修機関で実施している²⁸⁾。

大学で生活体育指導士を養成し始めたのは 1985 年 YOUN-IN 大学が「社会体育学科」を新設してからであった。1982 年国民体育振興法第 11 条第 1 項及び同法施行令第 22 条による体育青少年部（現文化観光部）計画によって国家公認 3 級生活体育指導士養成課程を全国で最初に 1988 年 11 月 29 日に指定し、体育関連学科及び体育関連産業従事者の必須資格である 3 級生活体育指導士を養成する定期的な教育を実施している²⁹⁾。

2) 運動実施の現状

①日本

笹川スポーツ財団の調査³⁰⁾（2012 年）による運動・スポーツ実施頻度をみると、未就学児においては男女で大きな差はなく、高頻度群に注目すると、4 歳～7 歳までは男子よりも女子のほうが高い値を示した。一方、8 歳以上になると女子よりも男子の高頻度群の割合が高くなり、その傾向は 18 歳まで続いている。8 歳という年齢は、小学校の 2・3 年生にあたる年齢であり、特に運動・スポーツ実施とジェンダーの関わりが強固にみられるターニングポイントである可能性が示唆されている。

また、11 歳→12 歳の非実施群（男子 1.0%→5.3%、女子 6.3%

→11.8%)、15 歳→16 歳の非実施群（男子 6.5%→13.9%、女子 15.5%→33.3%）、高頻度群（男子 55.6%→43.5%、女子 40.2%→19.0%）がターニングポイントとなっている。特に 15 歳→16 歳における女子の運動・スポーツ離れが顕著である。

健康日本 21 の身体活動・運動の分野における最大の懸念は、歩数の減少であると指摘されている。歩数は比較的活発な身体活動の客観的な指標である。健康日本 21 の策定時には、10 年間に歩数を 1 日約 1,000 歩増加させることを目的とした。しかし、平成 9 年と平成 21 年の比較において、15 歳以上の 1 日の歩数の平均値が、男性で 8,202 歩から 7,243 歩、女性で 7,282 歩から 6,431 歩と、約 1,000 歩も減少した。1 日 1,000 歩の減少は、1 日 10 分の身体活動減少を示している³¹⁾。

厚生労働省の健康づくりのための運動指針 2006（エクササイズガイド 2006）²¹⁾では、生活習慣病予防のために 1 日 8,000 歩～10,000 歩（週 23 メッツ・時）以上の身体活動を推奨しているが、日本の現状はそれに遠く及ばない。

また、健康日本 21 では、30 分・週 2 回の運動を 1 年以上継続している者と定義されている運動習慣者の割合は、男性で平成 9 年の 28.6%から平成 21 年の 32.2%へ、女性では 24.6%から 27.0%へ増加していた。

しかし、性年代別に見てみると、男女とも 60 歳以上の運動習慣者は増加している一方、60 歳未満では増加しておらず、特に女性では減少が見られる。エクササイズガイド 2006 では、30 分・週 2 回とほぼ同等の週 1 時間以上の運動（週 4 メッツ・時）を推奨しているが、特に 60 歳未満の就労世代で 7 割～8 割が実施できてい

ない現状がみられた。

②韓国

国民生活体育活動参与実態調査 2010³²⁾によると、年齢別週 2～3 回以上の規則的な身体活動は、2008 年調査結果に比べてすべての年代で参加率が増加していた。特に規則的身体活動増加が 70 代以上 14.3%、60 代 11.5%、50 代 7.9%、40 代 6.6%、30 代 6.2%、20 代 6.2%、10 代 4.3%の順で、高年齢層で著しく高い反面、10 代は低かった。10 代の規則的身体活動参加を引き上げる必要がある、としている。

性別でみると、2008 年調査も 2010 年調査も女性の参加率が低いことも問題である³²⁾。

高齢人口の運動参加率の詳細は、男性は 60 代（52.4%）、70 代（52.0%）で、女性は 50 代（52.4%）、60 代（49.9%）の順に増加していた。高齢化社会に突入したことから、高齢人口の健康管理支援策が増加し、高齢層が嗜好するウォーキングロードや町の体育施設が助成を受けたためと判断される³³⁾。

3) 韓国の「学校運動部」活動などの実態

①エリート選手向けの「学校運動部」³⁴⁾

学校の正課時間以外に、エリートスポーツ選手を養成する学校内の部活動である。エリート選手向けの「学校運動部」活動は、拠点学校別に設けられており、2009 年 7 月現在、全国に 7,811 部（小 2,909、中 2,836、高 2,066）置かれている。専任の技術指導を行うコーチは全国で 3,399 名である。

小学校（あるいは中学校）では、市道教育庁（※注：日本の都道

府県教育委員会に相当する組織。トップの教育監は公選であるなど、独立性が高い組織である）指導の下、校長の判断で、特定の種目に関する「学校運動部」を設置し、実施する。ここでは、将来の国家代表の卵などの、エリート選手候補群を近隣から広域で集めて養成する。育成の中では、彼らは、運動部活動の設置されている中学校や高校、あるいは「体育中学校」「体育高校」など、体育専門の中等教育機関に進学するルートが一般的である。

②一般学生が参加する「学校スポーツクラブ」「放課後学校」「トンアリ活動」における「体育活動」³⁵⁾

一般の学生は、上記のような「学校運動部」活動に接する機会は多くないが、「学校スポーツクラブ」や「放課後学校」などに参加する機会があることがある。「学校スポーツクラブ」は、現在教育科学技術部が積極的に普及を推進しているが、教師が監督として指導を行いながら、一般学生が課外に運動を集団でおこなうものである。そのイメージは日本の「運動部活動」に近い。教師は指導を行うが、基本的には無給で対応することが多いものの、モデル事業の指定を受け教育庁（日本でいう教育委員会に相当）から財政的支援がある場合は、指導教諭への手当の支給が行われることがある模様である。

そのほか、親の塾通いの費用などの私的教育費低減のため、学校での「放課後学校」の取り組みが盛んである。「塾」や「お稽古ごと」を学校そのものが包含してしまったものと理解すればよい。この中には、体育活動を行うものもあり、費用も月 10000W～30000W 程度である。

また、学生が自主的に、趣味やスポーツなどを行う「トンアリ活

動」なども行われている。

なお、正課の授業時間以外に行われるこれらの活動は、その定義も区分も不分明なところがあり、実態としては、区別なく、同じようなものとして理解されていることも多い。

5. 概念規定

1) 運動習慣

国民健康・栄養調査によると、運動習慣とは、「1回30分以上の運動を週2日以上実施し、1年以上継続していること」と定義されている。また、厚生労働省の進める「健康日本21」（21世紀における国民健康づくり運動）で推奨されている運動量は、外国文献に基づいて週に2,000kcal（1日300kcal）以上の運動が必要とされている³⁶⁾。

2) 運動・スポーツ

運動指針2006（エクササイズガイド2006）においては、運動を身体活動（安静にしている状態より多くのエネルギーを消費する全ての営みのこと）のうち、体力の維持・向上を目的として計画的・意図的に実施するものであるとしている。例えば、ジムやフィットネスクラブで行うトレーニングやエアロビクスなど、テニス、サッカー、バスケットボールなどのスポーツ、余暇時間の散歩や活発な趣味などである。それにしたがって、本研究での運動・スポーツの定義においては、一般的にスポーツと呼ばれる各種目、また一般的に運動と考えられているウォーキングやジョギング、ジムやフィットネスクラブで行うトレーニングやエアロビクス、自転車こぎ等が含まれている。

3) 運動継続 (exercise adherence)

運動継続についての定義は、研究者の様々な観点や側面によって相当な見解の違いがみられる。

ACSM (American College of Sports Medicine、2000) ³⁷⁾によると、定期的な運動参加は一週間 4 回以上身体活動を行い、1 回の身体活動が 30 分以上持続されることと規定されている。また、Transtheoretical Model (Prochaska, et al., 1992) ³⁸⁾行動変容モデルでは、運動継続者は 6 ヶ月以上の運動実施者としている。さらに、運動頻度、運動強度、運動時間などが含まれている持続的な運動参加を運動継続と規定し、参加率 (percentage of attendance) と同義にするとしている研究 ³⁹⁾もある。

本研究では、週 1 回以上の運動に 1 年以上参加した者を運動継続者と規定し、また、運動開始は異なるが、現在まで継続している群を運動継続群にした。

4) 健康な生活習慣、運動習慣、運動継続の関係

先行研究においては、運動継続という意味から運動習慣を形成するための要因を取り上げた研究がある ¹⁵⁾⁴⁰⁾。本研究の目的も、健康な生活習慣の大きな要素の一つである運動において継続意欲を持続し、運動習慣を形成するための要因について検討することであるので、運動習慣と運動継続は同一の意味であり、生活習慣の一部であると考えている。

6. 予備調査

本調査に先立ち、予備調査として、バスケットボールを行っているスポーツ少年団 2 箇所 (①東京都練馬区のスポーツ少年団、②埼

玉県西部スポーツ少年団）において、①は子ども 31 名と保護者 31 名、②は子ども 52 名と保護者 49 名を対象に、子どもの過去から現在の身体活動の状況や身体活動に関する意識を調査した。また、大学生への予備調査も 75 名を対象に実施し、この調査によって、本調査の目的である「子どもの運動の継続性にどのような要因が関連するか」について検討可能であるどうかを検証した。調査時期は子どもの調査が平成 22 年 2 月、大学生が同年 10 月であった。

その結果、子どもと保護者の調査では、①のスポーツ少年団においては女子が男子よりも活発な様子がうかがえたが、その他の分析結果は②との大きな地域差がみられなかったこと、また、現在運動を行い、さらに運動を続けたい子どもは、運動に対して高い意欲や自信を持っていること、運動の継続に影響を及ぼす友達とは、学校やスポーツ少年団・習い事での友達グループであること、親は「身体を動かす場所への送り迎え」「子どもから運動を誘われた時一緒に行く」「運動や身体活動に参加している子どもの様子をみる」などのサポートをしていること等が子どもの運動継続に影響を及ぼしていることが示唆された。また、大学生の調査においても、回答が曖昧になる尋ね方や答えにくい項目について修正を加えれば、質問項目は本調査において使用可能であることが確認された。

第 1 章

小学生と保護者を対象とした運動継続要因の検討（研究 1）

I. はじめに

序章で述べたように、子どもの体力低下は先進諸国共通の問題¹⁾となっている。体力の低下は発育や健康状態に影響を及ぼすことはもちろんだが、体力は様々な活動にも関連を持つことから、身体活動による体力向上を目指すことは、子どもの重要な課題であるといえる。しかし、子どもの運動継続について検討した報告^{41) - 43)}は、運動意欲に関連する研究がほとんどであり、継続の要因について具体的に検討した研究はほとんど見当たらない。

そこで、第 1 章では、日本と韓国それぞれにおいて、小学生とその保護者を対象に、子どもの運動参加や継続性においてどのような要因が関連するのかについて検討することを目的とした。

Ⅱ．対象と方法

1．対象

日本における対象は、練馬区の小学校一校の 3 年生から 6 年生全員の計 248 名である。この小学校は、東京の郊外である練馬区の住宅街に位置する中規模学校である。韓国における対象は、韓国中央部にある全羅北道全州市（ソウル市の南約 200km）の小学校一校の 3 年生から 6 年生全員の計 411 名とした。この小学校は、韓国の地方都市の中心部にある中規模学校である。日韓の対象校は立地条件がよく似ているとはいえないが、韓国の全州市は日本では地方の県庁所在地（政令都市を除く）に匹敵する地域であり、練馬区に比べて冬季の気温が低いものの、文化的な条件が大きく異なっているとはいえず、両者の比較が可能であると考えられる。また、日韓とも児童の保護者を対象とした。但し、日本では家庭の諸事情を考慮して父母のどちらかが回答できるような質問紙を作成し、韓国では父親用・母親用の質問紙を用意して、両親からの回答を求めた。

2．韓国の調査地域の詳細

全羅北道は、山と野が調和した韓国最高の穀倉地帯で、数千年の間、韓民族の食糧の責任を担った生命の源ともいわれる土地である。最も韓国的な味と粋、文化を保存・伝承している芸術の都であり、秀麗な風景と天恵の自然が美しい土地である。

朝鮮半島の西南部に位置した全羅北道の面積は、全国土約 10 万 km^2 の 8.1%を占めている。高速道路と国道など、交通網が発達し、よく整備されていて道内どこでも 1 時間以内に到着できる生活し

やすい所である。全羅北道は、6つの市と8つの郡で形成されており、全国の人口約5千万人のうち、全羅北道の人口は約190万人である（2012.4.30現在）。20～29歳の人口は約23万人で、道内総人口の12.1%を占める³³⁾。

地理的位置は、北緯35°18′を最南端に、北緯36°9′を北端に、南北57′の間にまたがっている。東は東経127°55′、西は東経125°58′の間にあり、南北より東西が若干長い地形を持っている。日本の鹿児島県、石川県とは海外姉妹結縁地域である。

気候の特徴としては、四季がはっきりしていながら温暖な地域で、年間平均気温は平均13.1℃である。中心地である全州地方の場合、一番寒い月は1月で、平均気温が－4.9℃、一番熱い月は8月で、平均気温が26.0℃である⁴⁴⁾。

3. 調査方法

質問紙は対象校の教員に依頼して子ども用と保護者用の調査用紙をセットにして子どもに配布し、家庭で回答を記入してもらい、1～2週間後に2票揃えて回収した。回答は保護者の任意とした。

調査項目は表1-1に示したが、子どもについては、幼児期および現在の運動状況、運動に対する意識など、保護者に対しては、過去や現在の運動状況、子どもの身体活動への支援（15項目）、子どもの運動についての考えなどを尋ねた。

子どもと親に対する意識調査項目については、予備調査での子どもの運動に対する意識21項目、また、子どもの身体活動への支援に対する保護者の15項目をもとに、類似項目の整理、一般性が高いと考えられる項目の抽出、必要に応じて要因の定義にあわせた項

目表現の修正などの作業を繰り返しながら、子どもの運動に対する意識のうち、嗜好性に対する 7 項目を追加し、また、運動参加に対する友達との関わり 6 項目や子どもの身体活動への支援に対する保護者の 1 項目を削除し作成した。運動参加に対する友達との関わりの 3 項目は、Russell(2009)⁴⁵⁾らの、身体活動に友達が及ぼす影響に関する質問項目について、同一意味の範囲で適切な類語を選択した。

倫理面に関する配慮として、用紙に研究の趣旨を提示し、この調査への協力は自由であること、調査結果は研究にのみ使用されること、調査用紙の提出をもって同意とみなされることを説明する文書を添付した。

なお、本研究は女子栄養大学倫理委員会の承認を得、調査においては対象校の学校長と教職員の同意を得て実施した。

4. 解析方法

得られた回答から現在、学校の体育以外に運動を行っている子どもと運動を行っていない子どもに分類し、幼児期の運動の経験、運動に対する子どもの意識、運動参加に関する友達の影響、子どもの運動のための親のサポートとの関連について性別、学年別、国別に比較検討した。但し、親の回答については、父親、母親の運動状況などは得られた回答を全て用いて集計したが、親と子どもとの関連や両国の比較においては、日本では母親からの回答が殆どであったため、韓国についても母親の回答のみを用いた。解析は SPSS 17.0 for Windows を用い、比率の偏りの検定には χ^2 検定を行い、有意水準は 5% とした。

Ⅲ．結果

得られた回答は、日本では児童とその父親または母親が揃ったものが 153 組で、男子 75 名、女子 78 名、父親 16 名、母親 129 名であった（有効答率 61.7%）。韓国では児童とその両親が揃ったものが 327 組で、男子 157 名、女子 170 名、父親 83 名、母親 236 名であり（有効回答率 79.6%）、これらを分析対象とした。韓国では祖父母による回答もみられたが、これは除外した。なお、子どもの年齢は、同学年では韓国が日本よりも 1 歳年長である（表 1-2）。

1. 子どもの幼児期および現在の状況

日本、韓国それぞれにおいて、性別、学年別に子どもの状況を把握した。

1) 子どもの運動状況

① 幼児期の遊びや運動の状況

幼児期においては、「体を動かすことが好き」「外遊びが好き」について、日韓とも「とても」「まあまあ」好きの比率が高く、9 割以上を占めていた（表 1-3）。遊びの内容については、日本、韓国とも、男子はボール遊びや鬼ごっこのような外遊びが多く、女子はお絵かき、ままごとのような室内遊びが多い傾向であった。また、日本は韓国より外遊びの種類が多かった（表 1-4）。

幼児期の運動やスポーツの経験（習い事として）については、日本は男子 45.2%、女子 61.5%、韓国は男子 43.0%、女子 27.3%に経験があった。日本は男子より女子の方が多く、韓国は男子の方が多かった（表 1-5）。

運動種目については、日本は男女とも水泳が多く、男子 28.0%、

女子 43.6%で女子の方が高率だった。次に男子はサッカー17.3%、女子は体操 12.8%であった。韓国では、男女ともテコンドーが多く、男子 34.4%、女子 11.8%で男子の方が高率だった。次に男子は水泳、女子はバレエ・ダンスの順であったが、いずれも 10%以下であった（表 1-6）。

②現在の運動の状況

現在、子どもたちが学校の体育以外で行っている運動について、「スポーツ少年団に入っている」「サークル・クラブに入っている」「有料のスクールに通っている」と回答したものを「運動有り」群、「特に行っていない」と回答したものを「運動なし」群に分類し、日韓の状況を表 1-7 に示した。

現在の「運動有り」群は、日本では男子 80.0%、女子 55.8%で男子の比率が有意に高く、学年別では、3 年生 82.2% から 6 年生 54.3%（いずれも男女合計）と低学年ほど高く、学年が上がるにつれ低くなっていた。一方、韓国の「運動有り」群は、男子 45.9%、女子 21.2%で男子の比率が有意に高く、学年別では、3 年生 54.1%、4 年生 27.9%、5 年生 38.2%、6 年生 19.0%（男女合計）で、3 年生は 5 割を超えていたが 4 年生から低下していた。

運動頻度については、日本は男女とも週 1 回行っている者が多く、とくに女子は週 1 回が多かった。男子は週 2～3 回も 4 割以上を占めた。一方、韓国では週 1 回は少なく、週 2～3 回、週 4～5 回が多くなっていた。ただし韓国の男子には無回答が多かった。

1 回の運動時間は、日韓とも男子のほうが女子より長い傾向がみられたが有意差はなかった。日本は 1 時間以内および 2 時間以内が多く、韓国では 1 時間以内が多かった。

運動の継続年数は、日韓の男女とも 3 年以上 6 年未満が多かったが、6 年以上も日本の男女、韓国の男子に少数みられた。

運動種目については、日本は男女とも水泳が多く、次に男子はサッカー、野球の順であり、女子はバレエ・ダンスの順であった。学年別にみると、水泳は男女とも 3 年生が高率であったが、男子は学年が上がると減少した。韓国は、男女ともテコンドーが多く、次に男子はサッカー、女子はダンスであったが、他のスポーツはほとんど行われていなかった。学年別にみると、テコンドーは男女とも学年上がるに伴い減少していた。

2) 運動に対する子どもの意識

現在の子どもの運動に対する意識については、表 1 に示した内容について、「とても」「まあまあ」「あまり」「まったく」の 4 件法で回答してもらい、男女差、学年差を検討し、その結果を日韓どちらかで有意差のみられた項目のみ表 1-8 に示した。

① 好き・嫌い

運動の好き・嫌いについては、「体を動かすことが好き」「運動が好き」「学校の体育が好き」かどうかについて尋ねたが、日本の子どもたちは男女とも好きな割合が高く、とくに男子は「とても好き」が多く、「体を動かすことが好き」について男女差がみられた。韓国でも好きな割合は高率であったが、「あまり好きでない」「まったく好きでない」が日本より多かった。

② 運動への意識

運動への意識として、「運動は重要」「運動の不足」「運動が得意」「もっと得意になりたい」「もっとうまくなりたいために頑張っている」について質問した。「運動は重要」と思っているのは両国と

も高率であったが、日本では学年が上がるほど重要と思う率が高くなっているのに対し、韓国では有意な学年差ではなかったものの日本に比べると学年が上がると意識がやや低下する傾向がみられた。

「運動の不足」を感じているのは、日本では女子より男子が多く、さらに韓国の男子は日本の男子よりも運動不足を感じている割合が高かった。「運動が得意」と思っている子どもたちは両国とも 7 割以上であり、とくに日本の男子は 9 割程度で男女差がみられたが、韓国では 3～5 年生までは 7 割以上だが 6 年生はやや低下し、学年差がみられた。「運動がもっとうまくなりたいために頑張っている」は、日本では「とても」「まあまあ」が全体的に多い中で、低学年ほど「とても」が多く学年差がみられた。

③運動についてほめられたこと

運動についてほめられたことについては、「学校の先生やスポーツのコーチ」「親」「友達」にほめられた経験を尋ねたが、日本、韓国とも 7～8 割が「ある」と答え、男女差はみられなかった。学年別では、韓国において「学校の先生やコーチ」「友達」にほめられた経験の比率に学年差がみられ、高学年で高くなっていた。

④体力

体力については、「体力の自信」と「体力の必要性」について尋ねたが、日本、韓国とも 6～7 割が体力に自信があると思っており男女差、学年差はみられなかった。「体力の必要性」については、日本では男女とも 100% 近い子どもが必要と感じていたが、韓国では男子で約 15%、女子で約 20% があまり必要を感じていないという回答であった。

⑤親の運動

親の運動に関しては、日韓の子どもの回答は同じような傾向であったが、日本では「親が運動やスポーツをしているのをみたことがある」が男子でやや高率であり、「親は運動が得意」は低学年ほどそう思っていた。「親と一緒に運動に参加することがある」は男女差や学年差はみられなかったが、日本では「あまり」が最も多いのに対して韓国では「とても」の回答が多くなっていた。

⑥友達との運動参加

運動参加の友達との関連については、「いじめられないために運動に参加する」「友達と一緒にいたいから運動に参加する」には差がみられず、どちらもあまりそういうことはない傾向がみられた。

「友達がみんな運動するから参加する」については、日本において低学年でやや多くなっていた。

⑦嗜好性

運動の嗜好性に関するものとして、「運動（動き）のまね」「スポーツの話」「運動やスポーツの観戦」「好きなスポーツ選手」について尋ねたが、男女差がみられたものは「スポーツの話」「運動やスポーツの観戦」「好きなスポーツ選手がいる」であり、両国とも男子に肯定的回答が多かった。韓国では「運動やスポーツの観戦」について男子の7割以上がよく観ると答え、また7割以上の男女が「好きな選手がいる」と答えていた。その一方で韓国では、「スポーツの話」については学年が上がると話をあまりしなくなり、この傾向は女子において顕著であった。

⑧勉強

「勉強が得意」かどうかについて、日本では4年生以上ではあま

り得意ではないとする回答が増えていた。一方、韓国ではどの学年でも 7 割程度が得意と回答していた。

2. 親の状況

1) 親の運動状況

①親の過去および現在の運動（表 1－9）

過去および現在の親の運動実施状況について、過去の運動については、「中・高校時代に運動部に所属していた」「学校以外の所に所属または通っていた」を「運動経験有り」群に、「運動らしいことはほとんどしていなかった」を「運動経験なし」群に分類したところ、日本の「運動経験有り」の親は 7～8 割と高い割合であったのに対し、韓国は父親が 4 割程度、母親 1 割台と少なかった。

しかし、現在の親の運動状況については、日本で週 1 回以上運動を実施している割合は、父親 3 割台、母親 2 割台であるのに対し、韓国では、父親の 5 割以上、母親の 4 割以上が運動を実施しており、日本より韓国の親の比率が高くなっていた。両親の過去や現在の運動において、子どもの性別や学年による違いはみられなかった。

②運動の嗜好性（表 1－10）

「普段、スポーツをみる(テレビを含む)」「運動が楽しい」について、父親の比率が 8～9 割台、母親は 6～8 割台で、子どもの性別や学年との関連はみられなかった。

2) 子どもの運動に対する親の考え（表 1－11）

日本の保護者は、「子どもの運動は重要」と全員が考えており、母親 1 名を除いて全員が「子どもに運動をしてほしい」と答えていた。一方、韓国では 8～9 割程度の父母が肯定的に答えていた。両

国とも男女差、学年差はみられなかった。

3) 子どもの運動への支援

日本との比較のため、両国とも母親の回答のみを用い、結果を表1－12に示した。

①送迎

子どもの「運動する場所や友達への送り迎え」について、日本では低学年が多く、韓国では女子よりも男子の親の方が送り迎えする割合が多くなっていた。

②激励

子どもの運動に対して「応援する」「ほめる」「喜びを表す」については、日本では男女差や学年差はみられず、「とても」「まあまあ」が高率であったが、韓国では男子の親が8割以上「応援する」と答えており、女子に比べて多い傾向がみられた。

③一緒に身体活動を行う

韓国では「一緒に身体活動を行っている」においても男子の親は肯定の回答が多く、女子の親は否定の回答が多いという男女差がみられた。

④手本や道具などの支援

韓国においては、「スポーツ道具を買い与える」「運動に参加している子どもをみたことがある」でも男女差がみられ、男子の親が有意に多くなっていた。日本は、男女とも肯定の回答が多かったが、男女差や学年差はみられなかった。

⑤子どもの身体活動場での関わり

「ボランティアによる協力」では、韓国において男女差がみられ、男子の親の方が高い割合であった。「他の保護者と親しい」や「他

の子どもに注意したことがある」では子どもの性別、学年別で差はみられなかったが、いずれも日本の親の方が韓国の親に比べて肯定的回答が多かった。

3. 現在の子どもの運動状況と運動に関する項目との関連

子どもが学校の体育以外に現在運動をしているかどうかによって、「運動有り」群と「運動なし」群に分け、運動に関する項目との関連をクロス集計して運動継続要因を検討した。「運動なし」群には過去に運動をしていたが現在はしていない子ども、あるいは全くしていない子どもが含まれる。また、分析は現在の運動状況のみに注目し、男女別、学年別の検討は行わなかった。その理由としては、韓国の運動有り群がなし群の半数以下であったことによる。また、研究1で男女差と学年差を検討しているため、本研究では現在の運動状況による特徴を把握すべきと考えたことによる。

1) 幼児期の遊びや運動との関連

現在の運動の有無と幼児期の身体活動状況との関連について表1-13に示した。

「幼児期に体を動かすことが好き」について、日本では、現在の運動の有無を問わず、9割以上の子どもたちが好きと答えていた。しかし、その割合は運動有り群で「とても」が多かった。韓国では9割の子どもたちが好きと答えていたが、現在の運動の有無で有意差がみられなかった。

また、幼児期の運動・スポーツの経験と現在の運動状況との関連をみると、日韓とも現在の運動有り群で有意に関連が高く、幼児期に運動やスポーツの経験がある子どもは現在も運動を継続してい

る割合が高いという結果であった。

2) 子どもの意識との関連

現在の運動有無と運動に関する子どもの意識との関連について表 1-14 に示した。

①運動の好き・嫌い

現在運動有り群は、日本、韓国とも「体を動かすことが好き」「運動が好き」「学校の体育が好き」と 9 割以上が答えており、その割合は運動なし群より有意に高くなっていた。

②運動に対する意識

日本において、現在運動有り群は、運動なし群より「運動が重要である」「運動が得意」「運動がもっとうまくなりたいために頑張っている」割合が高くなっていた。一方、韓国では、現在運動有り群は、なし群より「運動が得意」「運動をもっと得意になりたい」「運動がもっとうまくなりたいために頑張っている」割合がやや高くなっていた。また、日本、韓国とも運動なし群は「運動が不足」と感じていた。さらに、日本では「運動をもっと得意になりたい」について現在の運動状況にかかわらず、どちらもそう希望していた。韓国では「運動が重要である」に関して現在の運動状況にかかわらず、どちらも重要であると思っていた。

③運動をほめられること

「学校の先生やコーチ」「親」「友達」にほめられた経験は、日本、韓国とも現在の運動の有無によって有意差がみられ、運動有り群では「とても」ほめられた経験が多くなっていた。

④体力

日本、韓国とも運動有り群の 7 割程度が体力に自信があると答え

ており、運動なし群との有意差がみられた。体力が必要については、どちらも必要と思っていた。

⑤親の運動

日本、韓国とも「親が運動やスポーツをしていることをみたことがある」に有意差がみられ、運動有り群の「とても」みたことがある比率が高くなっていた。

⑥運動・スポーツへの関心

日本では「他の人の動きをみて真似をしたことがある」「スポーツの話をよくする」「運動やスポーツをよくみる」「好きな選手がいる」において、運動の有無で有意差がみられ、運動有り群で「とても」の割合が高かった。韓国では「他の人の動きをみて真似をしたことがある」に有意差がみられ、運動有り群の「とても」が高くなっていた。

⑦勉強

日本、韓国とも運動有り群の 5～6 割の子どもが「勉強が得意」と答えていたが、運動なし群との有意差はなかった。

3) 運動参加に対する友達との関連

現在の運動の有無と友達との関連について表 1-15 に示した。「いじめられないために運動に参加する」ことについては、日本、韓国とも「まったく」ない割合が両群とも高くなっていた。また、「友達が参加するから」「友達と一緒にいたいから」については、日本では運動有無で有意差がみられず、「まあまあ」「あまり」といった回答が多くなっていたが、韓国の運動有り群では、友達の影響を受けないという回答が高率であった。

4) 親の支援（手助けと激励）との関連

親の支援との関連については母親の回答を用いて表 1-16 に示した。

①手助けとの関連

子どもの運動の有無で有意差がみられた親の手助けは、日本においては「運動する場所への送り迎え」と「スポーツ道具を買い与える」であったが、韓国では大きな差がみられなかった。

②激励との関連

日本では「応援する」において現在の運動有り群が「とても」が高率であったが、韓国では「あまり」「まったく」応援しない母親も少数存在した。「ほめる」や「喜びを表す」については両国ともほとんどの親が肯定的に答えており、現在の運動有無で有意差はなかった。

③一緒に運動を行う、手本になるなどとの関連

「身体を動かす」「一緒に身体活動を行っている」「子どもの誘いに乗る」「手本をみせる」については、日本、韓国とも、運動有り群がやや高かったが、有意な差ではなかった。

④子どもの身体活動場での関わりとの関連

「運動に参加している子どもを見たことがある」「他の保護者と親しい」「ボランティアによる協力」については、両国とも子どもの運動の有無で差がみられた。「他の子どもに注意したことがある」については、有意差はみられなかったが、韓国では「あまり」が運動の有無にかかわらず多くなっていた。

5) 親の過去および現在の運動との関連

親の運動実施率は、日本では過去は行っていたが現在は行ってい

ない親が多く、韓国では過去よりも現在運動を行っている親が高率であった。しかし、親の過去および現在の運動状況と子どもの現在の運動有無については、日本、韓国とも関連はみられなかった。

6) 親の運動の関心や子どもの運動に対する親の考えとの関連

親の運動の関心や子どもの運動に対する親の考えとの関連について表 1-17 に示した。

父親、母親の「普段、スポーツをみる（テレビを含む）」「運動が楽しい」と子どもの現在の運動の有無については、関連がみられなかった。しかし、日本、韓国とも、また、父親、母親とも、現在の子どもの運動状況にかかわらず、運動が重要であり、子どもに運動してほしいと考えていた。

Ⅳ．考察

本研究における子どもの体育授業以外での運動実施率は、日本では男子 80%、女子 56%で、これは 2010 年「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」⁷⁾の、週 1 回以上学校の体育以外に運動を実施している小学生の男子 89.4%、女子 79.7%という報告よりも、とくに女子において低い割合であった。一方、韓国では、男子 46%、女子約 21%と全体的には日本より低率であったが、このうち週 2 回以上の実施率は日本に比べて高い割合であった。これは、テコンドーが盛んで男子の参加が多く、さらに、運動を趣味や楽しみとして行うよりも専門性を目指す子どもが多いために練習回数が多くなるという状況を反映したものではないかと考えられる。なお、韓国の 2010 年「国民生活体育参与実態調査」³²⁾によると、週に 2 回以上、1 回 30 分以上の運動・スポーツを実施した 10 代の割合は、男子 42.7%、女子 26.0%と報告されており、本研究の韓国の対象者（小 3～小 6）は女子がやや下回っているもののほぼ韓国における平均的な運動実施率を示したといえる。

幼児期の運動経験は、日本の子どもの方が多く、また身体活動（遊び）の種類も日本の方が多かった。幼少期の運動の重要性について、金ら⁴⁶⁾は、幼児期から自らの興味や関心に基づいて、楽しく自発的に行われた身体活動の経験は子どもに定着し、小学校時代まで維持することを報告しており、Barnett ら⁴⁷⁾は、子どもの運動習慣をそれ以後の運動への参加促進につなげるには、幼少期に運動スキルを高めるのが効果的であると提案していることから、幼児期の運動・スポーツの経験は、小学生以降の運動参加や継続に関連するも

のと考えられる。

また、運動について「学校の先生やコーチ」「親」「友達」にほめられたことが両国とも多いことが明らかになった。韓国では学年が上がるとほめられた経験が多くなっており、「ほめる」教育がなされている可能性も考えられる。一方、「運動は重要である」「スポーツの話をよくする」「運動やスポーツをよくみる」「好きなスポーツ選手がいる」については、日本の方がやや肯定的回答が多かった。但し、「好きな選手がいる」は日本では男子に多く、女子に少ない傾向であったが、韓国では男女とも7割以上いると答えていた。これは、韓国の統計庁の将来の職業群についての調査において、小学生の将来希望1位が「運動選手」であったことにもよるよう⁴⁸⁾、韓国においてスポーツ選手は特別の存在であり、尊敬や憧れを集めていることがうかがえる。

子どものスポーツ人口拡大に関する調査を行った「平成19年度サービス産業生産性向上支援調査委託費報告書」⁴⁹⁾によると、日本ではいくつかのスポーツ団体が底辺拡大に取り組み始め、初心者の子ども対象に展開されたプログラムに子どもを参加させた保護者は、わが国をスポーツの盛んな国にすることを望んでいることが確認されている。また、地域においても、スポーツ少年団等の公的スポーツクラブや子ども会、サークル等が活動の場となっており、ボランティアの指導者や保護者がその運営を支えていた。このことから、日本の子ども達にとって運動やスポーツは身近なものであり、より多くの子ども達が取り組む環境が整ってきていると考えられる。

一方、韓国では、運動やスポーツが身近なものでなく、才能ある

特別な人がするものという感覚がある。健康のために運動を行うという考えは近年政策的に広まってきているが、まだ国民全体に浸透しているとはいえない。また、受験競争が激化する中で、運動を行う時間的余裕もないのが現状である。韓国の子どもの勉強時間は、私教育調査（2009）⁵⁰⁾によると、塾で学習する生徒の比率は、小学生 75.5%、中学生 70.1%、高校生 45.9%である。また塾で学習している生徒が 1 週間に費やす勉強時間は、小学生で 7 時間 7 分、中学生で 10 時間 52 分、高校生で 7 時間 26 分である。さらに、学校や塾を合わせた中学生の 1 日当たりの平均勉強時間は日本が 8 時間、韓国 9.8 時間、高校生は日本が 7.6 時間、韓国 11 時間となっており、中高生とも韓国が長かった⁵¹⁾。

このように、学校や塾での勉強時間が長くなるにつれ、運動・スポーツに取り組むことが難しくなり、継続できない要因となるのではないかと考えられる。そして、こうしたことが日常の運動への意識や関心に影響しているのではないかと推察される。運動に対する興味や関心は運動に参加したり継続したりする上で重要な要素と思われるが、運動やスポーツを「観る」だけでなく自分自身が「行う」ものであるという方向に意識が変化するならば、韓国における子どもの運動参加率が上がり、運動習慣の継続が促進されるのではないかと考えられる。

運動における友達との関係については、日本では低学年と高学年で異なり、「友達がみんな運動するという理由で自分も参加することがある」は高学年で少なくなっていた。一方、韓国では、男女差も学年差もみられず、友達の影響はあまり受けない傾向がみられたが、これも運動を友達づくりや楽しみとして行うのではなく、専門

的に行うことを目的とする子どもが多いことの表れではないかと思われる。

親の運動状況は、日本と韓国で大きな違いがみられた。日本では過去は行っていたが現在は行っていない親が多く、過去に比べ現在が低い割合となっていた。これに対し韓国では、父親、母親とも過去の子ども時代においては少ない割合であったが、現在運動を行っている親は日本よりも高率であった。とくに母親の現在の実施率が、過去に比べ高くなっていた。韓国の調査³²⁾によると、40代の週2～3回以上の規則的運動活動参加率は44.4%である。本研究の対象者はこれより少ない比率であったが、それでも日本よりも多く、2000年代から始まった週休2日制と成人の運動を推奨する政策が保護者の世代には大きな影響を及ぼしたものと考えられる。

生活時間の国際比較の調査⁵²⁾によると、日本においては長時間労働によって余暇時間にさまざまな問題が生じていることが指摘されている。平日に余暇時間が取れないために、限られた活動（ほとんどが家族との外出）しか行えず、全般的に活動が低調である。その結果、スポーツや自己啓発など自己充足的な活動も、他の国々と比較してあまり行われていないことが指摘されている。

運動に対する親の考えでは、日本においてはとくに母親が、男女の別なく、自分の子どもに運動して欲しいと思っていた。一方、韓国においては、現在運動をしている子どもが日本よりはるかに少ないにもかかわらず、子どもに運動をして欲しいという回答が両親とも多かった。このことは、子どもを取り巻く運動環境が改善できれば、今よりも運動やスポーツに親しむ子どもが増えるのではないかと期待できる。

次に、学校の体育以外の運動実施の有無によって群分けし、各項目との比較を行った。その結果、幼児期に体を動かすことが好きであったことや幼児期の運動・スポーツの経験は、小学生からの運動継続に関連のあることが示され、また日韓とも運動を行っている子どもは運動なしの子どもに比べ、運動に対する意識が高いことが明らかになった。さらに、現在の運動有り群は、運動について「学校の先生やコーチ」「親」「友達」にほめられたことが多く、体力に自信があり、親が運動やスポーツをしていることを見たことがある、他の人の動きをみて真似をしたことがある、という割合が有意に高い結果が得られた。運動なし群については、両国とも「運動が不足」していると感じていた。一方、「運動は重要である」「スポーツの話をよくする」「運動やスポーツをよくみる」「好きなスポーツ選手がいる」については、日本の子どもにおいて運動有り群が有意に高率であった。運動に関して、興味や関心、重要度の高い子どもほど身体活動を好み、結果として運動継続に影響を及ぼしているのではないかと推測される。

韓国の子どもについては、全体的に運動への意識や関心が日本ほど高くないように思われる結果であったが、幼児期には現在の運動有無にかかわらず 9 割以上が、運動が好きであったと答えていることから、本来は運動への関心は高いものがあると考えられる。そこで、こうした気持ちを失わずに持続させ、子どもが体を動かすことを楽しいと感じたり、励みになったりするような動機付けを行うのが重要ではないかと考えられる。日本の中央審議会の答申「子どもの体力向上のための総合的な方策について」⁸⁾においても、子どもがスポーツや外遊びに積極的に取り組むような動機付けのための

様々な工夫がなされることが大切である、と指摘されている。

また、子どもの運動に対する意識を高める一つの方法として、自分の運動について「ほめられること」が大切であることが本研究から示唆された。ほめられることで子どもが運動に対して肯定的になり、いっそう運動に意欲的・積極的に取り組むようになるのではないかと考えられる。

運動の有無と友達との関連については、本研究では日韓とも認められなかった。しかし、子どもたちが仲間と関わっていくことは、身体活動の場で運動の経験を積む重要な要因と考えられる。たとえば 10 歳の男女を対象に研究した Salvy⁵³⁾らは、強度の高い身体活動は友達と一緒にすることと関連性が高く、友達は身体活動への子どもの意欲を高めると報告しており、同様に Jago⁵⁴⁾は、身体活動の参加のための動機は所属のグループによって影響されると報告している。一方で、森⁵⁵⁾は、仲間に受け入れられることを重視する幼児は、運動有能感が低く、結果として運動能力が低い傾向が認められたと報告しており、友達と運動参加との関連は単純ではないことがうかがえる。ここで森⁵⁵⁾の報告を参考にすると、本研究の運動有り群は、運動に対する高い意欲や関心を持っていることを示唆する結果ではないかとも考えられる。

子どもの運動の有無と親の支援（母親）については、日韓両国において、運動有りの子どもは運動に対して親からの「応援」や「子どもの運動を見る」「他の保護者と親しい」「ボランティアによる協力」という支援が得られていた。さらに、日本では「運動する場所への送り迎え」「スポーツ道具を買い与える」「喜びを表す」「一緒に身体を動かす」と運動継続との関連性が認められた。上地⁵⁶⁾は、

子どもの身体活動に対する親からのサポートは、「子どもが身体を動かすことを喜んであげる」および「子どもが身体を動かしたい時に、親も一緒に身体を動かしてあげる」ことの2つがあることを報告しており、英国における身体活動の参加に関する質的研究をレビューした Allender⁵⁷⁾らも、子どもの運動参加には親の支援が重要な要因であることを挙げている。本研究においても、子どもの運動に対する親からの手助け、支援、身体活動の場での関わりが子どもの運動継続に強く影響を与えていることが示唆されたといえる。

親の運動実施率については、前述のように、日本では過去は行っていたが現在は行っていない親が多く、韓国ではその逆で、過去よりも現在運動を行っている親が高率であった。定期的に運動する習慣のある親から育った子どもはそうではない子どもに比べて運動実施率が高いことが日本の「体力・運動能力調査結果報告書」⁷⁾において報告されているが、韓国では子どもの運動・スポーツに親の状況がまだ影響を及ぼすには至っていないのではないかと考えられる。

以上より、運動に対する日韓の子どもの状況や日常生活の中での興味・関心は異なることが示され、日本の子どもは韓国の子どもより運動・スポーツに対する意識や関心が高く、親のサポートも得られ、意欲や自信を持って運動・スポーツに取り組んでいることが把握された。しかし、学年が上がると、興味はあっても継続できない子どもがいることも明らかになった。

韓国では、幼少期には運動に興味を持っているが、日常生活の中で運動を行う環境も整っておらず、運動は健康のためや楽しみで行

うものではなく、専門性を重視するものであるという考え方のあることがうかがえた。しかし、親の運動実施率は日本よりも高いことから、そうした親の意識が子どもの運動参加に影響することもあると考えられる。今後、韓国において幼少期からの運動実施率や継続率を上げるためには、運動は特殊な才能の持ち主が専門的に行うものという観念の変容を図り、健康という観点からの運動への取り組みや周囲の支援の方策等を検討していくことが必要と思われる。近年、韓国社会は子どもの肥満現状、体力低下を防ぐために運動を推奨するようになってきた⁵⁸⁾。

今後、健康という観点からの運動継続と受験システムとがどのように調和していくかについて、さらに注目していく必要があり、それは日本においても同様であろう。

日韓の子どもの運動継続のための課題はまだ多く残されているが、本研究においては、運動継続の要因として、子どもを取り巻く運動環境整備、運動が健康や楽しみのためという意識の変容、子どもへの支援のあり方等が重要であると結論される。

なお、本研究の限界として、現在の運動の有無によって群分けし、人数の関係から男女別や学年別で検討できない項目があったこと、そして横断的研究であることが挙げられる。

V. まとめ

日本と韓国の子どもや保護者の身体活動の状況や意識調査に基づいて、両国の子どもの運動参加や継続性に関連する要因について検討することを目的に、日本の児童とその保護者 153 組と韓国の児童と保護者 327 組を対象に分析を行った。

その結果をまとめると、以下のとおりである。

- 1) 子どもの運動実施率は日本の方が韓国より高くなっていたが、親の現在運動参加率は、韓国の方が日本より高率であった。また、幼児期の運動経験は、韓国より日本の子どもの方が多く、身体活動（遊び）の種類も日本の方が多いことが確認され、そのことが小学校移行の運動参加に関連することが示唆された。
韓国における親の運動参加率の高さが、今後子どもの運動実施にどのような影響を与えるか、注目する必要がある。
- 2) 運動に対する子どもの意識について性差や学年差を検討したところ、日本では、運動の重要性や運動について自信を持って頑張りたいと思っている子どもが多く、韓国では、学年が上がると運動について指導者や友達にほめられた経験が運動継続に関連していた。運動参加における友達の影響については、日本では低学年で影響がみられたが、韓国では性別や学年に関係なく友達の影響はあまり受けない傾向がみられた。
- 3) 子どもの運動に対する親の考えでは、日本においてはとくに母親が男女の別なく、自分の子どもに運動して欲しいと思っていた。韓国においては、実際の子どもの運動実施率が低い状況であるが、両親とも子どもに運動して欲しいと思っていた。

4) 運動実施の有無と子どもの運動に対する意識との関連では、

日韓とも運動有りの子どもは運動なしの子どもに比べ、運動は重要である、スポーツの話をよくする、スポーツをよくみるなど運動に対する意識が高く、運動についてほめられたことが多い、体力に自信がある、親が運動やスポーツをしているのを見たことがある、他の人の動きをみて真似をしたことがある、などの割合が高い結果が得られた。運動なし群は、両国とも「運動が不足」していると感じていた。韓国の特徴として、運動の有無にかかわらず、好きなスポーツ選手がいる子どもが多かった。これは、スポーツ選手は特別な存在と捉えられており、それは同時に、スポーツは特殊な才能の持ち主がするものという認識のあることがうかがわれた。

5) 運動有りの子どもには、日韓とも、運動に対して親からの応援や子どもの身体活動場面での親の支援があることが確認された。さらに、日本の運動有りの子どもには、運動する場所への送り迎え、スポーツ道具を買い与える、喜びを表す、一緒に身体を動かすことが確認され、親の支援の大きいことが明らかになった。

6) 一方、運動の有無と友達との関連については、日韓とも関連性が確認されなかった。

第 2 章 日韓の大学生の運動継続要因の検討（研究 2）

I. 研究の目的

第 1 章では、日韓の子どもと親の運動実施状況と意識の調査から子どもへの運動・スポーツにおける運動継続要因を検討したが、成長期を過ぎた時点での運動継続要因を捉える必要があると考え、第 2 章では、日韓の大学生を対象にして既に運動経験のある者の現在及び過去の運動状況を振り返り運動継続要因を検討することとした。

第 2 章においても日本と韓国の両方で調査を行っているが、両国の比較というよりも、大学生を対象にそれぞれの国の状況を把握して、運動継続について考える基礎資料とすることを目的とした。

具体的には、以下の 2 点について研究を進める。

1. 日本と韓国における大学生の幼少時からの運動継続状況を把握する。
2. 日本と韓国それぞれの運動継続要因の因子構造とその項目、特徴を明らかにする。

Ⅱ．方法

1．対象

1) 日本

一般大学生においては、関東地方 3 校と中部地方 1 校、関西地方 2 校の 1 年生から 4 年生を対象に、平成 23 年 12 月から翌年 1 月の間に質問紙調査を行った。

体育大学生においては、関東地方の体育大学 1 校の 1 年生から 4 年生を対象に、平成 23 年 11 月から 12 月にかけて質問紙調査を行った。

2) 韓国

一般大学生は全羅北道（地域の特徴は第 1 章参照）の 1 つの総合大学で、1 年生から 4 年生を対象に 23 年 5 月に行い、また、同年 12 月に同じ大学で、体育専攻の大学生 1 年生から 4 年生を対象に調査を行った。

2．調査方法

調査方法は、無記名自記式質問紙調査であり、日本においては、研究協力を依頼した各大学の教員に調査用紙を送付し、授業の最後の時間を利用して実施、回答を収集して返送してもらった。韓国の一般大生の調査は、キャンパス内での無作為抽出した学生に調査への目的を説明して理解を得た上で、調査協力の同意を得て質問紙を配り、その場で回答してもらう方法で行った。

体育専攻の学生については、日本と同様に、研究協力を依頼した大学の教員に調査用紙を送付し、授業の中で実施して、返送しても

らった。

調査依頼文書には、調査は回答内容が本研究以外の用途には使用せず、回答は自由であり、個人データの漏出はないことなどを明記した。

3. 調査内容（表 2-1）

調査票は、対象者特性である基本的特性（性別、年齢、学年）及び運動状況（幼児期、小学校、中学校、高校、現在の運動の有無、運動種目、運動頻度、運動活動場所）、運動に対する意識、運動が継続できなかった理由、運動継続要因 36 項目で構成した。

なお、運動に対する意識や運動継続要因である「心理的影響」「身体的影響」「社会的影響」「環境的影響」の 36 項目については、「第 1 章」の運動に対する子どもの意識 22 項目、保護者の子どもの身体活動のための親の支援の 15 項目を基にし、本研究における運動継続要因の構成概念、具体的な内容を示す運動継続要因の把握に参考となるさまざまな先行文献⁵⁹⁻⁶³⁾を検討して作成した。

「心理的影響」は行動に対する動機づけであり、運動開始のきっかけとなる心理的要因（運動への関心や興味、運動の有能感や達成感）12 項目、「身体的影響」（運動の効果）8 項目、「社会的影響」（友達や親、指導者の影響）の 12 項目、行動変容や環境変化を可能にする技能や資源である「環境的要因」の 4 項目を選定した。その中には、子どもを対象として調査した 7 項目が含まれている。

各項目の質問文を作成し、すべての設問に対して、「とてもそう思う」＝4 点、「まあまあそう思う」＝3 点、「あまりそう思わない」＝2 点、「まったくそう思わない」＝1 点の 4 件法により評定を求

めた。

項目の適切さと質問文のわかりやすさのレビューは、研究者 2 人、大学生 20 人に依頼した。その結果、構成項目案の運動継続要因 36 項目、運動に対する意識の項目は適切であるとの評価が得られた。質問文は、わかりやすさと適切さが備わっているとの評価が得られるまで修正を繰り返した。

4. 解析方法

データの記述において、データがカテゴリー別の場合の検定にはカイ 2 乗検定を用いた。カテゴリーが 2 群での平均スコアの比較には、対応のない t 検定を、3 群では一元配置分散分析を用いた。カテゴリー間に有意な差がみられた場合は、多重比較による検定を行った。順序尺度（運動継続要因の男女差）は、度数（人数）と割合（%）で示し、MannWhitney の U 検定を行った。

運動継続状況と運動継続要因の因子との関連の検討を目的に、次のように解析を進めた。

①運動継続要因の 36 項目の度数分布と回答肢の内容をみて、積極的・肯定的な回答肢を 1、その他を 0 とした。

②運動継続要因の項目のダミー変数を用い、削除すれば Cronbach- α 係数が高くなる項目を次々に削除した。

③探索的分析では、最尤法バリマックス回転による因子分析を行い、固有値 1.0 以上を基準に因子数を決定し、0.35 程度の因子負荷量を基準とした⁶⁴⁾。ただし、健康が維持できた、ストレス解消になったという項目（日本）については、因子構成のため、0.35 以下の因子負荷量の項目も選択した。

④その後、探索的因子分析によって得られた要因の構成項目と因子構造が妥当であるかを検討するため、確証的因子分析を行い、適合度指標を求めた。本研究では、適合度指標として、Goodness of Fit Index(GFI), Adjusted GFI(AGFI), Comparative Fit Index(CFI), Root Mean Square Error of Approximation(RMSEA), Akaike's Information Criterion(AIC)を採用した。AICを除いたこれらの指標はどの値も 0.00~1.00 をとり、GFI、AGFI、CFI は、1.00 に近い値ほど望ましく、一般的に、0.90 以上が目安とされている。RMSEA は小さい値ほど望ましく、0.05 以下が良い（0.10 以下は不可）とされる。AIC は、モデルを比較するための指標として用い、数値が低い方が、モデルが適合していることを意味する⁶⁵⁾。因子分析において、各項目の欠損値は、平均値を置換して解析した。

尚、分析前の正規性の確認は、正規確率プロット法と、尖度、歪度が±2以内を基準とする方法により行った。その結果、分布は正規性から外れていないと判断した。

⑤次に、信頼性の検討は、内的整合性と再検査法により検討した。内的整合性はクロンバック α 係数から算出した。

⑥因子間の相関は Pearson の相関係数を算出した。

⑦属性別因子得点の比較は、2 群間の比較には、対応のない t 検定を用い、3 群間の比較には、一元配置分散分析を用いて検討した。

⑧運動継続群と運動継続要因の因子得点との関連は散布図で視覚的に把握した。

有意水準は 5%とし、解析には統計解析パッケージ IBM SPSS Statistics19.0 及び IBM SPSS Amos20.0 を用いた。

5. 論理的配慮

本研究の主旨、個人情報保護方針、自由意思に基づく研究参加であることを明記して行った。

本調査は、香川栄養学園倫理委員会の審査・承認を得て実施した（香倫委第 121 号）。

Ⅲ．結 果

1．対象者の属性（表 2－2）

日本においては、調査票を回収した 1589 名（一般大 836 名、体育大 753 名）のうち、質問紙調査の回答に不備が有る者や運動経験がない者（一般大：不備 21 名、運動経験がない 92 名、体育大：不備 35 名）を除外した。解析対象者は 1441 名で、一般大学生 723 名（男子 236 名、女子 487 名）、体育大学生 718 名（男子 627 名、女子 91 名）（有効回答率 95.7%）である。

韓国は、891 名（一般大学生 418 名、体育大 179 名）のうち、質問紙調査の回答に不備が有る者や運動経験がない者（一般大：不備 25 名、運動経験がない 184 名、体育大：不備 202 名）を除外した。分析に使用したデータは 503 名で、一般大学生 232 名（男子 140 名、女子 92 名）、体育大学生 271 名（男子 180 名、女子 91 名）（有効回答率 56.5%）である。

年齢の平均値は、日本の一般大生 19.9 ± 1.1 歳、体育大生 19.7 ± 1.0 歳であり、韓国は、一般大生 22.3 ± 2.1 歳であり、体育大生 21.6 ± 1.8 歳であった。

一般大生の専攻では、日本は、男子は理科系、女子は保健・医療系が多く、韓国は、男子は理科系、女子は芸術系が多くなっていた。

学年では、日本は、他の学年に対し 1 年生が、韓国は、3 年生が多くなっていた。一般大生と体育大生間の性別と学年別において、日本は有意差がみられたが、韓国ではみられなかった。

尚、日本の一般大生は、運動継続要因の 36 項目に対して、関東地方と関西地方に地域差があるかについて検討した結果、「スポー

「ツ関係の仕事につきたい」「友人より優れた運動能力がある」「ダイエットになった」「季節や気候にあまり影響されず運動ができた」4項目で地域差がみられたが、それ以外の32項目では地域差はみられなかった。

2. 小学校から現在までの運動・スポーツ実施状況

運動・スポーツ実施者で複数種目を実施している者については、継続年数の一番長い種目、頻度、活動場所についての回答を示した。運動種目については、水泳、体操・陸上等の身体活動系スポーツ、バレーボール、テニス等のネット型スポーツ、サッカー・バスケットボール等のゴール型スポーツ、柔道、剣道、テコンドー等の武道、ダンス型に分類した。運動実施場所については、学校内（学校での部活動）と学校以外（スポーツ少年団、民間のスポーツクラブ、地域総合型スポーツクラブ等）に分類した。

1) 日本（表 2-3）（表 2-4）（表 2-4）（表 2-5）（表 2-6）

①運動実施率

一般大生は、小学校時は男女とも7割強であった。中学校時は、男子は8割強、女子は4割強であり、高校時は、男子は6割強、女子は4割強、大学現在は、男子は4割若干、女子は約2割程度であった。男女とも中学校時の運動率が最も高く、高校、大学になると運動率が下がっている。

②運動種目

一般大生の小学校時は男女とも水泳が最も多く、中学、高校、大学にはネット型スポーツやゴール型スポーツを多く行っていた。体育大生は、小学校時は男女とも武道が多く、中学、高校、大学時に

は、男子はベースボール型スポーツ、女子はネット型スポーツが多くなっていた。

③継続年数

一般大生は、小学校時は男女とも、4、5年継続が多い反面、体育大生は6年継続が多くなっていた。中学、高校時には一般大生、体育大生とも3年継続が多くなっていた。

④運動頻度

小学校時は、週2、3回の割合が多く、中学、高校時にはほぼ毎日であったが、大学現在は週1回が多くなっていた。

⑤実施場所

一般大生、体育大生とも、小学校時には学校以外での活動が、中学、高校、大学時には学校内での活動が多くなっていた。

2) 韓国（表2-7）（表2-8）（表2-9）（表2-10）

①運動実施率

一般大生では、小学校時は、男子は7割程度、女子は6割強であり、体育大生は、男女各々5割、6割を若干超えている。中学校時は、男子は約5割程度、女子は4割であったが、体育大生は小学校時と変わらない値であった。高校時は、一般大生は、男子は中学校時と変わらない値であったが、女子は2割台に落ちていた。大学現在は、一般大生の男子は4割強、女子は3割を若干超えている。体育大生は男女とも7割強であった。

②運動種目

一般大生、体育大生とも、男女とも、武道（テコンドー等）の割合が高く、中学校時には、男子は一般大生、体育大生とも、ゴール型スポーツが多く、女子は、一般大生は武道、体育大生はダンス型

が多くなっていた。高校時は、一般大生の男子は、ゴール型スポーツやベースボールスポーツが多く、女子は身体活動系の種目が多くなっていた。体育大生はその他（体育大学入試対策）が最も多く、続いてゴール型スポーツであり、女子は、ダンス型や武道が多くなっていた。大学現在では、一般大生は、男女とも身体活動系のスポーツが多くなっていた。

③継続年数

小学校時は、一般大生、体育大生の男女とも 2～3 年継続が多くなっていた。中学校時は、一般大生の男子は 3 年継続、女子は 2 年継続の割合が高く、体育大生は 1 年継続割合が高くなっていた。高校時は、一般大生の男子は 3 年継続、女子は 1 年継続の割合が高く、体育大生は 3 年継続割合が高くなっていた。

④運動頻度

小学校時は、一般大生の男子は週 4、5 回が、女子は週 2、3 回の割合が高くなっていたが、中学、高校時には、男子は週 2、3 回であり、女子は週 4、5 回であった。体育大生は、小学、中学、高校、大学時、週 4、5 回が多くなっていた。

⑤実施場所

一般大生、体育大生とも、小学、中学、高校、大学時に学校以外の活動が多くなっていた。

3. 運動継続状況

小学校から現在までの運動継続の状況は、4 つに大分類された。すなわち、まず、開始時期は異なるが現在まで運動を継続している者を「運動継続群」とした。次に、現在は運動しているが小中高の

どこかで離脱した者を「(途中離脱後)再開群」、また、小中高のどこかで運動していたが現在は中止している者を「運動中止群」とした。さらに、小中高では運動していなかったが現在大学において運動している者を「現在のみ運動有り群」とした。

4つの大分類は、表中に示す通り1～7の小分類に分かれる。さらに、再開群や現在のみ運動有り群の運動状況を詳細に分類して18通りとなる。

1) 日本 (表 2-11) (表 2-12)

①一般大生

男女合わせた全体では、最も多いのが「運動中止群」で、7割以上を占める。その中でも「高校で中止」が最も多く、次いで「中学校で中止」「小学校で中止」の順であった。「運動継続群」においては、全体の約1割(10.8%)である。内訳をみると「小学校1年から現在まで継続」「小学校3年から現在まで継続」「小学校4年から現在まで継続」「小学校5年から現在まで継続」「小学校6年から現在まで継続」「中学校時から現在まで継続」「高校時から現在まで継続」の順であった。さらに男女別でみると、現在まで運動を継続しているのは男女とも小学校での開始が最も多く、ついで中学校での開始、高校での開始の順となっていた。

②体育大生

全体(男女合わせ)では、「運動継続群」の割合が約8割を占める。「小学校1年から現在まで継続」の割合が最も高く、続いて、「現在運動有りで、小中高のどこかで離脱した」が高くなっていた

2) 韓国 (表 2-13) (表 2-14)

①一般大生

全体（男女合わせ）では、「運動中止群」の割合が最も高く約 5 割を占める。男子とも「小学校時中止」の割合が高く、続いて男子は「高校時中止」、女子は「中学校時中止」の割合が高くなっていた。「運動継続群」は全体（男女合わせ）の約 1 割を占める。そのうち、男子は、「小学校 1 年から現在まで継続」の割合が 5.7%であったが、女子は 3 名のみであった。

②体育大生

全体（男女合わせ）では、「(途中離脱後)再開群」の割合が高く、そのうち、男子に対し、女子の割合が高くなっていた。「運動継続群」は、全体（男女合わせ）の 20.9%であり、そのうち、男子は「中学、高校、大学時まで継続」の割合が高く、女子は「高校、大学時まで継続」の割合が高くなっていた。

4. 運動継続要因

運動継続要因を、心理的要因、身体的要因、社会的要因、環境的要因から分析を行い、男女差について以下のような結果を得た。

1) 日本（表 2-15）

①一般大生

心理的影響では、「運動が好き」「運動が楽しかった」「将来までずっと続けたい」「スポーツ関係の仕事につきたい」「好きなスポーツ選手がいた」「もともと運動に素質があった」「友人より優れた運動能力がある」「少し難しい運動でも、努力すればできる」の項目で、男子の方が女子に対して有意に高くなっていた。

身体的影響では、「運動技術が向上した」の項目で男子が、「ダイ

エットになった」の項目で女子が高いという有意差がみられた。

社会的影響では、「友達がみんな運動をするから」の項目に男子が高いという有意差がみられた。

環境的要因では、「季節や気候にあまり影響されず運動ができた」の項目で、男子に対して女子方が有意に高くなっていた。

②体育大生

心理的影響では、「将来までずっと続けたい」「好きなスポーツ選手がいた」「友人より優れた運動能力がある」の項目で、男子の方が有意に高くなっていた。

身体的影響では、「健康になった」「健康が維持できた」「疲れにくくなった」「体型が美しくなった」の項目で、男子が女子に対し有意に高くなっていた。

社会的影響では、「コミュニケーション能力が向上した」「家族(父、母、兄弟姉妹)と一緒にだった」「親がそのスポーツが好きだった」「友達がみんな運動するから」「友達と一緒にスポーツをしていた」「運動について友達にほめられた」の項目で、男子が女子に対し有意に高くなっていた。

環境的影響では、「運動する場所が近かった」「施設が快適で運動ができた」の項目で、男子が女子に対し有意に高くなっていた。

2) 韓国 (表 2-16)

①一般大生

心理的影響では、「運動が好き」「運動が楽しかった」「将来までずっと続けたい」「好きなスポーツ選手がいた」「もともと運動に素質があった」「自分には最後までやりとげる力がある」「継続すれば技術や記録が伸びる」「少し難しい運動でも、努力すればできる」

「やり通した時に大きな満足感を感じる」「達成感が大きな自信に繋がる」の項目で、男子が女子に対し有意に高くなっていた。

身体的影響では、「健康になった」「健康が維持できた」「ストレス解消になった」「運動技術が向上した」「体力がついた」の項目で、男子が女子に対し有意に高くなっていた。

社会的影響では、「コミュニケーション能力が向上した」「友達ができた」「友達がみんな運動するから」「友達と一緒にスポーツをしていた」の項目で、男子が女子に対し有意に高くなっていた。

しかし、「家族（父、母、兄弟姉妹）と一緒にだった」「親がそのスポーツを好きだった」「親の励ましやサポートがあった」の項目では、女子が男子に対し有意に高くなっていた。

環境的影響では、「運動する場所が近かった」「施設が快適で運動ができた」「季節や気候にあまり影響されず運動ができた」の項目で、男子が女子に対し有意に高くなっていた。

② 体育大生

心理的影響、身体的影響の全項目で男子の方が女子に対し有意に高くなっていた。

社会的影響では、「コミュニケーション能力が向上した」「友達ができた」などの友達についての 6 項目で男子の方が女子に対し有意に高くなっていた。

環境的影響では、「運動する場所が近かった」「施設が快適で運動ができた」「季節や気候にあまり影響されず運動ができた」の項目で、男子が女子に対し有意に高くなっていた。

5. 一般大生の運動を中断した理由（複数回答）（図 2）（図 3）

両国とも、「忙しくなって時間がなくなった」割合が最も高かった。続いて、日本の男子は、「自由時間が欲しかった」「他に興味できたから」「興味がなくなった」「環境が悪くなってできなくなった」、女子は、「他に興味できたから」「自由時間が欲しかった」「バイトがしたかったから」「環境が悪くなってできなくなった」の順であり、韓国の男子は、「勉強の方が大切だと思った」「学校の教育方針で勉強と運動が両立できないから」「興味がなくなったから」「他に興味できたから」などの順に、女子は、「学校の教育方針で勉強と運動が両立できないから」「興味がなくなったから」「勉強の方が大切だと思った」「親が反対していた」の順であった。

6. 因子分析

1) 因子分析の結果

因子分析に先立ち、運動継続要因の 36 項目の度数分布から、積極的・肯定的な回答肢を 1、その他を 0 としたものを表 2-17 に示した。また、運動継続要因の項目のダミー変数を用い、削除すれば Cronbach- α が高くなる項目を次々に削除し（表 2-18）、探索的因子分析を行った。

ダミー変数を用い、構成概念の妥当性検討のため固有値 1 以上、共通性 0.3 以上の項目で因子分析を行ったところ、日本、韓国いずれも 5 因子で最適解を得た（表 2-19）（表 2-22）。ただし、日本の「健康が維持できた」「ストレス解消になった」については、第 1 因子での因子負荷量が高かったが、因子名に準じ第 4 因子に含めた。同様な手順により、韓国の「ストレス解消になった」について

も第 3 因子に含めることにした。

累積寄与率は両国とも 50% 以上であり、日本は第 1 因子「有能感や達成感」(6 項目)、第 2 因子「嗜好性」(3 項目)、第 3 因子「友人の影響」(4 項目)、第 4 因子「健康、体型」(4 項目)、第 5 因子「素質やの能力」(2 項目)とした。韓国は第 1 因子「有能感や達成感」(6 項目)、第 2 因子「友人の影響」(6 項目)、第 3 因子「健康、体力」(4 因子)、第 4 因子「嗜好性」(2 項目)、第 5 因子「素質や能力」(2 項目)とした。

また、大学別、男女別においても、日本、韓国ともそれぞれ因子の順序は違っても 5 つの因子として構成されている(表 2-20)(表 2-21)(表 2-23)(表 2-24)。

次に、因子モデルの適合度を確認するため、確証的因子分析を行った。最初に、探索的因子分析の結果を検討したところ、良好な適合度指標が得られなかった(日本: GFI=0.843、AGFI=0.790、CFI=0.822、RESEA=0.105、AIC=2472.417、韓国: GFI=0.874、AGFI=0.834、CFI=0.899、RESEA=0.081、AIC=789.937)。

そこで、誤差相関と項目内容を確認しながら、項目を精選し、因子モデルを修正した。日本は「やり通した時に大きな満足感を感じるから」と「達成感が大きな自信に繋がると思うから」「少し難しい運動でも努力すればできると思う」と「継続すれば技術や記録が伸びると思うから」「将来までずっと続けたいから」と「友達と一緒にスポーツをしていたから」、「友達の応援があったから」と「ダイエットになったから」の間に誤差相関を設定した。韓国は「少し難しい運動でも努力すればできると思う」と「継続すれば技術や記録が伸びると思うから」「やり通した時に大きな満足感を感じるか

ら」と「達成感が大きな自信に繋がると思うから」「友達がみんな運動するから」と「友達と一緒にスポーツをしていたから」「友達にいじめられたくないから」「健康になったから」「健康が維持できたから」との間に誤差相関を設定したモデルで、良好な適合度指標の値を得た（日本：GFI=0.933、AGFI=0.908、CFI=0.937、RESEA=0.063、AIC=1036.100、韓国：GFI=0.933、AGFI=0.909、CFI=0.959、RESEA=0.052、AIC=477.375）。

因子間相関では、両国とも有意な正の相関（日本： $r=0.303\sim0.703$ 、韓国： $r=0.318\sim0.884$ ）が認められた（図 3）（図 4）。

2) 信頼性

各因子のクロンバックの α 係数（内的整合性）は、表 2-19、表 2-22 に示す通りである。両国ともすべての因子が 0.7 を超えて十分な信頼性が確認された。

① 日本

因子 1「有能感や達成感」0.869、因子 2「嗜好性」0.825、因子 3「友人の影響」0.735、因子 4「健康・体型」0.698、因子 5「素質や能力」0.703 であった。

② 韓国

因子 1「有能感や達成感」0.861、因子 2「友人の影響」0.821、因子 3「健康・体力」0.828、因子 4「嗜好性」0.907、因子 5「素質や能力」0.878 であった。

3) 因子間の相関

① 日本（表 2-25）

一般大生では、因子 1 と因子 2 間で相関がみられた（ $p=0.044$ ）。体育大生では、因子 3 と因子 4 間（ $p<0.001$ ）、因子 3 と因子 5 間

($p=0.027$)、因子 4 と因子 5 間 ($p=0.008$) で相関がみられた。

②韓国 (表 2-26)

一般大生では、因子 1 と因子 3 間 ($p=0.004$)、因子 2 と因子 3 間で相関がみられた ($p=0.044$)。体育大生では、因子 2 と因子 3 間 ($p=0.031$) で相関がみられた。

4) 属性別に関する運動継続要因の因子得点

因子得点は、全体の平均が 0、分散が 1 で標準化されており⁶⁶⁾、プラスで絶対値が大きいほどその因子の傾向が強いことを示し、マイナス絶対値が大きいほどその因子の傾向が弱いことを示している。

①日本 (表 2-27)

性別では、因子 1「有能感や達成感」、因子 2「嗜好性」、因子 3「友人の影響」、因子 5「素質や能力」で、男子の得点が女子に比べ有意に高かった ($p<0.001$)。

大学別では、因子 1「有能感や達成感」、因子 2「嗜好性」、因子 3「友人の影響」、因子 5「素質や能力」で、体育大が一般大に比べ有意に得点が高かった ($p<0.001$ 、 $p<0.001$ 、 $p=0.001$ 、 $p<0.001$)。

学年別では、因子 4「健康・体型」、因子 5「素質や能力」で、2 年生の得点が有意に高かった ($p=0.045$ 、 $p=0.002$)。

②韓国 (表 2-28)

性別では、因子 1「有能感や達成感」、因子 2「嗜好性」、因子 3「友人の影響」、因子 4「健康・体力」で、男子の得点が女子に比べ有意に高かった ($p<0.001$)。

大学別では、因子 1「有能感や達成感」、因子 2「嗜好性」、因子 4「健康・体力」、因子 5「素質や能力」で、体育大の得点が一般大

に比べ有意に高かった ($p < 0.001$ 、 $p < 0.001$ 、 $p = 0.001$ 、 $p < 0.001$)。

学年別では、因子 1「有能感や達成感」4 年生の得点が 1 年生に比べ有意に高かった ($p = 0.002$)。

5) 運動継続状況と運動継続要因の因子得点との関連

運動継続状況のうち、「現在運動有り群」を除いて、「運動継続群」「(途中離脱後)再開群」「運動中止群」の 3 群と運動継続要因の因子得点との関連をみた。

① 日本 (表 2-29) (表 2-30)

一般大生において、因子 2 (嗜好性) と因子 5 (素質や運動能力) で群間差がみられた ($p = 0.006$ 、 $p = 0.009$)。多重比較の結果では、両方とも、「運動継続群」は「(途中離脱後)再開群」と「運動中止群」に比べ、因子得点の平均値が高くなっていた。

体育大生においては、運動継続状況と運動継続要因の因子得点との関連はみられなかった。

② 韓国 (表 2-31) (表 2-32)

一般大において、因子 4 (嗜好性) で群間差がみられた ($p = 0.005$)。多重比較の結果では、「運動継続群」は「(途中離脱後)再開群」と「運動中止群」に比べ、因子得点の平均値が高くなっていた。

体育大生においては、運動継続状況と運動継続要因の因子得点との関連はみられなかった。

6) 運動継続状況 3 群と運動継続要因の因子得点の平均値との関連

嗜好性因子と他の因子得点において、「運動継続群」「(途中離脱後)再開群」「運動中止群」の因子得点の平均値の違いを散布図で示した。

①日本（図 2-5）

「0」を全体の平均として、嗜好性因子の得点の平均値と有能感や達成感の平均値の交点を求めると、体育大生においては、3群とも嗜好性因子、有能感や達成感因子の高値に位置していた。一般大生においては、継続群は嗜好性高値・有能感や達成感低値であったが、他の群は低値であった（タイプ 1）。素質や能力因子においても一般大生、体育大生は同様の傾向であった（タイプ 4）。友人の影響因子間では、体育大生の継続群や再開群、また、一般大生の継続群は、嗜好性因子、有能感や達成感因子とも高値に位置していた（タイプ 2）。健康・体型因子間では、体育大生の継続群は、嗜好性因子、健康・体型因子とも高値であったが、一般大生の継続群と体育大生の再開群や中止群は、嗜好性因子高値・健康・体型因子低値であった（タイプ 3）。

②韓国（図 2-6）

体育大生の継続群や（途中で離脱後）再開群は嗜好性因子、有能感や達成感因子の高値に位置し、中止群は嗜好性因子高値・有能感や達成感因子低値であった。一般大生において、継続群は、嗜好性高値・有能感や達成感低値であったが、（途中で離脱後）再開群、中止群は低値であった（タイプ 1）。

友人の影響因子間、健康・体力間においても同様の傾向であった（タイプ 2、タイプ 3）。素質や能力因子間においては、体育大生の 3 群とも高値であり、一般大生の 3 群とも低値であった（タイプ 4）。

Ⅳ．考察

本研究は、日本と韓国の大学生を調査して、小学期から現在までの運動・スポーツの継続状況を把握したうえで、運動継続関連因子を明らかにし、運動継続状況と運動継続因子との関連を検討することを目的として行った。調査地域に偏りがあり対象者も限られた人数であるが、それでも運動継続に関する様々な情報が得られたと思われる。

1. 小学頃から現在までの運動・スポーツ実施状況

本対象者の幼少期から大学現在までの運動実施率の結果は、日本は、小学期 76.0%、中学期 80.4%、高校期 53.3%、大学期 27.2%となっており、中学期の運動実施率が 8 割で最も高いが、高校では約 5 割と落ち込み、大学の実施率はさらに低くなっていた。

日本の中高生の運動の中心は部活動であると考えられるが、高校生で運動する割合が減っているのは、中学までの部活動を高校に入ってからやめる者が多いことを意味すると思われる。先行研究⁶⁷⁾⁶⁸⁾においても高校生の運動実施率は小学生や中学生に比べて少ないことが指摘されている。大学に入るとさらに実施率が下がるが、これは中学から高校にかけてと同様に、高校から大学にかけて運動部活動への加入率が大幅に下がり、どこにも加入していない者の割合が増加するという報告⁶⁹⁾と一致している。また、「体力・スポーツに関する世論調査」⁷⁰⁾によると、週 1 回以上の運動参加率は、20 代 27.7%、30 代 35.6%、40 代 41.7%、50 代 48.0%で、20 代が最も低率であり、本研究の大学生とほぼ同様の割合となっている。これよ

り幼児期からの運動は年齢が上がると実施率が下がり、20代が最もスポーツに親しむ機会のない年代であるという現状が把握される。欧米においては、大学時代と比較して大学卒業後47%の者は身体活動が減少することが報告されている⁷¹⁾。

一方、韓国の運動実施率は、小学期68.1%、中学期46.1%、高校期43.1%、大学期40.1%で、小学期が最も高く、中学期には約3分の2に低下するが、中学、高校、大学期の実施率は4割程度でほとんど変わらない。韓国の国民実態運動調査³²⁾による年齢別週2～3回以上の運動参加率は、20代36.4%、30代38.0%、40代44.4%、50代48.5%であり、本研究の大学生の割合は20代の平均と大差なく、日本よりも高い。すなわち韓国においては、中学、高校期の運動実施が少ない反面、大学生や20代以降の運動実施率は下がらないという現状が把握された。

さらに、韓国では、中高生の運動実施場所は約6～8割が学校以外である。それは、これまで韓国においては部活動があまり盛んでなかったという背景がある。しかし、韓国の部活動について、文化体育観光部²⁴⁾と教育科学技術部²⁵⁾は“楽しい学校及び学生体力増進のために”ということで、「少・中等学校体育活性化方案（10.9.30）」を発表した。2007年7月に学校スポーツクラブ運営計画を樹立して、非組織的に運営されている体育クラブ活動を「学校スポーツクラブ」として教育庁に登録・管理し体系的に運営した結果、学校スポーツクラブ参加率は2007年8.1%、2008年17.1%、2009年27.4%、2010年37.6%と徐々に増加していった。しかし、学校スポーツクラブ登録率は37.6%まで引き上げたが、塾などの入試勉強や競争のある学校教育の中で実際にスポーツ活動参加に充て

る時間が不足しているのが実情である。

呼吸循環機能の発達が著しい時期である中学生期には、運動の刺激は身体発育発達のために重要である。かつては学校の部活動に頼らなくても子ども達は自宅周辺の遊びの中で自然に体力をつけてきたが、今の子ども達はテレビ、パソコンなどの室内遊びが主で習い事や塾通いも多い。大人同様に忙しく、遊ぶ時間も相手もない状態である。そのため学校以外で体力をつけられる場所が少なくなった。体育の時間や部活動でしか子ども達は身体を動かしていないことを考えると、部活動の重要性は増大している。また、身体面ばかりでなく、社会性の発達や人間形成においても中高生期の部活動は再認識されるべき役割があり⁷²⁾、とくに韓国においてはさらなる検討が必要であると思われる。

運動実施種目の内訳では、日本の小学生は水泳が最も多かった。泳ぎは自然には身に付かず、誰かに教わる必要があると言われおり⁷³⁾、山下・出村(1987)⁷⁴⁾の報告にあるように、水泳教室やスイミング・スクールは、親にも人気のスポーツになっている影響があると考えられる。韓国の小学生は武道(テコンドー)が最も多い。テコンドー教育には、集中力、自信感、社会性、情緒変化、礼儀など全人教育が包括されているという共通認識があることで、韓国の男女子ども達はほとんど行っている種目である。

中高期になると、サッカー、バスケットボールやバレーボールなどのゴール型スポーツやテニスなどのネット型スポーツを行っているが、これらも日本ではサッカーなどの一部を除いて部活動が主となっていると考えられる。

2. 運動継続状況

運動継続状況を水上⁷⁵⁾の運動継続のタイプを参考にして、①運動開始から現在まで運動継続群、②現在運動有りだが、小中高のどこかで離脱した群、③現在運動有りで、小中高のどこかの時期に運動中止群、④運動中止群に小分類した後、②と③を一緒にして、「運動継続群」「(途中離脱後)再開群」「運動中止群」の3群に分類しなおした。

一般大生の「運動継続群」は、日本、韓国とも、全体の1割である。最も割合が多いのは、「運動中止群」で、一般大生では、日本は7割以上、韓国は5割である。そのうち、日本は、高校で中止した者が多く、韓国は小学校時に中止した者が多かった。体育大生の中でも、学校体育以外での運動を中止した者は、日本2.3%、韓国19.9%である。「(途中離脱後)再開群」において、日本は一般大生と体育大生が約2割であるのに対し、韓国では、一般大生3割、体育大生が6割を占める。

運動やスポーツに関する研究の中で、スポーツ・ドロップアウト研究があるが⁷⁶⁾⁷⁷⁾、これによると、多くの人にとって運動を始めるよりも継続することの方が困難であり、約50%の人が6ヶ月以内に運動プログラムからドロップアウトすることが報告されている⁷⁸⁾。本研究においては、運動を中断した理由として、両国とも、忙しくなって時間がなくなったが最も多く、日本は興味喪失、環境的な問題、自由時間等の理由が多い反面、韓国は、勉強を優先し、勉強と運動が両立できない教育方針のことを中断理由としてあげている。時間が足りないことは、多くの人々が運動からドロップアウトする主な原因として、他の報告⁷⁹⁾⁸⁰⁾においても挙げられてい

る共通要因である。また、Sallis⁸⁰⁾⁶⁵⁾は、relapse（逆戻り；好ましい行動を継続した後、その行動を辞めてしまうこと）の理由について、傷害、忙しさ、興味の欠如、時間の無さなどを挙げている。

ところで、離脱を対象とした研究が盛んに行われてきたが、継続を対象とした研究は少数である⁸¹⁾。その中で、SSF 笹川スポーツ財団「スポーツライフデータ 2008」では、過去の運動部活動の加入経験によって成人後の運動の実施率が高くなることを報告している⁸²⁾。山口ら⁸³⁾は、成人のスポーツ実施者の多くが、青少年期においても部活動などの活発なスポーツ経験をもっていると指摘している。さらに、高校期の運動・スポーツ実施水準が成人期への分岐点であるという報告⁸⁴⁾があるが、日本では、小学期・中学期で7割以上の実施率が高校では4割程度に低下している。成人の現在の運動の実施、継続には過去のスポーツ経験が規定要因として存在していることが明らかになっている⁵⁸⁾ことから、いかに高校期の運動継続を促すかについて検討することが今後の重要な課題であろうと考えられる。

しかし一方で、運動部活動においては、過度のトレーニングによる骨折・捻挫・肉離れなどの外傷や、野球肘・腰痛・膝関節痛・疲労骨折などの「使い過ぎ症候群」が多く見られている。また、運動嫌い・バーンアウト・抑うつ状態や一種のノイローゼ状態などの心の傷害をきたす例も報告されている⁶⁹⁾⁸⁴⁾⁸⁵⁾。中高校の時期の運動継続に大きな役割をしている運動部活動が、生徒の心身の健康にを脅かし、運動を続けられない状況や、続けたくなくなる状況を作り出していることは大きな問題である。これらの背景として、「勝利至上主義」「能力主義」「管理主義」といった風潮も関連していると

思われる。そして、指導者の過度な鍛錬や期待も作用して、生徒の心身に大きなストレスを与え、運動からの離脱を引き起こす要因となっている⁸⁶⁾⁸⁷⁾という報告もあるように、日本では部活動は盛んであるものの、その部活動において様々な問題が生じていることも事実である。

また、部活動における活躍が内申書に関連するという意見があることも考慮する必要がある。正式な資料は見つからないが、ベネッセの教育情報サイトの教育相談室⁸⁸⁾での資料によると、まったく同じ成績・授業態度などであれば、帰宅部の子と比べると部活を頑張っている子の評価が上がってくるはずとの認識が一般的には存在するようである。しかし一方では、学力推薦であれば部活動は全く関係がないことから、必ずしも部活動を行うことが内申書に直結するわけではないと考えられ、子ども達は内申書のためだけに運動を継続するとは言えないであろう。

それよりも問題と思われることは、日本の中学、高校期の運動部活動は学校教育活動の一環として行われている⁸⁹⁾が、それが行き過ぎた束縛となり、自己犠牲精神と先輩への絶対服従精神が強く要求されて、楽しくなくてもあきらめてはいけないという義務感で参加している生徒もいるといわれていることである。このようなことを強く感じた生徒は、学校卒業後の人生においてスポーツと距離を置くようになることも考えられる。また、運動部活動はほぼ毎日練習が行われており、多大な時間と体力を奪われるため、勉強ができない場合も多い。さらには、強くなりたい一心で無理なトレーニングを行う場合もあろう。日本の部活動は、発育発達段階を踏まえた練習の仕方や精神面に配慮したプログラムの組み方など、検討す

べき事柄は多いと思われ、今後の韓国での部活動のあり方にも影響を及ぼすと考えられる。

3. 運動継続要因の因子構成について

運動継続要因の因子分析の結果、日本と韓国ともそれぞれ 5 つの因子が捉えられた。各因子の解釈では、日本においては、第 1 因子を「有能感や達成感」、第 2 因子を「嗜好性」、第 3 因子を「友人の影響」、第 4 因子を「健康・体型」、第 5 因子を「素質や能力」として命名した。韓国については、第 1 因子を「有能感や達成感」、第 2 因子を「友人の影響」、第 3 因子を「健康・体力」、第 4 因子を「嗜好性」、第 5 因子を「素質や能力」と命名した。各因子のクロンバックの α 係数は十分に高い信頼性を示した。また、両国とも全ての因子で中程度の正の相関が認められた。

日本、韓国では、順序は違ってもほぼ共通するものとして 5 つの因子が抽出されたが、その要因の構成はやや異なり、本研究の対象者では日本と韓国の運動継続の特徴に違いのあることが示唆された。

「有能感や達成感因子」については、日本、韓国とも第 1 因子である。その要因の構成は、日本、韓国いずれも運動に対する満足感や達成感、有能感に関する項目であるが、日本では、自分にはやりとげる力があるという項目が含まれ、また韓国では、友達をつくることができたという項目が含まれていた。

「嗜好性因子」については、日本では第 2 因子、韓国では第 4 因子であるが、運動が好きだった、運動が楽しかったという項目は、日本、韓国とも共通であり、さらに、日本は将来までずっと続けた

いという項目が含まれて構成されていた。日本は韓国より、運動を通して有能感を持ち、できないようなことも最後まであきらめたり投げ出したりしないことで達成感を高めながら、運動の楽しさや喜びを深く味わっている者が多いのではないかと思われる。特に、運動を将来まで続けたいという項目が含まれていることは、中高時代の運動部活動を通して運動に親しんでいることが、運動を続けたいという気持ちを高めるのではないかと考えられる。

文部科学省の高等学校学習指導要領解説⁹⁰⁾では、「運動の楽しさや喜びを深く味わう」について、技能を高めたり、作戦を立てたりなどの過程を通して、仲間と適切な関係を築き、課題の解決を目指して取り組むことにより、一過性の楽しさにとどまらず、運動のもつ特性や魅力に深く触れることと示している。

友人の影響因子について、韓国は、友達の項目が第1因子にも含まれたことや友達に関する項目が日本より多いことから、友達の影響が運動行動に重要な役割をはたすものと考えられる。須藤⁹¹⁾は、運動継続率向上のためには、運動習慣の獲得と重要な他者、特に「友人」や「家族」の存在が重要であることを示唆している。さらに中村ら⁹²⁾は、ソーシャルサポートが運動習慣の獲得段階ではなく、維持段階においこそ考慮すべき重要な要因であることを示唆している。

ところで、前術したように運動習慣を形成するためには、個人の身体要因（運動可能な身体状況・体力）、環境要因（時間、施設設備、費用、指導者）、社会的要因（周囲の理解、運動集団への所属）、および個人の心理的要因（外発的動機づけ：運動の効果に対する理解、目的意識、内発的動機づけ：運動自体の楽しみ、運動志向性、

運動有能感)などが影響するとされている^{11)~15)}。そして、発達とともに、個々人の置かれた環境要因の利用可能な範囲に応じて、運動への高い動機づけ、またその実施と継続に対する周囲のソーシャル・サポートの活用、あるいは積極的な働きかけなどにおいて、個人と社会、そして環境との相互的な関わり合いが運動行動において重要な役割を果たすようになる¹⁴⁾といわれている。また、Biddleら⁹³⁾は運動継続率向上のためには、運動習慣の獲得と重要な他者、特に「友人」や「家族」の存在が重要であることを示唆している。

このような先行研究があるものの、本研究では、両国とも、運動継続要因の因子に親や運動指導者、また、環境的な要因の因子は含まれなかった。しかし、子どもの調査における運動参加への友達の影響については、日本では低学年で影響がみられたものの、韓国では性別や学年に関係なく友達の影響はあまり受けないという結果が得られており、子どもの現在の意識と大学生になって過去を振り返っての意識とは異なることが確認された。

「健康や体型因子」「健康・体力因子」については、日本では第4因子がその内容から「健康・体型」因子と命名され、韓国では第3因子が「健康・体力」因子と命名された。健康やストレス解消については共通しており、日本はダイエットになったという体型の項目が、韓国では体力がついたという項目が異なっていた。これは、日本の青少年期の女性に特徴的な風潮としての体型（やせ願望）^{94)~97)}についての認識が、運動継続要因の因子にも反映された結果であるように思われる。韓国でもやせ願望は進んでいるが、運動して痩せるというところまで意識が向いていないのかもしれない。青年女性を対象とした国際比較⁹⁸⁾において、日本人の青少年女性のお

よそ 3 分の 2 は自己の体型の外観評価を過剰に意識する傾向が強く、中国、台湾などの同じアジア人と比べてボディイメージに違いのあることが報告されている。

「素質や能力因子」は、日本、韓国とも第 5 因子であり、同じ項目で構成された因子であった。運動の素質や友人より優れた能力を意識できるということは、それによって運動をさらに好きになり、楽しくなり、また楽しいことが達成感や有能感を生み出すという相乗効果が運動継続を促すものと考えられる。

4. 運動継続状況と運動継続要因の因子得点との関連

運動継続状況を 3 群すなわち「運動継続群」、「(途中離脱後)再開群」、「運動中止群」に分類して、運動継続要因の因子得点との関連をみたところ、両国とも一般大生で、「運動継続群」が「(途中離脱後)再開群」「運動中止群」に比べ、「嗜好性因子」の得点が高く、他の因子との関連が認められたことより、「嗜好性」因子が運動継続に関連の強いことが示唆された。さらに、日本の一般大生では、「素質や能力」因子においても、運動継続との関連が認められた(表 2-24～表 2-27)。

嗜好性因子に含まれている両国の共通項目は、「運動が好き」「運動が楽しい」である。これらの要素について中村ら¹⁵⁾は、「楽しみ」のための運動であれば継続率の向上が期待できると考え、運動習慣形成のための健康運動プログラムの企画・制作に際しては、提供する運動自体のもつ楽しさの検討が必要と述べている。また、鍋谷ら⁹⁹⁾は継続のためには、運動によって心理的状态(運動に対する好感や楽しさ)を向上させることが重要であることを示唆している。

各ライフステージにおける運動の楽しさについて、幼児期ではできる楽しさを強く求めるよりも運動をすることそれ自体が楽しいという経験を十分に積むことが重要であり、この積み重ねが児童期後期の練習プロセスの先にある「楽しさ」を引き出し、また、練習してうまくなりたいという期待を引き出し、できなかったことができるようになることにつながり、運動を好きになる方向に導くことになるという報告⁵³⁾もある。「楽しさ」が形成されることは運動継続において非常に重要な要因であることと考えられる。

さらに、運動が好きという動機付けは、中高年者の運動についての「認識」「態度」「価値観」につながるという報告もある。西田ら¹⁰⁰⁾は、40歳代から60歳代までの中高年者の運動参加率を高めるためには、運動やスポーツに対する価値観を高めることが、年代や性に関わらず最も重要であると指摘している。

しかし、運動が好き、楽しいという要因はスポーツ参加から得られる瑣末な体験とみなす傾向¹⁰¹⁾があることも事実であり、先行研究^{102) - 104)}では、単に運動参加や運動意欲に肯定的な影響を及ぼす心理的要因の概念として、捉えている研究が多い。

ところが、本研究においては、運動が好き、楽しいという要因こそが、運動継続における必要不可欠な因子として捉えられた。運動の嗜好性要因について、より一層その位置づけを明確にできたことが、本研究における意義であると考えられる。

しかし、体育大生では、日韓とも、「運動継続群」と他の群との違いはみられなかった。これについては、もともと体を動かすことや運動が好きで、体育系大学を目指している者は、それぞれの事情で途中離脱や中止などがあっても、最終的に運動の道に進むため、

一般大生とは継続要因が異なるのではないかと推測される。

しかし、因子得点からは、一般大生と体育大生の「継続群」において、嗜好性因子と友人の影響因子との関連がみられた。運動が好き、楽しいという嗜好性には友人の影響が関連していると考えられ、一般大生においても体育大生においても、孤独に運動を続けるよりも友人に励まされたり、刺激を受けたりすることが、より運動を楽しくさせ継続につながるということが推察される。

一方、韓国においては、体育大生の継続群と再開群で、嗜好性因子と有能感や達成感因子間、友人の影響因子間、健康・体力因子間、素質や能力因子間との関連がみられた。

体育大生の因子得点はほとんどの因子で平均値がプラスであることから、運動・スポーツを専門とする者は一般大生よりも運動・スポーツへの目的意識が高く、素質もあり、興味関心が強い者であることが確認された。しかし、一般大生の運動継続群において、体育大生と同様に嗜好性得点が他の因子得点と比べて高かったということは、運動・スポーツを専門としないに関わらず、運動継続には「運動・スポーツが好き」という気持ちが大きな要因であることを示していると考えられる。好きということが興味や関心につながり、多少困難はあっても続けたいという原動力になるのではないかということである。

以上のことから、日韓とも、運動が好きで、楽しいと感じている者ほど、運動に対する有能感や達成感が高く、友人の影響も強いことが示唆される結果が得られた。すなわち、運動継続において、運動が好き、楽しいという基本的心理欲求に友達や仲間といった対人関係が媒介していることが考えられる。

運動に関する有能感と運動を好き・嫌いとの関連性について、森⁴²⁾は、体育授業が好きな者ほど運動に関する有能感が高いこと、とくに体育授業に「大好き」と高評価する児童ほど、運動有能感が高いことを示唆した。Sallis¹⁰⁵⁾ は、心理学的要因に注目して、身体活動に関する自己有能感、すなわち「できる」という信念や運動を行うとするという意図が、青少年期の身体活動に強く関係していると述べている。これらの心理学的要因は、青少年期における身体活動の予測変数としても重要な存在として確認されている¹⁰⁶⁾。

運動に対する有能感を高めさせるためには、楽しい運動を経験することが重要であると考えられる。

ところで、日韓の運動環境を比較すると、日本の一般大生は学校内で運動ができる環境があり、その環境の中で運動の楽しさや喜びを深く味わいながら継続している者が多いと思われる。韓国の一般大生の運動継続群は少数であるが、運動するのは体育専門の学生すなわち選ばれた者という認識があるにもかかわらず運動を継続していることは運動が好きで自発的に行っている者ではないかと推察される。

韓国ではテコンドーなどの武道以外には運動がいつでもできる環境にはない。部活動も日本のように一般的に広まっていはいない状況である。しかし、それでも運動を行うということは、その運動に対する楽しさがなければ、継続することは不可能であると考えられる。楽しい経験こそが、その後の運動継続にもつながっていくのであろう。

前述したように、日本の成人の運動参加率は高いとはいえず、高校生の運動参加率に届かない現状であった。日本の運動部活動は、

中学、高校時の運動・スポーツの継続環境につながってきたが、卒業以降にはつながらないということである。麓ら¹⁰⁷⁾は、学校の部活動経験と運動継続の間には直線的な関係がないことや学校の部活動経験が社会人の運動実施を約束するわけではないと報告している。部活動は、競技種目である場合、ときには過度な練習を強いることもあり、楽しさよりは辛さ、苦しさを過剰に経験させることになることもあると思われる。そうした経験は将来的運動継続にマイナスになることが推測される。また、発育発達の視点からみても、骨の発育に重要な時期であり、思春期の骨の発育は微妙でさまざまな影響を受けるため¹⁰⁸⁾過度な筋力トレーニングは身長発育にマイナスになることもある。そのため、中学、高校時の運動部活動を次のライフステージまでつなげるためには、運動部活動に対する意識の転換や、あり方の見直しが必要であると考えられる。韓国においては、運動参加率が低い10代の身体活動の参加促進の対策として、学校内での運動活動を活性化する動きがあるが、単に身体活動の推進のみの視点から捉えるのではなく、慎重な検討が必要であろう。

以上より、運動継続において、運動の「楽しさ」は重要な規定要因であることが示唆された。本研究は、運動継続の今後の有り方として貴重な資料になると考えられる。

V. 研究の限界と展望

本研究対象者は、日本では、関東地方は女子が、関西地方は男子が多い大学であり、専攻と学年に偏りが生じている可能性がある。韓国は1つの大学校に限定して調査を行ったため、一般化するには至らない。

また、本研究は、横断研究で過去の運動については思い出し法を用いたため、今後は地域や対象数を増やし、さらに縦断研究を行う必要があると考えられる。

本研究で示唆された運動継続要因以外、他の潜在的要因が運動継続に影響を及ぼす可能性があり、そのため、さらに多角的な要因についての研究を行うべきである。

調査対象者の偏りや運動やスポーツを取り巻く環境が違うため、本研究は日本と韓国との比較研究まではいかないが、日本と韓国を対象として、運動を継続した者における運動継続関連要因を初めて提示した研究である。

今後は、日本と韓国の子どもの運動継続と発育発達状況との関連も検討し、運動継続のあり方や意義を明らかにしていくことが課題である。

VI. まとめ

日本と韓国の大学生における小学時から現在までの運動・スポーツの継続状況を把握して、運動継続関連因子を明らかにし、運動継続状況と運動継続因子との関連を検討することを目的に、日本の大学生 1441 名（一般大生 723 名、体育大生 718 名）、韓国大学生 503 名（一般大生 232 名、体育大生 271 名）を対象に調査を実施した。

その結果をまとめると、以下のとおりである。

- 1) 小学校から大学現在までの運動実施率において、日本は、中学校の運動実施率が最も高く、高校、大学の実施率は極めて下がっている。韓国は、小学校の運動率が最も高く、日本と同様に運動率は現在に至って下がっていた。
- 2) 一般大生の運動状況を「運動継続群」「(途中離脱後)再開群」「運動中止群」に分類したところ、「運動継続群」は日本、韓国とも、全体の 1 割であり、「運動中止群」は、日本は 7 割以上、韓国は 5 割であった。そのうち、日本は、高校で中止群が多く、韓国は小学時中止群が多かった。
- 3) 運動継続要因を男女別にみた結果、日本の一般大生では、心理的影響、身体的影響、社会的影響に関する多くの項目で、男子の方が女子に対して有意に高く、環境的影響やダイエットになったという項目のみ女子の方が有意に高くなっていた。体育大生では、心理的影響、身体的影響、社会的影響、環境的影響に関する多くの項目で、男子の方が女子に対して有意に高くなっていた。

一方、韓国の一般大生では、心理的影響、身体的影響、社会的項目、環境的影響に関する多くの項目では男子の方が、家族や親

についての項目では女子の方が有意に高くなっていた。体育大生では、心理的影響、身体的影響、社会的影響、環境的影響に関する項目で、男子の方が女子に対して有意に高い項目が多くなっていた。

これらのことから、運動継続要因において、日本、韓国とも、一般大、体育大を問わず男子は女子と比べ有意に高い項目が多くみられ、運動に対して男子は女子より心理的、身体的、社会的、環境的な要因が影響していることが明らかになった。同様な男女差がみられた。

4) 探索的因子分析の結果、日本は、「有能感や達成感」「嗜好性」

「友人の影響」「健康・体型」「素質や能力」の 5 因子 19 項目、

韓国は、「有能感や達成感」「友人の影響」「健康・体力」「嗜好性」

「素質や能力」の 5 因子 20 項目が抽出された。さらに、確証的

因子分析では、良好な適合度指標の値を得た(日本: GFI=0.933、

AGFI=0.908、CFI=0.937、RESEA=0.063、AIC=1036.100、韓国

: GFI=0.933、AGFI=0.909、CFI=0.959、RESEA=0.052、

AIC=477.375)。各因子のクロンバックの α 係数(日本: 0.698

~0.869、韓国: 0.821~0.907)であり、因子間相関では、両国

とも有意な正の相関(日本: $r=0.303\sim0.703$ 、韓国: $r=0.318\sim$

0.884)が認められた。

5) 「運動継続 3 群」と「因子得点」との関連で、日本、韓国とも

一般大生で、「運動継続群」と「嗜好性因子」との関連が認めら

れた。また、運動継続群の、嗜好性と他の因子との関連では、日

本の体育大生において、3 群とも、嗜好性因子と有能感や達成感

因子間、素質や能力間との関連がみられ、運動が好き、楽しいを

感じている学生ほど運動に対する有能感や達成感、また、運動に対する素質や能力が高いことが示唆された。しかし、一般大生の継続群においては、嗜好性因子は高いが有能感や達成感因子が低いことから、運動が好き、楽しいと感じている学生でも体育大生の「継続群」「(途中で離脱後)再開群」より有能感や達成感は低いことが示唆された。

一方、韓国においては、体育大生の継続群と再開群で、嗜好性因子と有能感や達成感因子間、友人の影響因子間、健康・体力因子間、素質や能力因子間との関連がみられた。

以上のことより、運動継続には、行動に対する動機づけ要因として、運動の「楽しさ」を経験することで、有能感や達成感を高めることが最も重要であり、さらに、友人の影響が関連することが示唆された。

総括

本研究は、子どもの運動継続要因を検討することを目的に、幼少年期や青少年期における運動状況や運動に関する意識について研究1（第1章）と研究2（第2章）を行った。下記に主要な結果を要約するとともに、2つの研究を総合して、運動継続の要因と可能性を展望する。

第1章では、日本と韓国の子どもや保護者の身体活動の状況や意識調査に基づいて、両国の子どもの運動参加や継続性に関連する要因について検討した。その結果、

- 1) 子どもの運動実施率は日本の方が韓国より高くなっていたが、親の現在運動参加率は、韓国の方が日本より高率であった。また、幼児期の運動経験は、韓国より日本の子どもの方が多く、身体活動（遊び）の種類も日本の方が多い。そのことが小学校以降の運動参加に関連すると考えられる。
- 2) 運動に対する子どもの意識について性差や学年差を検討したところ、日本では、運動の重要性や運動について自信を持って頑張りたいと思っている子どもが多く、韓国では、学年が上がると運動について指導者や友達にほめられた経験が運動継続に関連していた。運動参加における友達の影響（友達が運動するから自分も運動する）については、日本では低学年で影響がみられたが、韓国では性別や学年に関係なく友達の影響はあまり受けない傾向がみられた。これは、韓国では運動を友達と一緒にいたり楽しんだりするという観念が希薄であるためと考えられた。

- 3) 子どもの運動に対する親の考えでは、日本においてはとくに母親が、男女の別なく、自分の子どもに運動して欲しいと思っていたが、韓国においては、子どもに運動して欲しいという回答が両親とも多いことが確認された。現在の子どもの運動実施率は低いですが、親の実施率は上昇しており、親の意識が今後子どもに具現化するかどうか注目される。
- 4) 運動実施の有無と子どもの運動に対する意識との関連では、日韓とも運動有りの子どもは運動なしの子どもに比べ、運動に対する意識の高いことが明らかになった。さらに、運動有り群は運動についてほめられたことが多く、体力に自信があり、親が運動やスポーツをしていることを見たことがある、他の人の動きをみて真似をしたことがある、の割合が高かった。運動なし群は、両国とも「運動が不足」していると感じていた。また、日本の運動有りの子どもでは、運動は重要である、スポーツの話をよくする、スポーツをよくみるなど、運動についての関心が高かったが、韓国においては、運動の有無にかかわらず、好きなスポーツ選手がいる子どもが多かった。これは運動やスポーツを行う者は特殊な才能の持ち主という気持ちがあり、自分が楽しんで行うものという意識には至っていないことを意味するのではないかと考えられた。
- 5) 運動有りの子どもには、日韓とも、運動に対して親からの応援や子どもの身体活動場での親の支援がみられた。さらに、日本の運動有りの子どもには、運動する場所への送り迎え、スポーツ道具を買い与える、喜びを表す、一緒に身体を動かすことが確認され、親の支援の大きいことが明らかになった。

以上のように、運動に対する日韓の子どもの状況や日常生活の中での興味・関心は異なることが示され、日本の子どもは韓国の子どもより運動・スポーツに対する意識や関心が高く、親のサポートも得られ、意欲や自信を持って運動・スポーツに取り組んでいることが把握された。さらに、子どもの運動継続には、親からの手助け、支援、身体活動の場での関わりの必要性が把握された。また、運動に関しての興味や関心の高い子どもほど身体活動を好み、結果として運動継続に影響を及ぼしていることが示唆された。これより、子どもの頃から運動を好きになる、身体を動かすことが楽しいという経験が、運動継続には必要であり大切であると考えられる。

第2章では、日本と韓国における大学生の、幼少時からの運動継続状況を把握し、日本と韓国それぞれの運動継続要因の因子構造とその項目、特徴を明らかにした。さらに、運動継続状況を「運動継続群」「(途中離脱後)再開群」「運動中止群」の3群に分け、因子得点から運動継続群における運動継続の特徴を把握し、他の群との違いを明確にすることで、より詳細に運動継続要因を検討することを目的とした。その結果、

- 1) 小学校から大学現在までの運動実施率については、日本では中学校時の運動実施率が最も高く、高校で下がり、高校から大学へは極めて下がっていた。韓国は、小学校時の運動率が最も高く、それ以降は漸次下がっていた。
- 2) 運動状況を「運動継続群」「(途中離脱後)再開群」「運動中止群」に分類したところ、小・中・高・大学を通しての「運動継続群」は、日本、韓国とも全体の1割であり、一般大学生の「運動

中止群」については、日本は 7 割以上、韓国は 5 割であった。
そのうち、日本は、高校で中止が多く、韓国は小学時中止の多い
ことが確認された。

3) 因子分析を行ったところ、日本は、「有能感や達成感」「嗜好性」
「友人の影響」「健康・体型」「素質や能力」の 5 因子 19 項目、
韓国は、「有能感や達成感」「友人の影響」「健康・体力」「嗜好性」
「素質や能力」の 5 因子 20 項目が抽出され、両国とも、良好な
適合度指標の値や有意な正の相関が認められた。

4) これらの因子得点を「運動継続群」、「(途中離脱後) 再開
群」、「運動中止群」別にみたところ、日本、韓国とも一般大学生
において、運動継続群における嗜好性因子が他の群より有意に高
いという結果が得られた。これより、運動継続において、運動が
好き、楽しい、という要素は重要であること、また、運動が好き、
楽しい要因は有能感や達成感を高めることにも影響を及ぼして
おり、また、子どもの調査ではみられなかった友人の影響が関連
することが示唆された。

子どもの調査、大学生調査の分析結果を総合すると、幼少時の
身体活動において、身体を動かすことが好き、楽しいという経験
が小学生以降の運動参加や継続につながり、大学生に至っても運
動継続者は運動の楽しさを感じていたことから、運動を好きにな
り楽しいと覚えることこそが運動継続に最も必要な要因と結論
される。

結語

本研究は、子どもにおける運動継続要因を検討するために、日本と韓国の子どもとその保護者を対象に、運動に対する意識を調査し、運動参加や継続性に関連する要因について検討した。また、日本と韓国の大学生を対象に、小学期から現在までの運動・スポーツの継続状況を把握し、運動継続状況と運動継続因子との関連を検討した。

子どもの運動継続には、親からの手助け、応援、身体活動の場での関わりなど、親のサポートの必要性が明らかになったが、なによりも運動に関しての興味や関心が結果として運動継続に影響を及ぼしていることが示唆された。また、大学生においては、小学期から大学現在までの運動継続に関連する要因として、日本、韓国とも、運動が好き、運動が楽しいことが規定要因であり、友人の存在も影響することが示唆された。

以上のことより、子ども期や青少年期における運動継続には、運動が好き、楽しいという運動への動機付けが潜在因子として作用し、運動への興味や関心が高まり、結果的に運動継続を促進することが示唆された。そのためには、親の応援や支援、友達の存在が重要であると結論される。そして、このことは、今後の日本の部活動のあり方や韓国がこれから展開しようとしている部活動推進においても考慮されるべきであると考えられる。

謝辞

本稿を終えるにあたり、終始懇篤な御指導を賜りました女子栄養大学小林正子教授に深謝いたします。長きに渡り、様々なことに取り組む機会を与えていただき、研究に対する真摯な姿勢、多角的な視点を持つことをお教えたいただきましたことに、厚く御礼申し上げます。

本研究を遂行するにあたり、予備調査に御協力頂いた女子栄養大学発育健康学研究室の江向真理子様、子どもの調査に御協力頂いた本学非常勤講師の辻重利先生、韓国の SHIN Dong - Wook 体育先生、そして、練馬区と全州市の小学校の教職員及び3年生～6年生の児童と保護者の皆様に深く感謝申し上げます。

また、大学生調査に御協力頂いた桐生大学鎌田尚子教授はじめ、鈴木和弘教授、松本健治教授、岡川暁教授、国土将平教授及び大学生の方々、韓国の BAEK Ui - Seon 教授、HONG Seong - Chan 教授及び大学生の方々に記して深く感謝申し上げます。

さらに、本研究へのご指導、ご助言をいただきました女子栄養大学保健管理学研究室 宮城重二教授、健康情報科学研究室 武藤志真子教授、教育学研究室 橋本紀子教授、応用生理学研究室 山下俊一教授に心より感謝し、御礼申し上げます。

そして、私を研究の道に導いてくださった日本女子体育大学 中村泉教授に心より感謝申し上げます。

ここに名前を挙げさせていただいた方々のみでなく、私を支えてくださったすべての方々、そして韓国の家族に、心より感謝の意を込めて謝辞と致します。

皆様のご指導、ご厚情を忘れず、これからも努力をして参ります。

平成 25 年 2 月 28 日

金 美 珍

参考文献

- 1) Smith AL and Biddle SJH (Eds) (2008) : Youth physical activity and sedentary behavior. Champaign, IL : Human Kinetics
- 2) SSF笹川スポーツ財団 (2002) : 「10代のスポーツライフに関する調査」 pp.28－31.
- 3) 小林寛道 (2003) : 発育発達及び社会生活的側面から見た青少年の体力低下の要因に関する分析的研究.平成12年度～平成14年度科学研究費補助金(特別研究促進費)研究成果報告書.
- 4) 西嶋尚彦 (2002) : 青少年の体力低下傾向. 体育の科学, 52(1) : 4－14.
- 5) 竹中晃二 (2001) : 米国における子ども・青少年の身体活動低下と公衆衛生的観点から見た体育の役割－体力増強から健康増進へ、さらに生涯の健康増進へ－. 体育学研究, 46(6) : 505－535.
- 6) 植田誠治 (2002) : 学校保健統計からみた子どもの体力・健康状態(特集 健康への疫学的アプローチ). 体育の科学, 52(11) : 877－882.
- 7) 文部科学省 (2011) : 平成22年度体力・運動能力調査結果報告書
- 8) 中央教育審議会 (2001) : 子どもの体力向上のための総合的な方策について (答申)
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/021001a.htm

- 9) 韓国体育観光部 (2007) : 国民体力実態調査
<http://culturestat.mcst.go.kr/mcst/resource/static/board/board01.htmlboardId=NBRD-1000083>
- 10) Fujii K、 Nho H、 Kim S and Hanai T. (2008) :Confirmation regarding secular trend of physical growth in Korean school students by wavelet interpolation method : Analysis from secular trend of age at MPV of height and weight. The Journal of Education and Health Science, 54(2) : 129 – 140.
- 11) 北田豊治, 李応喆, 飯倉修子, 朝野聡, 野原忠博 (1997) : 中高年における健康づくり行動の要因分析. 民族衛星, 63 (5): 288 – 304
- 12) 庄野菜穂子, 西住昌裕 (1997) : 健康づくりのための運動の継続性に関連する要因—1保健所の「すこやかクリニック」受講者の調査から—. 原生の指標, 44 (3) : 31–35
- 13) 下光輝一, 小田切優子, 涌井佐和子, 井上茂, 高宮朋子, (1999) : 運動習慣に関する心理行動的医学的研究. デサントスポーツ科学, 20 : 3–19
- 14) 高井和夫, 中込四朗, 山口理恵子 (2003) : 中高年者の健康運動キャリアパターンを支える心理的社会的要因. 体育学研究, 48(5) : 601–616
- 15) 中村恭子・古川理志 (2004) : 健康運動の継続意欲に及ぼす心理的要因の検討—ジョギングとエアロビックスダンスの比較. 順天堂大学スポーツ健康科学研究, 8 : 1–13
- 16) Boreham & Riddoch (2001) : The physical activity、 fitness and health of children. Journal of Sports Sciences, 19 : 915

－ 925.

- 17) 保健体育審議会（1997）：生涯にわたる心身の健康の保持増進のための今後の健康に関する教育及びスポーツの振興の在り方について（保健体育審議会答申）

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/old_chukyo/old_hoken_index/toushin/1314691.htm

- 18) 文部科学省（2010）：スポーツを通じて次代を担う子供たちに夢を与える

http://www.chijihon.metro.tokyo.jp/plan2010/pdf/2010honbun/honbun_sesakubetu/plan2010_08.pdf

- 19) 文部科学省：中央教育審議会 スポーツ・青少年分科会 スポーツ振興に関する特別委員会（第2回）議事要旨・配付資料[資料3]

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo5/006/gijiroku/07062632/001.htm

- 20) 文部科学省（2012）：平成23年度実施施策に係る実績評価書（モニタリング）

http://www.mext.go.jp/component/b_menu/other/_icsFiles/afieldfile/2012/10/05/1326567_3.pdf

- 21) 厚生労働省（2006）：運動所要量・運動指針の検討会－運動づくりのための運動指針－

- 22) 厚生労働省（2011）：

<http://www.smartlife.go.jp/information/2011/02/list>

- 23) 公益財団法人健康・体力づくり事業財団：

<http://www.health-net.or.jp/shikaku/shidoushi/index.html>

- 24) 韓国文化体育観光部 (2010) :
<http://www.mcst.go.kr/web/notifyCourt/press/mctPressView.jsp?seq=10729>
- 25) 韓国教育科学技術 (2010) :
<http://www.mest.go.kr/web/1148/ko/board/view.do?bbsId=197&boardSeq=15065>
- 26) 韓国文化体育観光部 (2010) : 体育百書
- 27) 保健福祉部(2011):第 3 次国民健康増進総合計画(2011~2020)
- 28) 韓国生活体育指導士 :
<http://terms.naver.com/entry.nhn?cid=380&docId=633210&categoryId=1181&mobile>
- 29) yongin 大学研修院 : <http://sports.yongin.ac.kr/>
- 30) 笹川スポーツ財団 (2012) : 子どものスポーツライフ・データ
http://www.ssf.or.jp/research/sldata/data_kids.html
- 31) Corbin、C. B.、Corbin、W. R.、Lindsey、R.、& Welk、(2004)
Concepts of physical fitness. NY : McGraw - Hill companies.
- 32) 韓国文化体育観光部 (2010) : 国民生活体育参与実態調査
- 33) 韓国統計庁 :
<http://kostat.go.kr/portal/korea/index.action>
- 34) 笹川スポーツ財団 (2012) :
http://www.ssf.or.jp/topics/external/korea_09.html
- 35) 笹川スポーツ財団 (2012) :
http://www.ssf.or.jp/topics/external/korea_10.html
- 36) 厚生労働省健康局 (2006) : 平成 16 年 国民健康・栄養調査
結果の概要について

- 37) ACSM (2000) : ACSM's guidelines for exercise testing and precipitation(6thed.). Baltimore、MD:Lippincott Williams & Wilkins.
- 38) 村松照美, 望月宗一郎 (2012) : 成人期の人々の生活における運動継続の意味. 山梨県立大学看護学部紀要, Vol.14 1-10
- 39) Dishman, R. K. (1994) : Introduction: Consensus, problems, and prospects. In R. K. Dishman(Eds.), Advances in exercise adherence. 1-27. PA : Human Kinetics.
- 40) 松本承子 (2011) : 将来の医療費削減を目指す公民連携による健康増進事業ー荒川区における小規模事業所従業員を対象とした事業提案ー, 東洋大学PPP 研究センター紀要1 : 108-122
- 41) 高井和夫 (2005) : 子どもの身体活動を支える要因とその方策. 教育学部紀要, 文教大学教育学部 39 : 43-50
- 42) 森司郎(2003) : 幼少年期における運動の好き嫌い. 体育の科学, 53 : 910-914
- 43) 上地広昭 (2003) : 運動好きの家庭環境. 体育の科学, 53 : 930-933
- 44) 全羅北道庁 :
http://www.jeonbuk.go.kr/blog_jeonbuk/index.jsp
- 45) Russell Jago, Kenneth R Fox, Angie S Page, Rowan Brockman and Janice L Thompson (2009) : Development of scales to assess children's perceptions of friend and parental influences on physical activity. International Journal of Behavioral Nutrition and Physical Activity, 6: 67.
- 46) 金美珍, 小林正子, 中村泉 (2011) : 幼児期の運動や運動遊び

- の経験が学童期の子どもの生活・健康・体力に及ぼす影響 小児保健研究 70(5) : 658－668
- 47) Barnett LM, van Beurden E, Morgan PJ, et al (2009) :
Childhood motor skill proficiency as a predictor of
adolescent physical activity. Journal of Adolescent
Health, 44 : 252－259
- 48) 山東亜小学校公式ブログ :
http://blog.naver.com/PostView.nhn?blogId=lovemom_kr&logNo=150156641189
- 49) 社団法人スポーツ健康産業団体連合会 (2008) : 平成19年度
サービス産業生産性向上支援調査委託費報告書
http://www.meti.go.jp/meti_lib/report/2009fy01/E000719.pdf
- 50) 日経ビジネス(2013) : 親は多額の塾費用を負担、子は“超”長時間勉強で受験戦争で－学歴インフレ社会韓国の教育事情(2)
<http://business.nikkeibp.co.jp/article/world/20110303/218703/>
- 51) 中学生・高校生の生活と意識－日本・アメリカ・中国・韓国の比較－
<http://www1.odn.ne.jp/youth-study/reserch/2009/gaiyo.pdf>
- 52) 財団法人 連合総合生活開発研究所 (2009) : 生活時間の国際比較－日・米・仏・韓のカップル調査
http://rengo-soken.or.jp/report_db/file/1238657015_a.pdf
- 53) Salvy S.J, Bowker J.W, Roemmich J.N, Romero N, Kieffer E, Paluch R, Epstein L.H (2008) : Peer influence on

- children's physical activity an experience sampling study.
J Pediatr Psychol, 33 : 39 – 49
- 54) Jago R, Brockman R, Fox KR, Cartwright K, Page AS, Thomson JL (2009) : Friendship groups and physical activity : qualitative findings on how physical activity is initiated maintained among 10-11 year old children. Int J Behav Nutr Phys Act, 6 : 4.
- 55) 森司郎, 中本浩揮, 桐谷昌代 (2006) : 運動の重要度と親の運動へのかかわりが幼児の運動有能感の発達に与える影響 鹿屋体育大学学術研究紀要, 34 : 31 – 39.
- 56) 上地広昭, 他 (2002) : 子どもにおける身体活動の行動変容段階とソーシャルサポートの関係. 健康支援, 4 : 100 – 108.
- 57) Steven Allender, Gill Cowburn and Charlie Foster (2006) : Understanding participation in sport and physical activity among children and adults: a review of qualitative studies. HEALTH EDUCATION RESEARCH, 21(6) : 826 – 835.
- 58) 黄順姫 (2008) : 体育の日本・韓国の比較－体育によって創られる日本・韓国の子どもの「身体」・「生体(肉体)」－. 体育の科学, 58 (5) : 320 – 325.
- 59) 長々原誠 (2005) : 運動継続－社会学的レビュー－. 体育の科学, 55 : 4 – 9
- 60) 小笠原正志, 桃川真美, 大藤直子他 (2002) : 行動科学的手法を用いた運動習慣獲得プログラム－運動習慣のない健常人に対する介入－. 久留米大学心理学研究, 第 1 号 : 23 – 38
- 61) 宮下充正 (2009) : 競技志向と健康志向のスポーツ科学. 杏林

- 書院, 30(1) : 75－81
- 62) 熊坂智美, 佐藤美恵, 黒田真理子 (2010) : 事業所従業員が運動教室参加後に運動を継続していく要因の検討. 福島県立医科大学看護学部紀要, 第 12 号 : 21－30
- 63) 高井和夫, 中込四郎, 山口理恵子 (2003) : 中高年者の健康運動キャリアパターンを支える心理社会的要因. 体育学研究, 48 : 601－616
- 64) 小塩真司 (2011) : SPSSとAmosによる心理・調査データ解析 第2版－因子分析・共分散構造分析まで－
- 65) 小塩真司 (2009) : はじめての共分散構造分析－Amosによるパス解析, p110－111, 東京図書株式会社, 東京
- 66) 古谷野亘 (2005) : 数値が苦手な人のための多変量解析ガイド－調査データのまとめかた. 川島書店, －p161－163
- 67) 岡田倫代, 鈴江毅, 田村裕子, 片山はるみ, 實成文彦 (2009) : 高校生における抑うつ状態に関する調査－Birleson自己記入式抑うつ評価尺度 (DSRS-C) を用いて－児童青年精神医学とその近接領域, 50 : 57－68.
- 68) SSF笹川スポーツ財団 (2002) : スポーツライフデータ 2002
- 69) 武藤芳照・新名謙二 (1990) : これからの部活への提言－スポーツ医科学者の立場から－. 体育科学研究, 第 38 巻, 9 : 39
- 70) 文部科学省 (2009) : 体力・スポーツに関する世論調査
http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/jisshi/1294610.htm
- 71) Calfas, K.J., Sallis, J.F., Lovato, C.Y., Campbell, J. (1994) : Physical Activity and Its Determinants before and after College Graduation. Medicine, Exercise, Nutrition,

and Health, Volume 3 : 323－334

- 72) 久川太郎 (2010) : 人の人生とスポーツ 中高生の時期のスポーツ活動. 法政大学体育・スポーツ研究センター紀要, 28 : 23－30
- 73) 新本惣一郎 (2012) : 小学生のスポーツ実施状況の違いが特性的自己効力感に及ぼす影響. 発育発達研究, 第 57 号 1－9
- 74) 山下秋二, 出村慎一 (1987) : スポーツ・イノベーションの普及速度を決定する諸変数の検討－スイミング・スクールの場－体育学研究, 33 : 15－26
- 75) 水上博司 (2005) : スポーツ少年団と中学校運動部活動の関係. 体育の科学, 55 : 15－19
- 76) 鈴木康弘, 杉原隆 (1993) : ドラックアウト、トランスファー、継続者の負事態における帰属様式の比較. 東京学芸大学紀要, 45 : 143－152
- 77) Klint, K. A. and Weiss, M. R., (1986) : “Dropping in and dropping out : Participation motives of current and former youth gymnastics. “Canadian journal of Applied Sport Science, 11－2 : 106－114
- 78) Weinberg RS and Gould D (1999) : Exercise behavior and adherence. In Foundation of sport and exercise psychology. 2nd ed., Human Kinetics, Champaign, IL. 371－395
- 79) 文部科学省 (2011) :
http://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/html/hpab201001/detail/1312141.htm
- 80) Sallis JF, Hovell MF, Hofstetter CR, Elder JP, Faucfer P,

- Spry VM, Barrington E, Hakiey M (1990) : Lifetime history of relapse from exercise. *Addict Beav*, 15 : 573－579
- 81) 稲地裕昭, 他 (1992) : 中学生の運動部活動における中途退部に関する研究～退部因子の抽出と退部予測尺度の作成. 体育学研究, 37 : 55－68
- 82) SSF 笹川スポーツ財団(2009):「スポーツライフデータ 2008」
- 83) 山口泰雄, 他 (1987) : スポーツの社会化. 体育の科学 37 : 142－148
- 84) 鳥居俊 (2004) : 成長期によく見られるスポーツ損傷の予防. 体育の科学, 第 54 巻 6 : 458－462
- 85) 横田匡俊 (2002) : 運動部活動の継続及び中途退部にみる参加動機とバーンアウトスケールの変動. 体育学研究, 47 : 427－437
- 86) 内海和雄 (1998) : 部活動改革－生徒主体への道－. 不未堂出版, pp.52－72
- 87) 西島央ら (2006) : 部活動－その現状とこれからのあり方－. 学事出版, pp.12－16
- 88) ベネッセの教育情報サイトの教育相談室 :
http://benesse.jp/forum/member/zbmca040?CONTENTS_ID=t6lePWt6cl6ssmmsssmXZOend4n3&MESSAGE_ID=015870
- 89) 文部科学省 (1996) : 中学生・高校生のスポーツ活動に関する調査
http://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/html/hpad199801/hpad199801_2_050.html
- 90) 文部科学省 (2009) : 高等学校学習指導要領解説 保健体育編・

体育編

http://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo_3481690_po_1282000_7.pdf?contentNo=1

- 91) 須藤英彦（2008）：スポーツクラブにおける中高年女性の運動継続の規定要因に関する研究．スポーツ科学研究，5：96－107
- 92) 中村好男，渡辺雄一郎，武田典子，岡浩一郎，板倉正弥（2003）：成人の運動行動と運動ソーシャルサポートの関係．ウォーキング研究，7：151－157
- 93) Biddle, S. J. H. and Mutrie, N. 編集，竹中晃二，橋本公雄 監訳（2001/2005）：身体活動の健康心理学－決定因・安寧・介入－．大修館書店、東京
- 94) 厚生労働省（2007）：国民健康・栄養調査－第2部 身体状況及び生活習慣等の状況－
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/eiyou09/01.html>
- 95) 財団法人日本青少年研究所（2012）：高校生の生活意識と留学に関する調査－日本・アメリカ・中国・韓国の比較－．財団法人日本青少年研究所
<http://www1.odn.ne.jp/youth-study/>
- 96) 加藤佳子（2007）：日本大学生のストレス過程およびやせ願望と章句行動との関連－甘味に対する態度や食行動の異常傾向に注目して－．日本家政学会誌 58（8）：453－461
- 97) 白石龍生，戸部秀之（1997）：女子学生の痩せ願望についての実態調査．第44回日本学校保健学会，126－127
- 98) 藤瀬武彦（2001）：日本人青年女性における体型の自己評価と

- 理想像—アジア人及び欧米人青年女性との比較—, 新潟国際情報大学情報文化学部紀要, 105—122
- 99) 鍋谷照, 徳永幹雄 (2001): 運動継続のための新しいアプローチ. 健康科学, 23 : 103—116
- 100) 西田保, 渡辺俊彦, 佐々木康, 竹ノ内陸志 (2000): 中高年者の運動への動機づけを促進および阻害する要因に関する研究. デサントスポーツ科学, 21 : 15 - 26
- 101) Yeom Doo-Seoung, Kim Deog-lm (2009) : Relationship between Amusement and Enjoyment Factors of Senior Daily Sports. The Korea Journal of Sports Science, 18(3) : 251—258
- 102) 厚生労働省 (2002): 運動習慣と健康意識—平成12年保健福祉動向調査の概況—
http://www.npo-jam.org/library/materials/m_mhlw02.html
- 103) 熊坂智美, 佐藤美恵, 黒田真理子 (2010): 事業所従業員が運動教室参加後に運動を継続していく要因の検討. 福島県立医科大学看護学部紀要, 12 : 21—30
- 104) Sallis, J. F., Simons-Morgan, B. G., Stone, E.J., Corbin, C. B., Epstein, L. H., Faucette, N., Iannotti, R. J., Killen, J. D., Klesges, R. C., Petray, C. K., Rowland, T. W. and Taylor, W. C. (1992) : Determinants of physical activity and interventions in youth. Medicine and Science in Sports and Exercise, 24 : S248—S257
- 105) Sallis JF et al (2000) : A review of correlates of physical activity of children and adolescents. Med Sci Sport Exer,

32 : 963－975

- 106) Reynolds, K. D., Killen, J. D., Bryson, S. W., Maron, D. J., Taylor, C. B., Maccoby, N. and Farquhar, J. W. (1990) : Psychosocial predictors of physical activity in a dolescents. Preventive Medicine, 19 : 541－551
- 107) 麓信義, 今和香子 (2005) : 運動体験と運動継続－学校体育は運動継続に役立つか－. 体育の科学, 55 (1) : 30－37
- 108) 兒玉桃子, 石田裕美, 上西一弘 (2012) : 中学、高校生の身体発育と QUS 法を用いて測定した骨指標の関係. Osteoporosis Japan Vol.20 (3) 189－200

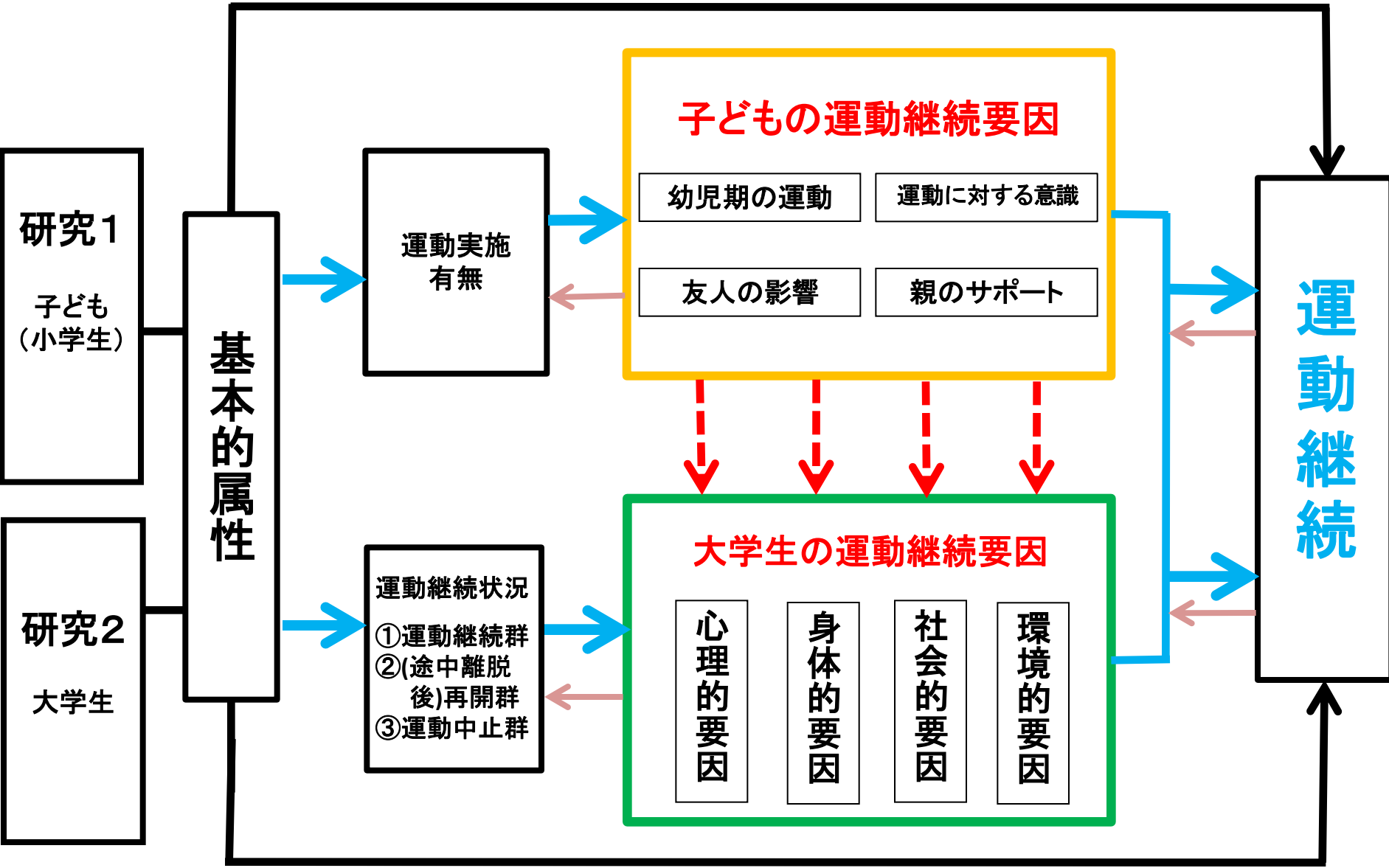
図表目次

図序 - 1	研究の枠組み
図2-1	運動を中断した理由<日本一般大>
図2-2	運動を中断した理由<韓国一般大>
図2-3	運動継続要因に関する検証的因子分析<日本>
図2-4	運動継続要因に関する検証的因子分析<韓国>
図2-5	運動継続3群と運動継続要因の因子得点の平均値との関連<日本>
図2-6	運動継続3群と運動継続要因の因子得点の平均値との関連<韓国>
表1-1	子どもの調査項目
表1-2	基本属性
表1-3	幼児期の子どもの状況
表1-4	幼児期の遊び
表1-5	幼児期の運動やスポーツ経験有無
表1-6	幼児期の運動種目
表1-7	子どもの現在の運動状況
表1-8	運動に対する子どもの意識
表1-9	親の過去や現在の運動
表1-10	子どもの運動に対する親の関心や楽しさ
表1-11	子どもの運動に対する親の考え
表1-12	子どもの運動に対する親の支援
表1-13	現在の運動有無と幼児期の身体活動状況との関連
表1-14	現在の運動有無と子どもの意識との関連
表1-15	現在の運動有無と運動参加に対する友達との関連
表1-16	子どもの運動有無と親の支援との関連
表1-17	親の運動の関心や子どもの運動に対する親の考えとの関連
表2-1	大学生の調査項目
表2-2	日本と韓国の属性の状況
表2-3	小学校時の運動状況<日本>
表2-4	中学校時の運動状況<日本>
表2-5	高校時の運動状況<日本>
表2-6	現在の運動状況<日本>
表2-7	小学校時の運動状況<韓国>
表2-8	中学校時の運動状況<韓国>

表2-9	高校時の運動状況<韓国>
表2-10	大学の運動状況<韓国>
表2-11	運動継続の状況<日本の一般大>
表2-12	運動継続の状況<日本の体育大>
表2-13	運動継続の状況<韓国の一般大>
表2-14	運動継続の状況<韓国の体育大>
表2-15	運動継続要因<日本>
表2-16	運動継続要因<韓国>
表2-17	運動継続要因のダミ変数
表2-18	Cronbach- α による項目削除
表2-19	運動継続要因の探索的因子分析の結果<日本>
表2-20	運動継続要因の探索的因子分析の結果<日本の大学別>
表2-21	運動継続要因の探索的因子分析の結果<日本の男女別>
表2-22	運動継続要因の探索的因子分析の結果<韓国>
表2-23	運動継続要因の探索的因子分析の結果<韓国の大学別>
表2-24	運動継続要因の探索的因子分析の結果<韓国の男女別>
表2-25	因子得点の相関<日本>
表2-26	因子得点の相関<韓国>
表2-27	属性別運動継続要因の因子得点<日本>
表2-28	属性別運動継続要因の因子得点<韓国>
表2-29	運動継続3群と因子得点との関連<日本の一般大>
表2-30	運動継続3群と因子得点との関連<日本の体育大>
表2-31	運動継続3群と因子得点との関連<韓国の一般大>
表2-32	運動継続3群と因子得点との関連<韓国の体育大>

資料目次

資料1-1	子どもの運動やスポーツ活動についての調査<子ども用>—日本
資料1-2	子どもの運動やスポーツ活動についての調査<保護者用>—日本
資料1-3	子どもの運動やスポーツ活動についての調査<子ども用>—韓国
資料1-4	子どもの運動やスポーツ活動についての調査<保護者用>—韓国
資料2-1	日本と韓国の大学生の運動やスポーツ活動についての調査—日本
資料2-2	日本と韓国の大学生の運動やスポーツ活動についての調査—韓国



図序ー1 研究の枠組み

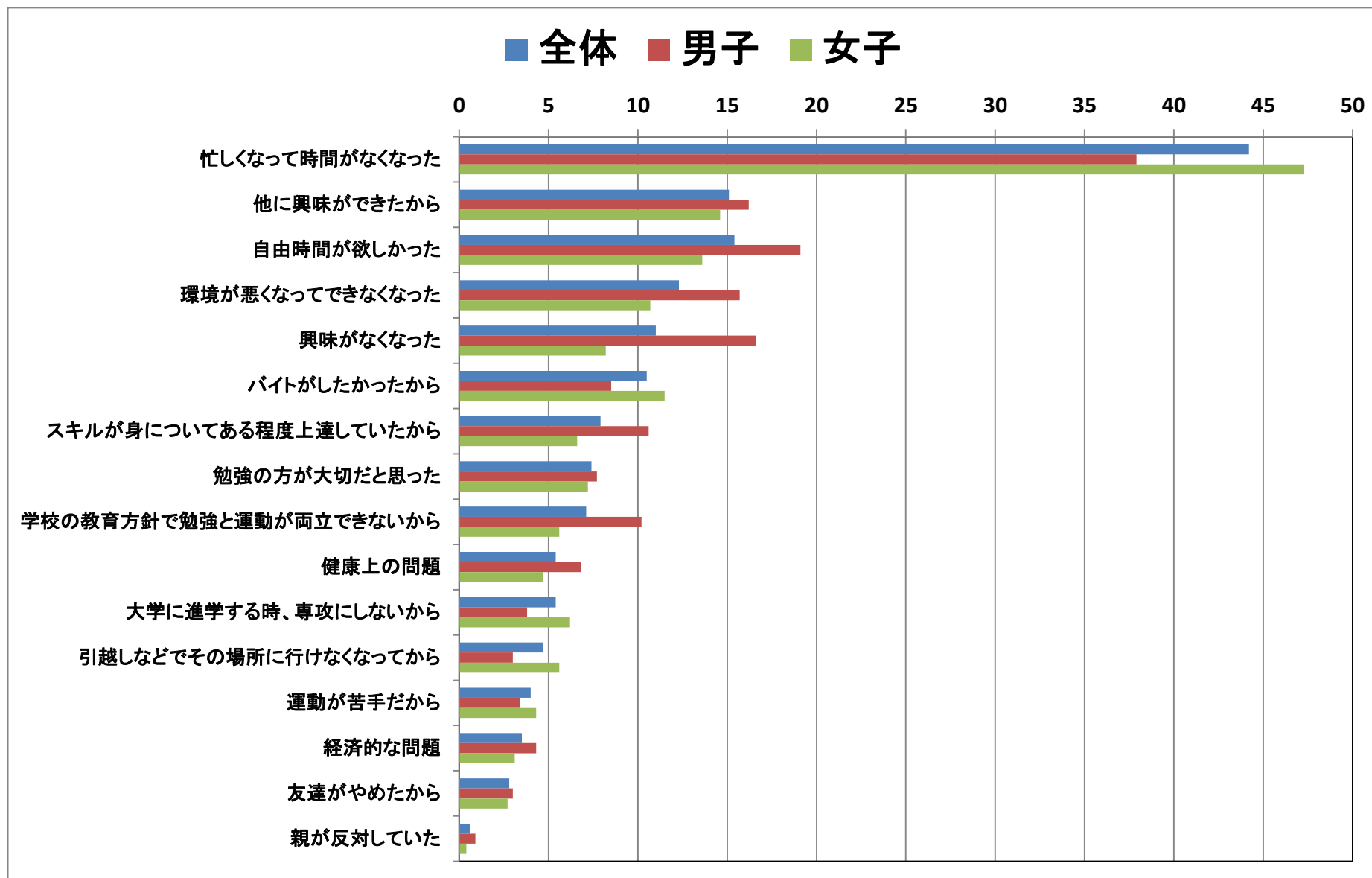


図 2-1. 運動を中断した理由<日本一般大>

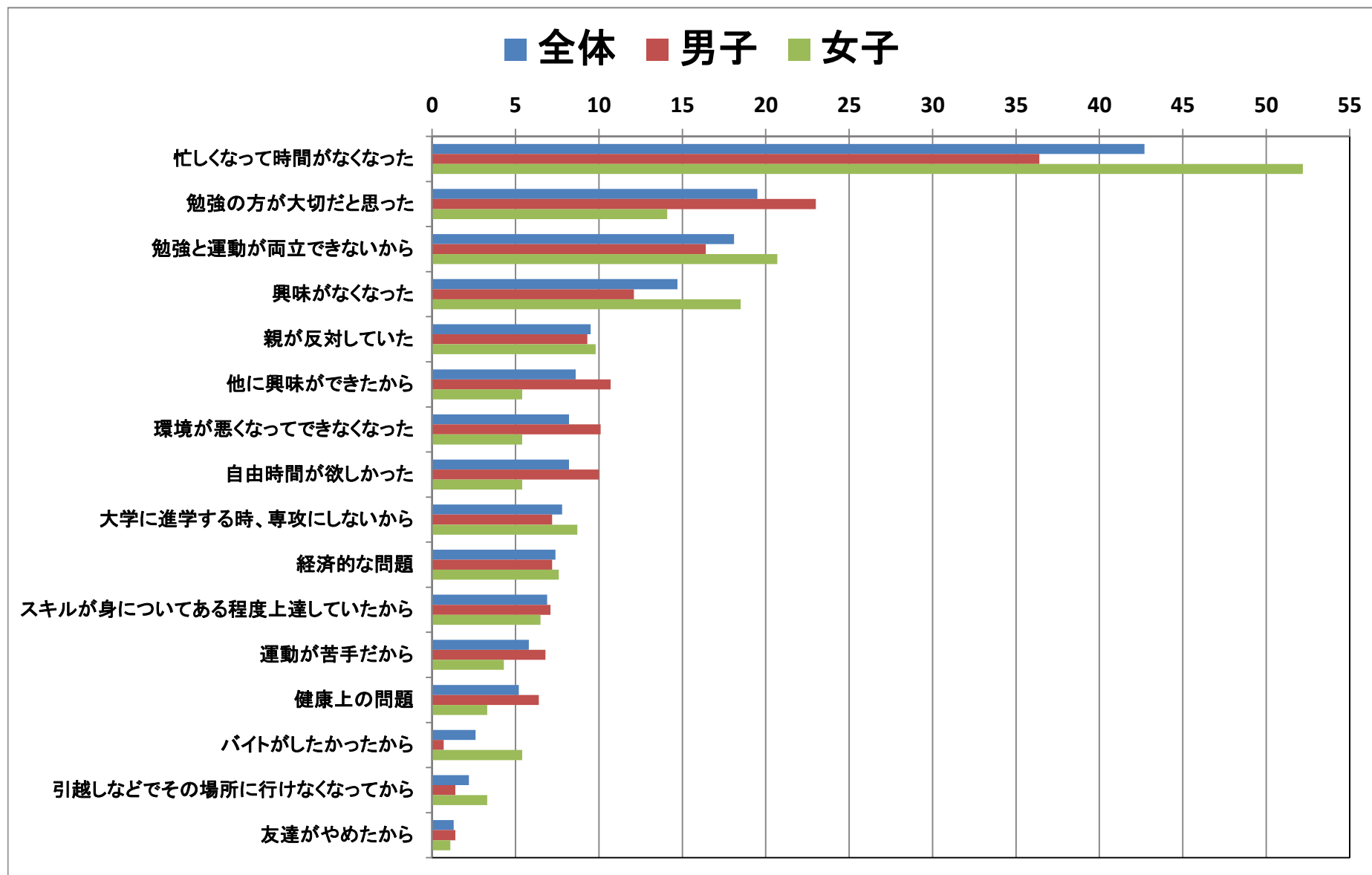
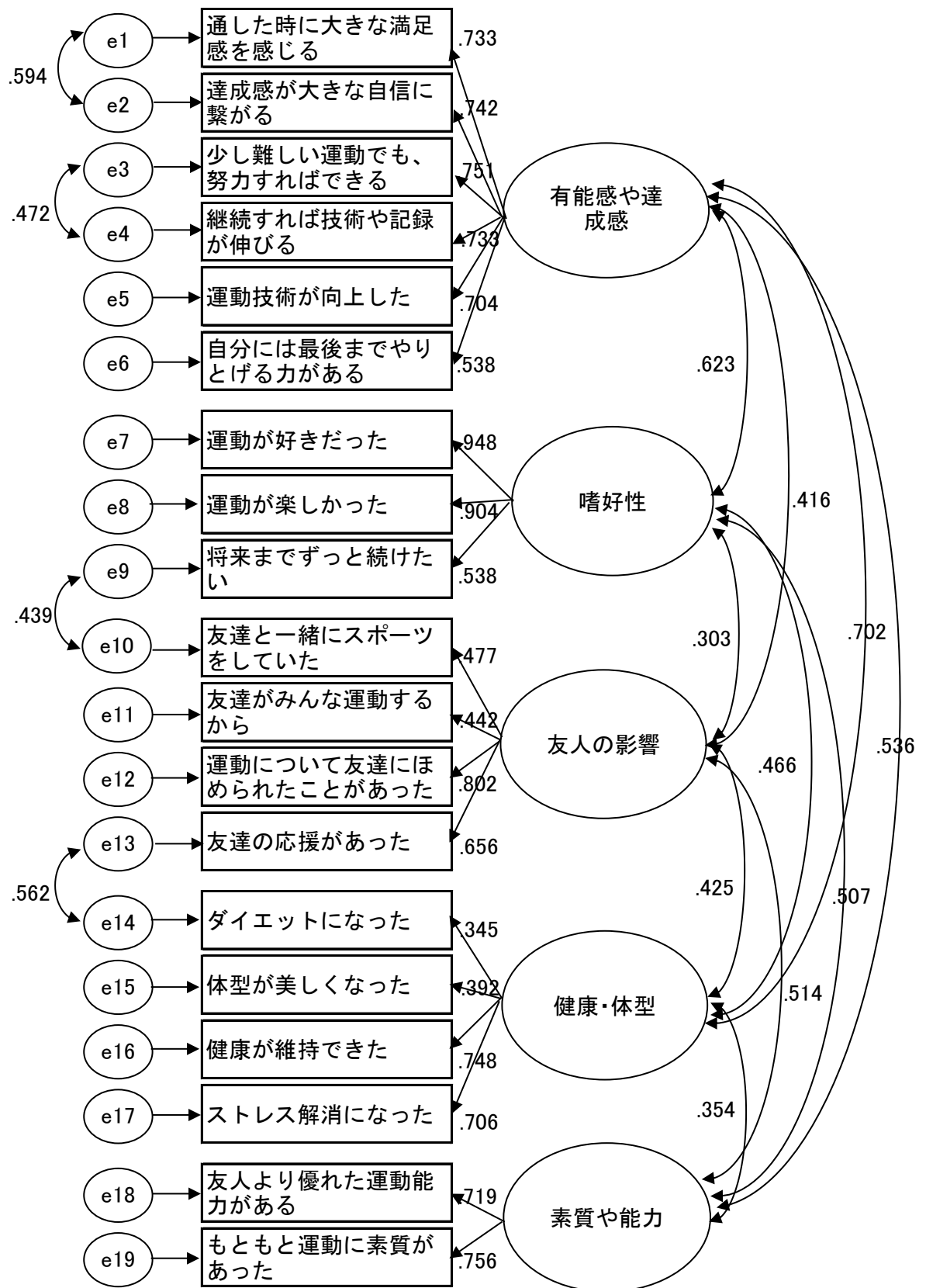


図 2-2. 運動を中断した理由＜韓国一般大＞

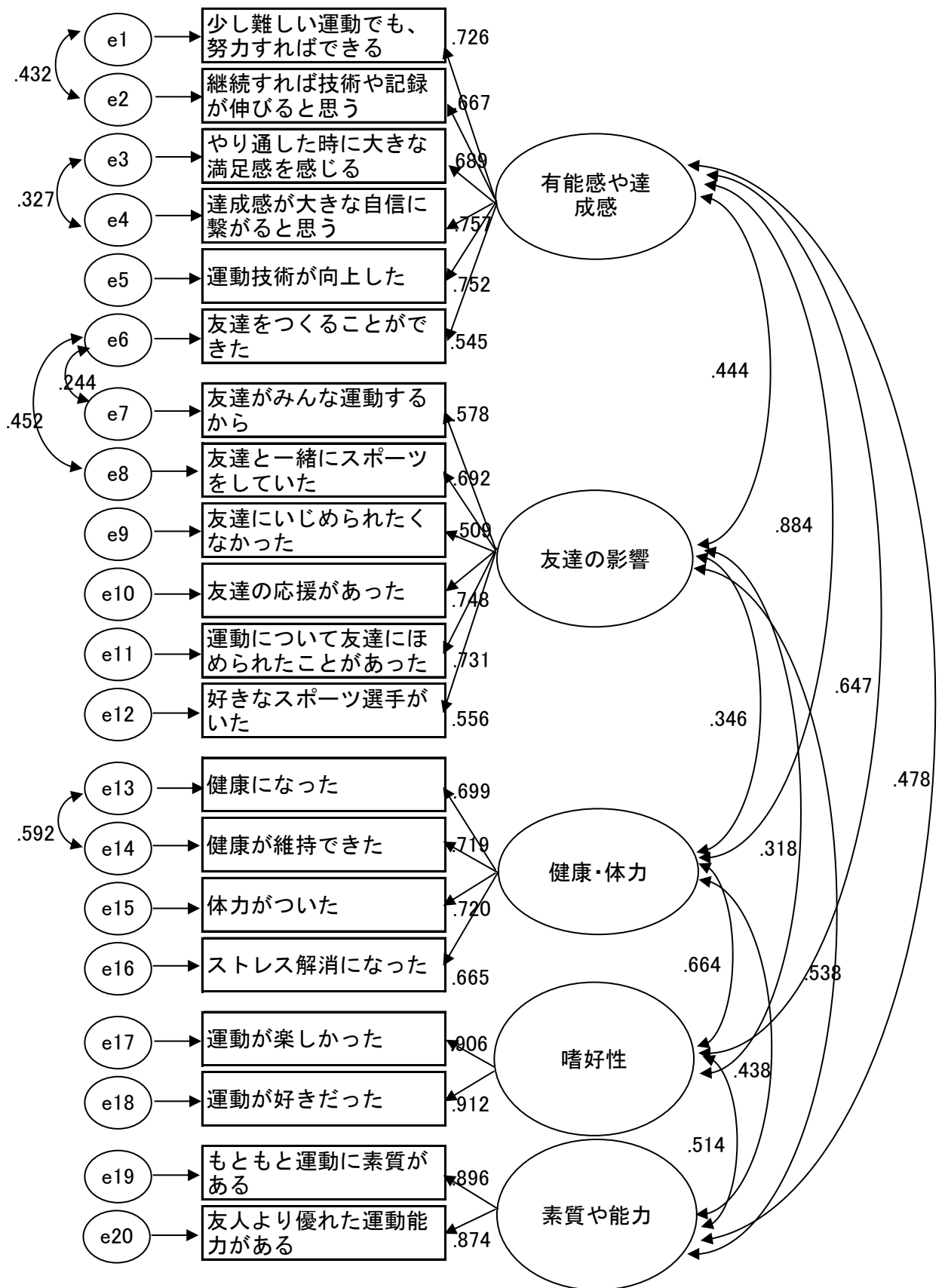


<モデル適合度>

カイニ乗値=932.100、 自由度=138、 有意確率 $p < 0.001$

GFI = 0.933、 AGFI = 0.908、 CFI = 0.937、 RESEA = 0.063、 AIC = 1036.100

図 2-3. 運動継続要因に関する検証的因子分析<日本>



<モデル適合度>

カイニ乗値=367.379、 自由度=155、 有意確率 $p < 0.001$

GFI = 0.933、 AGFI = 0.909、 CFI = 0.959、 RESEA = 0.052、 AIC = 477.379

図 2-4. 運動継続要因に関する検証的因子分析<韓国>

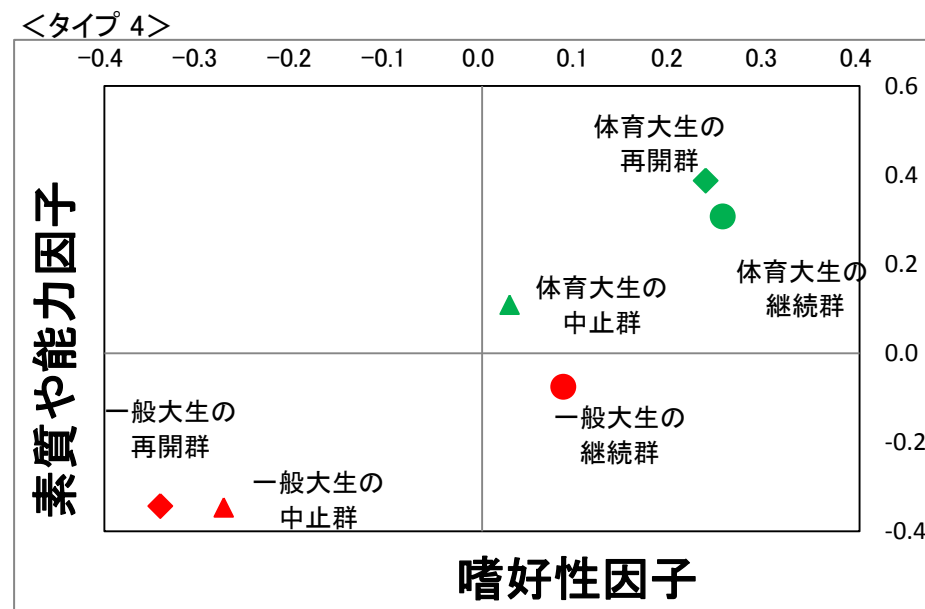
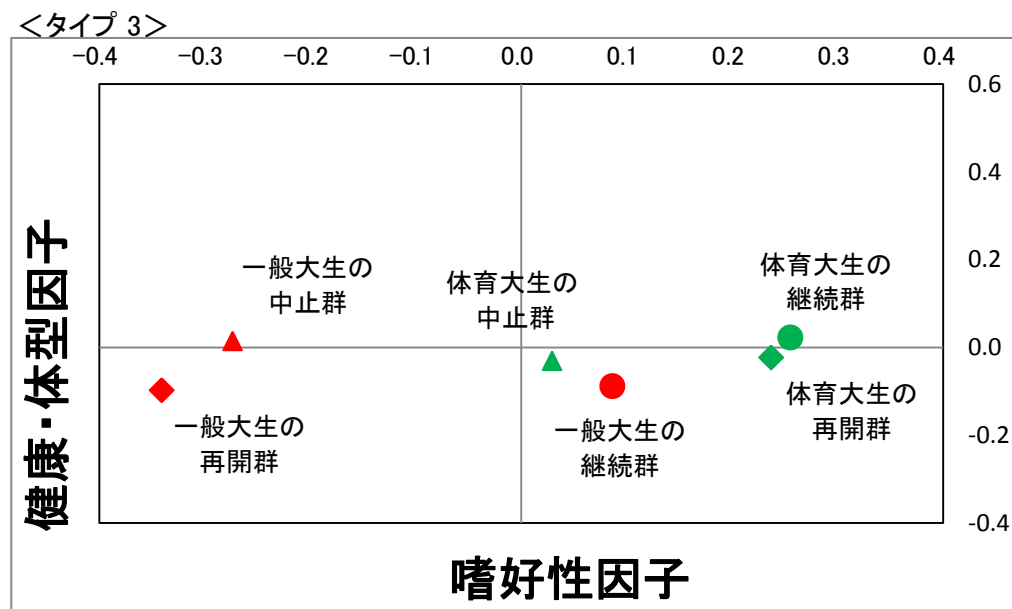
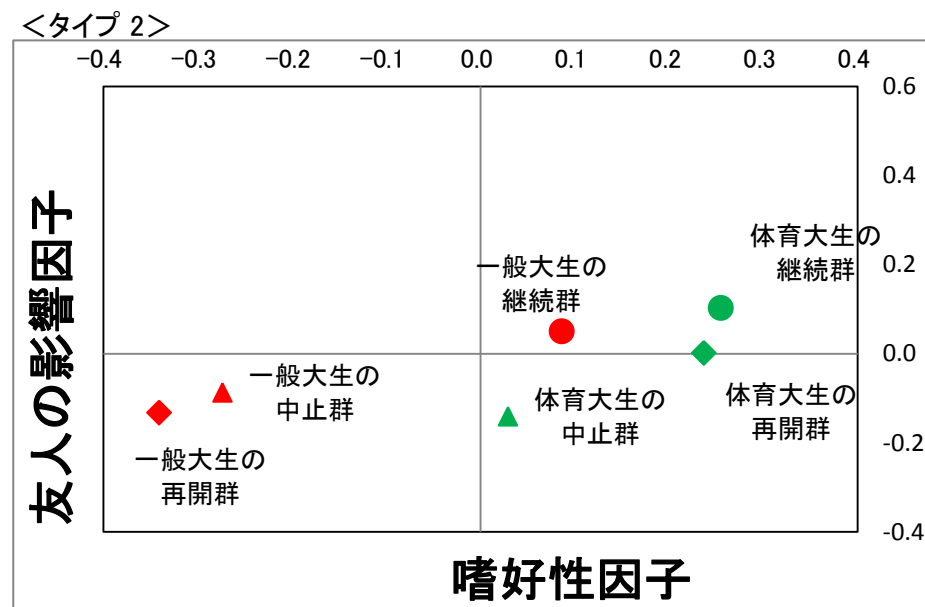
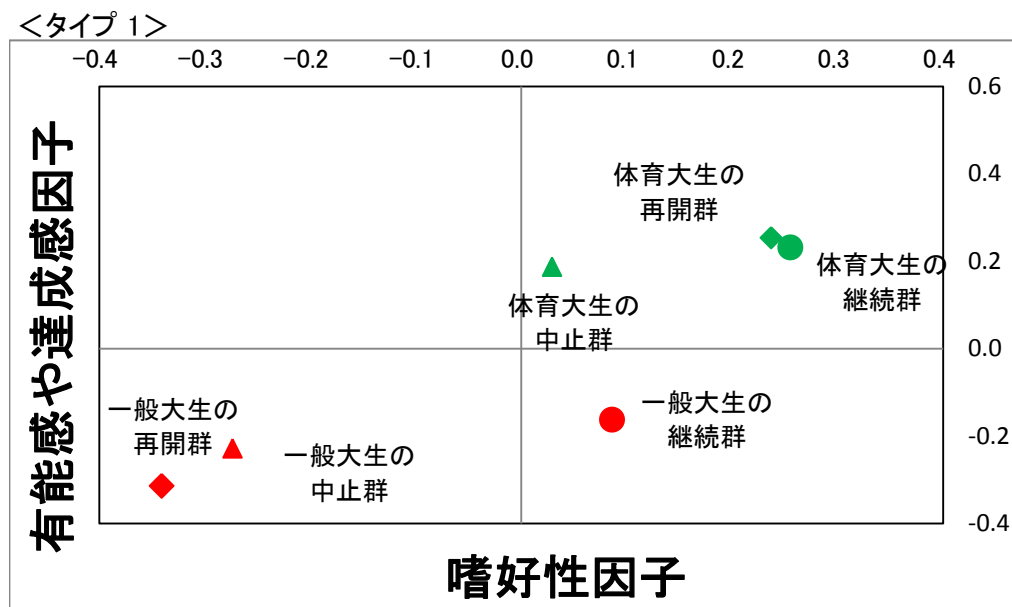
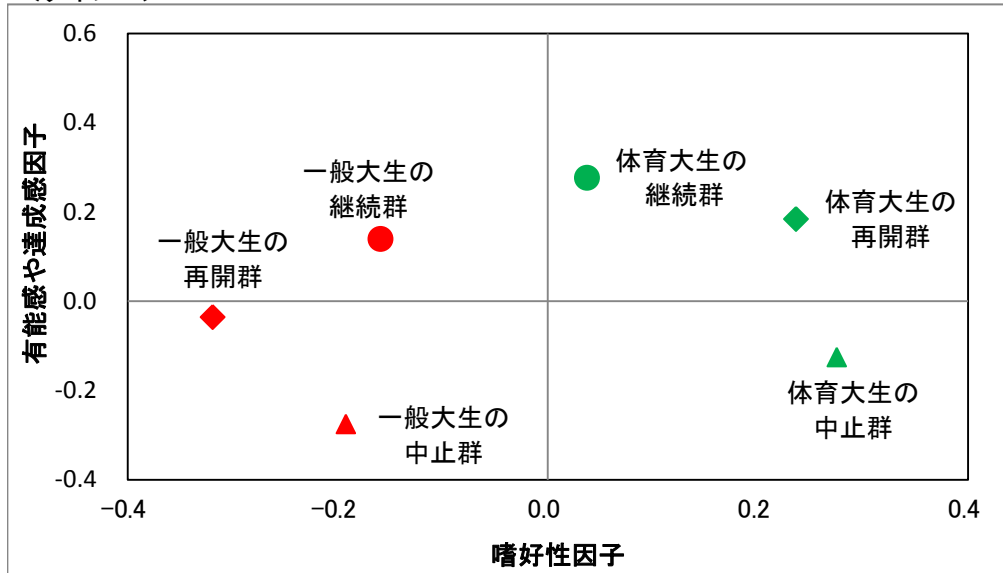
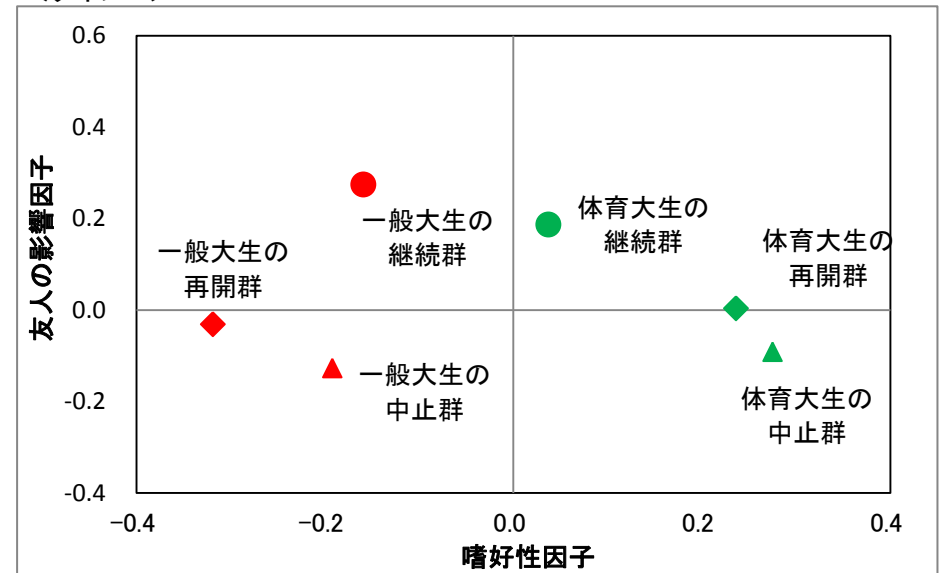


図 2-5. 運動継続3群と運動継続要因の因子得点の平均値との関連<日本>

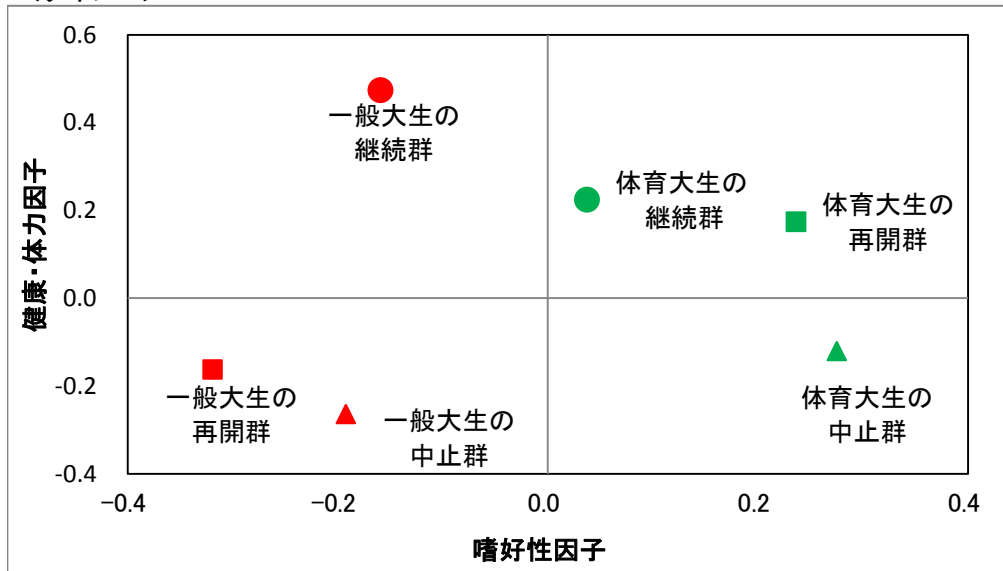
<タイプ 1>



<タイプ 2>



<タイプ 3>



<タイプ 4>

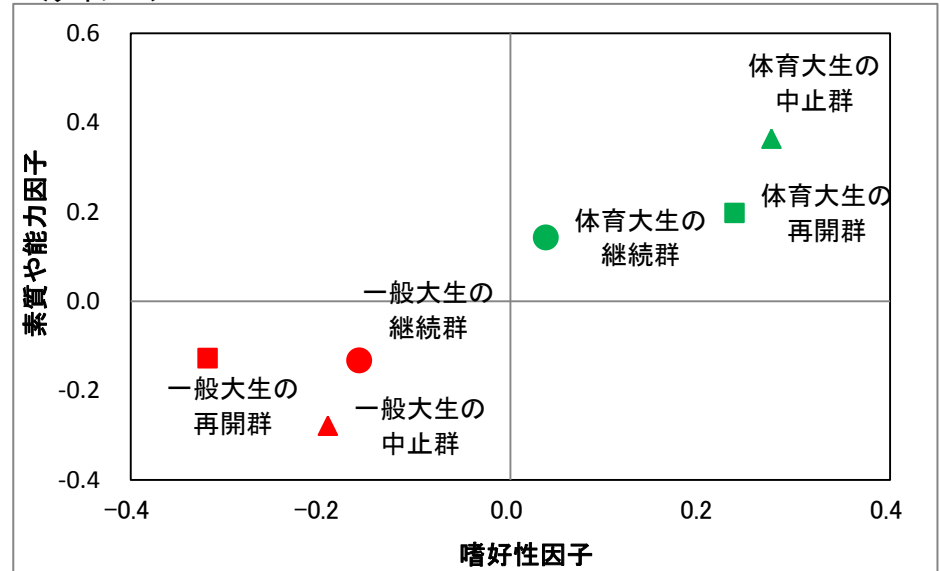


図 2-6. 運動継続3群と運動継続要因の因子得点の平均値との関連<韓国>

表 1-1. 子どもの調査項目

分類	大項目	中項目	小項目	分析項目	
子ども	属性	性・年齢・学年	性 年齢 学年	○ ○ ○	
		体格	身長 体重	○ ○	
	1)運動状況	①幼児期の運動状況	体を動かすことや外遊びの好き・嫌い 室内遊び、外遊び 運動・スポーツの経験 運動・スポーツの状況	○ ○ ○ ○	
		②現在の運動状況	運動・スポーツの実施有無 運動種目 運動頻度 運動時間 運動年数	○ ○ ○ ○ ○	
	2)運動に対する意識	①嗜好性	体を動かすことの好き・嫌い 運動の好き・嫌い 学校の体育授業の好き・嫌い 運動の真似 スポーツの話 運動・スポーツの観戦 好きなスポーツ選手	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	
		②運動への意識	運動の重要 運動の不足 運動の得意 運動をもっと得意になりたい 運動をもっとうまくなりたいために頑張っている	○ ○ ○ ○ ○	
		③運動についての ほめられる	学校の先生やスポーツのコーチ 親 友達	○ ○ ○	
		④体力	自信 必要性	○ ○	
		⑤親の運動	親の運動・スポーツをみたことがある 親との運動に参加	○ ○	
		⑥友達との運動参加	いじめられないために、運動に参加する みんな運動するから、運動に参加する 一緒にいたいから運動に参加する	○ ○ ○	
		⑦勉強	勉強の得意	○	
	親	属性	年齢	父親の年齢 母親の年齢	○ ○
		1)親の運動状況	①過去及び現在の運動	運動の経験有無 運動実施有無	○ ○
			②運動の嗜好性	普段、スポーツをみる 運動の楽しさ	○ ○
		2)子どもの運動に対する親の考え	子どもの運動の重要性	運動は重要である 運動して欲しい 運動と勉強の両立 運動の継続時期 運動をさせる理由 特に関心をおいてある部分	○ ○
		3)子どもの運動への支援	①送迎	運動する場所への送り迎え 運動する友達がいる所への送り迎え	○ ○
			②激励	応援 ほめる 喜びを表す	○ ○ ○
③一緒に身体活動を行う			身体を動かす 一緒に身体活動を行う 子どもの誘いによる	○ ○ ○	
④手本や道具などの支援			手本を見せる スポーツ道具を買い与える 運動に参加している子どもを見る	○ ○ ○	
⑤子どもの身体活動の場での関わり			他の保護者と親しいの交流 ボランティアによる協力 他の子どもへの注意	○ ○ ○	

表 1-2. 基本属性

		日本			韓国		
		男子	女子	計	男子	女子	計
子ども	3年	20(26.7)	25(32.1)	45(29.4)	43(27.4)	31(18.2)	74(22.6)
	4年	16(21.3)	14(17.9)	30(19.6)	33(21.0)	28(16.5)	61(18.7)
	5年	15(20.0)	17(21.8)	32(20.9)	37(23.6)	39(22.9)	76(23.2)
	6年	24(32.0)	22(28.2)	46(30.1)	44(28.0)	72(42.4)	116(35.5)
	計	75(100.0)	78(100.0)	153(100.0)	157(100.0)	170(100.0)	327(100.0)
保護者 ^{注1)}	父親	6(8.0)	10(12.8)	16(10.5)	157(50.0)	170(50.0)	327(100.0)
	母親	65(86.7)	64(82.1)	129(84.3)	157(50.0)	170(50.0)	327(100.0)
	両親(父母一緒に回答)	1(1.3)	2(2.6)	3(2.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	無回答	3(4.0)	2(2.6)	5(3.3)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	計	75(100.0)	78(100.0)	153(100.0)	314(100.0)	340(100.0)	654(100.0)
平均年齢							
子ども	3年	8.9±0.4	8.9±0.3	8.9±0.3	10.0±0.4	10.0±0.0	10.0±0.1
	4年	10.0±0.0	9.9±0.4	9.9±0.3	11.0±0.2	11.0±0.0	11.0±0.1
	5年	10.9±0.4	11.0±0.0	10.9±0.2	12.0±0.0	12.0±0.2	12.0±0.1
	6年	11.8±0.4	12.0±0.2	11.9±0.3	13.0±0.0	13.0±0.1	13.0±0.1
保護者	父親		43.4±6.5			43.2±4.2	
	母親		41.2±5.0			40.2±4.0	

^{注1)} 日本の保護者調査は父親か母親のいずれか一方が回答し、韓国では両親に回答してもらった。

表 1-3. 幼児期の子どもの状況(性別/学年別)

日本												韓国												
男子						女子					p値	男子					女子					p値		
	3年	4年	5年	6年	計	3年	4年	5年	6年	計	性別/学年別	3年	4年	5年	6年	計	3年	4年	5年	6年	計	性別/学年別		
体を動かすことが好きであった	とでも	16(84.2)	10(62.5)	7(50.0)	18(75.0)	51(69.9)	16(64.0)	7(50.0)	13(76.5)	12(54.5)	48(61.5)	n.s./n.s.	24(55.8)	18(54.5)	25(67.6)	24(55.8)	91(58.3)	17(54.8)	14(50.0)	27(69.2)	30(42.3)	88(52.1)	n.s./**	
	まあまあ	2(10.5)	4(25.0)	7(50.0)	5(20.8)	18(24.7)	8(32.0)	7(50.0)	2(11.8)	8(36.4)	25(32.1)		11(25.6)	13(39.4)	10(27.0)	16(37.2)	50(32.1)	12(38.7)	11(39.3)	10(25.6)	34(47.9)	67(39.6)		
	あまり	1(5.3)	2(12.5)	0(0.0)	1(4.2)	(5.5)	1(4.0)	0(0.0)	1(5.9)	1(4.5)	3(3.8)		4(9.3)	2(6.1)	2(5.4)	3(7.0)	11(7.1)	2(6.5)	3(10.7)	2(5.1)	7(9.9)	14(8.3)		
	まったく	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(5.9)	1(4.5)	2(2.6)		4(9.3)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	4(2.6)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)		0(0.0)
	計	19(100.0)	16(100.0)	14(100.0)	24(100.0)	73(100.0)	25(100.0)	14(100.0)	17(100.0)	22(100.0)	78(100.0)		43(100.0)	33(100.0)	37(100.0)	43(100.0)	56(100.0)	31(100.0)	28(100.0)	39(100.0)	71(100.0)	169(100.0)		
外遊びが好きであった	とでも	17(89.5)	12(75.0)	11(78.6)	20(83.3)	60(82.2)	21(84.0)	7(50.0)	12(70.6)	16(72.7)	56(71.8)	n.s./n.s.	26(60.5)	23(71.9)	26(70.3)	29(67.4)	104(67.1)	20(64.5)	20(71.4)	30(76.9)	49(69.0)	119(70.4)	n.s./n.s.	
	まあまあ	2(10.5)	4(25.0)	2(14.3)	4(16.7)	12(16.4)	4(16.0)	7(50.0)	4(23.5)	5(22.7)	20(25.6)		11(25.6)	7(21.9)	10(27.0)	14(32.6)	42(27.1)	10(32.3)	7(25.0)	8(20.5)	14(19.7)	42(23.1)		
	あまり	0(0.0)	0(0.0)	1(7.1)	0(0.0)	1(1.4)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)		3(7.0)	2(6.3)	1(2.7)	0(0.0)	6(3.9)	0(0.0)	1(3.6)	1(2.6)	8(11.3)	10(5.9)		
	まったく	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(5.9)	1(4.5)	2(2.6)		3(7.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	3(1.9)	1(3.2)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)		1(0.6)
	計	19(100.0)	16(100.0)	14(100.0)	24(100.0)	73(100.0)	25(100.0)	14(100.0)	17(100.0)	22(100.0)	78(100.0)		43(100.0)	32(100.0)	37(100.0)	43(100.0)	55(100.0)	31(100.0)	28(100.0)	39(100.0)	71(100.0)	169(100.0)		

** p<0.01, n.s. : 有意差なし

表 1-4. 幼児期の遊び(性別/学年別)

<日本>												
		男子					女子					p値
		3年	4年	5年	6年	計	3年	4年	5年	6年	計	性別/学年別
室内遊び	お絵かき	7(35.0)	4(25.0)	6(40.0)	12(50.0)	29(38.7)	21(84.0)	11(78.6)	11(64.7)	15(68.2)	58(74.4)	***/n.s.
	ままごと、ごっこ遊び	6(30.0)	2(12.5)	6(40.0)	11(45.8)	25(33.3)	20(80.0)	14(100.0)	10(58.8)	15(68.2)	59(75.6)	***/n.s.
	ビデオ	7(35.0)	7(43.8)	5(33.3)	9(37.5)	28(37.3)	12(48.0)	5(35.7)	4(23.5)	8(36.4)	29(37.2)	n.s./n.s.
	カードゲーム	6(30.0)	6(37.5)	7(46.7)	4(16.7)	23(30.7)	8(32.0)	7(50.0)	5(29.4)	7(31.8)	27(34.6)	n.s./n.s.
	本を読む	4(20.0)	1(6.3)	4(26.7)	2(8.3)	11(14.7)	8(32.0)	0(0.0)	4(23.5)	4(18.2)	16(20.5)	n.s./*
	工作、レゴ、積み木	0(0.0)	0(0.0)	1(6.7)	2(8.3)	3(4.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(9.1)	2(2.6)	n.s./n.s.
外遊び	ボール遊び	17(85.0)	8(50.0)	9(60.0)	16(66.7)	50(66.7)	11(44.0)	4(28.6)	6(35.3)	7(31.8)	28(35.9)	***/n.s.
	鬼ごっこ	9(45.0)	7(43.8)	12(80.0)	16(66.7)	44(58.7)	18(72.0)	6(42.9)	11(64.7)	11(50.0)	46(59.0)	n.s./n.s.
	マラソン	3(15.0)	0(0.0)	1(6.7)	1(4.2)	5(6.7)	5(20.0)	2(14.3)	1(5.9)	0(0.0)	8(10.3)	n.s./n.s.
	自転車	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(4.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(1.3)	n.s./n.s.
	かくれんぼ	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(4.0)	0(0.0)	1(5.9)	0(0.0)	2(2.6)	n.s./n.s.
	木登り	1(5.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(4.2)	2(2.7)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	n.s./n.s.
	こま	1(5.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(1.3)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	n.s./n.s.
	縄跳び、大なわ	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	3(12.0)	1(7.1)	1(5.9)	1(4.5)	6(7.7)	*/n.s.
	リレー	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(4.2)	1(1.3)	1(4.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(1.3)	n.s./n.s.
	たま探し場所取り ゲーム	0(0.0)	1(6.3)	0(0.0)	0(0.0)	1(1.3)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	n.s./n.s.
	砂遊び	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(4.5)	1(1.3)	n.s./n.s.
	遊具遊び	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(8.3)	2(2.7)	0(0.0)	1(7.1)	0(0.0)	2(9.1)	3(3.8)	n.s./n.s.

*** p<0.001, * p<0.05, n.s. : 有意差なし

＜韓国＞												
		男子					女子					p値
		3年	4年	5年	6年	計	3年	4年	5年	6年	計	性別/学年別
室内遊び	お絵かき	24(55.8)	21(63.6)	16(43.2)	13(29.5)	74(47.1)	25(80.6)	17(60.7)	29(74.4)	48(66.7)	119(70.0)	***/n.s.
	ままごと	6(14.0)	9(27.3)	6(16.2)	6(13.6)	27(17.2)	18(58.1)	19(67.9)	26(66.7)	36(50.0)	99(58.2)	***/n.s.
	ビデオ	24(55.8)	20(60.6)	15(40.5)	19(43.2)	78(49.7)	15(48.4)	9(32.1)	15(38.5)	28(38.9)	67(39.4)	n.s./n.s.
	カードゲーム	14(32.6)	17(51.5)	15(40.5)	17(38.6)	63(40.1)	11(35.5)	4(14.3)	10(25.6)	21(29.2)	46(27.1)	*/n.s.
	本を読む	24(55.8)	15(45.5)	12(32.4)	12(27.3)	63(40.1)	16(51.6)	8(28.6)	21(53.8)	29(40.3)	74(43.5)	n.s./n.s.
	手遊び	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(2.6)	0(0.0)	1(0.6)	n.s./n.s.
外遊び	ボール遊び	24(55.8)	19(57.6)	22(59.5)	31(70.5)	96(61.1)	13(41.9)	11(39.3)	21(53.8)	25(34.7)	70(41.2)	***/n.s.
	鬼ごっこ	18(41.9)	14(42.4)	17(45.9)	20(45.5)	69(43.9)	17(54.8)	14(50.0)	24(61.5)	44(61.1)	99(58.2)	*/n.s.
	マラソン	16(37.2)	13(39.4)	15(40.5)	15(34.1)	59(37.6)	8(25.8)	12(42.9)	9(23.1)	19(26.4)	48(28.2)	n.s./n.s.
	自転車	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(2.3)	1(0.6)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(1.4)	1(0.6)	n.s./n.s.
	かくれんぼ	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(6.5)	0(0.0)	0(0.0)	1(1.4)	3(1.8)	n.s./n.s.
	ブランコ	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(1.4)	1(0.6)	n.s./n.s.
	散歩	0(0.0)	0(0.0)	1(2.7)	0(0.0)	1(0.6)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	n.s./n.s.
	運動	6(14.0)	1(3.0)	0(0.0)	0(0.0)	7(4.5)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	**/**

*** p<0.001, ** p<0.01, * p<0.05, n.s. : 有意差なし

表 1-5. 幼児期の運動やスポーツの経験（性別/学年別）

日本											韓国											
男子					女子					p値	男子					女子					p値	
3年	4年	5年	6年	計	3年	4年	5年	6年	計	性別/学年別	3年	4年	5年	6年	計	3年	4年	5年	6年	計	性別/学年別	
運動経験有り	6(31.6)	9(56.3)	5(35.7)	13(54.2)	33(45.2)	17(68.0)	6(42.9)	9(52.9)	16(72.7)	48(61.5)	*/n.s.	19(47.5)	9(28.1)	17(48.6)	19(45.2)	64(43.0)	4(13.3)	12(46.2)	10(27.8)	18(26.1)	44(27.3)	**/n.s.
運動経験なし	13(68.4)	7(43.8)	9(64.3)	11(45.8)	40(54.8)	8(32.0)	8(57.1)	8(47.1)	6(27.3)	30(38.5)		21(52.5)	23(71.9)	18(51.4)	23(54.8)	85(54.0)	26(86.7)	14(53.8)	26(72.2)	51(73.9)	117(72.7)	
計	19(100.0)	16(100.0)	14(100.0)	24(100.0)	73(100.0)	25(100.0)	14(100.0)	17(100.0)	22(100.0)	78(100.0)		40(100.0)	32(100.0)	35(100.0)	42(100.0)	149(100.0)	30(100.0)	26(100.0)	36(100.0)	69(100.0)	161(100.0)	

** p<0.01, * p<0.05, n.s. : 有意差なし

表 1-6. 幼児期の運動種目(性別/学年別)

<日本>

	男子					女子					p値
	3年	4年	5年	6年	計	3年	4年	5年	6年	計	性別/学年別
水泳	5(25.0)	6(37.5)	3(20.0)	7(29.2)	21(28.0)	11(44.0)	4(28.6)	5(29.4)	14(63.6)	34(43.6)	*/n.s.
サッカー	2(10.0)	2(12.5)	4(26.7)	5(20.8)	13(17.3)	0(0.0)	0(0.0)	1(5.9)	0(0.0)	1(1.3)	*** /n.s.
体操	1(5.0)	2(12.5)	0(0.0)	4(16.7)	7(9.3)	3(12.0)	1(7.1)	3(17.6)	3(13.6)	10(12.8)	n.s./n.s.
バレエ	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	3(12.0)	1(7.1)	1(5.9)	2(9.1)	7(9.0)	** /n.s.
リトミック	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(8.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(2.6)	n.s./n.s.

***<0.001, ** p<0.01, * p<0.05, n.s.: 有意差なし

注) その他: 空手、ダンス、スポーツ教室、テニス

<韓国>

	男子					女子					p値
	3年	4年	5年	6年	計	3年	4年	5年	6年	計	性別/学年別
テコンドー	14(32.6)	9(27.3)	13(35.1)	18(40.9)	54(34.4)	2(6.5)	6(21.4)	3(7.7)	9(12.5)	20(11.8)	*** /n.s.
バレエ	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(7.1)	4(10.3)	7(9.7)	13(7.6)	*** /n.s.
ダンス	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(6.5)	2(7.1)	1(2.6)	0(0.0)	5(2.9)	*/n.s.
水泳	1(2.3)	0(0.0)	1(2.7)	1(2.3)	3(1.9)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(1.4)	1(0.6)	n.s./n.s.
剣道	0(0.0)	0(0.0)	1(2.7)	1(2.3)	2(1.3)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	n.s./n.s.

*** p<0.001, * p<0.05, n.s.: 有意差なし

注) その他: サッカー、ヨガ、ゴルフ、合気道

表 1-7. 子どもの現在の運動状況(性別/学年別)

		<日 本>										<韓 国>											
		男子					女子					p値	男子					女子					p値
		3年	4年	5年	6年	計	3年	4年	5年	6年	計	性別/学年別	3年	4年	5年	6年	計	3年	4年	5年	6年	計	性別/学年別
運動 実施	有り	16(80.0)	14(87.5)	12(80.0)	18(75.0)	60(80.0)	21(84.0)	7(50.0)	8(50.0)	7(31.8)	43(55.8)	**/*	29(67.4)	11(33.3)	20(54.1)	12(27.3)	72(45.9)	11(35.5)	6(21.4)	9(23.1)	10(13.9)	36(21.2)	***/**
	なし	4(20.0)	2(12.5)	3(20.0)	6(25.0)	15(20.0)	4(16.0)	7(50.0)	8(50.0)	15(68.2)	34(44.2)		14(32.6)	22(66.7)	17(45.9)	32(72.7)	85(54.1)	20(64.5)	22(78.6)	30(76.9)	62(86.1)	134(78.8)	
	計	20(100.0)	16(100.0)	15(100.0)	24(100.0)	75(100.0)	25(100.0)	14(100.0)	16(100.0)	22(100.0)	77(100.0)		43(100.0)	33(100.0)	37(100.0)	44(100.0)	57(100.0)	31(100.0)	28(100.0)	39(100.0)	72(100.0)	70(100.0)	
運動 種目	水泳	10(50.0)	6(37.5)	4(26.7)	2(8.3)	22(29.3)	12(48.0)	4(28.6)	2(11.8)	5(22.7)	23(29.5)	n.s./**	2(4.7)	0(0.0)	1(2.7)	0(0.0)	3(1.9)	1(3.2)	0(0.0)	0(0.0)	1(1.4)	2(1.2)	n.s./n.s.
	サッカー	6(30.0)	2(12.5)	5(33.3)	9(37.5)	22(29.3)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	*** /n.s.	3(7.0)	0(0.0)	1(2.7)	2(4.5)	6(3.8)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	** /n.s.
	野球	1(5.0)	5(31.3)	2(13.3)	5(20.8)	13(17.3)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	*** /n.s.											
	テコンドー												17(39.5)	11(33.3)	6(16.2)	7(15.9)	41(26.1)	4(12.9)	2(7.1)	3(7.7)	4(5.6)	13(7.6)	***/**
運動 頻度	バレエ・ダンス	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	3(12.0)	1(7.1)	1(5.9)	1(4.5)	6(7.7)	n.s./n.s.	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(3.2)	1(3.6)	3(7.7)	2(2.8)	7(4.1)	** /n.s.
	月1～2回	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(28.6)	2(4.7)	n.s./n.s.	1(6.3)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(2.3)	1(11.1)	2(33.3)	0(0.0)	0(0.0)	3(8.8)	n.s./n.s.
	週1回	9(56.3)	10(71.4)	7(58.3)	5(27.8)	31(51.7)	18(85.7)	5(71.4)	4(50.0)	4(57.1)	31(72.1)		0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(25.0)	2(4.5)	1(11.1)	1(16.7)	1(11.1)	0(0.0)	3(8.8)	
	週2～3回	7(43.8)	4(28.6)	4(33.3)	12(66.7)	27(45.0)	3(14.3)	2(28.6)	4(50.0)	1(14.3)	10(23.3)		4(25.0)	0(0.0)	7(50.0)	1(12.5)	12(27.3)	3(33.3)	0(0.0)	3(33.3)	3(30.0)	9(26.5)	
	週4～5回	0(0.0)	0(0.0)	1(8.3)	1(5.6)	2(3.3)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)		11(68.8)	6(100.0)	7(50.0)	5(62.5)	29(65.9)	4(44.4)	3(50.0)	5(55.6)	7(70.0)	19(55.9)	
	計	16(100.0)	14(100.0)	12(100.0)	18(100.0)	60(100.0)	21(100.0)	7(100.0)	8(100.0)	7(100.0)	43(100.0)		16(100.0)	6(100.0)	14(100.0)	8(100.0)	44(100.0)	9(100.0)	6(100.0)	9(100.0)	10(100.0)	34(100.0)	
運動 時間	30分以内	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(12.5)	0(0.0)	1(2.4)	n.s./*	1(4.5)	1(9.1)	0(0.0)	1(8.3)	3(4.9)	2(20.0)	1(25.0)	1(12.5)	0(0.0)	4(12.5)	n.s./n.s.
	1時間以内	5(31.3)	6(42.9)	2(18.2)	3(17.6)	16(27.6)	11(57.9)	3(42.9)	1(12.5)	3(42.9)	18(43.9)		16(72.7)	7(63.6)	13(81.3)	3(25.0)	39(63.9)	7(70.0)	2(50.0)	4(50.0)	6(60.0)	19(59.4)	
	2時間以内	8(50.0)	4(28.6)	5(45.5)	6(35.3)	23(39.7)	8(42.1)	3(42.9)	3(37.5)	1(14.3)	15(36.6)		2(9.1)	3(27.3)	2(12.5)	7(58.3)	14(23.0)	1(10.0)	1(25.0)	3(37.5)	3(30.0)	8(25.0)	
	2時間以上	3(18.8)	4(28.6)	4(36.4)	8(47.1)	19(32.8)	0(0.0)	1(14.3)	3(37.5)	3(42.9)	7(17.1)		3(13.6)	0(0.0)	1(6.3)	1(8.3)	5(8.2)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(10.0)	1(3.1)	
	計	16(100.0)	14(100.0)	11(100.0)	17(100.0)	58(100.0)	19(100.0)	7(100.0)	8(100.0)	7(100.0)	41(100.0)		22(100.0)	11(100.0)	16(100.0)	12(100.0)	61(100.0)	10(100.0)	4(100.0)	8(100.0)	10(100.0)	32(100.0)	
継続 年数	1年未満	3(18.8)	2(15.4)	1(8.3)	1(6.7)	7(12.5)	2(10.5)	2(33.3)	0(0.0)	1(14.3)	5(13.2)	n.s./n.s.	4(16.7)	3(30.0)	7(46.7)	0(0.0)	14(23.3)	5(62.5)	2(50.0)	3(42.9)	2(25.0)	12(44.4)	n.s./n.s.
	1年以上～3年未満	6(37.5)	4(30.8)	1(8.3)	6(40.0)	17(30.4)	6(31.6)	3(50.0)	3(50.0)	0(0.0)	12(31.6)		8(33.3)	4(40.0)	4(26.7)	5(45.5)	21(35.0)	2(25.0)	1(25.0)	3(42.9)	2(25.0)	8(29.6)	
	3年以上～6年未満	6(37.5)	6(46.2)	8(66.7)	3(20.0)	23(41.1)	10(52.6)	1(16.7)	2(33.3)	2(28.6)	15(39.5)		11(45.8)	3(30.0)	4(26.7)	3(27.3)	21(35.0)	0(0.0)	1(25.0)	1(14.3)	4(50.0)	6(22.2)	
	6年以上	1(6.3)	1(7.7)	2(16.7)	5(33.3)	9(16.1)	1(5.3)	0(0.0)	1(16.7)	4(57.1)	6(15.8)		1(4.2)	0(0.0)	0(0.0)	3(27.3)	4(6.7)	1(12.5)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(3.7)	
	計	16(100.0)	13(100.0)	12(100.0)	15(100.0)	56(100.0)	19(100.0)	6(100.0)	6(100.0)	7(100.0)	38(100.0)		24(100.0)	10(100.0)	15(100.0)	11(100.0)	60(100.0)	8(100.0)	4(100.0)	7(100.0)	8(100.0)	27(100.0)	

*** p<0.001, ** p<0.01, * p<0.05, n.s.: 有意差なし

注) その他: キャッチバレーボール、テニス、マット運動、体操、鉄棒、剣道、バドミントン、バスケットボール、スキー、バレーボール、乗馬、ゴルフ、卓球、空手

表 1-8. 運動に対する子どもの意識(性別/学年別)

		日本										韓国												
		男子					女子					p値	男子					女子					p値	
①好き・嫌い	体を動かすことへの好き・きらい	3年	4年	5年	6年	計	3年	4年	5年	6年	計	性別/学年別	3年	4年	5年	6年	計	3年	4年	5年	6年	計	性別/学年別	
		とても	17(85.0)	12(75.0)	8(57.1)	17(70.8)	54(73.0)	16(64.0)	4(28.6)	10(58.8)	14(63.6)	44(56.4)	*/n.s.	23(54.8)	16(48.5)	20(54.1)	22(50.0)	81(51.9)	17(58.6)	12(44.4)	16(41.0)	20(28.2)	65(39.2)	n.s./n.s.
		まあまあ	2(10.0)	3(18.8)	4(28.6)	6(25.0)	15(20.3)	8(32.0)	8(57.1)	7(41.2)	7(31.8)	30(38.5)		14(33.3)	14(42.4)	10(27.0)	17(38.6)	55(35.3)	9(31.0)	15(55.6)	17(43.6)	41(57.7)	82(49.4)	
		あまり	1(5.0)	1(6.3)	2(14.3)	1(4.2)	5(6.8)	0(0.0)	2(14.3)	0(0.0)	0(0.0)	2(2.6)		4(9.5)	2(6.1)	7(18.9)	4(9.1)	17(10.9)	2(6.9)	0(0.0)	5(12.8)	7(9.9)	14(8.4)	
		まったく	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(4.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(4.5)	2(2.6)		1(2.4)	1(3.0)	0(0.0)	1(2.3)	3(1.9)	1(3.4)	0(0.0)	1(2.6)	3(4.2)	5(3.0)	
	計	20(100.0)	16(100.0)	14(100.0)	24(100.0)	77(100.0)	25(100.0)	14(100.0)	17(100.0)	22(100.0)	78(100.0)		42(100.0)	33(100.0)	37(100.0)	44(100.0)	156(100.0)	29(100.0)	27(100.0)	39(100.0)	71(100.0)	166(100.0)		
①好き・嫌い	運動が好き・きらい	とても	18(90.0)	13(81.3)	9(64.3)	18(75.0)	58(78.4)	20(80.0)	5(38.5)	11(64.7)	15(68.2)	51(66.2)	n.s./n.s.	29(67.4)	15(45.5)	21(58.3)	25(56.8)	90(57.7)	18(60.0)	12(42.9)	18(48.6)	29(40.3)	77(46.1)	n.s./n.s.
		まあまあ	1(5.0)	2(12.5)	5(35.7)	5(20.8)	13(17.6)	3(12.0)	6(46.2)	6(35.3)	6(27.3)	21(27.3)		9(20.9)	13(39.4)	12(33.3)	15(34.1)	49(31.4)	7(23.3)	13(46.4)	14(37.8)	32(44.4)	66(39.5)	
		あまり	1(5.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(4.2)	1(4.2)	1(4.0)	1(7.7)	0(0.0)	0(0.0)	2(2.6)		4(9.3)	4(12.1)	2(5.6)	4(9.1)	14(9.0)	4(13.3)	3(10.7)	5(13.5)	10(13.9)	22(13.2)	
		まったく	0(0.0)	1(6.3)	0(0.0)	0(0.0)	1(4.0)	1(4.0)	1(7.7)	0(0.0)	1(4.5)	3(3.9)		1(2.3)	1(3.0)	1(2.8)	0(0.0)	3(1.9)	1(3.3)	0(0.0)	0(0.0)	1(1.4)	2(1.2)	
			計	20(100.0)	16(100.0)	14(100.0)	24(100.0)	25(100.0)	25(100.0)	13(100.0)	17(100.0)	22(100.0)	77(100.0)		43(100.0)	33(100.0)	36(100.0)	44(100.0)	156(100.0)	30(100.0)	28(100.0)	37(100.0)	72(100.0)	167(100.0)
	学校の体育授業が好き・きらい	とても	17(89.5)	11(68.8)	13(86.7)	18(75.0)	59(79.7)	18(72.0)	6(42.9)	14(82.4)	16(72.7)	54(69.2)	n.s./n.s.	31(72.1)	17(51.5)	24(64.9)	30(68.2)	102(65.0)	24(77.4)	13(46.4)	13(33.3)	33(45.8)	83(48.8)	n.s./n.s.
		まあまあ	2(10.5)	3(18.8)	2(13.3)	6(25.0)	13(17.6)	6(24.0)	7(50.0)	3(17.6)	6(27.3)	22(28.2)		9(20.9)	13(39.4)	10(27.0)	11(25.0)	43(27.4)	4(12.9)	13(46.4)	23(59.0)	32(44.4)	72(42.4)	
		あまり	0(0.0)	1(6.3)	0(0.0)	0(0.0)	1(1.4)	1(4.0)	1(7.1)	0(0.0)	0(0.0)	2(2.6)		1(2.3)	3(9.1)	2(5.4)	3(6.8)	9(5.7)	2(6.5)	2(7.1)	3(7.7)	6(8.3)	13(7.6)	
		まったく	0(0.0)	1(6.3)	0(0.0)	0(0.0)	1(1.4)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)		2(4.7)	0(0.0)	1(2.7)	0(0.0)	3(1.9)	1(3.2)	0(0.0)	0(0.0)	1(1.4)	2(1.2)	
			計	19(100.0)	16(100.0)	15(100.0)	24(100.0)	74(100.0)	25(100.0)	14(100.0)	17(100.0)	22(100.0)	78(100.0)		43(100.0)	33(100.0)	37(100.0)	44(100.0)	157(100.0)	31(100.0)	28(100.0)	39(100.0)	72(100.0)	170(100.0)
②運動への得意	運動は重要である	とても	14(73.7)	9(56.3)	11(73.3)	21(87.5)	55(74.3)	21(84.0)	10(71.4)	16(94.1)	20(90.9)	67(85.9)	n.s./*	32(74.4)	17(51.5)	21(56.8)	29(65.9)	99(63.1)	18(58.1)	19(67.9)	24(61.5)	43(59.7)	104(61.2)	n.s./n.s.
		まあまあ	5(26.3)	6(37.5)	4(26.7)	3(12.5)	18(24.3)	4(16.0)	2(14.3)	1(5.9)	2(9.1)	9(11.5)		10(23.3)	14(42.4)	15(40.5)	14(31.8)	53(33.8)	9(29.0)	9(32.1)	14(35.9)	23(31.9)	55(32.4)	
		あまり	0(0.0)	1(6.3)	0(0.0)	0(0.0)	1(1.4)	0(0.0)	2(14.3)	0(0.0)	0(0.0)	2(2.6)		1(2.3)	2(6.1)	1(2.7)	0(0.0)	4(2.5)	2(6.5)	0(0.0)	1(2.6)	6(8.3)	9(5.3)	
		まったく	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)		0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(2.3)	1(0.6)	2(6.5)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(1.2)	
			計	19(100.0)	16(100.0)	15(100.0)	24(100.0)	74(100.0)	25(100.0)	14(100.0)	17(100.0)	22(100.0)	78(100.0)		43(100.0)	33(100.0)	37(100.0)	44(100.0)	157(100.0)	31(100.0)	28(100.0)	39(100.0)	72(100.0)	170(100.0)
②運動への得意	運動が不足	とても	2(10.0)	0(0.0)	1(6.7)	2(8.3)	5(6.7)	2(8.0)	4(28.6)	1(5.9)	2(9.1)	9(11.5)	**/n.s.	8(18.6)	3(9.4)	6(16.2)	6(13.6)	23(14.7)	4(12.9)	3(10.7)	3(7.9)	9(12.5)	19(11.2)	n.s./n.s.
		まあまあ	2(10.0)	7(43.8)	6(40.0)	5(20.8)	20(26.7)	11(44.0)	2(14.3)	9(52.9)	11(50.0)	33(42.3)		14(32.6)	14(43.8)	13(35.1)	19(43.2)	60(38.5)	6(19.4)	15(53.6)	15(39.5)	32(44.4)	68(40.2)	
		あまり	5(25.0)	1(6.3)	5(33.3)	3(12.5)	14(18.7)	4(16.0)	6(42.9)	5(29.4)	4(18.2)	19(24.4)		11(25.6)	6(18.8)	10(27.0)	15(34.1)	42(26.9)	11(35.5)	6(21.4)	13(34.2)	16(22.2)	46(27.2)	
		まったく	11(55.0)	8(50.0)	3(20.0)	14(58.3)	36(48.0)	8(32.0)	2(14.3)	2(11.8)	5(22.7)	17(21.8)		10(23.3)	9(28.1)	8(21.6)	4(9.1)	31(19.9)	10(32.3)	4(14.3)	7(18.4)	15(20.8)	36(21.3)	
			計	20(100.0)	16(100.0)	15(100.0)	24(100.0)	75(100.0)	25(100.0)	14(100.0)	17(100.0)	22(100.0)	78(100.0)		43(100.0)	32(100.0)	37(100.0)	44(100.0)	156(100.0)	31(100.0)	28(100.0)	38(100.0)	72(100.0)	169(100.0)
	運動が得意	とても	12(60.0)	7(43.8)	3(21.4)	10(41.7)	32(43.2)	8(32.0)	1(7.1)	4(23.5)	4(18.2)	7(21.8)	*/n.s.	15(34.9)	5(15.2)	10(27.0)	6(13.6)	36(22.9)	10(32.3)	4(14.3)	6(15.8)	9(12.5)	29(17.2)	n.s./*
		まあまあ	6(30.0)	6(37.5)	5(35.7)	9(37.5)	26(35.1)	13(52.0)	7(50.0)	7(41.2)	11(50.0)	38(48.7)		18(41.9)	19(57.6)	16(43.2)	24(54.5)	77(49.0)	12(38.7)	18(64.3)	20(52.6)	32(44.4)	82(48.5)	
		あまり	2(10.0)	2(12.5)	6(42.9)	4(16.7)	14(18.9)	4(16.0)	3(21.0)	4(23.5)	6(27.3)	17(21.8)		10(23.3)	9(27.3)	8(21.6)	12(27.3)	39(24.8)	6(19.4)	6(21.4)	10(26.3)	28(38.9)	50(29.6)	
		まったく	0(0.0)	1(6.3)	0(0.0)	1(4.2)	2(2.7)	0(0.0)	3(21.0)	2(11.8)	1(4.5)	6(7.7)		0(0.0)	0(0.0)	3(8.1)	2(4.5)	5(3.2)	3(9.7)	0(0.0)	2(5.3)	3(4.2)	8(4.7)	
			計	20(100.0)	16(100.0)	14(100.0)	24(100.0)	74(100.0)	25(100.0)	14(100.0)	17(100.0)	22(100.0)	78(100.0)		43(100.0)	33(100.0)	37(100.0)	44(100.0)	157(100.0)	31(100.0)	28(100.0)	38(100.0)	72(100.0)	169(100.0)

		日本										韓国												
		男子					女子					p値	男子					女子					p値	
		3年	4年	5年	6年	計	3年	4年	5年	6年	計	性別/学年別	3年	4年	5年	6年	計	3年	4年	5年	6年	計	性別/学年別	
②運動への得意	とても	17(85.0)	12(75.0)	10(66.7)	20(83.3)	59(78.7)	23(92.0)	7(50.0)	17(100.0)	17(77.3)	64(82.1)	n.s./n.s.	29(67.4)	17(54.8)	23(63.9)	31(70.5)	100(64.9)	20(64.5)	21(77.8)	25(64.1)	36(50.0)	102(60.4)	n.s./n.s.	
	まあまあ	3(15.0)	3(18.8)	4(26.7)	4(16.7)	14(18.7)	2(8.0)	5(35.7)	0(0.0)	5(22.7)	12(15.4)		10(23.3)	13(41.9)	8(22.2)	9(20.5)	40(26.0)	7(22.6)	5(18.5)	12(30.8)	27(37.5)	51(30.2)		
	あまり	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(14.3)	0(0.0)	0(0.0)	2(2.6)		3(7.0)	0(0.0)	5(13.9)	4(9.1)	12(7.8)	3(9.7)	1(3.7)	1(2.6)	8(11.1)	13(7.7)		
	まったく	0(0.0)	1(6.3)	1(6.7)	0(0.0)	2(2.7)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)		1(2.3)	1(3.2)	0(0.0)	0(0.0)	2(1.3)	1(3.2)	0(0.0)	1(2.6)	1(1.4)	3(1.8)		
	計	20(100.0)	16(100.0)	15(100.0)	24(100.0)	75(100.0)	25(100.0)	14(100.0)	17(100.0)	22(100.0)	78(100.0)		43(100.0)	31(100.0)	36(100.0)	44(100.0)	154(100.0)	31(100.0)	27(100.0)	39(100.0)	72(100.0)	169(100.0)		
運動がもっとうまくなりた ために、頑張っている	とても	14(70.0)	7(43.8)	6(40.0)	9(37.5)	36(48.0)	13(52.0)	3(21.4)	10(58.8)	5(22.7)	31(39.7)	n.s./*	19(46.3)	14(43.8)	12(32.4)	14(32.6)	59(38.6)	15(48.4)	9(32.1)	9(23.1)	17(23.6)	50(29.4)	n.s./n.s.	
	まあまあ	4(20.0)	6(37.5)	7(46.7)	13(54.2)	30(40.0)	10(40.0)	6(42.9)	4(23.5)	15(68.2)	35(44.9)		17(41.5)	10(31.3)	14(37.8)	22(51.2)	63(41.2)	8(25.8)	15(53.6)	18(46.2)	32(44.4)	73(42.9)		
	あまり	2(10.0)	1(6.3)	0(0.0)	2(8.3)	5(6.7)	2(8.0)	3(21.4)	2(11.8)	1(4.5)	8(10.3)		2(4.9)	5(15.6)	10(27.0)	6(14.0)	23(15.0)	7(22.6)	4(14.3)	11(28.2)	20(27.8)	42(24.7)		
	まったく	0(0.0)	2(12.5)	2(13.3)	0(0.0)	4(5.3)	0(0.0)	2(14.3)	1(5.9)	1(4.5)	4(5.1)		3(7.3)	3(9.4)	1(2.7)	1(2.3)	8(5.2)	1(3.2)	0(0.0)	1(2.6)	3(4.2)	5(2.9)		
	計	20(100.0)	16(100.0)	15(100.0)	24(100.0)	75(100.0)	25(100.0)	14(100.0)	17(100.0)	22(100.0)	78(100.0)		41(100.0)	32(100.0)	37(100.0)	43(100.0)	153(100.0)	31(100.0)	28(100.0)	39(100.0)	72(100.0)	170(100.0)		
③運動についてほめられたこと	運動について学校の先生 やコーチにほめられたこと	とても	8(40.0)	7(43.8)	8(53.3)	12(50.0)	35(46.7)	13(52.0)	5(35.7)	6(35.3)	13(59.1)	37(47.4)	n.s./n.s.	12(27.9)	9(27.3)	11(29.7)	11(25.0)	43(27.4)	7(22.6)	4(14.3)	11(28.2)	16(22.2)	38(22.4)	n.s./**
		まあまあ	8(40.0)	7(43.8)	3(20.0)	9(37.5)	27(36.0)	9(36.0)	6(42.9)	8(47.1)	7(31.8)	30(38.5)		12(27.9)	17(51.5)	16(43.2)	22(50.0)	67(42.7)	6(19.4)	18(64.3)	18(46.2)	26(36.1)	68(40.0)	
		あまり	3(15.0)	1(6.3)	4(26.7)	2(8.3)	10(13.3)	3(12.0)	2(14.3)	3(17.6)	2(9.1)	10(12.8)		13(30.2)	5(15.2)	8(21.6)	8(18.2)	34(21.7)	7(22.6)	4(14.3)	6(15.4)	25(34.7)	42(24.7)	
		まったく	1(5.0)	1(6.3)	0(0.0)	1(4.2)	3(4.0)	0(0.0)	1(7.1)	0(0.0)	0(0.0)	1(1.3)		6(14.0)	2(6.1)	2(5.4)	3(6.8)	13(8.3)	11(35.5)	2(7.1)	4(10.3)	5(6.9)	22(12.9)	
		計	20(100.0)	16(100.0)	15(100.0)	24(100.0)	75(100.0)	25(100.0)	14(100.0)	17(100.0)	22(100.0)	78(100.0)		43(100.0)	33(100.0)	37(100.0)	44(100.0)	157(100.0)	31(100.0)	28(100.0)	39(100.0)	72(100.0)	170(100.0)	
	運動について親にほめられ たこと	とても	14(70.0)	7(43.8)	4(26.7)	14(60.9)	39(52.7)	13(54.2)	7(50.0)	6(35.3)	11(50.0)	37(48.1)	n.s./n.s.	21(48.8)	13(39.4)	14(37.8)	18(40.9)	66(42.0)	9(29.0)	16(57.1)	16(41.0)	15(20.8)	56(32.9)	n.s./n.s.
		まあまあ	3(15.0)	5(31.3)	10(66.7)	6(26.1)	24(32.4)	7(29.2)	4(28.6)	7(41.2)	7(31.8)	25(32.5)		10(23.3)	12(36.4)	16(43.2)	15(34.1)	53(33.8)	11(35.5)	8(28.6)	13(33.3)	38(52.8)	70(41.2)	
		あまり	3(15.0)	2(12.5)	1(6.7)	1(4.3)	7(9.5)	3(12.5)	1(7.1)	2(11.8)	2(9.1)	8(10.4)		8(18.6)	3(9.1)	5(13.5)	10(22.7)	26(16.6)	7(22.6)	3(10.7)	8(20.5)	13(18.1)	31(18.2)	
		まったく	0(0.0)	2(12.5)	0(0.0)	2(8.7)	4(5.4)	1(4.2)	2(14.3)	2(11.8)	2(9.1)	7(9.1)		4(9.3)	5(15.2)	2(5.4)	1(2.3)	12(7.6)	4(12.9)	1(3.6)	2(5.1)	6(8.3)	13(7.6)	
		計	20(100.0)	16(100.0)	15(100.0)	23(100.0)	74(100.0)	24(100.0)	14(100.0)	17(100.0)	22(100.0)	77(100.0)		43(100.0)	33(100.0)	37(100.0)	44(100.0)	157(100.0)	31(100.0)	28(100.0)	39(100.0)	72(100.0)	170(100.0)	
	運動について友達にほめら れたことがある	とても	11(57.9)	2(12.5)	2(13.3)	6(25.0)	21(28.4)	11(44.0)	4(28.6)	5(33.3)	10(45.5)	30(39.5)	n.s./n.s.	10(23.3)	6(18.8)	7(18.9)	10(22.7)	33(21.2)	5(16.1)	6(23.1)	7(17.9)	9(12.5)	27(16.1)	n.s./**
		まあまあ	4(21.1)	8(50.0)	9(60.0)	12(50.0)	33(44.6)	9(36.0)	5(35.7)	7(46.7)	7(31.8)	28(36.8)		10(23.3)	9(28.1)	16(43.2)	18(40.9)	53(34.0)	7(22.6)	7(26.9)	22(56.4)	26(36.1)	62(36.9)	
		あまり	3(15.8)	5(31.3)	3(20.0)	3(12.5)	14(18.9)	3(12.0)	3(21.4)	3(20.0)	4(18.2)	13(17.1)		10(23.3)	12(37.5)	10(27.0)	11(25.0)	43(27.6)	13(41.9)	11(42.3)	8(20.5)	31(43.1)	63(37.5)	
		まったく	1(5.3)	1(6.3)	1(6.7)	3(12.5)	6(8.1)	2(8.0)	2(14.3)	0(0.0)	1(4.5)	5(6.6)		13(30.2)	5(15.6)	4(10.8)	5(11.4)	27(17.3)	6(19.4)	2(7.7)	2(5.1)	6(8.3)	16(9.5)	
		計	19(100.0)	16(100.0)	15(100.0)	24(100.0)	74(100.0)	25(100.0)	14(100.0)	15(100.0)	22(100.0)	76(100.0)		43(100.0)	32(100.0)	37(100.0)	44(100.0)	156(100.0)	31(100.0)	26(100.0)	39(100.0)	72(100.0)	168(100.0)	
④体力 体力の自信	とても	8(40.0)	4(25.0)	5(33.3)	9(37.5)	26(34.7)	8(32.0)	2(14.3)	4(23.5)	4(18.2)	18(23.1)	n.s./n.s.	17(39.5)	8(24.2)	6(16.2)	6(14.0)	37(23.7)	9(29.0)	5(17.9)	13(33.3)	9(12.5)	36(21.2)	n.s./n.s.	
	まあまあ	5(25.0)	6(37.5)	5(33.3)	8(33.3)	24(32.0)	11(44.0)	6(42.9)	5(29.4)	7(31.8)	29(37.2)		15(34.9)	14(42.2)	16(43.2)	23(53.5)	68(43.6)	13(41.9)	14(50.0)	15(38.5)	29(40.3)	71(41.8)		
	あまり	7(35.0)	5(31.3)	4(26.7)	4(16.7)	20(26.7)	5(20.0)	2(14.3)	6(35.3)	9(40.9)	22(28.2)		10(23.3)	9(27.3)	14(37.8)	12(27.9)	45(28.8)	8(25.8)	8(28.6)	9(23.1)	30(41.7)	55(32.4)		
	まったく	0(0.0)	1(6.3)	1(6.7)	3(12.5)	5(6.7)	1(4.0)	4(28.6)	2(11.8)	2(9.1)	9(11.5)		1(2.3)	2(6.1)	1(2.7)	2(4.7)	6(3.8)	1(3.2)	1(3.6)	2(5.1)	4(5.6)	8(4.7)		
	計	20(100.0)	16(100.0)	15(100.0)	24(100.0)	75(100.0)	25(100.0)	14(100.0)	17(100.0)	22(100.0)	78(100.0)		43(100.0)	33(100.0)	37(100.0)	43(100.0)	156(100.0)	31(100.0)	28(100.0)	39(100.0)	72(100.0)	170(100.0)		

		日本										p値 性別/学年別	韓国										p値 性別/学年別	
		男子					女子						男子					女子						
		3年	4年	5年	6年	計	3年	4年	5年	6年	計		3年	4年	5年	6年	計	3年	4年	5年	6年	計		
④体力	体力が必要	とても	19(95.0)	11(68.8)	11(73.3)	21(91.3)	62(83.8)	20(80.0)	10(71.4)	16(94.1)	18(81.8)	64(82.1)	n.s./n.s.	24(55.8)	15(45.5)	21(56.8)	28(63.6)	88(56.1)	17(54.8)	15(53.6)	14(35.9)	24(33.8)	70(41.4)	*/n.s.
	まあまあ	0(0.0)	4(25.0)	3(20.0)	2(8.7)	9(12.2)	4(16.0)	2(14.3)	1(5.9)	4(18.2)	11(14.1)	12(27.9)		10(30.3)	12(32.4)	11(25.0)	45(28.7)	4(12.9)	10(35.7)	18(46.2)	32(45.1)	64(37.9)		
	あまり	1(5.0)	0(0.0)	1(6.7)	0(0.0)	2(2.7)	1(4.0)	2(14.3)	0(0.0)	0(0.0)	3(3.8)	6(14.0)		6(18.2)	4(10.8)	5(11.4)	21(13.4)	6(19.4)	3(10.7)	4(10.3)	11(15.5)	24(14.2)		
	まったく	0(0.0)	1(6.3)	0(0.0)	0(0.0)	1(1.4)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(2.3)		2(6.1)	0(0.0)	0(0.0)	3(1.9)	4(12.9)	0(0.0)	3(7.7)	4(5.6)	11(6.5)		
	計	20(100.0)	16(100.0)	15(100.0)	23(100.0)	74(100.0)	25(100.0)	14(100.0)	17(100.0)	22(100.0)	78(100.0)	43(100.0)		33(100.0)	37(100.0)	44(100.0)	157(100.0)	31(100.0)	28(100.0)	39(100.0)	71(100.0)	169(100.0)		
⑤親の運動	親が運動やスポーツをしているのを見たことがある	とても	14(70.0)	3(18.8)	3(20.0)	16(66.7)	36(48.0)	11(44.0)	5(35.7)	10(58.8)	10(45.5)	36(46.2)	*/n.s.	20(46.5)	16(50.0)	19(51.4)	21(47.7)	76(48.7)	11(36.7)	11(39.3)	17(43.6)	33(45.8)	72(42.6)	n.s./n.s.
		まあまあ	3(15.0)	6(37.5)	7(46.7)	5(20.8)	21(28.0)	9(36.0)	4(28.6)	5(29.4)	5(22.7)	23(29.5)		9(20.9)	12(37.5)	8(21.6)	14(31.8)	43(27.6)	7(23.3)	8(28.6)	12(30.8)	25(34.7)	52(30.8)	
		あまり	3(15.0)	7(43.8)	5(33.3)	2(8.3)	17(22.7)	1(4.0)	2(14.3)	2(11.8)	4(18.2)	9(11.5)		7(16.3)	2(6.3)	8(21.6)	5(11.4)	22(14.1)	4(13.3)	6(21.4)	5(12.8)	10(13.9)	25(14.8)	
		まったく	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(4.2)	1(1.3)	4(16.0)	3(21.4)	0(0.0)	3(13.6)	10(12.8)		7(16.3)	2(6.3)	2(5.4)	4(9.1)	15(9.6)	8(26.7)	3(10.7)	5(12.8)	4(5.6)	20(11.8)	
		計	20(100.0)	16(100.0)	15(100.0)	24(100.0)	75(100.0)	25(100.0)	14(100.0)	17(100.0)	22(100.0)	78(100.0)		43(100.0)	32(100.0)	37(100.0)	44(100.0)	156(100.0)	30(100.0)	28(100.0)	39(100.0)	72(100.0)	169(100.0)	
	親の運動は得意だと思う	とても	12(60.0)	1(6.3)	3(20.0)	9(37.5)	25(33.3)	12(48.0)	5(35.7)	14(82.4)	7(33.3)	38(49.4)	n.s./*	23(53.5)	15(45.5)	12(32.4)	15(34.1)	65(41.4)	7(22.6)	9(32.1)	8(20.5)	23(31.9)	47(27.6)	n.s./n.s.
		まあまあ	7(35.0)	10(62.5)	8(53.3)	10(41.7)	35(46.7)	6(24.0)	4(28.6)	2(11.8)	8(38.1)	20(26.0)		12(27.9)	11(33.3)	21(56.8)	15(34.1)	59(37.6)	15(48.4)	13(46.4)	20(51.3)	33(45.8)	81(47.6)	
		あまり	0(0.0)	3(18.8)	4(26.7)	4(16.7)	11(14.7)	4(16.0)	2(14.3)	1(5.9)	6(28.6)	13(16.9)		5(11.6)	6(18.2)	2(5.4)	12(27.3)	25(15.9)	4(12.9)	3(10.7)	9(23.1)	14(19.4)	30(17.6)	
		まったく	1(5.0)	2(12.5)	0(0.0)	1(4.2)	4(5.3)	3(12.0)	3(21.4)	0(0.0)	0(0.0)	6(7.8)		3(7.0)	1(3.0)	2(5.4)	2(4.5)	8(5.1)	5(16.1)	3(10.7)	2(5.1)	2(2.8)	12(7.1)	
		計	20(100.0)	16(100.0)	15(100.0)	24(100.0)	75(100.0)	25(100.0)	14(100.0)	17(100.0)	21(100.0)	77(100.0)		43(100.0)	33(100.0)	37(100.0)	44(100.0)	157(100.0)	31(100.0)	28(100.0)	39(100.0)	72(100.0)	170(100.0)	
親と一緒に運動に参加することはある	とても	9(50.0)	5(31.3)	1(6.7)	7(29.2)	22(30.1)	6(24.0)	4(28.6)	7(41.2)	4(19.0)	21(27.3)	n.s./n.s.	21(50.0)	17(51.5)	20(54.1)	21(47.7)	79(50.6)	22(71.0)	16(57.1)	22(56.4)	35(48.6)	95(55.9)	n.s./n.s.	
	まあまあ	2(11.1)	4(25.0)	6(40.0)	7(29.2)	19(26.0)	10(40.0)	4(28.6)	2(11.8)	3(14.3)	19(24.7)		14(33.3)	12(36.4)	12(32.4)	13(29.5)	51(32.7)	6(19.4)	7(25.0)	14(35.9)	31(43.1)	58(34.1)		
	あまり	6(33.3)	5(31.3)	6(40.0)	8(33.3)	25(34.2)	6(24.0)	4(28.6)	5(29.4)	12(57.1)	27(35.1)		6(14.3)	2(6.1)	5(13.5)	7(15.9)	20(12.8)	1(3.2)	3(10.7)	2(5.1)	5(6.9)	11(6.5)		
	まったく	1(5.6)	2(12.5)	2(13.3)	2(8.3)	7(9.6)	3(12.0)	2(14.3)	3(17.6)	2(9.5)	10(13.0)		1(2.4)	2(6.1)	0(0.0)	3(6.8)	6(3.8)	2(6.5)	2(7.1)	1(2.6)	1(1.4)	6(3.5)		
	計	18(100.0)	16(100.0)	15(100.0)	24(100.0)	73(100.0)	25(100.0)	14(100.0)	17(100.0)	21(100.0)	77(100.0)		42(100.0)	33(100.0)	37(100.0)	44(100.0)	156(100.0)	31(100.0)	28(100.0)	39(100.0)	72(100.0)	170(100.0)		
⑥友達との運動参加	友達にいいめられないために、運動に参加することがある	とても	1(5.0)	2(12.5)	0(0.0)	1(4.2)	4(5.3)	1(4.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(1.3)	n.s./n.s.	4(9.5)	4(12.1)	4(11.4)	2(4.7)	14(9.2)	2(6.5)	2(7.1)	1(2.6)	2(2.8)	7(4.1)	n.s./n.s.
		まあまあ	4(20.0)	2(12.5)	2(13.3)	1(4.2)	9(12.0)	3(12.0)	3(21.4)	1(5.9)	1(4.5)	8(10.3)		4(9.5)	3(9.1)	3(8.6)	4(9.3)	14(9.2)	3(9.7)	4(14.3)	5(12.8)	8(11.1)	20(11.8)	
		あまり	4(20.0)	4(25.0)	4(26.7)	3(12.5)	15(20.0)	6(24.0)	4(28.6)	1(5.9)	5(22.7)	16(20.5)		12(28.6)	5(15.2)	8(22.9)	15(34.9)	40(26.1)	6(19.4)	7(25.0)	10(25.6)	20(27.8)	43(25.3)	
		まったく	11(55.0)	8(50.0)	9(60.0)	19(79.2)	47(62.7)	15(60.0)	7(50.0)	15(88.2)	16(72.7)	53(67.9)		22(52.4)	21(63.6)	20(57.1)	22(51.2)	85(55.6)	20(64.5)	15(53.6)	23(59.0)	42(58.3)	100(58.8)	
		計	20(100.0)	16(100.0)	15(100.0)	24(100.0)	75(100.0)	25(100.0)	14(100.0)	17(100.0)	22(100.0)	78(100.0)		42(100.0)	33(100.0)	35(100.0)	43(100.0)	150(100.0)	31(100.0)	28(100.0)	39(100.0)	72(100.0)	170(100.0)	
友達がみんな運動するという理由で、自分も参加することがある	とても	5(25.0)	3(18.8)	2(13.3)	2(8.3)	12(16.0)	8(32.0)	2(14.3)	1(6.3)	4(18.2)	15(19.5)	n.s./**	6(14.0)	1(3.0)	4(10.8)	6(14.0)	17(10.9)	3(9.7)	3(10.7)	0(0.0)	6(8.3)	12(7.1)	n.s./n.s.	
	まあまあ	12(60.0)	6(37.5)	4(26.7)	6(25.0)	28(37.3)	8(32.0)	7(50.0)	1(6.3)	6(27.3)	22(28.6)		9(20.9)	6(18.2)	12(32.4)	12(27.9)	39(25.0)	7(22.6)	8(28.6)	14(35.9)	19(26.4)	48(28.2)		
	あまり	2(10.0)	3(18.8)	5(33.3)	7(29.2)	17(22.7)	6(24.0)	3(21.4)	5(31.3)	6(27.3)	20(26.0)		17(39.5)	11(33.3)	11(29.7)	13(30.2)	52(33.3)	11(35.5)	10(35.7)	10(25.6)	24(33.3)	55(32.4)		
	まったく	1(5.0)	4(25.0)	4(26.7)	9(37.5)	18(24.0)	3(12.0)	2(14.3)	9(56.3)	6(27.3)	20(26.0)		11(25.6)	15(45.5)	10(27.0)	12(27.9)	48(30.8)	10(32.3)	7(25.0)	15(38.5)	23(31.9)	55(32.4)		
	計	20(100.0)	16(100.0)	15(100.0)	24(100.0)	75(100.0)	25(100.0)	14(100.0)	16(100.0)	22(100.0)	77(100.0)		43(100.0)	33(100.0)	37(100.0)	43(100.0)	156(100.0)	31(100.0)	28(100.0)	39(100.0)	72(100.0)	170(100.0)		

		日本										p値	韓国										p値	
		男子					女子						男子					女子						
		3年	4年	5年	6年	計	3年	4年	5年	6年	計		3年	4年	5年	6年	計	3年	4年	5年	6年	計		
⑥友達との運動参加	友達と一緒にいたいという理由で、自分も参加することがある	とても	4(21.1)	3(18.8)	0(0.0)	4(16.7)	11(14.9)	7(28.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(9.5)	9(11.8)	n.s./n.s.	7(16.3)	2(6.1)	5(13.9)	11(25.0)	25(16.0)	4(12.9)	4(14.3)	4(10.3)	5(6.9)	17(10.0)	n.s./n.s.
	まあまあ	8(42.1)	8(50.0)	7(46.7)	11(45.8)	34(45.9)	10(40.0)	7(50.0)	4(25.0)	8(38.1)	29(38.2)	13(30.2)		9(27.3)	6(16.7)	10(22.7)	38(24.4)	5(16.1)	9(32.1)	13(33.3)	28(38.9)	55(32.4)		
	あまり	5(26.3)	3(18.8)	4(26.7)	6(25.0)	18(24.3)	4(16.0)	5(35.7)	8(50.0)	7(33.3)	24(31.6)	9(20.9)		10(30.3)	16(44.4)	14(31.8)	49(31.4)	14(45.2)	8(28.6)	9(23.1)	19(26.4)	50(29.4)		
	まったく	2(10.5)	2(12.5)	4(26.7)	3(12.5)	11(14.9)	4(16.0)	2(14.3)	4(25.0)	4(19.0)	14(18.4)	14(32.6)		12(36.4)	9(25.0)	9(20.5)	44(28.2)	8(25.8)	7(25.0)	13(33.3)	20(27.8)	48(28.2)		
	計	19(100.0)	16(100.0)	15(100.0)	24(100.0)	74(100.0)	25(100.0)	14(100.0)	16(100.0)	21(100.0)	76(100.0)	43(100.0)		33(100.0)	36(100.0)	44(100.0)	156(100.0)	31(100.0)	28(100.0)	39(100.0)	72(100.0)	170(100.0)		
他の人の動きをみて真似をしたことがある	とても	8(42.1)	6(37.5)	6(40.0)	13(54.2)	33(44.6)	15(60.0)	3(21.4)	6(37.5)	9(40.9)	33(42.9)	n.s./n.s.	10(23.3)	4(12.5)	9(24.3)	13(29.5)	36(23.1)	5(16.1)	5(18.5)	12(30.8)	11(15.3)	33(19.5)	n.s./*	
	まあまあ	7(36.8)	6(37.5)	7(46.7)	5(20.8)	25(33.8)	8(32.0)	7(50.0)	5(31.3)	11(50.0)	31(40.3)		9(20.9)	15(46.9)	14(37.8)	18(40.9)	56(35.9)	9(29.0)	11(40.7)	16(41.0)	26(36.1)	62(36.7)		
	あまり	3(15.8)	2(12.5)	2(13.3)	4(16.7)	11(14.9)	2(8.0)	3(21.4)	4(25.0)	0(0.0)	9(11.7)		10(23.3)	8(25.0)	11(29.7)	6(13.6)	35(22.4)	9(29.0)	7(25.9)	8(20.5)	28(38.9)	52(30.8)		
	まったく	1(5.3)	2(12.5)	0(0.0)	2(8.3)	5(6.8)	0(0.0)	1(7.1)	1(6.3)	2(9.1)	4(5.2)		14(32.6)	5(15.6)	3(8.1)	7(15.9)	29(18.6)	8(25.8)	4(14.8)	3(7.7)	7(9.7)	22(13.0)		
	計	19(100.0)	16(100.0)	15(100.0)	24(100.0)	74(100.0)	25(100.0)	14(100.0)	16(100.0)	22(100.0)	77(100.0)		43(100.0)	32(100.0)	37(100.0)	44(100.0)	156(100.0)	31(100.0)	27(100.0)	39(100.0)	72(100.0)	169(100.0)		
⑦嗜好性	好きなスポーツ選手がいる	とても	11(57.9)	7(43.8)	9(60.0)	13(54.2)	40(54.1)	5(20.0)	3(23.1)	6(40.0)	10(45.5)	24(32.0)	*/n.s.	25(59.5)	19(57.6)	16(43.2)	24(54.5)	84(53.8)	17(54.8)	14(50.0)	15(38.5)	26(36.6)	72(42.6)	n.s./n.s.
	まあまあ	1(5.3)	4(25.0)	1(6.7)	2(8.3)	8(10.8)	7(28.0)	2(15.4)	2(13.3)	2(9.1)	13(17.3)	5(11.9)		10(30.3)	14(37.8)	12(27.3)	41(26.3)	7(22.6)	10(35.7)	11(28.2)	25(35.2)	53(31.4)		
	あまり	3(15.8)	1(6.3)	3(20.0)	3(12.5)	10(13.5)	6(24.0)	3(23.1)	4(26.7)	6(27.3)	19(25.3)	5(11.9)		2(6.1)	6(16.2)	3(6.8)	16(10.3)	3(9.7)	2(7.1)	6(15.4)	11(15.5)	22(13.0)		
	まったく	4(21.1)	4(25.0)	2(13.3)	6(25.0)	16(21.6)	7(28.0)	5(38.5)	3(20.0)	4(18.2)	19(25.3)	7(16.7)		2(6.1)	1(2.7)	5(11.4)	15(9.6)	4(12.9)	2(7.1)	7(17.9)	9(12.7)	22(13.0)		
	計	19(100.0)	16(100.0)	15(100.0)	24(100.0)	74(100.0)	25(100.0)	13(100.0)	15(100.0)	22(100.0)	75(100.0)	42(100.0)		33(100.0)	37(100.0)	44(100.0)	156(100.0)	31(100.0)	28(100.0)	39(100.0)	71(100.0)	169(100.0)		
スポーツの話をよくする	とても	6(31.6)	7(43.8)	2(13.3)	11(45.8)	26(35.1)	3(12.5)	2(14.3)	2(12.5)	2(9.1)	9(11.8)	**/n.s.	7(16.3)	5(15.2)	9(24.3)	12(27.3)	33(21.0)	3(9.7)	1(3.7)	7(17.9)	7(9.7)	18(10.7)	**/**	
	まあまあ	7(36.8)	6(37.5)	6(40.0)	5(20.8)	24(32.4)	12(50.0)	4(28.6)	6(37.5)	9(40.9)	31(40.8)		11(25.6)	13(39.4)	9(24.3)	11(25.0)	44(28.0)	6(19.4)	8(29.6)	9(23.1)	8(11.1)	31(18.3)		
	あまり	4(21.1)	2(12.5)	4(26.7)	6(25.0)	16(21.6)	8(33.3)	5(35.7)	6(37.5)	10(45.5)	29(38.2)		14(32.6)	11(33.3)	15(40.5)	18(40.9)	58(36.9)	8(25.8)	14(51.9)	16(41.0)	42(58.3)	80(47.3)		
	まったく	2(10.5)	1(6.3)	3(20.0)	2(8.3)	8(10.8)	1(4.2)	3(21.4)	2(12.5)	1(4.5)	7(9.2)		11(25.6)	4(12.1)	4(10.8)	3(6.8)	22(14.0)	14(45.2)	4(14.8)	7(17.9)	15(20.8)	40(23.7)		
	計	19(100.0)	16(100.0)	15(100.0)	24(100.0)	74(100.0)	24(100.0)	14(100.0)	16(100.0)	22(100.0)	76(100.0)		43(100.0)	33(100.0)	37(100.0)	44(100.0)	157(100.0)	31(100.0)	27(100.0)	39(100.0)	72(100.0)	169(100.0)		
運動やスポーツをよくみる	とても	8(42.1)	7(43.8)	9(60.0)	12(50.0)	36(48.6)	10(40.0)	1(7.1)	6(37.5)	11(50.0)	28(36.4)	n.s./n.s.	20(46.5)	14(43.8)	15(41.7)	19(43.2)	68(43.9)	10(32.3)	5(17.9)	7(17.9)	8(11.1)	30(17.6)	*** /n.s.	
	まあまあ	7(36.8)	6(37.5)	2(13.3)	5(20.8)	20(27.0)	11(44.0)	7(50.0)	5(31.3)	9(40.9)	32(41.6)		11(25.6)	12(37.5)	13(36.1)	12(27.3)	48(31.0)	9(29.0)	16(57.1)	15(38.5)	28(38.9)	68(40.0)		
	あまり	2(10.5)	1(6.3)	3(20.0)	6(25.0)	12(16.2)	2(8.0)	5(35.7)	3(18.8)	1(4.5)	11(14.3)		8(18.6)	6(18.8)	6(16.7)	9(20.5)	29(18.7)	7(22.6)	6(21.4)	11(28.2)	26(36.1)	50(29.4)		
	まったく	2(10.5)	2(12.5)	1(6.7)	1(4.2)	6(8.1)	2(8.0)	1(7.1)	2(12.5)	1(4.5)	6(7.8)		4(9.3)	0(0.0)	2(5.6)	4(9.1)	10(6.5)	5(16.1)	1(3.6)	6(15.4)	10(13.9)	22(12.9)		
	計	19(100.0)	16(100.0)	15(100.0)	24(100.0)	74(100.0)	25(100.0)	14(100.0)	16(100.0)	22(100.0)	77(100.0)		43(100.0)	32(100.0)	36(100.0)	44(100.0)	155(100.0)	31(100.0)	28(100.0)	39(100.0)	72(100.0)	170(100.0)		
⑧勉強 勉強が得意	とても	9(45.0)	0(0.0)	3(20.0)	0(0.0)	12(16.0)	6(24.0)	3(21.4)	2(12.5)	3(13.6)	14(18.2)	n.s./***	8(18.6)	4(12.1)	8(21.6)	6(13.6)	26(16.6)	5(16.1)	2(7.1)	4(10.3)	10(13.9)	21(12.4)	n.s./n.s.	
	まあまあ	6(30.0)	5(31.3)	5(33.3)	15(62.5)	31(41.3)	12(48.0)	2(14.3)	4(25.0)	10(45.5)	28(36.4)		21(48.8)	17(51.5)	18(48.6)	20(45.5)	76(48.4)	16(51.6)	17(60.7)	24(61.5)	37(51.4)	94(55.3)		
	あまり	5(25.0)	5(31.3)	6(40.0)	7(29.2)	23(30.7)	7(28.0)	7(50.0)	7(43.8)	8(36.4)	29(37.7)		11(25.6)	8(24.2)	10(27.0)	15(34.1)	44(28.0)	7(22.6)	8(28.6)	6(15.4)	20(27.8)	41(24.1)		
	まったく	0(0.0)	6(37.5)	1(6.7)	2(8.3)	9(12.0)	0(0.0)	2(14.3)	3(18.8)	1(4.5)	6(7.8)		3(7.0)	4(12.1)	1(2.7)	3(6.8)	11(7.0)	3(9.7)	1(3.6)	5(12.8)	5(6.9)	14(8.2)		
	計	20(100.0)	16(100.0)	15(100.0)	24(100.0)	75(100.0)	25(100.0)	14(100.0)	16(100.0)	22(100.0)	77(100.0)		43(100.0)	33(100.0)	37(100.0)	44(100.0)	157(100.0)	31(100.0)	28(100.0)	39(100.0)	72(100.0)	170(100.0)		

***<0.001, ** p<0.01, * p<0.05, n.s. : 有意差なし

表 1-9. 親の過去や現在の運動(性別/学年別)

		日本										韓国											
		男子					女子					p値	男子					女子					p値
		3年	4年	5年	6年	計	3年	4年	5年	6年	計	性別/学年別	3年	4年	5年	6年	計	3年	4年	5年	6年	計	性別/学年別
父親	経験有り	14(93.3)	12(80.0)	10(76.9)	18(85.7)	54(84.4)	17(85.0)	7(63.6)	15(93.8)	16(76.2)	55(80.9)	n.s./n.s.	19(46.3)	11(34.4)	17(45.9)	7(19.4)	54(37.0)	11(35.5)	10(37.0)	15(39.5)	30(44.8)	66(40.5)	n.s./n.s.
	過去の運動 経験なし	1(6.7)	3(20.0)	3(23.1)	3(14.3)	10(15.6)	3(15.0)	4(36.4)	1(6.3)	5(23.8)	13(19.1)		22(53.7)	21(65.6)	20(54.1)	29(80.6)	92(63.0)	20(64.5)	17(63.0)	23(60.5)	37(55.2)	97(59.5)	
	計	15(100.0)	15(100.0)	13(100.0)	21(100.0)	64(100.0)	20(100.0)	11(100.0)	16(100.0)	21(100.0)	68(100.0)		41(100.0)	32(100.0)	37(100.0)	36(100.0)	146(100.0)	31(100.0)	27(100.0)	38(100.0)	67(100.0)	163(100.0)	
	週2回以上	3(18.8)	3(18.8)	1(7.1)	3(14.3)	10(14.9)	3(15.0)	1(9.1)	2(12.5)	3(14.3)	9(13.2)	n.s./n.s.	12(27.9)	15(45.5)	12(32.4)	20(45.5)	59(37.6)	11(35.5)	12(42.9)	12(30.8)	31(43.1)	66(38.8)	n.s./n.s.
	週1回以上	3(18.8)	2(12.5)	5(35.7)	6(28.6)	16(23.9)	3(15.0)	2(18.2)	6(37.5)	5(23.8)	16(23.5)		11(25.6)	5(15.2)	8(21.6)	9(20.5)	33(21.0)	5(16.1)	4(14.3)	4(10.3)	15(20.0)	28(16.5)	
	現在の運動 月1回～2回程度	7(43.8)	4(25.0)	3(21.4)	2(9.5)	16(23.9)	4(20.0)	2(18.2)	0(0.0)	5(23.8)	11(16.2)		5(11.6)	5(15.2)	9(24.3)	6(13.6)	25(15.9)	5(16.1)	6(21.4)	6(15.4)	12(16.7)	29(17.1)	
	まったくしない	3(18.8)	7(43.8)	5(35.7)	10(47.6)	25(37.3)	10(50.0)	6(54.5)	8(50.0)	8(38.1)	32(47.1)		15(34.9)	8(24.2)	8(21.6)	9(20.5)	40(25.5)	10(32.3)	6(21.4)	17(43.6)	14(19.4)	47(27.6)	
	計	16(100.0)	16(100.0)	14(100.0)	21(100.0)	67(100.0)	20(100.0)	11(100.0)	16(100.0)	21(100.0)	68(100.0)		43(100.0)	33(100.0)	37(100.0)	44(100.0)	157(100.0)	31(100.0)	28(100.0)	39(100.0)	72(100.0)	170(100.0)	
母親	経験有り	15(78.9)	14(87.5)	10(66.7)	21(87.5)	60(81.1)	14(58.3)	9(64.3)	15(93.8)	15(75.0)	53(71.6)	n.s./n.s.	3(7.0)	3(9.1)	5(13.9)	1(2.6)	12(8.0)	8(25.8)	3(10.7)	3(7.9)	10(14.5)	24(14.5)	n.s./n.s.
	過去の運動 経験なし	4(21.1)	2(12.5)	5(33.3)	3(12.5)	14(18.9)	10(41.7)	5(35.7)	1(6.3)	5(25.0)	21(28.4)		40(93.0)	30(90.9)	31(86.1)	37(97.4)	138(92.0)	23(74.2)	25(89.3)	35(92.1)	59(85.5)	142(85.5)	
	計	19(100.0)	16(100.0)	15(100.0)	24(100.0)	74(100.0)	24(100.0)	14(100.0)	16(100.0)	21(100.0)	74(100.0)		43(100.0)	33(100.0)	36(100.0)	38(100.0)	150(100.0)	31(100.0)	28(100.0)	38(100.0)	69(100.0)	166(100.0)	
	週2回以上	3(15.8)	0(0.0)	4(26.7)	4(16.7)	11(15.1)	3(12.0)	5(35.7)	3(18.8)	4(20.0)	15(20.0)	n.s./n.s.	10(23.8)	12(36.4)	11(29.7)	14(31.3)	47(30.1)	6(20.0)	6(21.4)	13(33.3)	21(29.2)	46(27.2)	n.s./n.s.
	週1回以上	2(10.5)	1(6.7)	1(6.7)	2(8.3)	6(8.2)	5(12.0)	0(0.0)	2(12.5)	0(0.0)	7(9.3)		9(21.4)	4(12.1)	7(18.9)	7(15.9)	27(17.3)	9(30.0)	3(10.7)	8(20.5)	15(20.8)	35(20.7)	
	現在の運動 月1回～2回程度	5(26.3)	0(0.0)	0(0.0)	1(4.2)	6(8.2)	4(16.0)	2(14.3)	4(25.0)	2(10.0)	12(16.0)		3(7.1)	7(21.2)	4(10.8)	5(11.4)	19(12.2)	5(16.7)	6(21.4)	5(12.8)	15(20.8)	31(18.3)	
	まったくしない	9(47.4)	14(93.3)	10(66.7)	17(70.8)	50(68.5)	13(52.0)	7(50.0)	7(43.8)	14(70.0)	41(54.7)		20(47.6)	10(30.3)	15(40.5)	18(40.9)	63(40.4)	10(33.3)	13(46.4)	13(33.3)	21(29.2)	57(33.7)	
	計	19(100.0)	15(100.0)	15(100.0)	24(100.0)	73(100.0)	25(100.0)	14(100.0)	16(100.0)	20(100.0)	75(100.0)		42(100.0)	33(100.0)	37(100.0)	44(100.0)	156(100.0)	30(100.0)	28(100.0)	39(100.0)	72(100.0)	169(100.0)	

n.s. : 有意差なし

表 1-10. 運動に対する親の関心や楽しさ(性別/学年別)

		日本										韓国												
		男子					女子					p値 性別/学年別	男子					女子					p値 性別/学年別	
		3年	4年	5年	6年	計	3年	4年	5年	6年	計		3年	4年	5年	6年	計	3年	4年	5年	6年	計		
父親	普段、スポーツを みる	とても	3(18.8)	7(43.8)	4(28.6)	9(42.9)	23(34.3)	8(40.0)	4(33.3)	4(25.0)	8(38.1)	24(34.8)	n.s./n.s	22(51.2)	19(57.6)	18(48.6)	21(47.7)	80(51.0)	16(51.6)	19(67.9)	21(53.8)	42(58.3)	98(57.6)	n.s./n.s
		まあまあ	10(62.5)	6(37.5)	8(57.1)	9(42.9)	33(49.3)	9(45.0)	6(50.0)	10(62.5)	10(47.6)	35(50.7)		16(37.2)	11(33.3)	15(40.5)	18(40.9)	60(38.2)	14(45.2)	9(32.1)	13(33.3)	25(34.7)	61(35.9)	
		あまり	3(18.8)	1(6.3)	1(7.1)	3(14.3)	8(11.9)	1(5.0)	2(16.7)	1(6.3)	3(14.3)	7(10.1)		4(9.3)	3(9.1)	3(8.1)	1(2.3)	11(7.0)	1(3.2)	0(0.0)	3(7.7)	5(6.9)	9(5.3)	
		まったく	0(0.0)	2(12.5)	1(7.1)	0(0.0)	3(4.5)	2(10.0)	0(0.0)	1(6.3)	0(0.0)	3(4.3)		1(2.3)	0(0.0)	1(2.7)	4(9.1)	6(3.8)	0(0.0)	0(0.0)	2(5.1)	0(0.0)	2(1.2)	
		計	16(100.0)	16(100.0)	14(100.0)	21(100.0)	67(100.0)	20(100.0)	12(100.0)	16(100.0)	21(100.0)	69(100.0)		43(100.0)	33(100.0)	37(100.0)	44(100.0)	157(100.0)	31(100.0)	28(100.0)	39(100.0)	72(100.0)	170(100.0)	
	運動が楽しい	とても	7(43.8)	7(43.8)	4(28.6)	9(45.0)	27(40.9)	8(40.0)	6(50.0)	7(43.8)	11(52.4)	32(46.4)	n.s./n.s	24(55.8)	16(48.5)	18(48.6)	20(46.5)	78(50.0)	12(38.7)	14(50.0)	19(48.7)	40(56.3)	85(50.3)	n.s./n.s
		まあまあ	9(56.3)	7(43.8)	10(71.4)	10(50.0)	36(54.5)	11(55.0)	5(41.7)	7(43.8)	8(38.1)	31(44.9)		13(30.2)	13(39.4)	15(40.5)	15(34.9)	56(35.9)	14(45.2)	10(35.7)	14(35.9)	26(36.6)	64(37.9)	
		あまり	0(0.0)	2(12.5)	0(0.0)	1(5.0)	3(4.5)	1(5.0)	1(8.3)	1(6.3)	2(9.5)	5(7.2)		5(11.6)	4(12.1)	4(10.8)	4(9.3)	17(10.9)	3(9.7)	3(10.7)	5(12.8)	5(7.0)	16(9.5)	
		まったく	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(6.3)	0(0.0)	1(1.4)		1(2.3)	0(0.0)	0(0.0)	4(9.3)	5(3.2)	2(6.5)	1(3.6)	1(2.6)	0(0.0)	4(2.4)	
		計	16(100.0)	16(100.0)	14(100.0)	20(100.0)	66(100.0)	20(100.0)	12(100.0)	16(100.0)	21(100.0)	69(100.0)		43(100.0)	33(100.0)	37(100.0)	43(100.0)	156(100.0)	31(100.0)	28(100.0)	39(100.0)	71(100.0)	169(100.0)	
母親	普段、スポーツを みる	とても	3(15.8)	1(6.3)	5(33.3)	4(16.7)	13(17.6)	2(8.3)	2(14.3)	1(5.9)	3(15.0)	8(10.7)	n.s./n.s	5(11.6)	5(15.2)	4(10.8)	4(9.1)	18(11.5)	0(0.0)	2(7.1)	1(2.6)	9(12.5)	12(7.1)	n.s./n.s
		まあまあ	13(68.4)	9(56.3)	7(46.7)	16(66.7)	45(60.8)	10(41.7)	5(35.7)	10(58.8)	12(60.0)	37(49.3)		21(48.8)	12(36.4)	14(37.8)	25(56.8)	72(45.9)	19(61.3)	19(67.9)	24(61.5)	34(47.2)	96(56.5)	
		あまり	3(15.8)	5(31.3)	3(20.0)	2(8.3)	13(17.6)	9(37.5)	6(42.9)	3(17.6)	3(15.0)	21(28.0)		15(34.9)	11(33.3)	16(43.2)	13(29.5)	55(35.0)	7(22.6)	7(25.0)	8(20.5)	25(34.7)	47(27.6)	
		まったく	0(0.0)	1(6.3)	0(0.0)	2(8.3)	3(4.1)	3(12.5)	1(7.1)	3(17.6)	2(10.0)	9(12.0)		2(4.7)	5(15.2)	3(8.1)	2(4.5)	12(7.6)	5(16.1)	0(0.0)	6(15.4)	4(5.6)	15(8.8)	
		計	19(100.0)	16(100.0)	15(100.0)	24(100.0)	74(100.0)	24(100.0)	14(100.0)	17(100.0)	20(100.0)	75(100.0)		43(100.0)	33(100.0)	37(100.0)	44(100.0)	157(100.0)	31(100.0)	28(100.0)	39(100.0)	72(100.0)	170(100.0)	
	運動が楽しい	とても	9(47.4)	2(12.5)	8(53.3)	8(33.3)	27(36.5)	11(45.8)	8(57.1)	8(47.1)	9(45.0)	36(48.0)	n.s./n.s	9(20.9)	7(21.2)	11(29.7)	6(13.6)	33(21.0)	5(16.1)	2(7.4)	7(17.9)	13(18.3)	27(16.1)	n.s./n.s
		まあまあ	7(36.8)	10(62.5)	5(33.3)	13(54.2)	35(47.3)	10(41.7)	5(35.7)	6(35.3)	8(40.0)	29(38.7)		19(44.2)	16(48.5)	16(43.2)	26(59.1)	77(49.0)	14(45.2)	18(66.7)	21(53.8)	43(60.6)	96(57.1)	
		あまり	3(15.8)	4(25.0)	2(13.3)	2(8.3)	11(14.9)	3(12.5)	1(7.1)	2(11.8)	3(15.0)	9(12.0)		13(30.2)	9(27.3)	8(21.6)	11(25.0)	41(26.1)	10(32.3)	7(25.9)	9(23.1)	15(21.1)	41(24.4)	
		まったく	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(4.2)	1(1.4)	0(0.0)	0(0.0)	1(5.9)	0(0.0)	1(1.3)		2(4.7)	1(3.0)	2(5.4)	1(2.3)	6(3.8)	2(6.5)	0(0.0)	2(5.1)	0(0.0)	4(2.4)	
		計	19(100.0)	16(100.0)	15(100.0)	24(100.0)	74(100.0)	24(100.0)	14(100.0)	17(100.0)	20(100.0)	75(100.0)		43(100.0)	33(100.0)	37(100.0)	44(100.0)	157(100.0)	31(100.0)	27(100.0)	39(100.0)	71(100.0)	168(100.0)	

n.s. : 有意差なし

表 1-11. 子どもの運動に対する親の考え(性別/学年別)

		日本										韓国												
		男子					女子					p値	男子					女子					p値	
		3年	4年	5年	6年	計	3年	4年	5年	6年	計	性別 / 学年別	3年	4年	5年	6年	計	3年	4年	5年	6年	計	性別 / 学年別	
父親	子どもは運動 をするのが重 要である	とても	14(82.4)	14(87.5)	8(57.1)	15(71.4)	51(75.0)	14(66.7)	8(61.5)	11(68.8)	18(85.7)	51(71.8)	n.s./n.s	30(69.8)	18(54.5)	25(67.6)	25(56.8)	98(62.4)	20(64.5)	17(60.7)	20(51.3)	41(56.9)	98(57.6)	n.s./n.s
		まあまあ	3(17.6)	2(12.5)	5(35.7)	6(28.6)	16(23.5)	7(33.3)	5(38.5)	4(25.0)	3(14.3)	19(26.8)		9(20.9)	18(39.4)	9(24.3)	19(43.2)	50(31.8)	9(29.0)	10(35.7)	17(43.6)	28(38.9)	64(37.6)	
		あまり	0(0.0)	0(0.0)	1(7.1)	0(0.0)	1(1.5)	0(0.0)	0(0.0)	1(6.3)	0(0.0)	1(1.4)		3(7.0)	2(6.1)	3(8.1)	0(0.0)	8(5.1)	2(6.5)	1(3.6)	2(5.1)	3(4.2)	8(4.7)	
		まったく	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)		1(2.3)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(0.6)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	
		計	17(100.0)	16(100.0)	14(100.0)	21(100.0)	68(100.0)	21(100.0)	13(100.0)	16(100.0)	21(100.0)	71(100.0)		43(100.0)	33(100.0)	37(100.0)	44(100.0)	157(100.0)	31(100.0)	28(100.0)	39(100.0)	72(100.0)	170(100.0)	
	子どもが運動 してほしい	とても	16(94.1)	14(87.5)	8(57.1)	18(90.0)	56(83.6)	17(81.0)	11(84.6)	13(81.3)	18(85.7)	59(83.1)	n.s./n.s	27(62.8)	19(57.6)	21(56.8)	20(45.5)	87(55.4)	16(51.6)	13(46.4)	20(51.3)	31(43.7)	80(47.3)	n.s./n.s
		まあまあ	1(5.9)	2(12.5)	6(42.9)	2(10.0)	11(16.4)	4(19.0)	2(15.4)	3(18.8)	3(14.3)	12(16.9)		12(27.9)	10(30.3)	11(29.7)	20(45.5)	53(33.8)	10(32.3)	13(46.4)	15(38.5)	36(50.7)	74(43.8)	
		あまり	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)		3(7.0)	4(12.1)	5(13.5)	3(6.8)	15(9.6)	4(12.9)	1(3.6)	2(5.1)	4(5.6)	11(6.5)	
		まったく	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)		1(2.3)	0(0.0)	0(0.0)	1(2.3)	2(1.3)	1(3.2)	1(3.6)	2(5.1)	0(0.0)	4(2.4)	
		計	17(100.0)	16(100.0)	14(100.0)	20(100.0)	67(100.0)	21(100.0)	13(100.0)	16(100.0)	21(100.0)	71(100.0)		43(100.0)	33(100.0)	37(100.0)	44(100.0)	157(100.0)	31(100.0)	28(100.0)	39(100.0)	71(100.0)	169(100.0)	
母親	子どもは運動 をするのが重 要である	とても	16(84.2)	14(87.5)	10(66.7)	21(87.5)	61(82.4)	22(91.7)	8(57.1)	14(82.4)	16(80.0)	60(80.0)	n.s./n.s	25(58.1)	13(39.4)	22(59.5)	18(40.9)	78(49.7)	15(48.4)	15(53.6)	18(46.2)	37(51.4)	85(50.0)	n.s./n.s
		まあまあ	3(15.8)	2(12.5)	5(33.3)	3(12.5)	13(17.6)	2(8.3)	6(42.9)	3(17.6)	4(20.0)	15(20.0)		17(39.5)	19(57.6)	13(35.1)	20(45.5)	69(43.9)	13(41.9)	11(39.3)	18(46.2)	31(43.1)	73(42.9)	
		あまり	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)		1(2.3)	0(0.0)	2(5.4)	6(13.6)	9(5.7)	3(9.7)	2(7.1)	3(7.7)	4(5.6)	12(7.1)	
		まったく	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)		0(0.0)	1(3.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(0.6)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	
		計	19(100.0)	16(100.0)	15(100.0)	24(100.0)	74(100.0)	24(100.0)	14(100.0)	17(100.0)	20(100.0)	75(100.0)		43(100.0)	33(100.0)	37(100.0)	44(100.0)	157(100.0)	31(100.0)	28(100.0)	39(100.0)	72(100.0)	170(100.0)	
	子どもが運動 してほしい	とても	18(90.0)	14(87.5)	11(73.3)	21(91.3)	64(86.5)	21(87.5)	11(78.6)	15(88.2)	17(85.0)	64(85.3)	n.s./n.s	19(44.2)	11(33.3)	18(48.6)	19(43.2)	67(42.7)	13(41.9)	11(39.3)	13(33.3)	31(43.7)	68(40.2)	n.s./n.s
		まあまあ	2(10.0)	2(12.5)	3(20.0)	2(8.7)	9(12.2)	3(12.5)	3(21.4)	2(11.8)	3(15.0)	11(14.7)		22(51.2)	17(51.5)	13(35.1)	14(31.8)	66(42.0)	14(45.2)	14(50.0)	21(53.8)	35(49.3)	84(49.7)	
		あまり	0(0.0)	0(0.0)	1(6.7)	0(0.0)	1(1.4)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)		2(4.7)	3(9.1)	6(16.2)	10(22.7)	21(13.4)	2(6.5)	3(10.7)	3(7.7)	5(7.0)	13(7.7)	
		まったく	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)		0(0.0)	2(6.1)	0(0.0)	1(2.3)	3(1.9)	2(6.5)	0(0.0)	2(5.1)	0(0.0)	4(2.4)	
		計	20(100.0)	16(100.0)	15(100.0)	23(100.0)	74(100.0)	24(100.0)	14(100.0)	17(100.0)	20(100.0)	75(100.0)		43(100.0)	33(100.0)	37(100.0)	44(100.0)	157(100.0)	31(100.0)	28(100.0)	39(100.0)	71(100.0)	169(100.0)	

n.s. : 有意差なし

表 1-12. 子どもの運動に対する親の支援(性別/学年別)

		日本										韓国												
		男子					女子					p値	男子					女子					p値	
①送迎	運動する場所への 送り迎えをする	とても	8(40.0)	3(18.8)	5(33.3)	7(29.2)	23(30.7)	12(52.2)	3(21.4)	9(52.9)	1(4.8)	25(33.3)	n.s./**	3(7.0)	3(9.4)	6(16.2)	2(4.5)	14(9.0)	1(3.3)	3(10.7)	2(5.6)	5(6.9)	11(6.6)	**/n.s.
		まあまあ	9(45.0)	3(18.8)	3(20.0)	5(20.8)	20(26.7)	5(21.7)	3(21.4)	2(11.8)	5(23.8)	15(20.0)		20(46.5)	13(40.6)	17(27.0)	16(36.4)	66(42.3)	9(30.0)	6(21.4)	8(22.2)	20(27.8)	43(25.9)	
		あまり	1(5.0)	6(37.5)	5(33.3)	3(12.5)	15(20.0)	6(26.1)	3(21.4)	3(17.6)	7(33.3)	19(25.3)		13(30.2)	8(25.0)	10(27.0)	13(29.5)	44(28.2)	9(30.0)	6(21.4)	13(36.1)	27(37.5)	55(33.1)	
		まったく	2(10.0)	4(25.0)	2(13.3)	9(37.5)	17(22.7)	0(0.0)	5(35.7)	3(17.6)	8(38.1)	16(21.3)		7(16.3)	8(25.0)	4(10.8)	13(29.5)	32(20.5)	11(36.7)	13(46.4)	13(36.1)	20(27.8)	57(34.3)	
		計	20(100.0)	16(100.0)	15(100.0)	24(100.0)	75(100.0)	23(100.0)	14(100.0)	17(100.0)	21(100.0)	75(100.0)		43(100.0)	32(100.0)	37(100.0)	44(100.0)	156(100.0)	30(100.0)	28(100.0)	36(100.0)	72(100.0)	166(100.0)	
②激励	運動する友達が いる所への送り迎え をする	とても	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(4.2)	1(1.4)	2(8.3)	1(7.1)	1(5.9)	0(0.0)	4(5.3)	*/**	2(4.7)	1(3.2)	3(8.3)	1(2.3)	7(4.6)	0(0.0)	0(0.0)	2(5.6)	3(4.2)	5(3.0)	n.s./n.s.
		まあまあ	10(50.0)	3(20.0)	1(6.7)	2(8.3)	16(21.6)	11(45.8)	6(42.9)	10(58.8)	3(14.3)	30(39.5)		13(30.2)	9(29.0)	16(44.4)	14(32.6)	52(34.0)	10(33.3)	8(30.8)	7(19.4)	21(29.2)	46(28.0)	
		あまり	5(25.0)	7(46.7)	6(40.0)	6(25.0)	24(32.4)	7(29.2)	4(28.6)	4(23.5)	5(23.8)	20(26.3)		17(39.5)	12(38.7)	8(22.2)	13(30.2)	50(32.7)	7(23.3)	9(34.6)	10(27.8)	24(33.3)	50(30.5)	
		まったく	5(25.0)	5(33.3)	8(53.3)	15(62.5)	33(44.6)	4(16.7)	3(21.4)	2(11.8)	13(61.9)	22(28.9)		11(25.6)	9(29.0)	9(25.0)	15(34.9)	44(28.8)	13(43.3)	9(34.6)	17(47.2)	24(33.3)	63(38.4)	
		計	20(100.0)	15(100.0)	15(100.0)	24(100.0)	74(100.0)	24(100.0)	14(100.0)	17(100.0)	21(100.0)	76(100.0)		43(100.0)	31(100.0)	36(100.0)	43(100.0)	153(100.0)	30(100.0)	26(100.0)	36(100.0)	72(100.0)	164(100.0)	
	応援する	とても	16(80.0)	9(56.3)	5(33.3)	16(66.7)	46(61.3)	13(54.2)	7(50.0)	10(58.8)	14(66.7)	44(57.9)	n.s./n.s.	17(39.5)	13(39.4)	18(48.6)	14(32.6)	62(39.7)	5(16.1)	10(35.7)	10(25.6)	20(27.8)	45(26.5)	*/n.s.
		まあまあ	3(15.0)	6(37.5)	10(66.7)	7(29.2)	26(34.7)	11(45.8)	6(42.9)	7(41.2)	7(33.3)	31(40.8)		25(58.1)	13(39.4)	15(40.5)	22(51.2)	75(48.1)	21(67.7)	14(50.0)	18(46.2)	39(54.2)	92(54.1)	
		あまり	1(5.0)	1(6.3)	0(0.0)	1(4.2)	3(4.0)	0(0.0)	1(7.1)	0(0.0)	0(0.0)	1(1.3)		1(2.3)	6(18.2)	4(10.8)	4(9.3)	15(9.6)	4(12.9)	48(14.3)	10(25.6)	10(13.9)	28(16.5)	
		まったく	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)		0(0.0)	1(3.0)	0(0.0)	3(7.0)	4(2.6)	1(3.2)	0(0.0)	1(2.6)	3(4.2)	5(2.9)	
		計	20(100.0)	16(100.0)	15(100.0)	24(100.0)	75(100.0)	24(100.0)	14(100.0)	17(100.0)	21(100.0)	76(100.0)		43(100.0)	33(100.0)	37(100.0)	43(100.0)	156(100.0)	31(100.0)	28(100.0)	39(100.0)	72(100.0)	170(100.0)	
③一緒に 身体活動を行う	ほめる	とても	14(70.0)	9(56.3)	6(40.0)	12(50.0)	41(54.7)	14(58.3)	9(64.3)	7(41.2)	16(76.2)	46(60.5)	n.s./n.s.	13(30.2)	14(43.8)	16(43.2)	16(36.4)	59(37.8)	5(16.1)	9(32.1)	13(33.3)	27(37.5)	54(31.8)	n.s./n.s.
		まあまあ	6(30.0)	6(37.5)	9(60.0)	12(50.0)	33(44.0)	9(37.5)	4(28.6)	8(47.1)	5(23.8)	26(34.2)		29(67.4)	12(37.5)	18(48.6)	22(50.0)	81(51.9)	20(64.5)	15(53.6)	20(51.3)	37(51.4)	92(54.1)	
		あまり	0(0.0)	1(6.3)	0(0.0)	0(0.0)	1(1.3)	1(4.2)	1(7.1)	2(11.8)	0(0.0)	4(5.3)		1(2.3)	6(18.8)	3(8.1)	5(11.4)	15(9.6)	5(16.1)	4(14.3)	6(15.4)	7(9.7)	22(12.9)	
		まったく	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)		0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(2.3)	1(0.6)	1(3.2)	0(0.0)	0(0.0)	1(1.4)	2(1.2)	
		計	20(100.0)	16(100.0)	15(100.0)	24(100.0)	75(100.0)	24(100.0)	14(100.0)	17(100.0)	21(100.0)	76(100.0)		43(100.0)	32(100.0)	37(100.0)	44(100.0)	156(100.0)	31(100.0)	28(100.0)	39(100.0)	72(100.0)	170(100.0)	
	喜びを表す	とても	13(65.0)	7(43.8)	7(46.7)	14(60.9)	41(55.4)	10(41.7)	7(50.0)	8(47.1)	15(75.0)	40(53.3)	n.s./n.s.	14(32.6)	13(39.4)	16(43.2)	16(36.4)	59(37.6)	7(22.6)	6(21.4)	9(23.1)	21(29.2)	43(25.3)	n.s./n.s.
		まあまあ	5(25.0)	8(50.0)	7(46.7)	8(34.8)	28(37.8)	13(54.2)	3(21.4)	9(52.9)	5(25.0)	30(40.0)		24(55.8)	13(39.4)	14(37.8)	19(43.2)	70(44.6)	19(61.3)	19(67.9)	23(59.0)	35(48.6)	96(56.5)	
		あまり	2(10.0)	0(0.0)	1(6.7)	1(4.3)	4(5.4)	1(4.2)	3(21.4)	0(0.0)	0(0.0)	4(5.3)		5(11.6)	6(18.2)	7(18.9)	8(18.2)	26(16.6)	4(12.9)	3(10.7)	7(17.9)	13(18.1)	27(15.9)	
		まったく	0(0.0)	1(6.3)	0(0.0)	0(0.0)	1(1.4)	0(0.0)	1(7.1)	0(0.0)	0(0.0)	1(1.3)		0(0.0)	1(3.0)	0(0.0)	1(2.3)	2(1.3)	1(3.2)	0(0.0)	0(0.0)	3(4.2)	4(2.4)	
		計	20(100.0)	16(100.0)	15(100.0)	23(100.0)	74(100.0)	24(100.0)	14(100.0)	17(100.0)	20(100.0)	75(100.0)		43(100.0)	33(100.0)	37(100.0)	44(100.0)	157(100.0)	31(100.0)	28(100.0)	39(100.0)	72(100.0)	170(100.0)	
	身体を動かす	とても	4(20.0)	2(12.5)	3(20.0)	6(26.1)	15(20.3)	3(12.5)	3(21.4)	5(29.4)	8(38.1)	19(25.0)	n.s./n.s.	10(23.8)	9(27.3)	7(18.9)	17(38.6)	43(27.6)	5(16.1)	9(32.1)	11(28.2)	15(20.8)	40(23.5)	n.s./n.s.
		まあまあ	11(55.0)	4(25.0)	8(53.3)	5(21.7)	28(37.8)	11(45.8)	8(57.1)	4(23.5)	4(19.0)	27(35.5)		19(45.2)	16(48.5)	15(40.5)	11(25.0)	61(39.1)	14(45.2)	12(42.9)	12(30.8)	29(40.3)	67(39.4)	
		あまり	4(20.0)	9(56.3)	3(20.0)	11(47.8)	27(36.5)	8(33.3)	1(7.1)	7(41.2)	7(33.3)	23(30.3)		12(28.6)	6(18.2)	14(37.8)	15(34.1)	47(30.1)	11(35.5)	6(21.4)	16(41.0)	27(37.5)	60(35.3)	
		まったく	1(5.0)	1(6.3)	1(6.7)	1(4.3)	4(5.4)	2(8.3)	2(14.3)	1(5.9)	2(9.5)	7(9.2)		1(2.4)	2(6.1)	1(2.7)	1(2.3)	5(3.2)	1(3.2)	1(3.6)	0(0.0)	1(1.4)	3(1.8)	
		計	20(100.0)	16(100.0)	15(100.0)	23(100.0)	74(100.0)	24(100.0)	14(100.0)	17(100.0)	21(100.0)	76(100.0)		42(100.0)	33(100.0)	37(100.0)	44(100.0)	156(100.0)	31(100.0)	28(100.0)	39(100.0)	72(100.0)	170(100.0)	
	一緒に身体活動 を行う	とても	0(0.0)	0(0.0)	2(13.3)	2(9.1)	4(5.5)	4(16.7)	3(21.4)	2(11.8)	0(0.0)	9(11.8)	n.s./n.s.	3(7.0)	2(6.1)	2(5.4)	5(11.4)	12(7.6)	0(0.0)	3(10.7)	0(0.0)	2(2.8)	5(2.9)	*/n.s.
		まあまあ	11(55.0)	4(25.0)	5(33.3)	6(27.3)	26(35.6)	7(29.2)	5(35.7)	8(47.1)	6(28.6)	26(34.2)		19(44.2)	13(39.4)	9(24.3)	15(34.1)	56(35.7)	8(25.8)	8(28.6)	9(23.1)	23(31.9)	48(28.2)	
		あまり	7(35.0)	8(50.0)	6(40.0)	8(36.4)	29(39.7)	12(50.0)	3(21.4)	6(35.3)	9(42.9)	30(39.5)		14(32.6)	14(42.4)	23(62.2)	15(34.1)	66(42.0)	14(45.2)	11(39.3)	21(53.8)	31(43.1)	77(45.3)	
		まったく	2(10.0)	4(25.0)	2(13.3)	6(27.3)	14(19.2)	1(4.2)	3(21.4)	1(5.9)	6(28.6)	11(14.5)		7(16.3)	4(12.1)	3(8.1)	9(20.5)	23(14.6)	9(29.0)	6(21.4)	9(23.1)	16(22.2)	40(23.5)	
		計	20(100.0)	16(100.0)	15(100.0)	22(100.0)	73(100.0)	24(100.0)	14(100.0)	17(100.0)	21(100.0)	76(100.0)		43(100.0)	33(100.0)	37(100.0)	44(100.0)	157(100.0)	31(100.0)	28(100.0)	39(100.0)	72(100.0)	170(100.0)	

		日本										p値	韓国											
		男子					女子						男子					女子					p値	
		3年	4年	5年	6年	計	3年	4年	5年	6年	計		3年	4年	5年	6年	計	3年	4年	5年	6年	計		
③一緒に 身体活動 を行う	子どもの誘いによ る	とても	3(15.0)	1(6.3)	3(20.0)	7(30.4)	14(18.9)	6(25.0)	3(23.1)	4(23.5)	3(14.3)	16(21.3)	n.s./n.s.	3(7.0)	5(15.2)	8(21.6)	5(11.4)	21(13.4)	5(16.1)	3(10.7)	5(13.2)	8(11.1)	21(12.4)	n.s./n.s.
		まあまあ	12(60.0)	8(50.0)	9(60.0)	9(39.1)	38(51.4)	11(45.8)	8(61.5)	11(64.7)	10(47.6)	40(53.3)		27(62.8)	23(69.7)	15(40.5)	25(56.8)	90(57.3)	16(51.6)	16(57.1)	14(36.8)	36(50.0)	82(48.5)	
		あまり	4(20.0)	6(37.5)	3(20.0)	6(26.1)	19(25.7)	7(29.2)	2(15.4)	1(5.9)	7(33.3)	17(22.0)		8(18.6)	5(15.2)	12(32.4)	10(22.7)	35(22.3)	8(25.8)	9(32.1)	17(44.7)	23(31.9)	57(33.7)	
		まったく	1(5.0)	1(6.3)	0(0.0)	1(4.3)	3(4.1)	0(0.0)	0(0.0)	1(5.9)	1(4.8)	2(2.7)		5(11.6)	0(0.0)	2(5.4)	4(9.1)	11(7.0)	2(6.5)	0(0.0)	2(5.3)	5(6.9)	9(5.3)	
		計	20(100.0)	16(100.0)	15(100.0)	23(100.0)	74(100.0)	24(100.0)	13(100.0)	17(100.0)	21(100.0)	75(100.0)		43(100.0)	33(100.0)	37(100.0)	44(100.0)	157(100.0)	31(100.0)	28(100.0)	38(100.0)	72(100.0)	169(100.0)	
	手本を見せる	とても	6(30.0)	1(6.3)	2(13.3)	2(8.7)	11(14.9)	4(16.7)	4(28.6)	4(26.7)	1(4.8)	13(17.6)	n.s./n.s.	3(7.0)	4(12.1)	6(16.2)	9(20.5)	22(14.0)	4(12.9)	3(10.7)	5(12.8)	9(12.5)	21(12.4)	n.s./n.s.
		まあまあ	9(45.0)	9(56.3)	6(40.0)	12(52.2)	36(48.6)	15(62.5)	8(57.1)	7(46.7)	14(66.7)	44(59.5)		24(55.8)	18(54.5)	14(37.8)	20(45.5)	76(48.4)	14(45.2)	17(60.7)	15(38.5)	34(47.2)	80(47.1)	
		あまり	5(25.0)	5(31.3)	7(46.7)	9(39.1)	26(35.1)	2(8.3)	2(14.3)	4(26.7)	5(23.8)	13(17.6)		15(34.9)	9(27.3)	15(40.5)	14(31.8)	53(33.8)	13(41.9)	6(21.4)	17(43.6)	28(38.9)	64(37.6)	
		まったく	0(0.0)	1(6.3)	0(0.0)	0(0.0)	1(1.4)	3(12.5)	0(0.0)	0(0.0)	1(4.8)	4(5.4)		1(2.3)	2(6.1)	2(5.4)	1(2.3)	6(3.8)	0(0.0)	2(7.1)	2(5.1)	1(1.4)	5(2.9)	
		計	20(100.0)	16(100.0)	15(100.0)	23(100.0)	74(100.0)	24(100.0)	14(100.0)	15(100.0)	21(100.0)	74(100.0)		43(100.0)	33(100.0)	37(100.0)	44(100.0)	157(100.0)	31(100.0)	28(100.0)	39(100.0)	72(100.0)	170(100.0)	
④手本 や道具 などの 支援	スポーツ道具を 買い与える	とても	7(35.0)	3(18.8)	5(33.3)	12(50.0)	27(36.0)	4(16.7)	4(30.8)	5(29.4)	2(9.5)	15(20.0)	n.s./n.s.	5(11.6)	4(12.1)	7(18.9)	7(15.9)	23(14.6)	3(9.7)	2(7.1)	4(10.3)	6(8.3)	15(8.8)	**/n.s.
		まあまあ	13(65.0)	12(75.0)	9(60.0)	10(41.7)	44(58.7)	19(79.2)	8(61.5)	10(58.8)	18(85.7)	55(73.3)		30(69.8)	19(57.6)	24(64.9)	25(56.8)	98(62.4)	14(45.2)	16(57.1)	16(41.0)	42(58.3)	88(51.8)	
		あまり	0(0.0)	0(0.0)	1(6.7)	1(4.2)	2(2.7)	1(4.2)	1(7.7)	2(11.8)	0(0.0)	4(5.3)		8(18.6)	9(27.3)	5(13.5)	7(15.9)	29(18.5)	10(32.3)	9(32.1)	17(43.6)	22(30.6)	58(34.1)	
		まったく	0(0.0)	1(6.3)	0(0.0)	1(4.2)	2(2.7)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(4.8)	1(1.3)		0(0.0)	1(3.0)	1(2.7)	5(11.4)	7(4.5)	4(12.9)	1(3.6)	2(5.1)	2(2.8)	9(5.3)	
		計	20(100.0)	16(100.0)	15(100.0)	24(100.0)	75(100.0)	24(100.0)	13(100.0)	17(100.0)	21(100.0)	75(100.0)		43(100.0)	33(100.0)	37(100.0)	44(100.0)	157(100.0)	31(100.0)	28(100.0)	39(100.0)	72(100.0)	170(100.0)	
	運動に参加して いる子どもを みる	とても	9(45.0)	6(37.5)	7(46.7)	16(69.6)	38(51.4)	12(50.0)	6(42.9)	9(52.9)	8(40.0)	35(46.7)	n.s./n.s.	5(11.6)	6(18.2)	9(24.3)	11(25.0)	31(19.7)	1(3.2)	3(10.7)	5(13.2)	9(12.5)	18(10.7)	*/n.s.
		まあまあ	10(50.0)	6(37.5)	5(33.3)	3(13.0)	24(32.4)	12(50.0)	5(35.7)	6(35.3)	9(45.0)	32(42.7)		25(58.1)	11(33.3)	14(37.8)	18(40.9)	68(43.3)	10(32.3)	13(46.4)	11(28.9)	31(43.1)	65(38.5)	
		あまり	1(5.0)	4(25.0)	3(20.0)	4(17.4)	12(16.2)	0(0.0)	2(14.3)	1(5.9)	2(10.0)	5(6.7)		10(23.3)	15(45.5)	11(29.7)	12(27.3)	48(30.6)	12(38.7)	11(39.3)	17(44.7)	25(34.7)	65(38.5)	
		まったく	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(7.1)	1(5.9)	1(5.0)	3(4.0)		3(7.0)	1(3.0)	3(8.1)	3(6.8)	10(6.4)	8(25.8)	1(3.6)	5(13.2)	7(9.7)	21(12.4)	
		計	20(100.0)	16(100.0)	15(100.0)	23(100.0)	74(100.0)	24(100.0)	14(100.0)	17(100.0)	20(100.0)	75(100.0)		43(100.0)	33(100.0)	37(100.0)	44(100.0)	157(100.0)	31(100.0)	28(100.0)	38(100.0)	72(100.0)	169(100.0)	
⑤子 ども の身 体活 動場 での 関わり	他の保護者と親 しい	とても	4(20.0)	1(6.3)	5(33.3)	5(21.7)	15(20.3)	3(12.5)	4(28.6)	2(11.8)	6(28.6)	15(19.7)	n.s./n.s.	5(11.6)	1(3.0)	4(10.8)	3(7.0)	13(8.3)	2(6.5)	1(3.7)	1(2.6)	3(4.2)	7(4.2)	n.s./n.s.
		まあまあ	13(65.0)	5(31.3)	4(26.7)	10(43.5)	32(43.2)	12(50.0)	3(21.4)	11(64.7)	9(42.9)	36(46.1)		12(27.9)	14(42.4)	13(35.1)	16(37.2)	55(35.3)	6(19.4)	10(37.0)	9(23.7)	22(31.0)	47(28.1)	
		あまり	3(15.0)	7(43.8)	4(26.7)	4(17.4)	18(24.3)	6(25.0)	3(21.4)	4(23.5)	4(19.0)	17(22.4)		18(41.9)	13(39.4)	17(45.9)	17(39.5)	65(41.7)	15(48.4)	10(37.0)	20(52.6)	36(50.7)	81(48.5)	
		まったく	0(0.0)	3(18.8)	2(13.3)	4(17.4)	9(12.2)	3(12.5)	4(28.6)	0(0.0)	2(9.5)	9(11.8)		8(18.6)	5(15.2)	3(8.1)	7(16.3)	23(14.7)	8(25.8)	6(22.2)	8(21.1)	10(14.1)	32(19.2)	
		計	20(100.0)	16(100.0)	15(100.0)	23(100.0)	74(100.0)	24(100.0)	14(100.0)	17(100.0)	21(100.0)	76(100.0)		43(100.0)	33(100.0)	37(100.0)	43(100.0)	156(100.0)	31(100.0)	27(100.0)	38(100.0)	71(100.0)	167(100.0)	
	ボランティアによ る協力	とても	5(25.0)	1(6.7)	3(20.0)	7(30.4)	16(21.9)	1(4.2)	3(21.4)	5(29.4)	5(23.8)	14(18.4)	n.s./n.s.	8(18.6)	7(21.2)	8(21.6)	6(14.0)	29(18.6)	2(6.5)	5(17.9)	5(13.2)	8(11.3)	20(11.9)	*/n.s.
		まあまあ	5(25.0)	3(20.0)	2(13.3)	7(30.4)	17(23.3)	2(8.3)	2(14.3)	6(35.3)	2(9.5)	12(15.8)		25(58.1)	17(51.5)	20(54.1)	24(55.8)	86(55.1)	16(51.6)	15(53.6)	15(39.5)	38(53.5)	84(50.0)	
		あまり	8(40.0)	5(33.3)	5(33.3)	2(8.7)	20(27.4)	15(62.5)	4(28.6)	0(0.0)	8(38.1)	27(35.5)		7(16.3)	8(24.2)	7(18.9)	10(23.3)	32(20.5)	12(38.7)	8(28.6)	16(42.1)	22(31.0)	58(34.5)	
		まったく	2(10.0)	6(40.0)	5(33.3)	7(30.4)	20(27.4)	6(25.0)	5(35.7)	6(35.3)	6(28.6)	23(30.3)		3(7.0)	1(3.0)	2(5.4)	3(7.0)	9(5.8)	1(3.2)	0(0.0)	2(5.3)	3(4.2)	6(3.6)	
		計	20(100.0)	15(100.0)	15(100.0)	23(100.0)	73(100.0)	24(100.0)	14(100.0)	17(100.0)	21(100.0)	76(100.0)		43(100.0)	33(100.0)	37(100.0)	43(100.0)	156(100.0)	31(100.0)	28(100.0)	38(100.0)	71(100.0)	168(100.0)	
	他の子どもに注 意したことがある	とても	5(25.0)	3(18.8)	3(20.0)	6(26.1)	17(23.0)	4(16.7)	3(21.4)	1(5.9)	9(42.9)	17(22.4)	n.s./n.s.	4(9.3)	3(9.1)	4(10.8)	5(11.6)	16(10.3)	4(12.9)	2(7.1)	1(2.6)	3(4.2)	10(5.9)	n.s./n.s.
		まあまあ	6(30.0)	7(43.8)	8(53.3)	7(30.4)	28(37.8)	9(37.5)	6(42.9)	8(47.1)	8(38.1)	31(40.8)		13(30.2)	13(39.4)	11(29.7)	16(37.2)	53(34.0)	7(22.6)	8(28.6)	10(26.3)	23(31.9)	48(28.4)	
		あまり	8(40.0)	5(31.3)	3(20.0)	8(34.8)	24(32.4)	5(20.8)	4(28.6)	4(23.5)	4(19.0)	17(22.4)		19(44.2)	13(39.4)	19(51.4)	17(39.5)	68(43.6)	14(45.2)	12(42.9)	17(44.7)	32(44.4)	75(44.4)	
		まったく	1(5.0)	1(6.3)	1(6.7)	2(8.7)	5(6.8)	6(25.0)	1(7.1)	4(23.5)	0(0.0)	11(14.5)		7(16.3)	4(12.1)	3(8.1)	5(11.6)	19(12.2)	6(19.4)	6(21.4)	10(26.3)	14(19.4)	36(21.3)	
		計	20(100.0)	16(100.0)	15(100.0)	23(100.0)	74(100.0)	24(100.0)	14(100.0)	17(100.0)	21(100.0)	76(100.0)		43(100.0)	33(100.0)	37(100.0)	43(100.0)	156(100.0)	31(100.0)	28(100.0)	38(100.0)	72(100.0)	169(100.0)	

** p<0.01, * p<0.05, n.s. : 有意差なし

表 1-13. 現在の運動の有無と幼児期の身体活動状況との関連

項目内容		日本			p値	韓国			p値
		運動有り	運動なし	計		運動有り	運動なし	計	
体を動かすことが好き	とても	76(74.5)	22(45.8)	98(65.3)	***	68(63.0)	111(51.2)	179(55.1)	n.s.
	まあまあ	19(18.6)	24(50.0)	43(28.7)		30(27.8)	87(40.1)	117(36.0)	
	あまり	6(5.9)	1(2.1)	7(4.7)		8(7.4)	17(7.8)	25(7.7)	
	まったく	1(1.0)	1(2.1)	2(1.3)		2(1.9)	2(0.9)	4(1.2)	
	計	102(100.0)	48(100.0)	150(100.0)		108(100.0)	217(100.0)	325(100.0)	
外遊びが好き	とても	84(82.4)	31(64.6)	115(76.7)	n.s. (p=0.076)	78(72.9)	145(66.8)	223(68.8)	n.s.
	まあまあ	16(15.7)	16(33.3)	32(21.3)		22(20.6)	59(27.2)	81(25.0)	
	あまり	1(1.0)	0(0.0)	1(0.7)		6(5.6)	10(4.6)	16(4.9)	
	まったく	1(1.0)	1(2.1)	2(1.3)		1(0.9)	3(1.4)	4(1.2)	
	計	102(100.0)	48(100.0)	150(100.0)		107(100.0)	217(100.0)	324(100.0)	
運動やスポーツの経験	ある	61(59.8)	20(41.7)	81(54.0)	*	49(48.5)	59(28.2)	108(34.8)	***
	ない	41(40.2)	28(58.3)	69(46.0)		52(51.5)	150(71.8)	202(65.2)	
	計	102(100.0)	48(100.0)	150(100.0)		101(100.0)	209(100.0)	310(100.0)	

*** p<0.001, * p<0.05, n.s. : 有意差なし

表 1-14. 現在の運動の有無と子どもの意識との関連

Short words	項目内容	日本				韓国				
		運動有り	運動なし	計	p値	運動有り	運動なし	計	p値	
①運動の好き・嫌い	体を動かすことが好き	とても	78(75.7)	19(39.6)	97(64.2)	***	59(55.7)	87(40.3)	146(45.3)	*
		まあまあ	21(20.4)	24(50.0)	45(29.8)		37(34.9)	100(46.3)	137(42.5)	
		あまり	3(2.9)	4(8.3)	7(4.6)		10(9.4)	21(9.7)	31(9.6)	
		まったく	1(1.0)	1(2.1)	2(1.3)		0(0.0)	8(3.7)	8(2.5)	
		計	103(100.0)	48(100.0)	151(100.0)		106(100.0)	216(100.0)	322(100.0)	
	運動が好き	とても	87(85.3)	21(43.8)	108(72.0)	***	72(68.6)	95(43.6)	167(51.7)	***
		まあまあ	12(11.8)	22(45.8)	34(22.7)		26(24.8)	89(40.8)	115(35.6)	
		あまり	2(2.0)	2(4.2)	4(2.7)		7(6.7)	29(13.3)	36(11.1)	
		まったく	1(1.0)	3(6.3)	4(2.7)		0(0.0)	5(2.3)	5(1.5)	
		計	102(100.0)	48(100.0)	150(100.0)		105(100.0)	218(100.0)	323(100.0)	
	学校の体育が好き	とても	84(81.6)	28(58.3)	112(74.2)	*	76(70.4)	109(49.8)	185(56.6)	**
		まあまあ	17(16.5)	18(37.5)	35(23.2)		29(26.9)	86(39.3)	115(35.2)	
		あまり	1(1.0)	2(4.2)	3(2.0)		2(1.9)	20(9.1)	22(6.7)	
		まったく	1(1.0)	0(0.0)	1(0.7)		1(0.9)	4(1.8)	5(1.5)	
		計	103(100.0)	48(100.0)	151(100.0)		108(100.0)	219(100.0)	327(100.0)	
②運動に対する意識	運動は重要である	とても	84(81.6)	37(77.1)	121(80.1)	*	73(67.6)	130(59.4)	203(62.1)	n.s.
		まあまあ	19(18.4)	8(16.7)	27(17.9)		32(29.6)	76(34.7)	108(33.0)	
		あまり	0(0.0)	3(6.3)	3(2.0)		3(2.8)	10(4.6)	13(4.0)	
		まったく	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)		0(0.0)	3(1.4)	3(0.9)	
		計	103(100.0)	48(100.0)	151(100.0)		108(100.0)	219(100.0)	327(100.0)	
	運動が不足	とても	4(3.9)	10(20.4)	14(9.2)	***	9(8.3)	33(15.1)	42(12.9)	***
		まあまあ	30(29.1)	23(46.9)	53(34.9)		35(32.4)	94(43.1)	129(39.6)	
		あまり	22(21.4)	10(20.4)	32(21.1)		27(25.0)	61(28.0)	88(27.0)	
		まったく	47(45.6)	6(12.2)	53(34.9)		37(34.3)	30(13.8)	67(20.6)	
		計	103(100.0)	49(100.0)	152(100.0)		108(100.0)	218(100.0)	326(100.0)	
	運動が得意	とても	43(42.2)	5(10.2)	48(31.8)	***	34(31.8)	31(14.2)	65(19.9)	***
		まあまあ	42(41.2)	22(44.9)	64(42.4)		51(47.7)	108(49.3)	159(48.8)	
		あまり	16(15.7)	15(30.6)	31(20.5)		21(19.6)	68(31.1)	89(27(3)	
		まったく	1(1.0)	7(14.3)	8(5.3)		1(0.9)	12(5.5)	13(4.0)	
		計	102(100.0)	49(100.0)	151(100.0)		107(100.0)	219(100.0)	326(100.0)	
運動をもっと得意になりたい	とても	84(81.6)	38(77.6)	122(80.3)	n.s.	78(73.6)	124(57.1)	202(62.5)	**	
	まあまあ	18(17.5)	8(16.3)	26(17.1)		20(18.9)	71(32.7)	91(28.2)		
	あまり	0(0.0)	2(4.1)	2(1.3)		5(4.7)	20(9.2)	25(7.7)		
	まったく	1(1.0)	1(2.0)	2(1.3)		3(2.8)	2(0.9)	5(1.5)		
	計	103(100.0)	49(100.0)	152(100.0)		106(100.0)	217(100.0)	323(100.0)		
運動がもっとうまくなりたいために、頑張っている	とても	53(51.5)	13(26.5)	66(43.4)	**	54(50.9)	55(25.3)	109(33.7)	***	
	まあまあ	41(39.8)	24(49.0)	65(42.8)		39(36.8)	97(44.7)	136(42.1)		
	あまり	6(5.8)	7(14.3)	13(8.6)		9(8.5)	56(25.8)	65(20.1)		
	まったく	3(2.9)	5(10.2)	8(5.3)		4(3.8)	9(4.1)	13(4.0)		
	計	103(100.0)	49(100.0)	152(100.0)		106(100.0)	217(100.0)	323(100.0)		
③運動をほめられること	運動について学校の先生やコーチにほめられたこと	とても	59(57.3)	12(24.5)	71(46.7)	***	39(36.1)	42(19.2)	81(24.8)	**
		まあまあ	34(33.0)	23(46.9)	57(37.5)		42(38.9)	93(42.5)	135(41.3)	
		あまり	9(8.7)	11(22.4)	20(13.2)		20(18.5)	56(25.6)	76(23.2)	
		まったく	1(1.0)	3(6.1)	4(2.6)		7(6.5)	28(12.8)	35(10.7)	
		計	103(100.0)	49(100.0)	152(100.0)		108(100.0)	219(100.0)	327(100.0)	
	運動について親にほめられたこと	とても	58(57.4)	17(34.7)	75(50.0)	*	53(49.1)	69(31.5)	122(37.3)	**
		まあまあ	32(31.7)	17(34.7)	49(32.7)		37(34.3)	86(39.3)	123(37.6)	
		あまり	7(6.9)	8(16.3)	15(10.0)		14(13.0)	43(19.6)	57(17.4)	
		まったく	4(4.0)	7(14.3)	11(7.3)		4(3.7)	21(9.6)	25(7.6)	
		計	101(100.0)	49(100.0)	150(100.0)		108(100.0)	219(100.0)	327(100.0)	
	運動について友達にほめられたことがある	とても	43(42.6)	8(16.3)	51(34.0)	*	29(27.1)	31(14.3)	60(18.5)	*
		まあまあ	37(36.6)	24(49.0)	61(40.7)		30(28.0)	85(39.2)	115(35.5)	
		あまり	16(15.8)	11(22.4)	27(18.0)		31(29.0)	75(34.6)	106(32.7)	
		まったく	5(5.0)	6(12.2)	11(7.3)		17(15.9)	26(12.0)	43(13.3)	
		計	101(100.0)	49(100.0)	150(100.0)		107(100.0)	217(100.0)	324(100.0)	

Short words	項目内容	日本				韓国			
		運動有り	運動なし	計	p値	運動有り	運動なし	計	p値
④体力	体力の自信	とても	39(37.9)	4(8.2)	43(28.3)	***	32(29.6)	41(18.8)	73(22.4)
		まあまあ	34(33.0)	19(38.8)	53(34.9)		51(47.2)	88(40.4)	139(42.6)
		あまり	24(23.3)	18(36.7)	42(27.6)		21(19.4)	79(36.2)	100(30.7)
		まったく	6(5.8)	8(16.3)	14(9.2)		4(3.7)	10(4.6)	14(4.3)
		計	103(100.0)	49(100.0)	152(100.0)		108(100.0)	218(100.0)	326(100.0)
	体力が必要	とても	88(86.3)	37(75.5)	125(82.8)	n.s.	57(52.8)	101(46.3)	158(48.5)
		まあまあ	12(11.8)	8(16.3)	20(13.2)		28(25.9)	81(37.2)	109(33.4)
		あまり	2(2.0)	3(6.1)	5(3.3)		16(14.8)	29(13.3)	45(13.8)
		まったく	0(0.0)	1(2.0)	1(0.7)		7(6.5)	7(3.2)	14(4.3)
		計	102(100.0)	49(100.0)	151(100.0)		108(100.0)	218(100.0)	326(100.0)
⑤親の運動	親が運動やスポーツをしていることをみたことがある	とても	49(47.6)	22(44.9)	71(46.7)	*	57(53.8)	91(41.6)	148(45.5)
		まあまあ	30(29.1)	14(28.6)	44(28.9)		20(18.9)	75(34.2)	95(29.2)
		あまり	21(20.4)	5(10.2)	26(17.1)		14(13.2)	33(15.1)	47(14.5)
		まったく	3(2.9)	8(16.3)	11(7.2)		15(14.2)	20(9.1)	35(10.8)
		計	103(100.0)	49(100.0)	152(100.0)		106(100.0)	219(100.0)	325(100.0)
	親の運動は得意だと思う	とても	42(40.8)	20(41.7)	62(41.1)	n.s.	44(40.7)	68(31.1)	112(34.3)
		まあまあ	39(37.9)	16(33.3)	55(36.4)		45(41.7)	95(43.4)	140(42.8)
		あまり	16(15.5)	8(16.7)	24(15.9)		16(14.8)	39(17.8)	55(16.8)
		まったく	6(5.8)	4(8.3)	10(6.6)		3(2.8)	17(7.8)	20(6.1)
		計	103(100.0)	48(100.0)	151(100.0)		108(100.0)	219(100.0)	327(100.0)
	親と一緒に運動に参加することはある	とても	33(32.7)	9(18.8)	42(28.2)	n.s.	60(56.1)	114(52.1)	174(53.4)
		まあまあ	26(25.7)	12(25.0)	38(25.5)		32(29.9)	77(35.2)	109(33.4)
		あまり	32(31.7)	20(41.7)	52(34.9)		11(10.3)	20(9.1)	31(9.5)
		まったく	10(9.9)	7(14.6)	17(11.4)		4(3.7)	8(3.7)	12(3.7)
		計	101(100.0)	48(100.0)	149(100.0)		107(100.0)	219(100.0)	326(100.0)
⑥運動・スポーツへの関心	他の人の動きをみて真似をしたことがある	とても	52(51.0)	14(28.6)	66(43.7)	*	31(29.0)	38(17.4)	69(21.2)
		まあまあ	33(32.4)	23(46.9)	56(37.1)		35(32.7)	83(38.1)	118(36.3)
		あまり	13(12.7)	7(14.3)	20(13.2)		18(16.8)	69(31.7)	87(26.8)
		まったく	4(3.9)	5(10.2)	9(6.0)		23(21.5)	28(12.8)	51(15.7)
		計	102(100.0)	49(100.0)	151(100.0)		107(100.0)	218(100.0)	325(100.0)
	スポーツの話をよくする	とても	32(31.7)	3(6.1)	35(23.3)	***	23(21.3)	28(12.8)	51(15.6)
		まあまあ	40(39.6)	15(30.6)	55(36.7)		27(25.0)	48(22.0)	75(23.0)
		あまり	20(19.8)	25(51.0)	45(30.0)		39(36.1)	99(45.4)	138(42.3)
		まったく	9(8.9)	6(12.2)	15(10.0)		19(17.6)	43(19.7)	62(19.0)
		計	101(100.0)	49(100.0)	150(100.0)		108(100.0)	218(100.0)	326(100.0)
	運動やスポーツをよくみる	とても	52(51.0)	12(24.5)	64(42.4)	*	36(33.3)	62(28.6)	98(30.2)
		まあまあ	30(29.4)	22(44.9)	52(34.4)		41(38.0)	75(34.6)	116(35.7)
		あまり	13(12.7)	10(20.4)	23(15.2)		23(21.3)	56(25.8)	79(24.3)
		まったく	7(6.9)	5(10.2)	12(7.9)		8(7.4)	24(11.1)	32(9.8)
		計	102(100.0)	49(100.0)	151(100.0)		108(100.0)	217(100.0)	325(100.0)
	好きなスポーツ選手がいる	とても	52(50.5)	12(26.1)	64(43.0)	**	59(55.7)	97(44.3)	156(48.0)
		まあまあ	17(16.5)	4(8.7)	21(14.1)		23(21.7)	71(32.4)	94(28.9)
		あまり	15(14.6)	14(30.4)	29(19.5)		13(12.3)	25(11.4)	38(11.7)
		まったく	19(18.4)	16(34.8)	35(23.5)		11(10.4)	26(11.9)	37(11.4)
		計	103(100.0)	46(100.0)	149(100.0)		106(100.0)	219(100.0)	325(100.0)
⑦勉強	勉強が得意	とても	21(20.4)	5(10.2)	26(17.1)	n.s.	19(17.6)	28(12.8)	47(14.4)
		まあまあ	40(38.8)	19(38.8)	59(38.8)		52(48.1)	118(53.9)	170(52.0)
		あまり	31(30.1)	21(42.9)	52(34.2)		28(25.9)	57(26.0)	85(26.0)
		まったく	11(10.7)	4(8.2)	15(9.9)		9(8.3)	16(7.3)	25(7.6)
		計	103(100.0)	49(100.0)	152(100.0)		108(100.0)	219(100.0)	327(100.0)

*** p<0.001, ** p<0.01, * p<0.05, n.s. : 有意差なし

表 1-15. 現在の運動有無と運動参加に対する友達との関係

項目内容		日本				韓国			
		運動有り	運動なし	計	p値	運動有り	運動なし	計	p値
友達にいじめられないために、運動に参加することがある	とても	4(3.9)	1(2.0)	5(3.3)	n.s. (p=0.085)	10(9.3)	11(5.1)	21(6.5)	n.s.
	まあまあ	8(7.8)	9(18.4)	17(11.2)		9(8.4)	25(11.6)	34(10.5)	
	あまり	18(17.5)	13(26.5)	31(20.4)		27(25.2)	56(25.9)	83(25.7)	
	まったく	73(70.9)	26(53.1)	99(65.1)		61(57.0)	124(57.4)	185(57.3)	
	計	103(100.0)	49(100.0)	152(100.0)		107(100.0)	216(100.0)	323(100.0)	
友達がみんな運動するという理由で、自分も参加することがある	とても	19(18.4)	8(16.7)	27(17.9)	n.s.	7(6.5)	22(10.1)	29(8.9)	*
	まあまあ	30(29.1)	20(41.7)	50(33.1)		27(25.0)	60(27.5)	87(26.7)	
	あまり	27(26.2)	10(20.8)	37(24.5)		29(26.9)	78(35.8)	107(32.8)	
	まったく	27(26.2)	10(20.8)	37(24.5)		45(41.7)	58(26.6)	103(31.6)	
	計	103(100.0)	48(100.0)	151(100.0)		108(100.0)	218(100.0)	326(100.0)	
友達と一緒にいたいという理由で、自分も参加することがある	とても	17(16.7)	3(6.3)	20(13.3)	n.s.	15(13.9)	27(12.4)	42(12.9)	*
	まあまあ	39(38.2)	24(50.0)	63(42.0)		23(21.3)	70(32.1)	93(28.5)	
	あまり	27(26.5)	15(31.3)	42(28.0)		28(25.9)	71(32.6)	99(30.4)	
	まったく	19(18.7)	6(12.5)	25(16.7)		42(38.9)	50(22.9)	92(28.2)	
	計	102(100.0)	18(100.0)	150(100.0)		108(100.0)	218(100.0)	326(100.0)	

* p<0.05, n.s. : 有意差なし

表 1－16. 親の支援との関連(両国母親回答のみ)

		日本				韓国				n(%)
Short words	調査項目	子どもの運動有り	子どもの運動なし	計	p値	子どもの運動有り	子どもの運動なし	計	p値	
①手助けとの関連	運動する場所への送り迎えをする	送っていく	37(42.0)	3(7.9)	40(31.7)	***	10(13.3)	8(5.1)	18(7.8)	n.s.
		迎えに行く	24(27.3)	5(13.2)	29(23.0)		26(34.7)	50(32.1)	76(32.9)	
		送しも迎えも	17(19.3)	10(26.3)	27(21.4)		18(24.0)	45(28.8)	63(27.3)	
		時々送るか迎え	10(11.4)	20(52.6)	30(23.8)		21(28.0)	53(34.0)	74(32.0)	
		計	88(100.0)	38(100.0)	126(100.0)		75(100.0)	156(100.0)	231(100.0)	
	運動する友達がいる所への送り迎えをする	とても	3(3.4)	1(2.6)	4(3.2)	n.s.	2(2.8)	5(3.2)	7(3.1)	n.s.
		まあまあ	25(28.4)	14(36.8)	39(31.0)		24(33.3)	41(26.5)	65(28.6)	
		あまり	29(33.0)	6(15.8)	35(27.8)		19(26.4)	48(31.0)	67(29.5)	
		まったく	31(35.2)	17(44.7)	48(38.1)		27(37.5)	61(39.4)	88(38.8)	
		計	88(100.0)	38(100.0)	126(100.0)		72(100.0)	155(100.0)	227(100.0)	
	スポーツ道具を買い与える	とても	32(36.8)	3(7.7)	35(27.8)	***	10(13.2)	13(8.1)	23(9.7)	n.s.
		まあまあ	54(62.1)	29(74.4)	83(65.9)		47(61.8)	89(55.6)	136(57.6)	
		あまり	1(1.1)	5(12.8)	6(4.8)		15(19.7)	51(31.9)	66(28.0)	
		まったく	0(0.0)	2(5.1)	2(1.6)		4(5.3)	7(4.4)	11(4.7)	
		計	87(100.0)	39(100.0)	126(100.0)		76(100.0)	160(100.0)	236(100.0)	
②激励との関連	応援する	とても	59(67.0)	18(46.2)	77(60.6)	*	34(45.3)	40(25.0)	74(31.5)	**
		まあまあ	29(33.0)	19(48.7)	48(37.8)		36(48.0)	86(53.8)	122(51.9)	
		あまり	0(0.0)	2(5.1)	2(1.6)		4(5.3)	28(17.5)	32(13.6)	
		まったく	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)		1(1.3)	6(3.8)	7(3.0)	
		計	88(100.0)	39(100.0)	127(100.0)		75(100.0)	160(100.0)	235(100.0)	
	ほめる	とても	52(59.1)	21(53.8)	73(57.5)	n.s.	32(42.7)	49(30.6)	81(34.5)	n.s.
		まあまあ	33(37.5)	18(46.2)	51(40.2)		39(52.0)	87(54.4)	126(53.6)	
		あまり	3(3.4)	0(0.0)	3(2.4)		4(5.3)	22(13.8)	26(11.1)	
		まったく	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)		0(0.0)	2(1.3)	2(0.9)	
		計	88(100.0)	39(100.0)	127(100.0)		75(100.0)	160(100.0)	235(100.0)	
	喜びを表す	とても	46(52.9)	17(44.7)	63(50.4)	n.s.	27(35.5)	44(27.5)	71(30.1)	n.s.
		まあまあ	38(43.7)	16(42.1)	54(43.2)		39(51.3)	83(51.9)	122(51.7)	
		あまり	3(3.4)	4(10.5)	7(5.6)		10(13.2)	29(18.1)	39(16.5)	
		まったく	0(0.0)	1(2.6)	1(0.8)		0(0.0)	4(2.5)	4(1.7)	
		計	87(100.0)	38(100.0)	125(100.0)		76(100.0)	160(100.0)	236(100.0)	
③一緒に運動を行う、手本になるなどとの関連	身体を動かす	とても	11(12.6)	12(30.8)	23(18.3)	*	23(30.7)	44(27.5)	67(28.5)	n.s.
		まあまあ	33(37.9)	13(33.3)	46(36.5)		27(36.0)	62(38.8)	89(37.9)	
		あまり	37(42.5)	9(23.1)	46(36.5)		22(29.3)	51(31.9)	73(31.1)	
		まったく	6(6.9)	5(12.8)	11(8.7)		3(4.0)	3(1.9)	6(2.6)	
		計	87(100.0)	39(100.0)	126(100.0)		75(100.0)	160(100.0)	235(100.0)	

Short words	調査項目	日本				韓国				
		子どもの運動有り	子どもの運動なし	計	p値	子どもの運動有り	子どもの運動なし	計	p値	
③一緒に運動を行う、手本になるなどとの関連	一緒に身体活動を行っている	とても	5(5.8)	4(10.3)	9(7.2)	n.s.	5(6.6)	5(3.1)	10(4.2)	n.s.
		まあまあ	29(33.7)	13(33.3)	42(33.6)		30(39.5)	43(26.9)	73(30.9)	
		あまり	36(41.9)	13(33.3)	49(39.2)		31(40.8)	76(47.5)	107(45.3)	
		まったく	16(18.6)	9(23.1)	25(20.0)		10(13.2)	36(22.5)	46(19.5)	
		計	86(100.0)	39(100.0)	125(100.0)		76(100.0)	160(100.0)	236(100.0)	
	子どもの誘いに乗る	とても	14(16.1)	6(15.8)	20(16.0)	n.s.	13(17.1)	20(12.6)	33(14.0)	n.s.
		まあまあ	50(57.5)	19(50.0)	69(55.2)		42(55.3)	76(47.8)	118(50.2)	
		あまり	20(23.0)	12(31.6)	32(25.6)		19(25.0)	51(32.1)	70(29.8)	
		まったく	3(3.4)	1(2.6)	4(3.2)		2(2.6)	12(7.5)	14(6.0)	
		計	87(100.0)	38(100.0)	125(100.0)		76(100.0)	159(100.0)	235(100.0)	
	手本をみせる	とても	10(11.6)	5(12.8)	15(12.0)	n.s.	14(18.4)	19(11.9)	33(14.0)	n.s.
		まあまあ	47(54.7)	22(56.4)	69(55.2)		37(48.7)	75(46.9)	112(47.5)	
		あまり	27(31.4)	9(23.1)	36(28.8)		21(27.6)	60(37.5)	81(34.3)	
		まったく	2(2.3)	3(7.7)	5(4.0)		4(5.3)	6(3.8)	10(4.2)	
		計	86(100.0)	39(100.0)	125(100.0)		76(100.0)	160(100.0)	236(100.0)	
④子どもの身体活動場での関わりとの関連	運動に参加している子どもをみたことがある	とても	51(58.6)	10(25.6)	61(48.4)	**	16(21.1)	19(11.9)	35(14.9)	***
		まあまあ	28(32.2)	18(46.2)	46(36.5)		42(55.3)	53(33.3)	95(40.4)	
		あまり	7(8.0)	9(23.1)	16(12.7)		16(21.1)	66(41.5)	82(34.9)	
		まったく	1(1.1)	2(5.1)	3(2.4)		2(2.6)	21(13.2)	23(9.8)	
		計	87(100.0)	39(100.0)	126(100.0)		76(100.0)	159(100.0)	235(100.0)	
	他の保護者と親しい	とても	21(24.1)	4(10.3)	25(19.8)	*	8(10.5)	5(3.2)	13(5.6)	**
		まあまあ	44(50.6)	14(35.9)	58(46.0)		33(43.4)	48(30.6)	81(34.8)	
		あまり	15(17.2)	13(33.3)	28(22.2)		27(35.5)	70(44.6)	97(41.6)	
		まったく	7(8.0)	8(20.5)	15(11.9)		8(10.5)	34(21.7)	42(18.0)	
		計	87(100.0)	39(100.0)	126(100.0)		76(100.0)	157(100.0)	233(100.0)	
	ボランティアによる協力	とても	23(26.7)	3(7.7)	26(20.8)	**	17(22.4)	14(8.9)	31(13.2)	**
		まあまあ	18(20.9)	7(17.9)	25(20.0)		42(55.3)	80(50.6)	122(52.1)	
		あまり	29(33.7)	10(25.6)	39(31.2)		15(19.7)	53(33.5)	68(29.1)	
		まったく	16(18.6)	19(48.7)	35(28.0)		2(2.6)	11(7.0)	13(5.6)	
		計	86(100.0)	39(100.0)	125(100.0)		76(100.0)	158(100.0)	234(100.0)	
他の子どもに注意したことがある	とても	22(25.3)	8(20.5)	30(23.8)	n.s.	7(9.3)	7(4.4)	14(6.0)	n.s.	
	まあまあ	33(37.9)	14(35.9)	47(37.3)		23(30.7)	45(28.3)	68(29.1)		
	あまり	23(26.4)	13(33.3)	36(28.6)		34(45.3)	73(45.9)	107(45.7)		
	まったく	9(10.3)	4(10.3)	13(10.3)		11(14.7)	34(21.4)	45(19.2)		
	計	87(100.0)	39(100.0)	126(100.0)		75(100.0)	159(100.0)	234(100.0)		

*** p<0.001, ** p<0.01, * p<0.05, n.s. : 有意差なし

表 1-17. 親の運動の関心や子どもの運動に対する親の考えとの関連

調査項目		日本				韓国				
		子どもの運動有り	子どもの運動なし	計	p値	子どもの運動有り	子どもの運動なし	計	p値	
父親	普段、スポーツをみる(テレビを含む)	とても	2(22.2)	5(71.4)	7(43.8)	**	15(46.9)	24(47.1)	39(47.0)	n.s.
		まあまあ	7(77.8)	0(0.0)	7(43.8)		12(37.5)	21(41.2)	33(39.8)	
		あまり	0(0.0)	2(28.6)	2(12.5)		5(15.6)	5(9.8)	10(12.0)	
		まったく	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)		0(0.0)	1(2.0)	1(1.2)	
		計	9(100.0)	7(100.0)	16(100.0)		32(100.0)	51(100.0)	83(100.0)	
	運動が楽しい	とても	6(66.7)	4(57.1)	10(62.5)	n.s.	11(34.4)	20(39.2)	31(37.3)	n.s.
		まあまあ	3(33.3)	3(42.9)	6(37.5)		16(50.0)	26(51.0)	42(50.6)	
		あまり	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)		4(12.5)	5(9.8)	9(10.8)	
		まったく	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)		1(3.1)	0(0.0)	1(2.1)	
		計	9(100.0)	7(100.0)	16(100.0)		32(100.0)	51(100.0)	83(100.0)	
	子どもが運動をするのが重要である	とても	9(100.0)	5(71.4)	14(87.5)	n.s.	19(59.4)	32(62.7)	51(61.4)	n.s.
		まあまあ	0(0.0)	2(28.6)	2(12.5)		10(31.3)	17(33.3)	27(32.5)	
		あまり	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)		3(9.4)	2(3.9)	5(6.0)	
		まったく	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)		0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	
		計	9(100.0)	7(100.0)	16(100.0)		32(100.0)	51(100.0)	83(100.0)	
	子どもが運動してほしい	とても	8(88.9)	5(71.4)	13(81.3)	n.s.	15(46.9)	26(51.0)	41(49.4)	n.s.
まあまあ		1(11.1)	2(28.6)	3(18.8)	13(40.6)		20(39.2)	33(39.8)		
あまり		0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	3(9.4)		4(7.8)	7(8.4)		
まったく		0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(3.1)		1(2.0)	2(2.4)		
計		9(100.0)	7(100.0)	16(100.0)	32(100.0)		51(100.0)	83(100.0)		
母親	普段、スポーツをみる(テレビを含む)	とても	16(18.2)	2(5.1)	18(14.2)	n.s. (p=0.059)	9(11.8)	15(9.4)	24(10.2)	n.s.
		まあまあ	45(51.1)	25(64.1)	70(55.1)		41(53.9)	88(55.0)	129(54.7)	
		あまり	23(26.1)	7(17.9)	30(23.6)		19(25.0)	49(30.6)	68(28.8)	
		まったく	4(4.5)	5(12.8)	9(7.1)		7(9.2)	8(5.0)	15(6.4)	
		計	88(100.0)	39(100.0)	127(100.0)		76(100.0)	160(100.0)	236(100.0)	
	運動が楽しい	とても	35(39.8)	13(33.3)	48(37.8)	n.s.	21(28.0)	28(17.6)	49(20.9)	n.s. (p=0.074)
		まあまあ	42(47.7)	19(48.7)	61(48.0)		29(38.7)	90(56.6)	119(50.9)	
		あまり	10(11.4)	6(15.4)	16(12.6)		23(30.7)	37(23.3)	60(25.6)	
		まったく	1(1.1)	1(2.6)	2(1.6)		2(2.7)	4(2.5)	6(2.6)	
		計	88(100.0)	39(100.0)	127(100.0)		75(100.0)	159(100.0)	234(100.0)	
	子どもが運動をするのが重要である	とても	71(80.7)	29(74.4)	100(78.7)	n.s.	47(61.8)	79(49.4)	126(53.4)	n.s.
		まあまあ	17(19.3)	10(25.6)	27(21.3)		27(35.5)	74(46.3)	101(42.8)	
		あまり	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)		2(2.6)	7(4.4)	9(3.8)	
		まったく	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)		0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	
		計	88(100.0)	39(100.0)	127(100.0)		76(100.0)	160(100.0)	236(100.0)	
	子どもが運動してほしい	とても	79(90.8)	28(71.8)	107(84.9)	*	37(48.7)	66(41.5)	103(43.8)	n.s.
まあまあ		8(9.2)	10(25.6)	18(14.3)	34(44.7)		74(46.5)	108(46.0)		
あまり		0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	5(6.6)		16(10.1)	21(8.9)		
まったく		0(0.0)	1(2.6)	1(0.8)	0(0.0)		3(1.9)	3(1.3)		
計		87(100.0)	39(100.0)	126(100.0)	76(100.0)		159(100.0)	235(100.0)		

** p<0.01, * p<0.05, n.s. : 有意差なし

表 2-1. 大学生の調査項目

大項目	中項目		小項目	分析項目
基本属性	性・年齢・学年・専攻		性 年齢 学年 専攻	○ ○ ○ ○
運動に対する意識	肯定的		1.好きである 2.楽しい 3.健康に良い 4.運動は重要である 5.習慣である 6.体力が必要である 7.筋肉がつく 8.余分な脂肪がとれる 9.仲間ができる 10.明るい性格になる 11.忍耐力が強くなる 12.能力を他人に認めてもらえる 13.人と競争するものである 14.ストレス解消になる 15.ぐっすり眠れる 16.気分転換になる 17.疲労回復に役に立つ	
	否定的		18.勉強の邪魔になる 19.時間の無駄である 20.疲れるだけだ	
学校体育授業以外での運動・スポーツの状況	幼、小、中、高、大		運動実施有無 運動種目 運動頻度 運動活動場所 運動を中断した理由	○ ○ ○ ○ ○
運動継続要因	心理的影響	嗜好性	1.運動が好き 2.運動が楽しかった 3.将来までずっと続けたい 4.スポーツ関係の仕事につきたい 5.好きなスポーツ選手がいた	○ ○ ○ ○ ○
		有能感	6.もともと運動が得意である 7.友人より優れた運動能力がある 8.自分には最後までやりとげる力がある 9.継続すれば技術や記録が伸びる 10.少し難しい運動でも、努力すればできる	○ ○ ○ ○ ○
		達成感	11.やり通した時に大きな満足感を感じる 12.達成感が大きな自信につながる	○ ○
	身体的影響	健康・体力・体型	13.健康になった 14.健康が維持された 15.疲れにくくなった 16.ストレス解消になった 17.運動技術が向上した 18.ダイエットになった 19.体型が美しくなった 20.体力がついた	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
			21.コミュニケーション能力が向上した 22.家族(父、母、兄弟姉妹)と一緒にだった 23.親がそのスポーツが好きだった 24.運動について親にほめられたことがあった 25.親の励ましやサポートがあった 26.友達をつくることができた 27.友達にいじめられなくなかった 28.友達がみんな運動するから 29.友達が一緒にスポーツをしていた 30.運動について友達にほめられたことがあった 31.友達の応援があった 32.体育の先生や運動コーチの指導、激励があった	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
			33.運動する場所が近かった 34.施設が快適で運動ができた 35.季節や気候にあまり影響されず運動ができた 36.送り迎えしてくれる人がいた	○ ○ ○ ○
	社会的影響	家族・友人・指導者		
	環境的影響	場所・施設		

表 2-2. 属性(日本及び韓国)

日本(n=1441)																
		一般大							体育大							一般大&体育大
		全体 人数	n=723 (%)	男子 人数	n=236 (%)	女子 人数	n=487 (%)	p値	全体 人数	n=718 (%)	男子 人数	n=627 (%)	女子 人数	n=91 (%)	p値	性別/学年別
年齢(歳)		19.9 ±1.1		19.9 ±1.2		19.9 ±1.1		n.s.	19.7 ±1.0		19.6 ±1.0		19.9 ±0.9		n.s.	***/**
専攻	文化系	92	(12.9)	46	(19.8)	46	(9.5)	***								
	理科系	152	(21.3)	95	(40.9)	57	(11.8)									
	芸術系	28	(3.9)	9	(3.9)	19	(3.9)									
	保険・医療系	390	(54.6)	62	(26.7)	328	(68.0)									
	家庭系	52	(7.3)	20	(8.6)	32	(6.6)									
	体育系	—	—	—	—	—	—									
学年		260 (36.3)		102 (44.0)		158 (32.6)		*	718 (100.0)		627 (100.0)		91 (100.0)		—	
	1年	260	(36.3)	102	(44.0)	158	(32.6)		194	(27.0)	180	(28.7)	14	(15.4)	n.s.	
	2年	190	(26.5)	56	(24.1)	134	(27.6)		346	(48.2)	293	(46.7)	53	(58.2)		
	3年	199	(27.8)	51	(22.0)	148	(30.5)		146	(20.3)	126	(20.1)	20	(22.0)		
	4年	68	(9.5)	23	(9.9)	45	(9.3)	32	(4.5)	28	(4.5)	4	(4.4)			

*** p<0.001, ** p<0.01, * p<0.05, n.s. : 有意差なし

韓国(n=503)																	
		一般大						体育大						一般大&体育大			
		全体 人数	n=232 (%)	男子 人数	n=140 (%)	女子 人数	n=92 (%)	全体 人数	n=271 (%)	男子 人数	n=180 (%)	女子 人数	n=91 (%)	p値	性別/学年別		
年齢(歳)		22.3 ±2.1		23.1 ±2.2		21.2 ±1.4		***		21.6 ±1.8		21.0 ±1.2		21.4 ±1.6		***	n.s./n.s.
専攻	文化系	38	(17.3)	28	(21.7)	10	(11.0)										
	理科系	91	(41.4)	73	(56.6)	18	(19.8)										
	芸術系	67	(30.5)	15	(11.6)	52	(57.1)										
	保険・医療系	19	(8.6)	10	(7.8)	9	(9.9)										
	家庭系	5	(2.3)	3	(2.3)	2	(2.2)										
	体育系	—	—	—	—	—	—	263	(100.0)	180	(66.4)	91	(33.6)	—			
学年	1年	69	(30.4)	35	(25.5)	34	(37.8)	116	(44.1)	81	(46.8)	35	(38.9)	n.s.			
	2年	42	(18.5)	29	(21.2)	13	(14.4)	88	(33.5)	59	(34.1)	29	(32.2)				
	3年	74	(32.6)	44	(32.1)	30	(33.3)	46	(17.5)	27	(15.6)	19	(21.1)				
	4年	42	(18.5)	29	(21.2)	13	(14.4)	13	(4.9)	6	(3.5)	7	(7.8)				

*** p<0.001, ** p<0.01, * p<0.05, n.s. : 有意差なし

表 2-3. 小学校時の運動状況＜日本＞

		一般大						体育大							
		全体		男子		女子		p値	全体		男子		女子		p値
		n	%	n	%	n	%		n	%	n	%	n	%	
運動実施	有り	548	(76.0)	185	(78.7)	363	(75)	0.235	668	(93.0)	586	(93.5)	82	(90.1)	0.241
	なし	173	(24.0)	50	(21.3)	123	(25)		50	(7.0)	41	(6.5)	9	(9.9)	
	計	721	(100.0)	235	(100.0)	486	(100)		718	(100.0)	627	(100.0)	91	(100.0)	
継続年数	6年	154	(28.1)	52	(28.1)	102	(28)	0.369	339	(56.1)	293	(50.7)	46	(50.0)	0.400
	4～5年	243	(44.3)	81	(43.8)	162	(45)		190	(22.0)	172	(28.4)	18	(29.4)	
	2～3年	58	(10.6)	15	(8.1)	43	(12)		133	(22.0)	115	(19.9)	18	(19.6)	
	1年	93	(17.0)	37	(20.0)	56	(15)		6	(0.0)	6	(0.9)	0	(1.0)	
	計	548	(100.0)	185	(100.0)	363	(100)		668	(100.0)	586	(100.0)	82	(100.0)	
運動種目	水泳	222	(40.5)	51	(27.6)	171	(47)	<0.001	156	(23.4)	128	(21.9)	28	(34.1)	<0.001
	身体運動系スポーツ	31	(5.7)	5	(2.7)	26	(7)		42	(6.3)	33	(5.7)	9	(11.0)	
	ネット型スポーツ	91	(16.6)	14	(7.6)	77	(21)		32	(4.8)	23	(3.9)	9	(11.0)	
	ゴール型スポーツ	90	(16.4)	48	(25.9)	42	(12)		158	(23.7)	142	(24.3)	16	(19.5)	
	ベースボール型スポーツ	63	(11.5)	50	(27.0)	13	(4)		199	(29.9)	194	(33.2)	5	(6.1)	
	武道	33	(6.0)	17	(9.2)	16	(4)		77	(11.6)	64	(11.0)	13	(15.9)	
	ダンス型	18	(3.3)	0	(0.0)	18	(5)		2	(0.3)	0	(0.0)	2	(2.4)	
	計	548	(100.0)	185	(100.0)	363	(100)		666	(100.0)	584	(100.0)	82	(100.0)	
運動頻度	ほぼ毎日	77	(20.8)	42	(27.6)	35	(16)	0.006	232	(39.9)	205	(39.9)	27	(40.3)	0.181
	週4,5回	70	(18.9)	34	(22.4)	36	(16)		84	(14.5)	80	(15.6)	4	(6.0)	
	週2,3回	222	(59.8)	75	(49.3)	147	(67)		258	(44.4)	223	(43.4)	35	(52.2)	
	週1回	2	(0.5)	1	(0.7)	1	(1)		7	(1.2)	6	(1.2)	1	(1.5)	
	計	371	(100.0)	152	(100.0)	219	(100)		581	(100.0)	514	(100.0)	67	(100.0)	
活動場所	学校内	195	(36.0)	89	(48.6)	106	(30)	<0.001	223	(39.1)	199	(39.4)	24	(36.4)	0.634
	学校以外	346	(64.0)	94	(51.4)	252	(70)		348	(60.9)	306	(60.6)	42	(63.6)	
	計	541	(100.0)	183	(100.0)	358	(100)		571	(100.0)	505	(100.0)	66	(100.0)	

群間の比較は、 χ^2 を用いた。
欠損値有り。

表 2-4. 中学校時の運動の状況<日本>

		一般大						体育大							
		全体		男子		女子		p値	全体		男子		女子		p値
		n	%	n	%	n	%		n	%	n	%	n	%	
運動実施	有り	580	(80.4)	203	(86.4)	377	(77.6)	0.005	694	(96.7)	603	(96.2)	91	(100.0)	0.058
	なし	141	(19.6)	32	(13.6)	109	(22.4)		24	(3.3)	24	(3.8)	0	(0.0)	
	計	721	(100.0)	235	(100.0)	486	(100.0)		718	(100.0)	627	(100.0)	91	(100.0)	
継続年数	3年	496	(85.5)	172	(84.7)	324	(85.9)	0.923	667	(96.1)	582	(96.5)	85	(93.4)	0.359
	2年	22	(3.8)	8	(3.9)	14	(3.7)		18	(2.6)	14	(2.3)	4	(4.4)	
	1年	62	(10.7)	23	(11.3)	39	(10.3)		9	(1.3)	7	(1.2)	2	(2.2)	
	計	580	(100.0)	203	(100.0)	377	(100.0)		694	(100.0)	603	(100.0)	91	(100.0)	
運動種目	水泳	37	(6.4)	15	(7.4)	22	(5.8)	<0.001	23	(3.3)	17	(2.8)	6	(6.6)	<0.001
	身体運動系スポーツ	50	(8.6)	12	(5.9)	38	(10.1)		104	(15.0)	94	(15.6)	10	(11.0)	
	ネット型スポーツ	279	(48.1)	58	(28.6)	221	(58.6)		87	(12.5)	65	(10.8)	22	(24.2)	
	ゴール型スポーツ	99	(17.1)	53	(26.1)	46	(12.2)		163	(23.5)	143	(23.7)	20	(22.0)	
	ベースボール型スポーツ	60	(10.3)	44	(21.7)	16	(4.2)		230	(33.1)	217	(36.0)	13	(14.3)	
	武道	45	(7.8)	17	(8.4)	28	(7.4)		86	(12.4)	67	(11.1)	19	(20.9)	
	ダンス型	7	(1.2)	1	(0.5)	6	(1.6)		1	(0.1)	0	(0.0)	1	(1.1)	
	その他	3	(0.5)	3	(1.5)	0	(0.0)		—	—	—	—	—	—	
	計	580	(100.0)	203	(100.0)	377	(100.0)		694	(100.0)	603	(100.0)	91	(100.0)	
運動頻度	ほぼ毎日	331	(57.4)	117	(57.9)	214	(57.1)	0.92	397	(57.6)	336	(56.1)	61	(67.8)	0.011
	週4、5回	123	(21.3)	40	(19.8)	83	(22.1)		103	(14.9)	96	(16.0)	7	(7.8)	
	週2、3回	80	(13.9)	29	(14.4)	51	(13.6)		177	(25.7)	8	(26.5)	18	(20.0)	
	週1回	43	(7.5)	16	(7.9)	27	(7.2)		12	(1.7)	599	(1.3)	4	(4.4)	
	計	577	(100.0)	202	(100.0)	375	(100.0)		689	(100.0)	591	(100.0)	90	(100.0)	
活動場所	学校内	454	(85.7)	155	(84.2)	299	(86.4)	0.496	499	(72.3)	442	(73.8)	57	(62.6)	0.027
	学校以外	76	(14.3)	29	(15.8)	47	(13.6)		191	(27.7)	157	(26.2)	34	(37.4)	
	計	530	(100.0)	184	(100.0)	346	(100.0)		690	(100.0)	599	(100.0)	91	(100.0)	

群間の比較は、 χ^2 を用いた。
欠損値有り。

表 2-5. 高校時の運動状況＜日本＞

		一般大						体育大							
		全体		男子		女子		p値	全体		男子		女子		p値
		n	%	n	%	n	%		n	%	n	%	n	%	
運動実施	有り	384	(53.3)	159	(67.7)	225	(46.3)	<0.001	718	(100.0)	627	(100.0)	91	(100.0)	—
	なし	337	(46.7)	76	(32.3)	261	(53.7)		0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	
	計	721	(100.0)	235	(100.0)	486	(100.0)		718	(100.0)	627	(100.0)	91	(100.0)	
継続年数	3年	295	(76.8)	130	(81.8)	165	(73.3)	0.096	686	(95.5)	599	(95.5)	87	(95.6)	0.860
	2年	28	(7.3)	7	(4.4)	21	(9.3)		2	(0.3)	2	(0.3)	0	(0.0)	
	1年	61	(15.9)	22	(13.8)	39	(17.3)		30	(4.2)	26	(4.1)	4	(4.4)	
	計	384	(100.0)	159	(100.0)	225	(100.0)		718	(100.0)	627	(100.0)	91	(100.0)	
運動種目	水泳	13	(3.4)	6	(3.8)	7	(3.1)	<0.001	12	(1.7)	10	(1.6)	2	(2.2)	<0.001
	身体運動系スポーツ	33	(8.6)	16	(10.1)	17	(7.6)		155	(21.6)	141	(22.5)	14	(15.4)	
	ネット型スポーツ	146	(38.0)	36	(22.6)	110	(48.9)		86	(12.0)	65	(10.4)	21	(23.1)	
	ゴール型スポーツ	82	(21.4)	49	(30.8)	33	(14.7)		180	(25.1)	157	(25.1)	23	(25.3)	
	ベースボール型スポーツ	32	(8.3)	23	(14.5)	9	(4.0)		200	(27.9)	192	(30.7)	8	(8.8)	
	武道	59	(15.4)	25	(15.7)	34	(15.1)		81	(11.3)	59	(9.4)	22	(24.2)	
	ダンス型	15	(3.9)	2	(1.3)	13	(5.8)		—	—	—	—	—	—	
	その他	4	(1.0)	2	(1.3)	2	(0.9)		3	(0.4)	2	(0.3)	1	(1.1)	
計	384	(100.0)	159	(100.0)	225	(100.0)	717	(100.0)	626	(100.0)	91	(100.0)			
運動頻度	ほぼ毎日	198	(51.7)	86	(54.1)	112	(50.0)	0.312	416	(58.0)	355	(56.7)	61	(67.0)	0.184
	週4、5回	59	(15.4)	23	(14.5)	36	(16.1)		109	(15.2)	97	(15.5)	12	(13.2)	
	週2、3回	89	(23.2)	31	(19.5)	58	(25.9)		159	(22.2)	146	(23.3)	13	(14.3)	
	週1回	37	(9.7)	19	(11.9)	18	(8.0)		33	(4.6)	28	(4.5)	5	(5.5)	
	計	383	(100.0)	159	(100.0)	224	(100.0)		717	(100.0)	626	(100.0)	91	(100.0)	
活動場所	学校内	312	(84.6)	123	(82.0)	189	(86.3)	0.261	568	(85.9)	503	(86.9)	65	(79.3)	0.064
	学校以外	57	(15.4)	27	(18.0)	30	(13.7)		93	(14.1)	76	(13.1)	17	(20.7)	
	計	369	(100.0)	150	(100.0)	219	(100.0)		661	(100.0)	579	(100.0)	82	(100.0)	

群間の比較は、 χ^2 を用いた。
欠損値有り。

表 2-6. 現在の運動状況＜日本＞

		一般大						体育大							
		全体		男子		女子		p値	全体		男子		女子		p値
		n	%	n	%	n	%		n	%	n	%	n	%	
運動実施	有り	196	(27.2)	100	(42.6)	96	(19.8)	<0.001	704	(98.1)	618	(98.6)	86	(94.5)	0.009
	なし	525	(72.8)	135	(57.4)	390	(80.2)		14	(1.9)	9	(1.4)	5	(5.5)	
	計	721	(100.0)	235	(100.0)	486	(100.0)		718	(100.0)	627	(100.0)	91	(100.0)	
継続年数	1年以上	93	(47.0)	46	(45.1)	47	(49.0)	0.586	28	(4.1)	25	(4.2)	3	(3.5)	0.762
	1年以下	105	(53.0)	56	(54.9)	49	(51.0)		648	(95.9)	566	(95.8)	82	(96.5)	
	計	198	(100.0)	102	(100.0)	96	(100.0)		676	(100.0)	591	(100.0)	85	(100.0)	
運動種目	水泳	9	(4.5)	3	(2.9)	6	(6.3)	0.007	6	(0.9)	6	(1.0)	0	(0.0)	<0.001
	身体運動系スポーツ	31	(15.7)	21	(20.6)	10	(10.4)		165	(23.5)	146	(23.7)	19	(22.1)	
	ネット型スポーツ	78	(39.4)	29	(28.4)	49	(51.0)		89	(12.7)	68	(11.0)	21	(24.4)	
	ゴール型スポーツ	47	(23.7)	26	(25.5)	21	(21.9)		163	(23.2)	145	(23.5)	18	(20.9)	
	ベースボール型スポーツ	8	(4.0)	8	(7.8)	0	(0.0)		187	(26.6)	182	(29.5)	5	(5.8)	
	武道	10	(5.1)	6	(5.9)	4	(4.2)		77	(11.0)	57	(9.3)	20	(23.3)	
	ダンス型	5	(2.5)	3	(2.9)	2	(2.1)		—	—	—	—	—	—	
	その他	10	(5.1)	6	(5.9)	4	(4.2)		15	(2.1)	12	(1.9)	3	(3.5)	
計	198	(100.0)	102	(100.0)	96	(100.0)	702	(100.0)	616	(100.0)	86	(100.0)			
運動頻度	ほぼ毎日	8	(4.1)	4	(4.1)	4	(4.2)	0.521	467	(66.5)	417	(67.7)	50	(58.1)	0.069
	週4、5回	20	(10.4)	13	(13.3)	7	(7.4)		152	(21.7)	124	(20.1)	28	(32.6)	
	週2、3回	67	(34.7)	35	(35.7)	32	(33.7)		76	(10.8)	69	(11.2)	7	(8.1)	
	週1回	98	(50.8)	46	(46.9)	52	(54.7)		7	(1.0)	6	(1.0)	1	(1.2)	
	計	193	(100.0)	98	(100.0)	95	(100.0)		702	(100.0)	616	(100.0)	86	(100.0)	
活動場所	学校内	107	(69.9)	57	(74.0)	50	(65.8)	0.096	477	(87.4)	415	(86.8)	62	(91.2)	0.312
	学校以外	46	(30.1)	20	(26.0)	26	(34.2)		69	(12.6)	63	(13.2)	6	(8.8)	
	計	153	(100.0)	77	(100.0)	76	(100.0)		546	(100.0)	478	(100.0)	68	(100.0)	

群間の比較は、 χ^2 を用いた。

欠損値有り

表 2-7. 小学校時の運動状況＜韓国＞

		一般大						体育大							
		全体		男子		女子		p値	全体		男子		女子		p値
		n	%	n	%	n	%		n	%	n	%	n	%	
運動実施	有り	158	(68.1)	99	(70.7)	59	(64.1)	0.293	154	(56.8)	96	(53.3)	58	(63.7)	0.103
	なし	74	(31.9)	41	(29.3)	33	(35.9)		117	(43.2)	84	(46.7)	33	(36.3)	
	計	232	(100.0)	140	(100.0)	92	(100.0)		272	(100.0)	180	(100.0)	91	(100.0)	
継続年数	6年	38	(24.1)	7	(11.9)	31	(31.3)	0.010	8	(5.2)	7	(7.3)	1	(1.7)	0.480
	4～5年	23	(14.6)	6	(10.2)	17	(17.2)		36	(23.4)	23	(24.0)	13	(22.4)	
	2～3年	60	(38.0)	28	(47.5)	32	(32.3)		64	(41.6)	38	(39.6)	26	(44.8)	
	1年	37	(23.4)	18	(30.5)	19	(19.2)		46	(29.9)	28	(29.2)	18	(31.0)	
	計	158	(100.0)	59	(100.0)	99	(100.0)		154	(100.0)	96	(100.0)	58	(100.0)	
	運動種目	水泳	18	(11.4)	5	(5.1)	13		(22.0)	<0.001	19	(12.3)	15	(15.6)	
身体活動系スポーツ	15	(9.5)	9	(9.1)	6	(10.2)	18	(11.7)	5		(5.2)	13	(22.4)		
ネット型スポーツ	10	(6.3)	3	(3.0)	7	(11.9)	11	(7.1)	4		(4.2)	7	(12.1)		
ゴール型スポーツ	30	(19.0)	27	(27.3)	3	(5.1)	31	(20.1)	28		(29.2)	3	(5.2)		
ベースボール型スポーツ	2	(1.3)	2	(2.0)	0	(0.0)	3	(1.9)	3		(3.1)	0	(0.0)		
武道	71	(44.9)	52	(52.5)	19	(32.2)	57	(37.0)	41		(42.7)	16	(27.6)		
ダンス型	12	(7.6)	1	(1.0)	11	(18.6)	15	(9.7)	0		(0.0)	15	(25.9)		
計	158	(100.0)	99	(100.0)	59	(100.0)	154	(100.0)	96		(100.0)	58	(100.0)		
運動頻度	ほぼ毎日	12	(9.3)	10	(11.8)	2	(4.5)	0.027	24	(16.1)	12	(12.9)	12	(21.4)	0.385
	週4、5回	65	(50.4)	47	(55.3)	18	(40.9)		78	(52.3)	51	(54.8)	27	(48.2)	
	週2、3回	49	(38.0)	25	(29.4)	24	(54.5)		47	(31.5)	30	(32.3)	17	(30.4)	
	週1回	3	(2.3)	3	(3.5)	0	(0.0)		0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	
	計	129	(100.0)	85	(100.0)	44	(100.0)		149	(100.0)	93	(100.0)	56	(100.0)	
活動場所	学校内	55	(34.8)	35	(35.4)	20	(33.9)	0.853	58	(37.7)	35	(36.5)	23	(39.7)	0.692
	学校以外	103	(65.2)	64	(64.6)	39	(66.1)		96	(62.3)	61	(63.5)	35	(60.3)	
	計	158	(100.0)	99	(100.0)	59	(100.0)		154	(100.0)	96	(100.0)	58	(100.0)	

群間の比較は、 χ^2 を用いた。
欠損値有り。

表 2-8. 中学校時の運動状況＜韓国＞

		一般大						体育大							
		全体		男子		女子		p値	全体		男子		女子		p値
		n	%	n	%	n	%		n	%	n	%	n	%	
運動実施	有り	107	(46.1)	69	(49.3)	38	(41.3)	0.233	154	(56.8)	94	(52.2)	60	(65.9)	0.031
	なし	125	(53.9)	71	(50.7)	54	(58.7)		117	(43.2)	86	(47.8)	31	(34.1)	
	計	232	(100.0)	140	(100.0)	92	(100.0)		271	(100.0)	180	(100.0)	91	(100.0)	
継続年数	3年	54	(50.5)	44	(63.8)	10	(26.3)	0.001	48	(31.2)	27	(28.7)	21	(35.0)	0.573
	2年	32	(29.9)	16	(23.2)	16	(42.1)		26	(16.9)	15	(16.0)	11	(18.3)	
	1年	21	(19.6)	9	(13.0)	12	(31.6)		80	(51.9)	52	(55.3)	28	(46.7)	
	計	53	(100.0)	25	(100.0)	28	(100.0)		106	(100.0)	67	(100.0)	39	(100.0)	
運動種目	水泳	8	(7.5)	4	(5.8)	4	(10.5)	<0.001	9	(5.8)	7	(7.4)	2	(3.3)	<0.001
	身体活動系スポーツ	10	(9.3)	3	(4.3)	7	(18.4)		18	(11.7)	7	(7.4)	11	(18.3)	
	ネット型スポーツ	11	(10.3)	5	(7.2)	6	(15.8)		14	(9.1)	5	(5.3)	9	(15.0)	
	ゴール型スポーツ	32	(29.9)	30	(43.5)	2	(5.3)		42	(27.3)	40	(42.6)	2	(3.3)	
	ベースボール型スポーツ	2	(1.9)	2	(2.9)	0	(0.0)		6	(3.9)	6	(6.4)	0	(0.0)	
	武道	39	(36.4)	24	(34.8)	15	(39.5)		46	(29.9)	29	(30.9)	17	(28.3)	
	ダンス型	5	(4.7)	1	(1.4)	4	(10.5)		19	(12.3)	0	(0.0)	19	(31.7)	
	計	107	(100.0)	69	(99.9)	38	(100.0)		154	(100.0)	94	(100.0)	60	(99.9)	
運動頻度	ほぼ毎日	12	(11.2)	6	(8.7)	6	(15.8)	0.497	29	(18.8)	17	(18.1)	12	(20.0)	0.870
	週4、5回	47	(43.9)	30	(43.5)	17	(44.7)		80	(51.9)	49	(52.1)	31	(51.7)	
	週2、3回	46	(43.0)	31	(44.9)	15	(39.5)		44	(28.6)	27	(28.7)	17	(28.3)	
	週1回	2	(1.9)	2	(2.9)	0	(0.0)		1	(0.6)	1	(1.1)	0	(0.0)	
	計	107	(100.0)	69	(100.0)	38	(100.0)		154	(99.9)	94	(100.0)	60	(100.0)	
運動場所	学校内	19	(28.4)	10	(20.8)	9	(47.4)	0.030	56	(43.8)	40	(47.6)	16	(36.4)	0.223
	学校以外	48	(71.6)	38	(79.2)	10	(52.6)		72	(56.3)	44	(52.4)	28	(63.6)	
	計	67	(100.0)	48	(100.0)	19	(100.0)		128	(100.1)	84	(100.0)	44	(100.0)	

群間の比較は、 χ^2 を用いた。

欠損値有り。

表 2-9. 高校時の運動状況＜韓国＞

		一般大						体育大							
		全体		男子		女子		p値	全体		男子		女子		p値
		n	%	n	%	n	%		n	%	n	%	n	%	
運動実施	有り	100	(43.1)	75	(53.6)	25	(27.2)	<0.001	269	(100.0)	178	(100.0)	91	(100.0)	—
	なし	132	(56.9)	65	(46.4)	67	(72.8)		0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	
	計	232	(100.0)	140	(100.0)	92	(100.0)		269	(100.0)	178	(100.0)	91	(100.0)	
継続年数	3年	52	(52.0)	44	(58.7)	8	(32.0)	0.002	143	(53.2)	76	(42.7)	67	<0.001	
	2年	28	(28.0)	22	(29.3)	6	(24.0)		117	(43.5)	97	(54.5)	20		(22.0)
	1年	20	(20.0)	9	(12.0)	11	(44.0)		9	(3.3)	5	(2.8)	4		(4.4)
	計	48	(100.0)	31	(100.0)	17	(100.0)		260	(100.0)	173	(100.0)	87		(100.0)
運動種目	水泳	4	(4.0)	2	(2.7)	2	(8.0)	<0.001	5	(1.9)	3	(1.7)	2	(2.2)	<0.001
	身体活動系スポーツ	17	(17.2)	5	(6.8)	12	(48.0)		19	(7.1)	12	(6.7)	7	(7.7)	
	ネット型スポーツ	3	(3.0)	1	(1.4)	2	(8.0)		10	(3.7)	4	(2.2)	6	(6.6)	
	ゴール型スポーツ	42	(42.4)	42	(56.8)	0	(0.0)		34	(12.6)	30	(16.9)	4	(4.4)	
	ベースボール型スポーツ	24	(24.2)	20	(27.0)	4	(16.0)		6	(2.2)	6	(3.4)	0	(0.0)	
	武道	5	(5.1)	0	(0.0)	5	(20.0)		46	(17.1)	28	(15.7)	18	(19.8)	
	ダンス型	4	(4.0)	4	(5.4)	0	(0.0)		41	(15.2)	0	(0.0)	41	(45.1)	
	その他	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)		108	(40.1)	95	(53.4)	13	(14.3)	
	計	99	(100.0)	74	(100.0)	25	(100.0)		269	(100.0)	178	(100.0)	91	(100.0)	
運動頻度	ほぼ毎日	11	(11.0)	11	(14.7)	0	(0.0)	0.092	44	(16.4)	20	(11.2)	24	(26.4)	0.001
	週4、5回	44	(44.0)	30	(40.0)	14	(56.0)		183	(68.0)	124	(69.7)	59	(64.8)	
	週2、3回	45	(45.0)	34	(45.3)	11	(44.0)		41	(15.2)	34	(19.1)	7	(7.7)	
	週1回	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)		1	(0.4)	0	(0.0)	1	(1.1)	
	計	100	(100.0)	75	(100.0)	25	(100.0)		269	(100.0)	178	(100.0)	91	(100.0)	
運動場所	学校内	20	(31.7)	18	(36.7)	2	(14.3)	0.112	67	(27.8)	37	(22.0)	30	(41.1)	0.002
	学校以外	43	(68.3)	31	(63.3)	12	(85.7)		174	(72.2)	131	(78.0)	43	(58.9)	
	計	63	(100.0)	49	(100.0)	14	(100.0)		241	(100.0)	168	(100.0)	73	(100.0)	

群間の比較は、 χ^2 を用いた。
欠損値有り。

表 2-10. 現在の運動状況＜韓国＞

		一般大						体育大							
		全体		男子		女子		p値	全体		男子		女子		p値
		n	%	n	%	n	%		n	%	n	%	n	%	
運動実施	有り	93	(40.1)	64	(45.7)	29	(31.5)	0.031	203	(74.9)	136	(75.6)	67	(73.6)	0.729
	なし	139	(59.9)	76	(54.3)	63	(68.5)		68	(25.1)	44	(24.4)	24	(26.4)	
	計	232	(100.0)	140	(100.0)	92	(100.0)		271	(100.0)	180	(100.0)	91	(100.0)	
継続年数	1年以上	76	(81.8)	53	(82.8)	23	(79.3)	0.876	105	(51.7)	67	(49.3)	38	(56.6)	0.156
	1年以下	17	(18.3)	11	(17.2)	6	(20.7)		98	(48.3)	69	(50.7)	29	(43.3)	
	計	17	(100.0)	11	(100.0)	6	(100.0)		98	(100.0)	69	(100.0)	29	(100.0)	
運動種目	水泳	4	(4.3)	1	(1.6)	3	(10.3)	0.001	12	(5.9)	10	(7.4)	2	(3.0)	<0.001
	身体活動系スポーツ	34	(36.6)	21	(32.8)	13	(44.8)		42	(20.7)	31	(22.8)	11	(16.4)	
	ネット型スポーツ	10	(10.8)	9	(14.1)	1	(3.4)		37	(18.2)	21	(15.4)	16	(23.9)	
	ゴール型スポーツ	21	(22.6)	21	(32.8)	0	(0.0)		64	(31.5)	61	(44.9)	3	(4.5)	
	ベースボール型スポーツ	1	(1.1)	1	(1.6)	0	(0.0)		3	(1.5)	3	(2.2)	0	(0.0)	
	武道	14	(15.1)	8	(12.5)	6	(20.7)		38	(18.7)	8	(5.9)	30	(44.8)	
	ダンス型	9	(9.7)	3	(4.7)	6	(20.7)		4	(2.0)	0	(0.0)	4	(6.0)	
	その他	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)		3	(1.5)	2	(1.5)	1	(1.5)	
計	93	(100.0)	64	(100.0)	29	(99.9)	203	(100.0)	136	(100.0)	67	(100.0)			
運動頻度	ほぼ毎日	8	(8.7)	6	(9.5)	2	(6.9)	0.215	15	(7.4)	5	(3.7)	10	(14.9)	0.007
	週4、5回	49	(53.3)	29	(46.0)	20	(69.0)		86	(42.4)	54	(39.7)	32	(47.8)	
	週2、3回	22	(23.9)	17	(27.0)	5	(17.2)		55	(27.1)	40	(29.4)	15	(22.4)	
	週1回	13	(14.1)	11	(17.5)	2	(6.9)		47	(23.2)	37	(27.2)	10	(14.9)	
	計	92	(100.0)	63	(100.0)	29	(100.0)		203	(100.0)	136	(100.0)	67	(100.0)	
活動場所	学校内	12	(24.0)	12	(31.6)	0	(0.0)	0.026	34	(43.0)	20	(42.6)	14	(43.8)	0.916
	学校以外	38	(76.0)	26	(68.4)	12	(100.0)		45	(57.0)	27	(57.4)	18	(56.3)	
	計	50	(100.0)	38	(100.0)	12	(100.0)		79	(100.0)	47	(100.0)	32	(100.0)	

群間の比較は、 χ^2 を用いた。
欠損値有り。

表 2-11. 運動の継続の状況<日本の一般大>

	小学校						中学校			高校			現在	運動継続状況	全体		男子		女子	
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3	有り/ なし		n=721 ^{注)}	%	n=235	%	n=486	%
運動継続群														小学1から現在まで継続	28	(3.9)	13	(5.5)	15	(3.1)
														小学3から現在まで継続	10	(1.4)	6	(2.6)	4	(0.8)
														小学4から現在まで継続	10	(1.4)	6	(2.6)	4	(0.8)
														小学5から現在まで継続	3	(0.4)	1	(0.4)	2	(0.4)
														小学6から現在まで継続	6	(0.8)	6	(2.6)	0	(0.0)
														中学から現在まで継続	16	(2.2)	6	(2.6)	10	(2.1)
														高校から現在まで継続	5	(0.7)	2	(0.9)	3	(0.6)
(途中離脱後) 再開群														現在運動有りが、小中高のどこかで 離脱	30	(4.2)	14	(6.0)	16	(3.3)
														現在運動有りで、小中は運動有りが、 高校運動中止	43	(6.0)	19	(8.1)	24	(4.9)
														現在運動有りで、小学運動有りが、中 高運動中止	14	(1.9)	6	(2.6)	8	(1.6)
														現在運動有りで、小高運動有りが、中 学時運動なし	7	(1.0)	3	(1.3)	4	(0.8)
														現在運動有りで、小(なし)中(有orなし) 高(有orなし)	24	(3.3)	7	(3.0)	17	(3.5)
運動中止群														現在運動なしで、小高時は運動有りが、 中学時中止	5	(0.7)	1	(0.4)	4	(0.8)
														現在運動なしで、小学時運動経験な いが、中高時運動有り	64	(8.9)	23	(9.8)	41	(8.4)
														小学で中止	94	(13.0)	15	(6.4)	79	(16.3)
														中学で中止	160	(22.2)	32	(13.6)	128	(26.3)
														高校で中止	201	(27.9)	74	(31.5)	127	(26.1)
現在のみ運動有り														現在のみ運動有り	1	(0.1)	1	(0.4)	0	(0.0)

注) 性別に欠損値有り。

表 2-12. 運動継続状況＜日本の体育大＞

	小学校						中学校			高校			現在	運動継続状況	全体		男子		女子	
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3	有り/ なし		n=718	%	n=627	%	n=91	%
運動継続群													→	小学1 から現在まで継続	299	(41.6)	261	(41.6)	38	(41.8)
													→	小学2から現在まで継続	51	(7.1)	44	(7.0)	7	(7.7)
													→	小学3から現在まで継続	69	(9.6)	65	(10.4)	4	(4.4)
													→	小学4から現在まで継続	67	(9.3)	60	(9.6)	7	(7.7)
													→	小学5から現在まで継続	35	(4.9)	28	(4.5)	7	(7.7)
													→	小学6から現在まで継続	4	(0.6)	4	(0.6)	0	(0.0)
													→	中学から現在まで継続	40	(5.6)	34	(5.4)	6	(6.6)
													→	高校から現在まで継続	3	(0.4)	3	(0.5)	0	(0.0)
(途中離脱後) 再開群													→	現在運動有りで、小中高のどこかで離脱	108	(15.0)	94	(15.0)	14	(15.4)
													→							
													→							
													→							
運動中止群													→	現在運動有りで、小学時運動なしが、 中高運動有り	6	(0.8)	3	(0.5)	3	(3.3)
													→	現在運動有りで、小高運動有りが、中 学時運動なし	19	(2.6)	19	(3.0)	0	(0.0)
													→	現在運動なしで、小高時は運動有り が、中学時に中止	3	(0.4)	3	(0.5)	0	(0.0)
													→	現在運動なしで、中高運動有りのみ	1	(0.1)	1	(0.2)	0	(0.0)
													→	高校で中止	13	(1.8)	8	(1.3)	5	(5.5)

表 2-13. 運動継続の状況＜韓国的一般大＞

	小学校						中学校			高校			現在	運動継続状況	全体		男子		女子	
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3	有り/ なし		n=232	%	n=140	%	n=92	%
運動継続群													→	小学1から現在まで継続	8	(3.4)	8	(5.7)	0	(0.0)
													→	小学2から現在まで継続	3	(1.3)	3	(2.1)	0	(0.0)
													→	小学4から現在まで継続	1	(0.4)	1	(0.7)	0	(0.0)
													→	小学5から現在まで継続	2	(0.9)	2	(1.4)	0	(0.0)
													→	中学から現在まで継続	2	(0.9)	2	(1.4)	0	(0.0)
													→	高校から現在まで継続	6	(2.6)	3	(2.1)	3	(3.3)
(途中離脱後) 再開群													→	現在運動有りが、小中高のどこかで離脱	27	(11.6)	21	(15.0)	6	(6.5)
													→	現在運動有りで、小中時は運動有りが、高校中止	10	(4.3)	7	(5.0)	3	(3.3)
													→	現在運動有りで、小学運動有りが、中高中止	11	(4.7)	6	(4.3)	5	(5.4)
													→	現在運動有りで、小高運動有りが、中学時運動なし	14	(6.0)	11	(7.9)	3	(3.3)
													→	現在運動有りで、小学時は運動経験がないが、中高運動有り	3	(1.3)	2	(1.4)	1	(1.1)
													→	現在運動有りで、小(なし)中(有orなし)高(有orなし)	7	(3.0)	6	(4.3)	1	(1.1)
													→	現在運動なしで、小高時は運動有りが、中学時中止	6	(2.6)	2	(1.4)	4	(4.3)
運動中止群													→	現在運動なしで、小学時動経験がないが、中高時運動有り	1	(0.4)	1	(0.7)	0	(0.0)
													→	小学校で中止	52	(22.4)	26	(18.6)	26	(28.3)
													→	中学校で中止	27	(11.6)	10	(7.1)	17	(18.5)
													→	高校で中止	31	(13.4)	18	(12.9)	13	(14.1)
現在のみ運動有り													→	現在のみ運動有り	21	(9.1)	11	(7.9)	10	(10.9)

表 2-14. 運動継続の状況＜韓国の体育大＞

	小学校						中学校			高校			現在	運動継続状況	全体		男子		女子	
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3	有り/ なし		n=271	%	n=180	%	n=91	%
運動継続群														小学1から現在まで継続	5	(1.8)	4	(2.2)	1	(1.1)
														小学3から現在まで継続	4	(1.5)	2	(1.1)	2	(2.2)
														小学4から現在まで継続	5	(1.8)	4	(2.2)	1	(1.1)
														小学5から現在まで継続	7	(2.6)	2	(1.1)	5	(5.5)
														小学6から現在まで継続	4	(1.5)	2	(1.1)	2	(2.2)
														中学から現在まで継続	16	(5.9)	12	(6.7)	4	(4.4)
														高校から現在まで継続	16	(5.9)	9	(5.0)	7	(7.7)
(途中離脱後) 再開群																(27.3)		(22.2)		(37.4)
														現在運動有りが、小中高のどこかで 離脱	74	(0.0)	40	(0.0)	34	(0.0)
																(0.0)		(0.0)		(0.0)
														現在運動有りで、小高運動有りが、 中学中止	38	(14.0)	32	(17.8)	6	(6.6)
														現在運動有りで、小(なし)中(有orなし) 高(有orなし)	22	(8.1)	15	(8.3)	7	(7.7)
運動中止群														現在運動有りで、小学時は運動経験 ないが、中高運動有り	26	(9.6)	23	(12.8)	3	(3.3)
														現在運動なしで、小高時は運動有り が、中学時中止	9	(3.3)	5	(2.8)	4	(4.4)
														現在運動なしで、小学時運動経験な いが、中高時運動有り	10	(3.7)	6	(3.3)	4	(4.4)
														高校で中止	35	(12.9)	24	(13.3)	11	(12.1)

表 2-15. 運動継続要因<日本>

		一般大							体育大						
		性別	n	とても	まあまあ	あまり	まったく	p値	n	とても	まあまあ	あまり	まったく	p値	
心理的影響	運動が好きだった	男子	235	133 (56.6)	73 (31.1)	26 (11.1)	3 (1.3)	<0.001	627	513 (81.8)	106 (16.9)	7 (1.1)	1 (0.2)	0.130	
		女子	486	191 (39.3)	216 (44.4)	73 (15.0)	6 (1.2)		91	69 (75.8)	17 (18.7)	5 (5.5)	0 (0.0)		
	運動が楽しかった	男子	235	145 (61.7)	66 (28.1)	22 (9.4)	2 (0.9)	0.001	627	515 (82.1)	105 (16.7)	6 (1.0)	1 (0.2)	0.248	
		女子	486	225 (46.3)	217 (44.7)	41 (8.4)	3 (0.6)		91	71 (78.0)	14 (15.4)	6 (6.6)	0 (0.0)		
	将来までずっと続けたい	男子	235	43 (18.3)	79 (33.6)	83 (35.3)	30 (12.8)	<0.001	627	350 (55.8)	199 (31.7)	64 (10.2)	14 (2.2)	0.029	
		女子	486	51 (10.5)	102 (21.0)	238 (49.0)	95 (19.5)		91	41 (45.1)	31 (34.1)	19 (20.9)	0 (0.0)		
	スポーツ関係の仕事につきたい	男子	235	15 (6.4)	37 (15.7)	83 (35.3)	100 (42.6)	<0.001	627	270 (43.1)	239 (38.1)	94 (15.0)	24 (3.8)	0.517	
		女子	485	11 (2.3)	36 (7.4)	170 (35.1)	268 (55.3)		91	37 (40.7)	33 (36.3)	19 (20.9)	2 (2.2)		
	好きなスポーツ選手がいた	男子	233	26 (11.2)	33 (14.2)	85 (36.5)	89 (38.2)	<0.001	627	204 (32.5)	201 (32.1)	173 (27.6)	49 (7.8)	<0.001	
		女子	485	17 (3.5)	51 (10.5)	163 (33.6)	254 (52.4)		90	13 (14.4)	16 (17.8)	44 (48.9)	17 (18.9)		
	もともと運動に素質があった	男子	235	31 (13.2)	62 (26.4)	98 (41.7)	44 (18.7)	0.017	627	211 (33.7)	245 (39.1)	145 (23.1)	26 (4.1)	0.063	
		女子	486	51 (10.5)	116 (23.9)	181 (37.2)	138 (28.4)		91	26 (28.6)	29 (31.9)	32 (35.2)	4 (4.4)		
	友人より優れた運動能力がある	男子	235	14 (6.0)	50 (21.3)	102 (43.4)	69 (29.4)	<0.001	627	109 (17.4)	194 (30.9)	272 (43.4)	52 (8.3)	0.002	
		女子	486	11 (2.3)	48 (9.9)	212 (43.6)	215 (44.2)		91	9 (9.9)	21 (23.1)	47 (51.6)	14 (15.4)		
	自分には最後までやりとげる力がある	男子	235	40 (17.0)	65 (27.7)	86 (36.6)	44 (18.7)	0.529	627	184 (29.3)	275 (43.9)	147 (23.4)	21 (3.3)	0.293	
		女子	486	53 (10.9)	152 (31.3)	204 (42.0)	77 (15.8)		91	23 (25.3)	39 (42.9)	26 (28.6)	3 (3.3)		
身体的影響	継続すれば技術や記録が伸びる	男子	235	67 (28.5)	113 (48.1)	38 (16.2)	17 (7.2)	0.111	627	320 (51.0)	241 (38.4)	59 (9.4)	7 (1.1)	0.550	
		女子	486	98 (20.2)	271 (55.8)	85 (17.5)	32 (6.6)		91	43 (47.3)	38 (41.8)	10 (11.0)	0 (0.0)		
	少し難しい運動でも努力すればできる	男子	235	62 (26.4)	122 (51.9)	36 (15.3)	15 (6.4)	0.017	627	323 (51.5)	253 (40.4)	47 (7.5)	4 (0.6)	0.237	
		女子	486	85 (17.5)	272 (56.0)	105 (21.6)	24 (4.9)		91	42 (46.2)	38 (41.8)	10 (11.0)	1 (1.1)		
	やり通した時に大きな満足感を感じる	男子	235	102 (43.4)	98 (41.7)	21 (8.9)	14 (6.0)	0.505	627	417 (66.5)	176 (28.1)	30 (4.8)	4 (0.6)	0.420	
		女子	486	193 (39.7)	220 (45.3)	57 (11.7)	16 (3.3)		91	65 (71.4)	20 (22.0)	6 (6.6)	0 (0.0)		
	達成感が大きな自信に繋がる	男子	235	94 (40.0)	96 (40.9)	32 (13.6)	13 (5.5)	0.700	624	414 (66.3)	173 (27.7)	32 (5.1)	5 (0.8)	0.233	
		女子	486	184 (37.9)	234 (48.1)	55 (11.3)	13 (2.7)		91	66 (72.5)	21 (23.1)	4 (4.4)	0 (0.0)		
	健康になった	男子	235	53 (22.6)	99 (42.1)	63 (26.8)	20 (8.5)	0.458	625	209 (33.4)	268 (42.9)	127 (20.3)	21 (3.4)	0.020	
		女子	486	102 (21.0)	231 (47.5)	133 (27.4)	20 (4.1)		91	20 (22.0)	42 (46.2)	25 (27.5)	4 (4.4)		
	健康が維持できた	男子	235	57 (24.3)	99 (42.1)	61 (26.0)	18 (7.7)	0.719	627	234 (37.3)	266 (42.4)	110 (17.5)	17 (2.7)	0.007	
		女子	486	99 (20.4)	245 (50.4)	121 (24.9)	21 (4.3)		91	24 (26.4)	38 (41.8)	24 (26.4)	5 (5.5)		
	疲れにくくなった	男子	235	43 (18.3)	81 (34.5)	86 (36.6)	25 (10.6)	0.511	627	149 (23.8)	242 (38.6)	180 (28.7)	56 (8.9)	<0.001	
		女子	486	58 (11.9)	189 (38.9)	207 (42.6)	32 (6.6)		91	12 (13.2)	24 (26.4)	46 (50.5)	9 (9.9)		
	ストレス解消になった	男子	235	93 (39.6)	101 (43.0)	28 (11.9)	13 (5.5)	0.053	627	225 (35.9)	242 (38.6)	130 (20.7)	30 (4.8)	0.146	
		女子	486	157 (32.3)	222 (45.7)	87 (17.9)	20 (4.1)		91	29 (31.9)	30 (33.0)	27 (29.7)	5 (5.5)		
	運動技術が向上した	男子	235	83 (35.3)	108 (46.0)	34 (14.5)	10 (4.3)	0.045	627	359 (57.3)	225 (35.9)	41 (6.5)	2 (0.3)	0.062	
		女子	486	144 (29.6)	220 (45.3)	99 (20.4)	23 (4.7)		91	43 (47.3)	39 (42.9)	8 (8.8)	1 (1.1)		
	ダイエットになった	男子	235	30 (12.8)	54 (23.0)	85 (36.2)	66 (28.1)	<0.001	627	95 (15.2)	198 (31.6)	228 (36.4)	106 (16.9)	0.458	
		女子	486	76 (15.6)	145 (29.8)	209 (43.0)	56 (11.5)		91	11 (12.1)	27 (29.7)	38 (41.8)	15 (16.5)		

		一般大							体育大						
		性別	n	とても	まあまあ	あまり	まったく	p値	n	とても	まあまあ	あまり	まったく	p値	
	体型が美しくなった	男子	235	26 (11.1)	50 (21.3)	97 (41.3)	62 (26.4)	0.751	627	92 (14.7)	179 (28.5)	249 (39.7)	107 (17.1)	0.046	
		女子	486	37 (7.6)	98 (20.2)	261 (53.7)	90 (18.5)		91	7 (7.7)	22 (24.2)	44 (48.4)	18 (19.8)		
	体力がついた	男子	235	86 (36.6)	103 (43.8)	24 (10.2)	22 (9.4)	0.430	627	330 (52.6)	246 (39.2)	43 (6.9)	8 (1.3)	0.089	
		女子	485	139 (28.7)	265 (54.6)	68 (14.0)	13 (2.7)		91	41 (45.1)	37 (40.7)	11 (12.1)	2 (2.2)		
社会的影響	コミュニケーション能力が向上になった	男子	235	57 (24.3)	84 (35.7)	58 (24.7)	36 (15.3)	0.107	627	270 (43.1)	261 (41.6)	81 (12.9)	15 (2.4)	0.020	
		女子	486	81 (16.7)	175 (36.0)	179 (36.8)	51 (10.5)		91	26 (28.6)	48 (52.7)	16 (17.6)	1 (1.1)		
	家族(父、母、兄弟姉妹)と一緒にだった	男子	235	18 (7.7)	38 (16.2)	71 (30.2)	108 (46.0)	0.358	627	89 (14.2)	180 (28.7)	221 (35.2)	137 (21.9)	0.002	
		女子	486	40 (8.2)	94 (19.3)	142 (29.2)	210 (43.2)		91	10 (11.0)	17 (18.7)	29 (31.9)	35 (38.5)		
	親がそのスポーツを好きだった	男子	235	23 (9.8)	37 (15.7)	66 (28.1)	109 (46.4)	0.575	627	126 (20.1)	179 (28.5)	190 (30.3)	132 (21.1)	0.043	
		女子	486	40 (8.2)	68 (14.0)	149 (30.7)	229 (47.1)		91	12 (13.2)	23 (25.3)	31 (34.1)	25 (27.5)		
	運動について親にほめられたことがあった	男子	235	21 (8.9)	51 (21.7)	77 (32.8)	86 (36.6)	0.438	627	123 (19.6)	204 (32.5)	208 (33.2)	92 (14.7)	0.675	
		女子	486	42 (8.6)	128 (26.3)	146 (30.0)	170 (35.0)		91	17 (18.7)	28 (30.8)	32 (35.2)	14 (15.4)		
	親の励ましやサポートがあった	男子	235	50 (21.3)	68 (28.9)	57 (24.3)	60 (25.5)	0.317	627	297 (47.4)	219 (34.9)	77 (12.3)	34 (5.4)	0.125	
		女子	486	85 (17.5)	196 (40.3)	103 (21.2)	102 (21.0)		91	51 (56.0)	27 (29.7)	10 (11.0)	3 (3.3)		
	友達をつくることができた	男子	235	83 (35.3)	99 (42.1)	37 (15.7)	16 (6.8)	0.825	626	329 (52.6)	232 (37.1)	52 (8.3)	13 (2.1)	0.866	
		女子	485	167 (34.4)	207 (42.7)	72 (14.8)	39 (8.0)		91	49 (53.8)	32 (35.2)	9 (9.9)	1 (1.1)		
	友達にいじめられたくなかった	男子	235	12 (5.1)	22 (9.4)	68 (28.9)	133 (56.6)	0.063	626	48 (7.7)	68 (10.9)	189 (30.2)	321 (51.3)	0.240	
		女子	485	13 (2.7)	22 (4.5)	150 (30.9)	300 (61.9)		91	5 (5.5)	4 (4.4)	32 (35.2)	50 (54.9)		
	友達がみんな運動するから	男子	235	31 (13.2)	70 (29.8)	74 (31.5)	60 (25.5)	0.006	627	117 (18.7)	181 (28.9)	178 (28.4)	151 (24.1)	0.002	
		女子	486	37 (7.6)	109 (22.4)	202 (41.6)	138 (28.4)		91	9 (9.9)	18 (19.8)	34 (37.4)	30 (33.0)		
	友達と一緒にスポーツをしていた	男子	235	43 (18.3)	101 (43.0)	52 (22.1)	39 (16.6)	0.819	627	181 (28.9)	209 (33.3)	136 (21.7)	101 (16.1)	0.011	
		女子	486	99 (20.4)	185 (38.1)	116 (23.9)	86 (17.7)		91	13 (14.3)	34 (37.4)	27 (29.7)	17 (18.7)		
	運動について友達にほめられたことがあった	男子	235	27 (11.5)	63 (26.8)	85 (36.2)	60 (25.5)	0.196	627	146 (23.3)	215 (34.3)	183 (29.2)	83 (13.2)	0.005	
		女子	486	38 (7.8)	126 (25.9)	187 (38.5)	135 (27.8)		91	11 (12.1)	28 (30.8)	36 (39.6)	16 (17.6)		
	友達の応援があった	男子	235	35 (14.9)	79 (33.6)	77 (32.8)	44 (18.7)	0.247	627	241 (38.4)	241 (38.4)	100 (15.9)	45 (7.2)	0.287	
		女子	486	89 (18.3)	172 (35.4)	134 (27.6)	91 (18.7)		91	37 (40.7)	39 (42.9)	13 (14.3)	2 (2.2)		
	体育先生や運動コーチの指導や激励があった	男子	232	55 (23.7)	69 (29.7)	55 (23.7)	53 (22.8)	0.985	627	305 (48.6)	212 (33.8)	79 (12.6)	31 (4.9)	0.184	
		女子	482	96 (19.9)	176 (36.5)	110 (22.8)	100 (20.7)		91	50 (54.9)	29 (31.9)	11 (12.1)	1 (1.1)		
環境的影響	運動する場所が近かった	男子	235	31 (13.2)	86 (36.6)	75 (31.9)	43 (18.3)	0.057	627	150 (23.9)	197 (31.4)	193 (30.8)	87 (13.9)	0.032	
		女子	486	74 (15.2)	205 (42.2)	138 (28.4)	69 (14.2)		91	16 (17.6)	21 (23.1)	40 (44.0)	14 (15.4)		
	施設が快適で運動ができた	男子	235	43 (18.3)	69 (29.4)	85 (36.2)	38 (16.2)	0.369	627	175 (27.9)	224 (35.7)	160 (25.5)	68 (10.8)	0.032	
		女子	486	74 (15.2)	186 (38.3)	162 (33.3)	64 (13.2)		91	20 (22.0)	25 (27.5)	34 (37.4)	12 (13.2)		
	季節や気候にあまり影響されず運動ができた	男子	235	36 (15.3)	68 (28.9)	81 (34.5)	50 (21.3)	0.013	627	164 (26.2)	192 (30.6)	172 (27.4)	99 (15.8)	0.339	
		女子	486	85 (17.5)	185 (38.1)	137 (28.2)	79 (16.3)		91	20 (22.0)	25 (27.5)	33 (36.3)	13 (14.3)		
	送り迎えしてくれる人(車輛)がいた	男子	235	42 (17.9)	59 (25.1)	70 (29.8)	64 (27.2)	0.066	627	168 (26.8)	163 (26.0)	144 (23.0)	152 (24.2)	0.915	
		女子	486	90 (18.5)	160 (32.9)	131 (27.0)	105 (21.6)		91	25 (27.5)	23 (25.3)	19 (20.9)	24 (26.4)		

Mann-WhitneyのU検定を用いた。

表 2-16. 運動継続要因<韓国>

		一般大							体育大						
		性別	n	とても	まあまあ	あまり	まったく	p値	n	とても	まあまあ	あまり	まったく	p値	
心理的影響	運動が好きだった	男子	140	88 (62.9)	48 (34.3)	2 (1.4)	2 (1.4)	<0.001	180	151 (83.9)	24 (13.3)	4 (2.2)	1 (0.6)	<0.001	
		女子	92	23 (25.0)	53 (57.6)	14 (15.2)	2 (2.2)		91	52 (57.1)	33 (36.3)	6 (6.6)	0 (0.0)		
	運動が楽しかった	男子	140	88 (62.9)	50 (35.7)	0 (0.0)	2 (1.4)	<0.001	180	143 (79.4)	33 (18.3)	3 (1.7)	1 (0.6)	<0.001	
		女子	91	29 (31.9)	48 (52.7)	13 (14.3)	1 (1.1)		91	52 (57.1)	34 (37.4)	5 (5.5)	0 (0.0)		
	将来までずっと続けたい	男子	139	43 (30.9)	41 (29.5)	40 (28.8)	15 (10.8)	<0.001	180	105 (58.3)	56 (31.1)	18 (10.0)	1 (0.6)	0.002	
		女子	92	7 (7.6)	32 (34.8)	39 (42.4)	14 (15.2)		91	36 (39.6)	38 (41.8)	14 (15.4)	3 (3.3)		
	スポーツ関係の仕事につきたい	男子	140	11 (7.9)	24 (17.1)	61 (43.6)	44 (31.4)	0.148	180	88 (48.9)	58 (32.2)	28 (15.6)	6 (3.3)	0.003	
		女子	91	4 (4.4)	17 (18.7)	31 (34.1)	39 (42.9)		91	29 (31.9)	33 (36.3)	24 (26.4)	5 (5.5)		
	好きなスポーツ選手がいた	男子	140	28 (20.0)	28 (20.0)	49 (35.0)	35 (25.0)	0.001	179	78 (43.6)	49 (27.4)	37 (20.7)	15 (8.4)	<0.001	
		女子	92	6 (6.5)	16 (17.4)	32 (34.8)	38 (41.3)		91	12 (13.2)	26 (28.6)	37 (40.7)	16 (17.6)		
	もともと運動に素質があった	男子	139	33 (23.7)	39 (28.1)	43 (30.9)	24 (17.3)	0.046	180	82 (45.6)	72 (40.0)	18 (10.0)	8 (4.4)	<0.001	
		女子	92	9 (9.8)	30 (32.6)	33 (35.9)	20 (21.7)		91	23 (25.3)	38 (41.8)	25 (27.5)	5 (5.5)		
	友人より優れた運動能力がある	男子	140	29 (20.7)	36 (25.7)	49 (35.0)	26 (18.6)	0.077	180	85 (47.2)	58 (32.2)	28 (15.6)	9 (5.0)	<0.001	
		女子	92	4 (4.3)	32 (34.8)	37 (40.2)	19 (20.7)		91	17 (18.7)	42 (46.2)	23 (25.3)	9 (9.9)		
	自分には最後までやりとげる力がある	男子	140	40 (28.6)	43 (30.7)	45 (32.1)	12 (8.6)	0.010	180	76 (42.2)	82 (45.6)	17 (9.4)	5 (2.8)	0.001	
		女子	91	4 (4.4)	44 (48.4)	34 (37.4)	9 (9.9)		90	23 (25.6)	42 (46.7)	22 (24.4)	3 (3.3)		
継続すれば技術や記録が伸びる	男子	140	46 (32.9)	50 (35.7)	34 (24.3)	10 (7.1)	0.002	180	94 (52.2)	66 (36.7)	14 (7.8)	6 (3.3)	0.007		
	女子	92	11 (12.0)	41 (44.6)	28 (30.4)	12 (13.0)		91	32 (35.2)	42 (46.2)	15 (16.5)	2 (2.2)			
少し難しい運動でも努力すればできる	男子	140	52 (37.1)	58 (41.4)	26 (18.6)	4 (2.9)	<0.001	180	97 (53.9)	68 (37.8)	8 (4.4)	7 (3.9)	0.005		
	女子	92	16 (17.4)	42 (45.7)	26 (28.3)	8 (8.7)		91	32 (35.2)	47 (51.6)	12 (13.2)	0 (0.0)			
やり通した時に大きな満足感を感じる	男子	140	65 (46.4)	52 (37.1)	20 (14.3)	3 (2.1)	<0.001	180	98 (54.4)	60 (33.3)	19 (10.6)	3 (1.7)	0.009		
	女子	92	19 (20.7)	46 (50.0)	20 (21.7)	7 (7.6)		91	33 (36.3)	43 (47.3)	15 (16.5)	0 (0.0)			
達成感が大きな自信に繋がる	男子	138	63 (45.7)	52 (37.7)	18 (13.0)	5 (3.6)	<0.001	179	109 (60.9)	58 (32.4)	10 (5.6)	2 (1.1)	<0.001		
	女子	92	17 (18.5)	49 (53.3)	18 (19.6)	8 (8.7)		91	32 (35.2)	36 (39.6)	22 (24.2)	1 (1.1)			
身体的影響	健康になった	男子	140	69 (49.3)	59 (42.1)	10 (7.1)	2 (1.4)	0.003	179	118 (65.9)	43 (24.0)	10 (5.6)	8 (4.5)	<0.001	
		女子	92	30 (32.6)	44 (47.8)	13 (14.1)	5 (5.4)		91	28 (30.8)	42 (46.2)	19 (20.9)	2 (2.2)		
	健康が維持できた	男子	140	69 (49.3)	62 (44.3)	8 (5.7)	1 (0.7)	<0.001	180	116 (64.4)	49 (27.2)	13 (7.2)	2 (1.1)	<0.001	
		女子	92	28 (30.4)	44 (47.8)	14 (15.2)	6 (6.5)		91	29 (31.9)	45 (49.5)	15 (16.5)	2 (2.2)		
	疲れにくくなった	男子	140	44 (31.4)	56 (40.0)	38 (27.1)	2 (1.4)	0.189	180	84 (46.7)	63 (35.0)	30 (16.7)	3 (1.7)	<0.001	
		女子	92	19 (20.7)	47 (51.1)	18 (19.6)	8 (8.7)		91	17 (18.7)	39 (42.9)	29 (31.9)	6 (6.6)		
	ストレス解消になった	男子	140	76 (54.3)	52 (37.1)	10 (7.1)	2 (1.4)	<0.001	179	108 (60.3)	56 (31.3)	13 (7.3)	2 (1.1)	<0.001	
		女子	92	22 (23.9)	49 (53.3)	20 (21.7)	1 (1.1)		91	27 (29.7)	43 (47.3)	18 (19.8)	3 (3.3)		
	運動技術が向上した	男子	138	58 (42.0)	53 (38.4)	24 (17.4)	3 (2.2)	0.001	180	127 (70.6)	38 (21.1)	12 (6.7)	3 (1.7)	<0.001	
		女子	92	19 (20.7)	43 (46.7)	26 (28.3)	4 (4.3)		91	27 (29.7)	47 (51.6)	15 (16.5)	2 (2.2)		
	ダイエットになった	男子	139	41 (29.5)	43 (30.9)	37 (26.6)	18 (12.9)	0.098	180	92 (51.1)	51 (28.3)	30 (16.7)	7 (3.9)	0.009	
		女子	92	24 (26.1)	49 (53.3)	15 (16.3)	4 (4.3)		91	29 (31.9)	37 (40.7)	23 (25.3)	2 (2.2)		

		一般大							体育大						
		性別	n	とても	まあまあ	あまり	まったく	p値	n	とても	まあまあ	あまり	まったく	p値	
	体型が美しくなった	男子	140	41 (29.3)	44 (31.4)	40 (28.6)	15 (10.7)	0.411	180	98 (54.4)	54 (30.0)	23 (12.8)	5 (2.8)	<0.001	
		女子	92	22 (23.9)	45 (48.9)	20 (21.7)	5 (5.4)		91	27 (29.7)	37 (40.7)	25 (27.5)	2 (2.2)		
	体力がついた	男子	140	63 (45.0)	62 (44.3)	14 (10.0)	1 (0.7)	<0.001	179	130 (72.6)	40 (22.3)	6 (3.4)	3 (1.7)	<0.001	
		女子	92	18 (19.6)	48 (52.2)	20 (21.7)	6 (6.5)		91	35 (38.5)	41 (45.1)	13 (14.3)	2 (2.2)		
社会的影響	コミュニケーション能力が向上になった	男子	140	46 (32.9)	53 (37.9)	34 (24.3)	7 (5.0)	<0.001	180	110 (61.1)	47 (26.1)	21 (11.7)	2 (1.1)	<0.001	
		女子	92	7 (7.6)	45 (48.9)	32 (34.8)	8 (8.7)		91	21 (23.1)	43 (47.3)	24 (26.4)	3 (3.3)		
	家族(父、母、兄弟姉妹)と一緒にだった	男子	139	16 (11.5)	22 (15.8)	66 (47.5)	35 (25.2)	0.017	179	36 (20.1)	48 (26.8)	65 (36.3)	30 (16.8)	0.172	
		女子	92	12 (13.0)	31 (33.7)	32 (34.8)	17 (18.5)		91	16 (17.6)	20 (22.0)	33 (36.3)	22 (24.2)		
	親がそのスポーツを好きだった	男子	140	16 (11.4)	22 (15.7)	60 (42.9)	42 (30.0)	0.043	180	41 (22.8)	49 (27.2)	62 (34.4)	28 (15.6)	0.703	
		女子	91	9 (9.9)	28 (30.8)	36 (39.6)	18 (19.8)		91	16 (17.6)	30 (33.0)	30 (33.0)	15 (16.5)		
	運動について親にほめられたことがあった	男子	140	18 (12.9)	32 (22.9)	55 (39.3)	35 (25.0)	0.196	180	59 (32.8)	52 (28.9)	43 (23.9)	26 (14.4)	0.166	
		女子	92	10 (10.9)	34 (37.0)	29 (31.5)	19 (20.7)		91	18 (19.8)	34 (37.4)	27 (29.7)	12 (13.2)		
	親の励ましやサポートがあった	男子	140	18 (12.9)	31 (22.1)	52 (37.1)	39 (27.9)	0.015	180	65 (36.1)	61 (33.9)	31 (17.2)	23 (12.8)	0.088	
		女子	92	10 (10.9)	43 (46.7)	21 (22.8)	18 (19.6)		91	23 (25.3)	34 (37.4)	20 (22.0)	14 (15.4)		
	友達をつくることができた	男子	139	33 (23.7)	65 (46.8)	27 (19.4)	14 (10.1)	<0.001	180	79 (43.9)	69 (38.3)	26 (14.4)	6 (3.3)	<0.001	
		女子	91	5 (5.5)	35 (38.5)	33 (36.3)	18 (19.8)		91	14 (15.4)	36 (39.6)	35 (38.5)	6 (6.6)		
	友達にいじめられたくなかった	男子	138	7 (5.1)	20 (14.5)	50 (36.2)	61 (44.2)	0.828	180	37 (20.6)	39 (21.7)	49 (27.2)	55 (30.6)	0.005	
		女子	92	2 (2.2)	22 (23.9)	26 (28.3)	42 (45.7)		91	3 (3.3)	17 (18.7)	39 (42.9)	32 (35.2)		
	友達がみんな運動するから	男子	140	14 (10.0)	28 (20.0)	49 (35.0)	49 (35.0)	0.019	179	39 (21.8)	50 (27.9)	53 (29.6)	37 (20.7)	<0.001	
		女子	92	2 (2.2)	17 (18.5)	28 (30.4)	45 (48.9)		90	8 (8.9)	15 (16.7)	36 (40.0)	31 (34.4)		
	友達と一緒にスポーツをしていた	男子	139	19 (13.7)	43 (30.9)	47 (33.8)	30 (21.6)	<0.001	180	67 (37.2)	67 (37.2)	31 (17.2)	15 (8.3)	<0.001	
		女子	92	3 (3.3)	23 (25.0)	29 (31.5)	37 (40.2)		90	8 (8.9)	23 (25.6)	37 (41.1)	22 (24.4)		
	運動について友達にほめられたことがあった	男子	140	23 (16.4)	44 (31.4)	45 (32.1)	28 (20.0)	0.099	179	74 (41.3)	60 (33.5)	34 (19.0)	11 (6.1)	<0.001	
		女子	92	3 (3.3)	37 (40.2)	28 (30.4)	24 (26.1)		91	18 (19.8)	36 (39.6)	26 (28.6)	11 (12.1)		
	友達の応援があった	男子	140	25 (17.9)	32 (22.9)	53 (37.9)	30 (21.4)	0.424	180	64 (35.6)	69 (38.3)	33 (18.3)	14 (7.8)	0.001	
		女子	92	4 (4.3)	36 (39.1)	29 (31.5)	23 (25.0)		91	16 (17.6)	36 (39.6)	27 (29.7)	12 (13.2)		
	体育先生や運動コーチの指導や激励があった	男子	140	20 (14.3)	25 (17.9)	52 (37.1)	43 (30.7)	0.666	180	79 (43.9)	65 (36.1)	29 (16.1)	7 (3.9)	0.331	
		女子	92	6 (6.5)	27 (29.3)	27 (29.3)	32 (34.8)		91	36 (39.6)	32 (35.2)	17 (18.7)	6 (6.6)		
環境的影響	運動する場所が近かった	男子	140	27 (19.3)	48 (34.3)	44 (31.4)	21 (15.0)	0.962	180	54 (30.0)	67 (37.2)	44 (24.4)	15 (8.3)	0.002	
		女子	92	15 (16.3)	39 (42.4)	20 (21.7)	18 (19.6)		91	16 (17.6)	31 (34.1)	26 (28.6)	18 (19.8)		
	施設が快適で運動ができた	男子	140	32 (22.9)	39 (27.9)	50 (35.7)	19 (13.6)	0.645	180	51 (28.3)	65 (36.1)	52 (28.9)	12 (6.7)	0.013	
		女子	92	15 (16.3)	35 (38.0)	25 (27.2)	17 (18.5)		91	16 (17.6)	31 (34.1)	32 (35.2)	12 (13.2)		
	季節や気候にあまり影響されず運動ができた	男子	133	45 (33.8)	37 (27.8)	30 (22.6)	21 (15.8)	0.457	180	69 (38.3)	61 (33.9)	42 (23.3)	8 (4.4)	0.045	
		女子	88	16 (18.2)	43 (48.9)	18 (20.5)	11 (12.5)		90	22 (24.4)	37 (41.1)	26 (28.9)	5 (5.6)		
送り迎えしてくれる人(車輛)がいた	男子	140	10 (7.1)	21 (15.0)	49 (35.0)	60 (42.9)	0.001	180	44 (24.4)	45 (25.0)	51 (28.3)	40 (22.2)	0.388		
	女子	91	11 (12.1)	31 (34.1)	23 (25.3)	26 (28.6)		91	17 (18.7)	23 (25.3)	30 (33.0)	21 (23.1)			

Mann-WhitneyのU検定を用いた。

表 2-17. 運動継続要因のダミ変数

変数	カテゴリー	区分	日本				韓国			
			一般大 n=723		体育大 n=718		一般大 n=232		体育大 n=271	
運動が好きだった	非常にそう思う	高群(1点)	325	45.0	582	81.1	111	47.8	203	74.9
	まあまあそう思う		290		123		101		57	
	あまりそう思わない	低群(0点)	99	55.0	12	18.9	16	52.2	10	25.1
	全然そう思わない		9		1		4		1	
運動が楽しかった	非常にそう思う	高群(1点)	371	51.3	586	81.6	117	50.4	195	72.0
	まあまあそう思う		284		119		98		67	
	あまりそう思わない	低群(0点)	63	48.7	12	18.4	13	49.1	8	28.0
	全然そう思わない		5		1		3		1	
将来までずっと続けたい	非常にそう思う	高群(1点)	94	38.0	391	86.5	50	53.0	141	86.7
	まあまあそう思う		181		230		73		94	
	あまりそう思わない	低群(0点)	323	62.0	83	13.5	79	46.6	32	13.3
	全然そう思わない		125		14		29		4	
スポーツ関係の仕事につきたい	非常にそう思う	高群(1点)	26	13.7	307	80.6	15	24.1	117	76.8
	まあまあそう思う		73		272		41		91	
	あまりそう思わない	低群(0点)	254	86.2	113	19.4	92	75.4	52	23.2
	全然そう思わない		369		26		83		11	
好きなスポーツ選手がいた	非常にそう思う	高群(1点)	43	17.6	217	60.4	34	33.6	90	60.9
	まあまあそう思う		84		217		44		75	
	あまりそう思わない	低群(0点)	249	82.0	217	39.4	81	66.4	74	38.7
	全然そう思わない		344		66		73		31	
もともと運動に素質があった	非常にそう思う	高群(1点)	83	36.1	237	71.2	42	47.8	105	79.3
	まあまあそう思う		178		274		69		110	
	あまりそう思わない	低群(0点)	279	63.9	177	28.8	76	51.7	43	20.7
	全然そう思わない		183		30		44		13	
友人より優れた運動能力がある	非常にそう思う	高群(1点)	25	17.0	118	46.4	33	43.5	102	74.5
	まあまあそう思う		98		215		68		100	
	あまりそう思わない	低群(0点)	315	83.0	319	53.6	86	56.5	51	25.5
	全然そう思わない		285		66		45		18	
自分には最後までやりとげる力がある	非常にそう思う	高群(1点)	93	42.9	207	72.6	44	56.5	99	82.3
	まあまあそう思う		217		314		87		124	
	あまりそう思わない	低群(0点)	290	57.1	173	27.4	79	43.1	39	17.3
	全然そう思わない		123		24		21		8	
継続すれば技術や記録が伸びる	非常にそう思う	高群(1点)	165	22.8	363	50.6	57	24.6	126	46.5
	まあまあそう思う		385		279		91		108	
	あまりそう思わない	低群(0点)	123	77.2	69	49.4	62	75.4	29	53.5
	全然そう思わない		50		7		22		8	
少し難しい運動でも、努力すればできる	非常にそう思う	高群(1点)	147	20.3	365	50.8	68	29.3	129	47.6
	まあまあそう思う		395		291		100		115	
	あまりそう思わない	低群(0点)	141	79.7	57	49.2	52	70.7	20	52.4
	全然そう思わない		40		5		12		7	
やり通した時に大きな満足感を感じる	非常にそう思う	高群(1点)	295	40.8	482	67.1	84	36.2	131	48.3
	まあまあそう思う		319		196		98		103	
	あまりそう思わない	低群(0点)	78	59.2	36	32.9	40	63.8	34	51.7
	全然そう思わない		31		4		10		3	
達成感が大きな自信に繋がる	非常にそう思う	高群(1点)	278	38.5	480	66.9	80	34.5	141	52.0
	まあまあそう思う		330		194		101		94	
	あまりそう思わない	低群(0点)	88	61.5	36	32.7	36	64.7	32	47.6
	全然そう思わない		27		5		13		3	
健康になった	非常にそう思う	高群(1点)	155	21.4	229	31.9	99	42.7	146	53.9
	まあまあそう思う		330		310		103		85	
	あまりそう思わない	低群(0点)	197	78.6	152	67.8	23	57.3	29	45.8
	全然そう思わない		41		25		7		10	
健康が維持できた	非常にそう思う	高群(1点)	156	21.6	258	35.9	97	41.8	145	53.5
	まあまあそう思う		344		304		106		94	
	あまりそう思わない	低群(0点)	183	78.4	134	64.1	22	58.2	28	46.5
	全然そう思わない		40		22		7		4	
疲れにくくなった	非常にそう思う	高群(1点)	101	51.3	161	59.5	63	71.6	101	74.9
	まあまあそう思う		270		266		103		102	
	あまりそう思わない	低群(0点)	294	48.7	226	40.5	56	28.4	59	25.1
	全然そう思わない		58		65		10		9	
ストレス解消になった	非常にそう思う	高群(1点)	250	34.6	254	35.4	98	42.2	135	49.8
	まあまあそう思う		324		272		101		99	
	あまりそう思わない	低群(0点)	115	65.4	157	64.6	30	57.8	31	49.8
	全然そう思わない		34		35		3		5	
運動技術が向上した	非常にそう思う	高群(1点)	227	31.4	402	56.0	77	33.2	154	56.8
	まあまあそう思う		328		264		96		85	
	あまりそう思わない	低群(0点)	134	68.6	49	44.0	50	65.9	27	43.2
	全然そう思わない		34		3		7		5	

変数	カテゴリー	区分	日本				韓国			
			一般大 n=723		体育大 n=718		一般大 n=232		体育大 n=271	
ダイエットになった	非常にそう思う	高群(1点)	106	42.2	106	46.1	65	67.7	121	77.1
	まあまあそう思う		199		225		92		88	
	あまりそう思わない	低群(0点)	294	57.8	266	53.9	52	31.9	53	22.9
	全然そう思わない		124		121		22		9	
体型が美しくなった	非常にそう思う	高群(1点)	63	29.2	99	41.8	63	65.5	125	79.7
	まあまあそう思う		148		201		89		91	
	あまりそう思わない	低群(0点)	358	70.8	293	58.2	60	34.5	48	20.3
	全然そう思わない		154		125		20		7	
運動でコミュニケーション能力が向上になった	非常にそう思う	高群(1点)	138	54.9	296	84.3	53	65.1	131	81.5
	まあまあそう思う		259		309		98		90	
	あまりそう思わない	低群(0点)	237	45.1	97	15.7	66	34.9	45	18.5
	全然そう思わない		89		16		15		5	
体力がついた	非常にそう思う	高群(1点)	225	31.1	371	51.7	81	34.9	165	60.9
	まあまあそう思う		369		283		110		81	
	あまりそう思わない	低群(0点)	92	68.7	54	48.3	34	65.1	19	38.7
	全然そう思わない		36		10		7		5	
家族(父、母、兄弟姉妹)と一緒にだった	非常にそう思う	高群(1点)	58	26.4	99	41.2	28	34.9	52	44.3
	まあまあそう思う		133		197		53		68	
	あまりそう思わない	低群(0点)	213	73.6	250	58.8	98	64.7	98	55.4
	全然そう思わない		319		172		52		52	
親がそのスポーツを好きだった	非常にそう思う	高群(1点)	63	23.2	138	47.4	25	32.3	57	50.2
	まあまあそう思う		105		202		50		79	
	あまりそう思わない	低群(0点)	216	76.8	221	52.6	96	67.2	92	49.8
	全然そう思わない		339		157		60		43	
運動について親にほめられたことがあった	非常にそう思う	高群(1点)	63	33.6	140	51.8	28	40.5	77	60.1
	まあまあそう思う		180		232		66		86	
	あまりそう思わない	低群(0点)	223	66.4	240	48.2	84	59.5	70	39.9
	全然そう思わない		257		106		54		38	
親の励ましやサポートがあった	非常にそう思う	高群(1点)	135	55.3	348	82.7	28	44.0	88	67.5
	まあまあそう思う		265		246		74		95	
	あまりそう思わない	低群(0点)	160	44.7	87	17.3	73	56.0	51	32.5
	全然そう思わない		163		37		57		37	
友達をつくることができた	非常にそう思う	高群(1点)	250	34.6	378	52.6	38	59.5	93	34.3
	まあまあそう思う		306		264		100		105	
	あまりそう思わない	低群(0点)	110	65.3	61	47.2	60	39.7	61	65.7
	全然そう思わない		56		14		32		12	
友達にいいめられたくなかった	非常にそう思う	高群(1点)	25	9.5	53	17.4	9	22.0	40	35.4
	まあまあそう思う		44		72		42		56	
	あまりそう思わない	低群(0点)	218	90.3	221	82.5	76	77.2	88	64.6
	全然そう思わない		435		371		103		87	
友達がみんな運動するから	非常にそう思う	高群(1点)	68	34.3	126	45.3	16	26.3	47	41.3
	まあまあそう思う		180		199		45		65	
	あまりそう思わない	低群(0点)	276	65.7	212	54.7	77	73.7	89	57.9
	全然そう思わない		199		181		94		68	
友達と一緒にスポーツをしていた	非常にそう思う	高群(1点)	142	19.6	194	27.0	22	9.5	75	27.7
	まあまあそう思う		288		243		66		90	
	あまりそう思わない	低群(0点)	168	80.4	163	73.0	76	90.1	68	72.0
	全然そう思わない		125		118		67		37	
運動について友達にほめられたことがあった	非常にそう思う	高群(1点)	65	35.1	157	55.7	26	46.1	92	69.4
	まあまあそう思う		189		243		81		96	
	あまりそう思わない	低群(0点)	272	64.9	219	44.3	73	53.9	60	30.3
	全然そう思わない		197		99		52		22	
友達の応援があったから	非常にそう思う	高群(1点)	124	51.9	278	77.7	29	41.8	80	68.3
	まあまあそう思う		251		280		68		105	
	あまりそう思わない	低群(0点)	211	48.1	113	22.3	82	58.2	60	31.7
	全然そう思わない		137		47		53		26	
体育先生や運動コーチの指導や激励があった	非常にそう思う	高群(1点)	151	20.9	355	49.4	26	11.2	115	42.4
	まあまあそう思う		245		241		52		97	
	あまりそう思わない	低群(0点)	165	78.1	90	50.6	79	88.8	46	57.6
	全然そう思わない		155		32		75		13	
運動する場所が近かった	非常にそう思う	高群(1点)	105	54.8	166	53.5	42	55.6	70	62.0
	まあまあそう思う		291		218		87		98	
	あまりそう思わない	低群(0点)	213	45.2	233	46.5	64	44.4	70	38.0
	全然そう思わない		114		101		39		33	
施設が快適で運動ができた	非常にそう思う	高群(1点)	117	51.6	195	61.8	47	52.2	67	60.1
	まあまあそう思う		256		249		74		96	
	あまりそう思わない	低群(0点)	247	48.4	194	38.2	75	47.8	84	39.9
	全然そう思わない		103		80		36		24	

			日本				韓国			
変数	カテゴリー	区分	一般大		体育大		一般大		体育大	
			n=723		n=718		n=232		n=271	
季節や気候にあまり影響されず運動ができた	非常に思う	高群(1点)	121	51.9	184	55.8	61	60.8	91	69.7
	まあまあ思う		254		217		80		98	
	あまりそう思わない	低群(0点)	218	48.1	205	44.2	48	34.5	68	29.9
	全然そう思わない		130		112		32		13	
送り迎えしてくれる人(車輛)がいた	非常に思う	高群(1点)	132	48.7	193	52.8	21	31.5	61	47.6
	まあまあ思う		220		186		52		68	
	あまりそう思わない	低群(0点)	201	51.3	163	47.2	72	68.1	81	52.4
	全然そう思わない		170		176		86		61	

表 2-18. クロンバック α による変数削除(各変数を削除した場合の評価)

<日本>							
項目数	36	⇒	35 (32削除)	⇒	34 (5削除)	⇒	33 (27削除)
クロンバック α 係数	0.242	⇒	0.436	⇒	0.514	⇒	0.565
変数	削除時の α	変数	削除時の α	変数	削除時の α	変数	削除時の α
32	0.436	5	0.514	27	0.565	26	0.630
5	0.388	27	0.465	26	0.560	13	0.628
27	0.362	26	0.461	13	0.558	4	0.589
26	0.358	13	0.459	21	0.530	21	0.588
13	0.356	21	0.443	4	0.530	36	0.560
.....							
⇒	32 (26削除)	⇒	31 (13削除)	⇒	30 (4削除)	⇒	29 (21削除)
⇒	0.630	⇒	0.728	⇒	0.796	⇒	0.894
変数	削除時の α	変数	削除時の α	変数	削除時の α	変数	削除時の α
13	0.728	4	0.796	21	0.894	36	0.895
4	0.669	21	0.796	36	0.794	33	0.894
21	0.669	36	0.724	33	0.793	29	0.893
36	0.626	33	0.723	29	0.791	35	0.893
33	0.624	29	0.721	35	0.791	28	0.893
.....							
⇒	28 (36削除)	⇒	27 (33削除)				
⇒	0.895	⇒	0.896				
変数	削除時の α	変数	削除時の α				
33	0.896	35	0.896				
29	0.895	29	0.895				
35	0.895	28	0.895				
28	0.894	18	0.894				
18	0.894	22	0.894				
.....							
<韓国>							
項目数	36	⇒	35 (8削除)	⇒	34 (25削除)	⇒	33 (35削除)
クロンバック α 係数	0.894	⇒	0.912	⇒	0.920		0.921
変数	削除時の α	変数	削除時の α	変数	削除時の α	変数	削除時の α
8	0.912	25	0.920	35	0.921	1	0.918
25	0.901	35	0.912	33	0.920	2	0.918
35	0.895	33	0.911	36	0.920	3	0.918
33	0.893	36	0.911	18	0.920	4	0.918
36	0.892	18	0.911	15	0.919	5	0.918
.....							

表 2-19. 運動継続要因の探索的因子分析の結果<日本>

	第1因子	第2因子	第3因子	第4因子	第5因子
有能感や達成感 ($\alpha = 0.869$)					
11. やり通した時に大きな満足感を感じる	.864	.174	.074	.025	.048
12. 達成感が大きな自信に繋がると思う	.851	.186	.085	.028	.070
10. 少し難しい運動でも、努力すればできる	.670	.181	.037	.135	.263
9. 継続すれば技術や記録が伸びると思う	.669	.167	.002	.126	.242
17. 運動技術が向上した	.497	.286	.110	.279	.169
8. 自分には最後までやりとげる力がある	.443	.091	.134	.062	.371
嗜好性 ($\alpha = 0.825$)					
1. 運動が好きだった	.296	.857	.045	.061	.226
2. 運動が楽しかった	.298	.856	.043	.052	.141
3. 将来までずっと続けたい	.305	.391	.092	.054	.297
友人の影響 ($\alpha = 0.735$)					
29. 友達と一緒にスポーツをしていた	.005	.011	.767	.072	-.021
28. 友達がみんな運動するから	.006	-.011	.661	.137	.063
30. 運動について友達にほめられたことがあった	.138	.089	.541	.183	.311
31. 友達の応援があった	.236	.145	.469	.111	.203
健康、体型 ($\alpha = 0.698$)					
18. ダイエットになった	.057	-.003	.146	.763	.054
19. 体型が美しくなった	.120	.032	.179	.714	.150
14. 健康が維持できた	.377	.211	.137	.334	.061
16. ストレス解消になった	.361	.231	.111	.331	-.002
素質や能力 ($\alpha = 0.703$)					
7. 友人より優れた運動能力がある	.170	.095	.164	.141	.695
6. もともと運動に素質があった	.151	.250	.095	.047	.643
因子寄与率(%)	18.4	10.7	9.0	8.1	8.0
累積寄与率(%)	18.4	29.1	38.1	46.2	54.2

探索因子分析は、最尤法、バリマックス回転による。

表 2-20. 運動継続要因の探索的因子分析<日本の大学別-5因子19項目>

	一般大の因子		第1因子	第2因子	第3因子	第4因子	第5因子	体育大の因子		第1因子	第2因子	第3因子	第4因子	第5因子	
運動の有能感や達成感	第2因子	11. やり通した時に大きな満足感を感じる	.260	.803	.087	.182	.053	第1因子	11. やり通した時に大きな満足感を感じる	.877	.106	.004	.000	.028	
		12. 達成感が大きな自信に繋がると思う	.253	.853	.116	.189	.036		12. 達成感が大きな自信に繋がると思う	.832	.130	.012	.024	.027	
		10. 少し難しい運動でも、努力すればできると思う	.247	.435	-.050	.685	.105		10. 少し難しい運動でも、努力すればできると思う	.691	.136	.104	.117	.098	
		9. 継続すれば技術や記録が伸びると思う	.190	.437	-.075	.713	.094		9. 継続すれば技術や記録が伸びると思う	.682	.161	.068	.109	.086	
		17. 運動技術が向上した	.388	.300	.131	.316	.246		17. 運動技術が向上した	.535	.215	.112	.277	.074	
		8. 自分には最後までやりとげる力があると思う	.122	.341	.260	.272	.041		8. 自分には最後までやりとげる力があると思う	.417	.079	.108	.079	.255	
運動の嗜好性	第1因子	1. 運動が好きだった	.893	.180	.020	.130	.018	第2因子	1. 運動が好きだった	.233	.910	.050	.071	.137	
		2. 運動が楽しかった	.843	.236	-.005	.110	.013		2. 運動が楽しかった	.210	.900	.030	.061	.118	
		3. 将来までずっと続けたい	.420	.154	.102	.227	.093		3. 将来までずっと続けたい	.216	.285	.114	-.014	.062	
友人の影響	第3因子	29. 友達と一緒にスポーツをしていた	.008	.057	.560	-.088	.033	第3因子	29. 友達と一緒にスポーツをしていた	.028	.020	.829	.091	.045	
		28. 友達がみんな運動するから	-.041	-.015	.481	-.015	.090		28. 友達がみんな運動するから	.025	-.015	.726	.154	.071	
		30. 運動について友達にほめられたことがあった	.104	.074	.678	.224	.132		30. 運動について友達にほめられたことがあった	.084	.095	.533	.207	.189	
		31. 友達の応援があった	.146	.186	.587	.127	.129		31. 友達の応援があった	.169	.106	.407	.100	.036	
運動の効果	第5因子	18. ダイエットになった	.053	.010	.129	.023	.776	第4因子	18. ダイエットになった	.090	-.024	.195	.749	.079	
		19. 体型が美しくなった	.054	.063	.163	.075	.732		19. 体型が美しくなった	.120	.028	.217	.703	.160	
		14. 健康が維持できた	.268	.300	.111	.196	.311		14. 健康が維持できた	.362	.189	.151	.333	.006	
		16. ストレス解消になった	.411	.294	.072	.112	.279		16. ストレス解消になった	.406	.132	.171	.345	.035	
運動の素質や能力	第4因子	7. 友人より優れた運動能力があると思う	.171	.039	.334	.390	.046	第5因子	7. 友人より優れた運動能力があると思う	.117	.035	.142	.160	.948	
		6. もともと運動に素質があった	.338	-.005	.268	.331	.014		6. もともと運動に素質があった	.097	.190	.098	.056	.490	
因子寄与率(%)			13.2	12.1	9.0	8.9	7.7	因子寄与率(%)			17.8	10.3	9.9	8.0	7.1
累積寄与率(%)			13.2	25.3	34.3	43.2	50.9	累積寄与率(%)			17.8	28.1	38.1	46.0	53.1

探索因子分析は、最尤法、バリマックス回転による。

表 2-21. 運動継続要因の探索的因子分析<日本の男女別-5因子19項目>

	男子の因子		第1因子	第2因子	第3因子	第4因子	第5因子	女子の因子		第1因子	第2因子	第3因子	第4因子	第5因子	
運動の有能感や達成感	第1因子	11. やり通した時に大きな満足感を感じる	.857	.125	.049	-.033	.061	第2因子	11. やり通した時に大きな満足感を感じる	.280	.784	.260	.071	.105	
		12. 達成感が大きな自信に繋がると思う	.825	.164	.053	-.008	.090		12. 達成感が大きな自信に繋がると思う	.246	.878	.256	.097	.072	
		10. 少し難しい運動でも、努力すればできると思う	.722	.141	.059	.107	.191		10. 少し難しい運動でも、努力すればできると思う	.266	.312	.759	.028	.083	
		9. 継続すれば技術や記録が伸びると思う	.710	.154	.013	.093	.161		9. 継続すれば技術や記録が伸びると思う	.208	.307	.839	.024	.087	
		17. 運動技術が向上した	.566	.228	.070	.251	.129		17. 運動技術が向上した	.395	.232	.331	.213	.256	
		8. 自分には最後までやりとげる力があると思う	.421	.075	.133	.063	.352		8. 自分には最後までやりとげる力があると思う	.178	.390	.233	.207	.056	
運動の嗜好性	第2因子	1. 運動が好きだった	.296	.874	.036	.051	.174	第1因子	1. 運動が好きだった	.900	.183	.117	.018	.044	
		2. 運動が楽しかった	.278	.887	.023	.040	.120		2. 運動が楽しかった	.836	.232	.106	-.003	.047	
		3. 将来までずっと続けたい	.287	.318	.107	.039	.220		3. 将来までずっと続けたい	.451	.181	.233	.077	.049	
友人の影響	第3因子	29. 友達と一緒にスポーツをしていた	.001	.004	.787	.065	.041	第4因子	29. 友達と一緒にスポーツをしていた	.005	.050	-.068	.549	.082	
		28. 友達がみんな運動する	.026	-.039	.707	.176	-.015		28. 友達がみんな運動するから	-.029	-.029	-.017	.553	.053	
		30. 運動について友達にほめられたことがあった	.111	.081	.558	.185	.273		30. 運動について友達にほめられたことがあった	.153	.092	.136	.653	.139	
		31. 友達の応援があった	.204	.151	.464	.089	.225		31. 友達の応援があった	.181	.233	.118	.506	.126	
運動の効果	第4因子	18. ダイエットになった	.100	-.006	.179	.753	.093	第5因子	18. ダイエットになった	.054	-.010	.047	.127	.780	
		19. 体型が美しくなった	.135	.044	.214	.733	.150		19. 体型が美しくなった	.021	.083	.049	.128	.716	
		14. 健康が維持できた	.426	.181	.112	.312	.025		14. 健康が維持できた	.270	.214	.188	.187	.313	
		16. ストレス解消になった	.440	.130	.100	.291	.018		16. ストレス解消になった	.407	.191	.070	.116	.337	
運動の素質や能力	第5因子	7. 友人より優れた運動能力があると思う	.137	.080	.156	.171	.700	第3因子	7. 友人より優れた運動能力があると思う	.191	.098	.248	.329	.059	
		6. もともと運動に素質があった	.149	.194	.091	.046	.690		6. もともと運動に素質があった	.398	.026	.167	.234	.007	
因子寄与率(%)			19.4	10.1	9.6	7.8	7.5	因子寄与率(%)			13.9	10.9	9.6	8.7	7.8
累積寄与率(%)			19.4	29.5	39.1	46.9	54.5	累積寄与率(%)			13.9	24.8	34.4	43.1	50.9

探索因子分析は、最尤法、バリマックス回転による。

表 2-22. 運動継続要因の探索的因子分析の結果<韓国>

	第1因子	第2因子	第3因子	第4因子	第5因子
有能感や達成感 ($\alpha = 0.861$)					
10. 少し難しい運動でも、努力すればできる	.809	.040	.161	.145	.135
9. 継続すれば技術や記録が伸びると思う	.720	.095	.121	.141	.199
11. やり通した時に大きな満足感を感じる	.691	.102	.212	.145	.050
12. 達成感が大きな自信に繋がると思う	.664	.103	.313	.178	.107
17. 運動技術が向上した	.502	.166	.391	.275	.135
26. 友達をつくることができた	.409	.334	.202	.172	.013
友人の影響 ($\alpha = 0.821$)					
28. 友達がみんな運動するから	-.012	.782	.062	-.009	.060
29. 友達と一緒にスポーツをしていた	.130	.729	.083	.081	.079
27. 友達にいじめられなくなった	-.049	.706	.020	-.040	.018
31. 友達の応援があった	.156	.604	.051	.070	.153
30. 運動について友達にほめられたことがあった	.142	.562	.046	.104	.223
5. 好きなスポーツ選手がいた	.233	.432	.111	.134	.255
健康、体力 ($\alpha = 0.828$)					
13. 健康になった	.261	.101	.830	.150	.091
14. 健康が維持できた	.287	.082	.814	.154	.118
21. 体力がついた	.420	.123	.474	.172	.101
16. ストレス解消になった	.342	.031	.380	.393	.065
嗜好性 ($\alpha = 0.907$)					
2. 運動が楽しかった	.273	.070	.216	.870	.176
1. 運動が好きだった	.289	.121	.191	.755	.234
素質や能力 ($\alpha = 0.878$)					
6. もともと運動に素質があった	.188	.261	.127	.153	.803
7. 友人より優れた運動能力がある	.162	.261	.125	.210	.792
因子寄与率(%)	16.5	14.3	11.2	9.3	8.2
累積寄与率(%)	16.5	30.8	42.0	51.3	59.5

探索因子分析は、最尤法、バリマックス回転による。

表 2-23. 運動継続要因の探索的因子分析<韓国の大学別-5因子20項目>

	一般大の因子		第1因子	第2因子	第3因子	第4因子	第5因子	体育大の因子		第1因子	第2因子	第3因子	第4因子	第5因子	
運動の有能感や達成感	第1因子	10. 少し難しい運動でも、努力すればできると思う	.786	.010	.210	.081	.148	第1因子	10. 少し難しい運動でも、努力すればできると思う	.812	.052	.235	.075	.097	
		9. 継続すれば技術や記録が伸びると思う	.657	.072	.175	.083	.234		9. 継続すれば技術や記録が伸びると思う	.756	.069	.174	.115	.125	
		11. やり通した時に大きな満足感を感じる	.761	.085	.181	.248	.061		11. やり通した時に大きな満足感を感じる	.643	.096	.132	.081	.038	
		12. 達成感が大きな自信に繋がると思う	.721	.006	.167	.267	.077		12. 達成感が大きな自信に繋がると思う	.619	.161	.324	.161	.092	
		17. 運動技術が向上した	.547	.102	.285	.365	.085		17. 運動技術が向上した	.439	.080	.434	.215	.148	
友人の影響	第2因子	26. 友達をつくることができた	.534	.252	.184	.165	.088	第2因子	26. 友達をつくることができた	.290	.363	.214	.119	-.128	
		28. 友達がみんな運動するから	-.032	.817	-.040	.054	.050		28. 友達がみんな運動するから	-.037	.733	.010	-.031	.051	
		29. 友達と一緒にスポーツをしていた	.072	.711	.051	.014	.048		29. 友達と一緒にスポーツをしていた	.124	.680	.126	.035	.106	
		27. 友達にいじめられたくなかった	-.063	.793	-.059	.051	-.023		27. 友達にいじめられたくなかった	-.075	.596	-.050	-.063	.091	
		31. 友達の応援があった	.129	.580	.011	-.046	.210		31. 友達の応援があった	.138	.596	.175	.118	.030	
		30. 運動について友達にほめられたことがあった	.119	.546	.094	-.035	.228		30. 運動について友達にほめられたことがあった	.123	.525	.145	.085	.173	
		5. 好きなスポーツ選手がいた	.180	.364	.079	.114	.310		5. 好きなスポーツ選手がいた	.235	.427	.065	.137	.149	
運動の効果	第4因子	13. 健康になった	.349	.008	.177	.808	.056	第4因子	13. 健康になった	.181	.159	.803	.105	.131	
		14. 健康が維持できた	.361	.029	.199	.831	.086		14. 健康が維持できた	.189	.117	.808	.080	.137	
		21. 体力がついた	.519	.030	.104	.444	.068		21. 体力がついた	.317	.098	.507	.199	.050	
		16. ストレス解消になった	.412	-.005	.518	.254	.061		16. ストレス解消になった	.239	.066	.515	.206	.075	
運動の嗜好性	第3因子	2. 運動が楽しかった	.326	-.010	.877	.163	.159	第3因子	2. 運動が楽しかった	.184	.107	.257	.893	.148	
		1. 運動が好きだった	.358	.072	.770	.159	.230		1. 運動が好きだった	.181	.044	.202	.725	.166	
運動の素質や能力	第5因子	6. もともと運動に素質があった	.135	.194	.191	.074	.837	第5因子	6. もともと運動に素質があった	.138	.272	.180	.189	.648	
		7. 友人より優れた運動能力があると思う	.182	.219	.109	.052	.810		7. 友人より優れた運動能力があると思う	.153	.207	.182	.156	.934	
因子寄与率(%)			18.9	13.7	10.2	10.0	8.8	因子寄与率(%)			13.8	12.7	12.6	8.2	7.7
累積寄与率(%)			18.9	32.7	42.8	52.8	61.6	累積寄与率(%)			13.8	26.4	39.0	47.2	54.9

探索因子分析は、最尤法、バリマックス回転による。

表 2-24. 運動継続要因の探索的因子分析<韓国の男女別-5因子20項目>

	男子の因子		第1因子 第2因子 第3因子 第4因子 第5因子					女子の因子		第1因子 第2因子 第3因子 第4因子 第5因子					
運動の有能感や達成感	第1因子	10. 少し難しい運動でも、努力すればできると思う	.780	.060	.215	.098	.164	第2因子	10. 少し難しい運動でも、努力すればできると思う	-.019	.860	.231	-.001	.026	
		9. 継続すれば技術や記録が伸びると思う	.725	.093	.145	.098	.199		.100	.718	.218	.002	.115		
		11. やり通した時に大きな満足感を感じる	.652	.092	.222	.151	.028		.008	.712	.155	.170	.083		
		12. 達成感が大きな自信に繋がると思う	.631	.122	.345	.203	.120		-.038	.664	.125	.210	.073		
		17. 運動技術が向上した	.530	.125	.383	.245	.191		.149	.368	.336	.333	-.013		
友人の影響	第2因子	26. 友達をつくらることができた	.405	.318	.174	.170	-.031	第1因子	26. 友達をつくらることができた	.290	.373	.105	.197	.047	
		28. 友達がみんな運動する	-.061	.699	.026	.008	.071		.896	-.006	-.096	.068	.003		
		29. 友達と一緒にスポーツをしていた	.166	.707	.020	.039	.093		.758	-.031	.015	.066	.041		
		27. 友達にいじめられたくなかった	-.080	.622	-.024	-.003	.064		.790	-.023	-.088	.069	-.006		
		31. 友達の応援があった	.176	.656	.095	.071	.090		.571	.102	.064	-.011	.207		
		30. 運動について友達にほめられたことがあった	.198	.605	.051	.152	.154		.546	.044	.036	.031	.237		
		5. 好きなスポーツ選手がいた	.239	.421	.107	.123	.268		.480	.120	.068	.000	.162		
運動の効果	第4因子	13. 健康になった	.280	.105	.815	.147	.133	第4因子	13. 健康になった	.002	.167	.130	.881	.001	
		14. 健康が維持できた	.308	.024	.817	.135	.130		.107	.211	.177	.794	.044		
		21. 体力がついた	.375	.064	.530	.240	.077		.085	.451	.037	.332	.073		
		16. ストレス解消になった	.355	-.030	.383	.347	.084		.051	.224	.473	.270	-.008		
運動の嗜好性	第3因子	2. 運動が楽しかった	.264	.109	.247	.804	.183	第3因子	2. 運動が楽しかった	-.043	.218	.918	.121	.147	
		1. 運動が好きだった	.231	.168	.211	.789	.248		-.040	.279	.786	.065	.166		
運動の素質や能力	第5因子	6. もともと運動に素質があった	.183	.293	.123	.251	.717	第5因子	6. もともと運動に素質があった	.275	.124	.180	.079	.675	
		7. 友人より優れた運動能力があると思う	.190	.255	.197	.173	.870		.274	.138	.081	-.019	.948		
因子寄与率(%)			16.0	13.5	11.8	9.0	8.3	因子寄与率(%)			15.7	15.0	10.3	9.3	7.8
累積寄与率(%)			16.0	29.5	41.3	50.3	58.6	累積寄与率(%)			15.7	30.7	41.0	50.3	58.1

探索因子分析は、最尤法、バリマックス回転による。

表 2-25. 因子得点の相関＜日本＞

＜日本の一般大＞

	一因子得点 ＜有能感や達成感＞	二因子得点 ＜嗜好性＞	三因子得点 ＜友人の影響＞	四因子得点 ＜健康・体型＞	五因子得点 ＜素質や能力＞
一因子得点	—	0.075 *	0.034	-0.007	-0.027
二因子得点		—	-0.045	0.011	-0.022
三因子得点			—	-0.005	-0.010
四因子得点				—	0.008
五因子得点					—

Pearsonの相関係数 : *＜0.05

＜日本の体育大＞

	一因子得点 ＜有能感や達成感＞	二因子得点 ＜嗜好性＞	三因子得点 ＜友人の影響＞	四因子得点 ＜健康・体型＞	五因子得点 ＜素質や能力＞
一因子得点	—	-0.118 **	-0.041	0.055	-0.069
二因子得点		—	-0.012	-0.022	-0.030
三因子得点			—	0.179 ***	0.083 *
四因子得点				—	0.099 **
五因子得点					—

Pearsonの相関係数 : ***p＜0.001, **p＜0.01, *＜0.05

表 2-26. 因子得点の相関＜韓国＞

＜韓国的一般大＞

	一因子得点 ＜有能感や達成感＞	二因子得点 ＜友人の影響＞	三因子得点 ＜健康・体力＞	四因子得点 ＜嗜好性＞	五因子得点 ＜素質や能力＞
一因子得点	—	-0.004	0.186 **	0.102	-0.005
二因子得点		—	-0.132 *	-0.063	0.056
三因子得点			—	0.094	-0.048
四因子得点				—	0.004
五因子得点					—

Pearsonの相関係数 : ** $p < 0.01$, * $p < 0.05$

＜韓国の体育大＞

	一因子得点 ＜有能感や達成感＞	二因子得点 ＜友人の影響＞	三因子得点 ＜健康・体力＞	四因子得点 ＜嗜好性＞	五因子得点 ＜素質や能力＞
一因子得点	—	-0.036	0.006	-0.033	-0.018
二因子得点		—	0.131 *	-0.017	-0.044
三因子得点			—	-0.040	0.049
四因子得点				—	0.002
五因子得点					—

Pearsonの相関係数 : * $p < 0.05$

表 2-27. 属性別運動継続要因の因子得点<日本>

		有能感や達成感			嗜好性			友人の影響			健康・体型			素質や能力		
		平均値	SD	ρ 値	平均値	SD	ρ 値	平均値	SD	ρ 値	平均値	SD	ρ 値	平均値	SD	ρ 値
性別 ¹⁾	男子(n=863)	0.100	0.951	<0.001	0.181	0.862	<0.001	0.071	0.871	<0.001	0.010	0.870	0.581	0.206	0.821	<0.001
	女子(n=578)	-0.149	0.898		-0.270	0.986		-0.106	0.833		-0.015	0.836		-0.308	0.725	
大学 ¹⁾	一般大(n=723)	-0.233	0.884	<0.001	-0.245	0.995	<0.001	-0.078	0.850	0.001	-0.013	0.839	0.556	-0.314	0.744	<0.001
	体育大(n=718)	0.235	0.933		0.246	0.810		0.079	0.863		0.013	0.874		0.317	0.777	
学年 ²⁾	1年(n=454)	0.001	0.928	0.635	-0.004	0.934	0.205	0.002	0.870	0.203	-0.040	0.860	0.045	-0.063	0.823	0.002
	2年(n=536)	0.002	0.954		0.041	0.939		0.033	0.860		0.082	0.860		0.104	0.820	
	3年(n=345)	0.039	0.929		-0.082	0.933		-0.013	0.846		-0.051	0.846		-0.038	0.812	
	4年(n=100)	-0.100	0.930		0.091	0.968		-0.166	0.847		-0.077	0.831		-0.141	0.825	
	多重比較											1年<2年、2年>4年				

注) ¹⁾ t検定、²⁾ 多重比較は、Bonferroni法を用い、「>」の向きは学年の差を示す。

表 2-28. 属性別運動継続要因の因子得点<韓国>

		有能感や達成感			友人の影響			健康・体力			嗜好性			素質や能力		
		平均値	SD	<i>p</i> 値	平均値	SD	<i>p</i> 値	平均値	SD	<i>p</i> 値	平均値	SD	<i>p</i> 値	平均値	SD	<i>p</i> 値
性別 ¹⁾	男子(n=320)	0.143	0.916	<0.001	0.136	0.893	<0.001	0.146	0.892	<0.001	0.152	0.852	<0.001	0.012	0.862	0.699
	女子(n=183)	-0.251	0.836		-0.238	0.897		-0.255	0.902		-0.266	1.026		-0.021	0.978	
大学 ¹⁾	一般大(n=232)	-0.166	0.835	<0.001	-0.236	0.884	<0.001	-0.027	0.912	0.535	-0.147	0.980	0.001	-0.256	0.964	<0.001
	体育大(n=271)	0.142	0.943		0.202	0.887		0.023	0.919		0.126	0.887		0.219	0.789	
学年 ²⁾	1年(n=185)	-0.082	0.867	0.002	0.040	0.907	0.157	-0.061	0.906	0.459	-0.063	0.932	0.099	0.076	0.892	0.096
	2年(n=130)	0.113	0.896		0.097	0.915		0.088	0.866		0.147	0.834		0.060	0.862	
	3年(n=120)	-0.184	0.892		-0.125	0.897		-0.031	0.953		0.011	0.996		-0.088	0.964	
	4年(n=55)	0.299	0.953		-0.130	0.911		0.081	0.981		-0.190	1.024		-0.224	0.921	
	多重比較	1年<4年*、3年<4年**														

注) ¹⁾ t検定、²⁾ 多重比較は、Bonferroni法を用い、「>」の向きは学年の差を示す。

表 2-29. 運動継続3群と因子得点との関連＜日本の一般大＞

	有能感や達成感			嗜好性			友人の影響			健康・体型			素質や能力		
	平均値	SD	F値 (p値)	平均値	SD	F値 (p値)	平均値	SD	F値 (p値)	平均値	SD	F値 (p値)	平均値	SD	F値 (p値)
①運動継続群(n=79)	-0.162	0.943		0.086	0.981		0.051	0.859		-0.088	0.845		-0.076	0.820	
②(途中離脱後)再開群(n=118)	-0.314	0.843	0.755 (0.470)	-0.341	1.015	5.196 (0.006)	-0.132	0.8568	1.172 (0.310)	-0.097	0.741	1.204 (0.301)	-0.343	0.728	4.697 (0.009)
③運動中止群(n=525)	-0.228	0.883		-0.274	0.985		-0.087	0.8467		0.015	0.858		-0.346	0.729	
多重比較				①＞②**、①＞③**									①＞②*、①＞③*		

多重比較は、Bonferroni法を用い、「＞」の向きは群間の差を示す。
欠損値有り。

表 2-30. 運動継続3群と因子得点との関連＜日本の体育大＞

	有能感や達成感			嗜好性			友人の影響			健康・体型			素質や能力		
	平均値	SD	F値 (p値)	平均値	SD	F値 (p値)	平均値	SD	F値 (p値)	平均値	SD	F値 (p値)	平均値	SD	F値 (p値)
①運動継続群(n=571)	0.232	0.931		0.255	0.804		0.103	0.859		0.023	0.875		0.307	0.783	
②(途中離脱後)再開群(n=130)	0.254	0.926	0.051 (0.950)	0.237	0.825	0.651 (0.522)	0.002	0.859	1.283 (0.278)	-0.023	0.872	0.167 (0.846)	0.387	0.755	1.191 (0.305)
③運動中止群(n=17)	0.188	1.100		0.029	0.908		-0.140	1.008		-0.030	0.910		0.109	0.753	
多重比較															

多重比較は、Bonferroni法を用いた。

表 2-31. 運動継続3群と因子得点との関連＜韓国的一般大＞

	有能感や達成感			友人の影響			健康・体力			嗜好性			素質や能力		
	平均値	SD	F値 (p値)	平均値	SD	F値 (p値)	平均値	SD	F値 (p値)	平均値	SD	F値 (p値)	平均値	SD	F値 (p値)
①運動継続群(n=22)	0.139	0.931		-0.159	0.860		0.275	0.829		0.474	0.869		-0.132	0.934	
②(途中離脱後)再開群(n=72)	-0.036	0.897	3.383 (0.036)	-0.319	0.818	0.535 (0.586)	-0.031	0.942	1.931 (0.148)	-0.162	0.972	5.449 (0.005)	-0.127	0.968	0.648 (0.524)
③運動中止群(n=117)	-0.275	0.758		-0.192	0.935		-0.127	0.861		-0.264	0.972		-0.278	0.945	
多重比較										①>②*、①>③**					

多重比較は、Bonferroni法を用い、「>」の向きは群間の差を示す。
欠損値有り。

表 2-32. 運動継続3群と因子得点との関連＜韓国¹の体育大＞

	有能感や達成感			友人の影響			健康・体力			嗜好性			素質や能力		
	平均値	SD	F値 (p値)	平均値	SD	F値 (p値)	平均値	SD	F値 (p値)	平均値	SD	F値 (p値)	平均値	SD	F値 (p値)
①運動継続群(n=57)	0.277	0.990		0.037	0.850		0.187	0.918		0.224	0.766		0.143	0.829	
②(途中離脱後)再開群(n=160)	0.184	0.949	2.955 (0.054)	0.236	0.875	1.288 (0.278)	0.004	0.913	1.363 (0.258)	0.174	0.864	2.791 (0.069)	0.198	0.788	1.237 (0.292)
③運動中止群(n=54)	-0.125	0.834		0.275	0.954		-0.091	0.935		-0.120	1.032		0.364	0.747	
多重比較															

多重比較は、Bonferroni法を用いた。

子どものスポーツ活動についての調査 この調査は、子どもが運動を続けていくために大事なことについて研究をするためのものです。 答えたことが他の人にわかってしまうことは絶対ありません。思ったことをそのまま書いてください。 よろしく願いいたします。 女子栄養大学大学院 発達健康学研究室 金 美珍	
--	--

- あなたは、小学校（ ）年生）で、年齢は（ ）歳）です。
- 次のどちらかに○をつけてください。

- 男の子 女の子
- 身長と体重を教えてください。
- 身長（ cm） 体重（ kg）

※次からの質問について「◎ーとてもそうだ」「○ーまあまあそうだ」「△ーあまりそうではない」「×ーまったくそうではない」の当てはまると思われるところに○をつけてください。

■幼児期（学校に入る前）頃の運動や遊びについて とても まあまあ あまり まったく

1. 幼稚園や保育園のころ、体を動かすことが好きでしたか。（◎ ○ △ ×）

2. 幼稚園や保育園のころ、外で遊ぶことが好きでしたか。（◎ ○ △ ×）

3. 幼稚園や保育園のころ、好きな遊びは何でしたか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

お絵かき、折り紙、ぬり絵、ねんど遊び	
ままごと、ごっこ遊び	ビデオ、テレビ、テレビゲーム
カードゲーム、トランプ、パズル	マンガ・本を読む
ボール遊び	マラソン
その他（ ）	おにごっこ遊び

4. 幼稚園や保育園のころ、運動やスポーツの教室に入ったことがありましたか。

はい → それは何でしたか。（ ）

いいえ

■全般的な運動に対する意識について とても まあまあ あまり まったく

5. 体を動かすことが好きですか・・・・・・・・・・・・・・・・（◎ ○ △ ×）

6. 運動が好きですか・・・・・・・・・・・・・・・・（◎ ○ △ ×）

「とても」「まあまあ」に○をつけた人は、その理由は何ですか。

楽しい	元気になる	友だちがいる
気分がよくなる	ストレスがとれる	
その他（ ）		

「きらい」に○をつけた人は、その理由は何ですか。

おもしろくない
うご
動くとつかれる
その他 (ほか

うまくできない
ケガをする

めんどくさい
とも
友だちがいない

- | | とても | まあまあ | あまり | まったく |
|---|-----|------|-----|------|
| 7. 学校の体育は好きですか (◎ | ○ | △ | × | |
| 8. 運動は重要であると思いますか (◎ | ○ | △ | × | |
| 9. 運動不足だと感じていますか (◎ | ○ | △ | × | |
| 10. 運動が得意だと思いますか (◎ | ○ | △ | × | |
| 11. 運動をもっと得意になりたいですか (◎ | ○ | △ | × | |
| 12. 運動がもっとうまくなりたいために、がんばって いますか (◎ | ○ | △ | × | |
| 13. 運動について学校の先生やスポーツのコーチにほめられたことがありますか (◎ | ○ | △ | × | |
| 14. 体力に自信がありますか (◎ | ○ | △ | × | |
| 15. 体力が必要だと思っていますか (◎ | ○ | △ | × | |
| 16. あなたの親 (お父さんかお母さん) が運動や スポーツをしているのをみたことがありますか (◎ | ○ | △ | × | |
| 17. 親 (お父さんかお母さん) は運動が得意だと思いますか . (◎ | ○ | △ | × | |
| 18. 親 (お父さんかお母さん) といっしょに運動に参加することがありますか (◎ | ○ | △ | × | |
| 19. 運動について親にほめられたことがありますか (◎ | ○ | △ | × | |
| 20. 友だちにいじめられないために、運動に参加することはありますか (◎ | ○ | △ | × | |
| 21. 友だちがみんな運動するという理由で、自分も運動に参加することはありますか (◎ | ○ | △ | × | |

うらもあります。

とても まあまあ あまり まったく

22. 友だちといっしょにいたいという理由で、運動に参加することはありますか・・・ (◎ ○ △ ×)
23. 運動について友だちにほめられたことがありますか・・・ (◎ ○ △ ×)
24. ほかの人の運動のやりがたを見てマネをしたことがありますか・・・ (◎ ○ △ ×)
25. ふだん、スポーツの話はよくしていますか・・・ (◎ ○ △ ×)
26. 運動やスポーツをみる（テレビも含めて）ことが好きですか・・・ (◎ ○ △ ×)
27. 好きなスポーツ選手がいますか・・・ (◎ ○ △ ×)
28. 勉強が得意だと思えますか・・・ (◎ ○ △ ×)

29. 運動やスポーツをおこなっていますか。() の○をつけてください。

- ①スポーツ少年団に入っている()
- ②サークル・クラブに入っている()
- ③有料のスクールに通っている()
- ④特におこなっていない() → 32へ
- 30, 31へ

(29で、①、②、③に○をつけた人にお聞きします。)

30-1. どんな運動をおこなっていますか。

()

★ 今入っているスポーツ少年団やサークル、クラブ、スクールの練習はどのくらいおこなっていますか。

月1～2回 週1回 週2～3回 週4～5回

その運動は、今までどのくらいおこなっていますか。() 年 () 月

その運動の時間は、どのくらいですか。

30分以内 1時間以内 2時間以内 2時間以上

★ そのほかに何か運動をしていますか。

している していない

「している」に○をつけた人は、それはどんな運動ですか。()

その運動は、どのくらいおこなっていますか。

月1～2回 週1回 週2～3回 週4～5回

今までどのくらいおこなっていますか。() 年 () か月

:

)

やめたい

)

)

)

全く思わない

ご協力どうもありがとうございました。

資料1-2 <保護者用>

子どものスポーツ活動についての調査

この調査は、子どもが運動を続けていくために必要な要因に関する研究を行うためのものです。この研究についての情報が外部に漏れることはありません。このアンケートは強制的ではありませんので、調査の目的にご同意いただけましたらご協力お願いいたします。個人名が特定されることはありませんので、気軽に、思った通りの答えをそのまま書いてください。宜しくお願いいたします。

女子栄養大学院 発育健康学研究室 金 美珍

■記入者はどなた様ですか。

父親（ ）

母親（ ）

その他（ ）

■ お子さんについて

1. スポーツ少年団に入っているお子さんについてお聞きます。

・性別 ①男の子（ ） ②女の子（ ）

・学年・年齢 (小学校 年)、(歳)

・スポーツ少年団に入っているお子さんは、兄弟姉妹（ ）人のうち（ ）番目です。

・お子さんの行っているスポーツの種目は（ ）です。

■父親の身体活動について

2. お父さん自身は、今までどのように運動やスポーツを行ってきましたか。(特に中学校・高校時代) 当てはまるものに全て○をつけてください。

() 運動らしいことはほとんどしていなかった

() 運動部に所属していた(種目：中学— 高校—)

() 学校以外の所に所属または通って運動していた
(種目：中学— 高校—)

3. お父さん自身は、ふだん、息が切れたり汗をかいったりするくらいの運動をどのくらい行っていますか(30分以上の運動の場合)。

1) 週に2回以上()

2) 週に1回()

3) 月に1回～2回程度()

4) 全くしない()

どんな運動を行っていますか。

()

4. お父さん自身は、ふだん、スポーツを観ますか？(TVで観たものも入る)

1) よく観る()

2) たまに観る()

3) ほとんど観ない()

4) 全然観ていない()

5. お父さん自身は、身体活動(スポーツ)をすることが楽しいと思いますか。

1) 非常に楽しいと思う()

2) やや楽しいと思う()

3) あまり楽しいと思わない()

4) 全く楽しいと思わない()

6. お子さんが身体活動(スポーツ)に参加していることが重要であると考えますか。

1) 非常に重要であるとする()

2) やや重要であるとする()

3) あまり重要であると思えない()

4) 全く重要であると思えない()

7. お子さんが、今行っている運動を続けてほしいと思いますか。

- | | |
|----------------|---------------|
| 1) とても思う () | 2) やや思う () |
| 3) あまり思わない () | 4) 全く思わない () |

■母親の身体活動について

8. お母さん自身は、今までどのように運動やスポーツを行ってきましたか。(特に中学校・高校時代) 当てはまるものに全て○をつけてください。

- () 運動らしいことはほとんどしていなかった
- () 運動部に所属していた(種目: 中学ー 高校ー)
- () 学校以外の所に所属または通って運動していた
(種目: 中学ー 高校ー)

9. お母さん自身は、ふだん、息が切れたり汗をかいたりするくらいの運動をどのくらい行っていますか (30 分以上の運動の場合)。

- | | |
|---------------------|---------------|
| 1) 週に 2 回以上 () | 2) 週に 1 回 () |
| 3) 月に 1 回～2 回程度 () | 4) 全くしない () |

どんな運動を行っていますか。

()

10. お母さん自身は、ふだん、スポーツを観ますか? (TV で観たものも入る)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1) よく観る () | 2) たまに観る () |
| 3) ほとんど観ない () | 4) 全然観ていない () |

11. お母さん自身は、身体活動(スポーツ)をすることが楽しいと思いますか。

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1) 非常に楽しいと思う () | 2) やや楽しいと思う () |
| 3) あまり楽しいと思わない () | 4) 全く楽しいと思わない () |

12. お子さんが身体活動(スポーツ)に参加していることが重要であると考えますか。

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1) 非常に重要であると考え () | 2) やや重要であると考え () |
| 3) あまり重要であると考えない () | 4) 全く重要であると考えない () |

13. お子さんが、今行っている運動を続けてほしいと思いますか。

- | | |
|----------------|---------------|
| 1) とても思う () | 2) やや思う () |
| 3) あまり思わない () | 4) 全く思わない () |

■お子さんの身体活動のための親のサポート

14. お子さんが身体を動かす場所への送り迎えをしていますか。

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1) 送って行く () | 2) 迎えに行く () |
| 3) 送りも迎えもする () | 4) 時々送りか迎えをする () |

15. お子さんを運動仲間の友達の所へ連れて行きますか。

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1) よく連れて行く () | 2) 時々連れて行く () |
| 3) あまり連れて行かない () | 4) 全く連れて行かない () |

16. スポーツ活動に必要な道具を買ってあげますか。

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1) よく買ってあげる () | 2) 時々買ってあげる () |
| 3) あまり買ってあげない () | 4) 全然買ってあげない () |

裏もあります。

17. お子さんが運動をすることを励ましたり応援したりしますか。
- 1) よくする () 2) ややする ()
3) あまりしない () 4) 全くしない ()
18. お子さんが運動をすることをほめますか。
- 1) よくほめる () 2) ややほめる ()
3) あまりほめない () 4) 全くほめない ()
19. お子さんが運動をすることに喜びを表しますか。
- 1) よく表す () 2) やや表す ()
3) あまり表さない () 4) 全く表さない ()
20. お子さんの前でよく身体を動かしますか。
- 1) よく動かす () 2) やや動かす ()
3) あまり動かさない () 4) 全く動かさない ()
21. お子さんが身体を動かす際に手本を見せたことがありますか。
- 1) よくある () 2) ややある ()
3) あまりない () 4) 全くない ()
22. お子さんを運動に誘う時に、お子さんは誘いにのりますか。
- 1) よく誘いに乗る () 2) やや誘いにのる ()
3) あまり誘いに乗らない () 4) 全く誘いに乗らない ()
23. お子さんから運動に誘われた時、一緒に行きますか。
- 1) よく行く () 2) やや行く ()
3) あまり行かない () 4) 全く行かない ()
24. お子さんと一緒に身体活動(スポーツ)を行っていますか。
- 1) よく行っている () 2) やや行っている ()
3) あまり行っていない () 4) 全く行っていない ()
25. 身体活動(スポーツ)に参加しているお子さんを観たことがありますか。
- 1) よくある () 2) ややある ()
3) あまりない () 4) 全くない ()
26. お子さんの身体活動の場などで他の保護者と親しくなっていますか。
- 1) よく親しくなっている () 2) やや親しくなっている ()
3) あまり親しくなっていない () 4) 全く親しくなっていない ()
27. お子さんの運動のために協力をしていますか。
- 1) よく協力している () 2) やや協力している ()
3) あまり協力しない () 4) 全く協力しない ()
28. 自分のお子さんだけではなく、他のお子さんに対しても、注意をしたことがありますか。
- 1) よくある () 2) ややある ()
3) あまりない () 4) 全くない ()

■子どもに運動をさせる親の気持ち

29. お子さんが小学生になった時にはどんなスポーツをさせたかったですか(複数可)。
- 1) サッカー () 2) バスケットボール () 3) 野球 ()
4) 剣道 () 5) テコンドー () 6) テニス ()
7) 卓球 () 8) スキー () 9) フィギュアスケート ()

その他（ ）

その理由は何ですか。（ ）

30. お子さんにスポーツをさせる主な理由は何ですか（一つだけ記入）。

1) 子どもの心身の成長のため（ ） 2) スポーツ選手になって欲しいから（ ）

3) 勉強に素質がなさそうだから（ ） 4) 運動の素質があるから（ ）

その他（ ）

31. スポーツ活動を行っているお子さんに親として特にどの部分に関心を置いていますか（一つだけ記入）。

1) 栄養面（ ）

2) 規則正しい生活リズム（ ）

3) 体力面（ ）

4) 健康面（ ）

その他（ ）

32. お子さんが勉強と運動を両立できると思いますか。

1) とても思う（ ）

2) 思う（ ）

3) あまり思わない（ ）

4) 全く思わない（ ）

33. お子さんに運動をいつまで続けさせたいですか。

1) 小学校（低学年1～3年）まで（ ）

2) 小学校（高学年4～6年）まで（ ）

3) 中学校まで（ ）

4) 高校まで（ ）

5) 子どもが望む時期まで（ ）

6) 将来ずっと（ ）

その他（ ）

ご協力どうもありがとうございました。

어린이의 스포츠활동에 대한 조사

이 조사는 어린이들이 운동을 계속하기 위해 필요한 요인에 대한 연구를 하기 위한 것입니다. 이 양케이트는 강제적이지는 않으므로, 깊이 생각하지 말고, 생각나는대로 써 주세요. 잘 부탁 드리겠습니다.

일본여자영양대학원 발육건강학연구실 김 미진

- 나는 초등학교 () 학년), () 세)입니다.
- 다음의 어느 쪽에 동그라미를 해 주세요.
남자 여자
- 신장과 체중을 가르쳐 주세요.
신장() cm) 체중() kg)

※ 「◎-매우 그렇다」「○-그런대로 그렇다」「△-별로 그렇지 않다」「×-전혀 그렇지 않다」의 다음의 질문에 대해 맞다고 생각되는 곳에 ○를 그려 주세요.

■유아기시절의 운동과 놀이에 대해서

매우 그런대로 별로 전혀

1. 유치원이나 어린이집에 다닐 무렵, 몸을 움직이는 것을 좋아했습니까 (◎ ○ △ ×)

2. 유치원이나 어린이집에 다닐 무렵, 밖에서 노는 것을 좋아했습니까 (◎ ○ △ ×)

3. 유치원이나 어린이집에 다닐 무렵, 좋아하는 놀이는 무엇이었습니까? 해당되는 곳 전부에 ○를 그려 주세요.

그림그리기, 종이접기, 색칠하기, 점토놀이
소꿉놀이, 흉내놀이 비디오, 텔레비전, 비디오게임
카드게임, 트럼프, 퍼즐 만화책, 동화책 읽기
공놀이 달리기 술래잡기
그 외()

4. 유치원이나 어린이집에 다닐 무렵, 운동이나 스포츠를 학원에서 배운 적이 있습니까?
예 → 그것은 무엇이었습니까? ()
아니오

■ 운동에 대한 전반적인 생각에 대해서

매우 그런대로 별로 전혀

5. 몸을 움직이는 것을 좋아합니까 (◎ ○ △ ×)

6. 운동을 좋아합니까 (◎ ○ △ ×)

「◎-매우」「○-그런대로」에 ○를 그린 어린이는, 그 이유는 무엇입니까?

즐거우니까 건강해지니까 친구들이 있으니까
기분이 좋아지니까 스트레스가 풀어지니까
그 외()

「×-전혀」에○를 그린 어린이는, 그 이유는 무엇입니까?

재미없으니까 잘 되지 않으니까 귀찮으니까
움직이면 피곤하니까 상처를 입으니까 친구들이 없으니까
그 외()

7. 학교의 체육수업은 좋아합니까 (◎ ○ △ ×)

8. 운동은 중요하다고 생각합니까 (◎ ○ △ ×)

(29에서, ①, ②, ③에 ○를 그린 어린이에게 묻습니다.)

30-1. 지금 다니고 있는 스포츠단이나 방과후 특별활동의 연습은 어느 정도 하고 있습니까?

월1~2회 주1회 주2~3회 주4~5회
그 운동은, 지금까지 어느 정도 하고 있습니까? ()년 ()개월
그 운동 시간은 어느 정도입니까?
30분 이내 1시간 이내 2시간 이내 2시간 이상
그 밖에 다른 운동을 하고 있습니까?
하고 있다 하고 있지 않다
「하고 있다」에 ○를 그린 어린이는 그것은 어떤 운동입니까?
그 운동은 어느 정도 하고 있습니까?

월1~2회 주1회 주2~3회 주4~5회
지금까지 어느정도 하고 있습니까? ()년 ()개월

30-2. 스포츠단이나 씨클, 클럽, 학원에 들어간 이유는 무엇입니까? (몇 개라도 상관없음)

몸을 움직이는 것을 좋아해서 운동을 잘하고 싶어서
친구들이 있으니까 부모가 하라고 해서
운동부족이어서 특별히 그 스포츠를 하고 싶어서
그 외()

30-3. 스포츠이외에 다른 학원에 다니고 있습니까?

다니고 있다 다니고 있지 않다
「다니고 있다」에 ○를 그린 어린이는 어떤 학원입니까? ()

31. 29에서, ①, ②, ③에 ○를 그린 어린이는, 지금 다니고 있는 스포츠를 계속하고 싶습니까?

당연히 계속하고 싶다 계속할 생각이다
별로 계속하고 싶지 않다 그만두고 싶다

★「당연히 계속하고 싶다」「계속할 생각이다」에 ○를 그린 어린이는, 그 이유는 무엇입니까?
(몇 개라도 상관없음)

즐거우니까 친구와 같이 할 수 있으니까
몸에 좋으니까 좀 더 잘해지고 싶으니까
칭찬받고 싶으니까 부모가 보고 있으니까
다른 사람보다 잘하고 싶어지니까 부모가 데려다 주고 데리러 오니까
그 외()

언제까지 계속하고 싶습니까? (예 : 중학생까지, 고등학생까지, 대학생까지, 선수가 될 때까지...)
()

★「별로 계속하고 싶지 않다」「그만두고 싶다」에 ○를 그린 어린이는, 그 이유는 무엇입니까?
(몇 개라도 상관없음)

즐겁지 않으니까 몸이 힘들니까
다른 사람과 같이 하는 것이 싫어서 공부시간이 부족해서
잘 되지 않아서 친구들과의 의사소통이 잘 되지 않아서
다른 사람에게 보여지는 게 창피해서 훈련이 엄격해서
그 외()

32. ④에 ○를 그린 어린이는, 앞으로, 운동이나 스포츠를 하고 싶다고 생각합니까?

매우 그렇게 생각한다 그런대로 그렇게 생각한다
별로 그렇게 생각하지 않는다 전혀 그렇게 생각하지 않는다

여러분의 협력에 매우 감사드립니다.

資料 2-1 <日本の大学生用>

日本と韓国の大学生の運動やスポーツ活動についての調査

この調査は、日本と韓国の大学生の運動やスポーツ活動の状況、運動に対する意識を把握して運動継続に必要な要因に関する研究を行うためのものです。ここで得られたデータは研究以外に使用することはありません。また、データの取り扱いに関しても細心の注意を払いますので、自分の状況や気持ちに正直にお答え下さい。よろしくお願いいたします。

女子栄養大学大学院 発育健康学研究室 金 美珍

Doctorate Program Student

Graduate School of Nutrition and Health Sciences

Kagawa Nutrition University

E-mail : kmb092@eiyo.ac.jp

※ アンケートをよく読んで、当てはまる番号一つに○を付けたり、記入して下さい。

■性別 1. 男子 2. 女子

■専攻 ①文科系 ②理科系 ③芸術系 ④保健・医療系 ⑤体育系 ⑥その他 ()

■学年 1. 一年 2. 二年 3. 三年 4. 四年 5. その他 ()

■年齢 (歳)

1-1. あなたは現在、定期的に運動やスポーツをしていますか？

例：種目(テニス)、期間(2年 3ヶ月間)、頻度(週 2日)、活動場所(スポーツクラブ)

① はい

1) 種目() 期間(年 ヶ月間)
頻度(週 日) 活動場所()
2) 種目() 期間(年 ヶ月間)
頻度(週 日) 活動場所()
3) 種目() 期間(年 ヶ月間)
頻度(週 日) 活動場所()

② いいえ

1-2. 今、運動をしている人は、いつまで運動やスポーツを続けたいですか。

1) 大学卒業まで 2) 就職するまで
3) 生涯ずっとやりたい 4) 近いうちにやめたい 5) その他()

2. スポーツをしたり身体を動かすことについて、あなたはどのように思いますか？1～4のうちの

1つに○を付けて下さい

	非常に そう思う	まあまあ そう思う	あまり そう思わ ない	全然 そう思わ ない
1) 好きである……………	1	2	3	4
2) 楽しい……………	1	2	3	4
3) 健康に良い……………	1	2	3	4
4) 運動は重要である……………	1	2	3	4

	非常に そう思う	まあまあ そう思う	あまり そう思わない	全然 そう思わない
5) 習慣である……………	1	2	3	4
6) 体力が必要である……………	1	2	3	4
7) 筋肉がつく……………	1	2	3	4
8) 余分な脂肪がとれる……………	1	2	3	4
9) 仲間ができる……………	1	2	3	4
10) 明るい性格になる……………	1	2	3	4
11) 忍耐力が強くなる……………	1	2	3	4
12) 能力を他人に認めてもらえる……………	1	2	3	4
13) 人と競争するものである……………	1	2	3	4
14) ストレス解消になる……………	1	2	3	4
15) ぐっすり眠れる……………	1	2	3	4
16) 気分転換になる……………	1	2	3	4
17) 疲労回復に役に立つ……………	1	2	3	4
18) 勉強の邪魔になる……………	1	2	3	4
19) 時間の無駄である……………	1	2	3	4
20) 疲れるだけだ……………	1	2	3	4

3. あなたは子どもの頃から今まで、学校の体育の授業以外でスポーツや運動を行ったことがありますか？

- 1) ない → 質問 4-1, 4-2へ
 2) ある → 質問 5, 6, 7へ (裏のページへ)

4 - 1. 上の3. の質問で「ない」と答えた方の理由は次のうちどれですか？(複数回答可)

- 1) 体を動かすことはあまり好きではなかった
 2) 周りの人(友達、家族)はだれもしてなかった
 3) 誰もすすめてくれなかった
 4) 学校体育以外でスポーツや運動のできる環境がなかった
 5) 勉強が忙しかった
 6) 興味がなかった
 7) 健康上の問題があった
 8) 経済的な問題があった
 9) 親の反対があった
 10) その他 ()

4 - 2. 上の3. の質問で「ない」と答えた方は、もしこれからスポーツや運動をする機会があればやってみたいと思いますか？

- 1) 思う →どのようなスポーツや運動を考えていますか？ ()
 2) 思わない →その理由は何ですか？ ()

3. で「ない」と答えた方はこれで質問終わりです。

5. (上の3. でスポーツや運動経験が「ある」と答えた方にお聞きします。)

子どもの頃から現在まで、学校の授業以外で定期的に行っていたスポーツや運動についてご記入下さい。

同じ種目でも中断した期間がある場合、再開した時期からまた書いて下さい。

例：(幼・小・中・高・大学 3)年生～(幼・小・中・高・大学 2)年生

種目(水泳)、頻度(週 3 日)、活動場所(地域のスポーツクラブ)

※幼は「幼児期」ということで年齢を記入して下さい→(幼)・小・中・高・大学 4歳)年生

※活動場所の例：学校の部活動、スポーツクラブ、スポーツ少年団、YMCAなど

① (幼・小・中・高・大学)年生～(幼・小・中・高・大学)年生
種目()、頻度(週 日)、活動場所()

② (幼・小・中・高・大学)年生～(幼・小・中・高・大学)年生
種目()、頻度(週 日)、活動場所()

③ (幼・小・中・高・大学)年生～(幼・小・中・高・大学)年生
種目()、頻度(週 日)、活動場所()

④ (幼・小・中・高・大学)年生～(幼・小・中・高・大学)年生
種目()、頻度(週 日)、活動場所()

⑤ (幼・小・中・高・大学)年生～(幼・小・中・高・大学)年生
種目()、頻度(週 日)、活動場所()

⑥ (幼・小・中・高・大学)年生～(幼・小・中・高・大学)年生
種目()、頻度(週 日)、活動場所()

⑦ (幼・小・中・高・大学)年生～(幼・小・中・高・大学)年生
種目()、頻度(週 日)、活動場所()

6. 過去に行っていたスポーツや運動をやめてしまった人は、その理由は何ですか？(複数回答可)

- | | |
|---------------------------|-------------------------|
| 1) 忙しくなって時間がなくなったから | 2) 興味がなくなったから |
| 3) 環境が悪くなってできなくなったから | 4) 勉強の方がもっと大切だと思ったから |
| 5) 健康上の問題 | 6) 経済的な問題 |
| 7) 親が反対していたから | 8) 友達がやめたから |
| 9) 学校の教育方針で勉強と運動が両立できないから | |
| 10) 学校の雰囲気が運動を重要視していないから | |
| 11) 運動が苦手だから | 12) スキルが身についてある程度上達したから |
| 13) 大学に進学する時、専攻にしないから | 14) 他に興味あるものができたから |
| 15) 自由時間が欲しかったから | 16) バイトがしたかったから |
| 17) 引越しなどでその場所に行けなくなったから | |
| 18) その他() | |

7. 運動が過去・現在において継続できた理由は何ですか？1～4のうちの1つに○を付けて下さい。

	非常に そう思う	まあまあ そう思う	あまり そう思わ ない	全然 そう思わ ない
・ 運動が好きだから……………	1	2	3	4
・ 運動が楽しかったから ……	1	2	3	4
・ 将来までずっと続けたいから……………	1	2	3	4
・ スポーツ関係の仕事につきたいから……………	1	2	3	4
・ 好きなスポーツ選手がいたから……………	1	2	3	4
・ もともと運動が得意であるから……………	1	2	3	4
・ 友人より優れた運動能力があると思うから……………	1	2	3	4
・ 自分には最後までやりとげる力があると思うから……………	1	2	3	4
・ 継続すれば技術や記録が伸びると思うから……………	1	2	3	4
・ 少し難しい運動でも、努力すればできると思うから……………	1	2	3	4
・ やり通した時に大きな満足感を感じるから……………	1	2	3	4
・ 達成感が大きな自信につながると思うから……………	1	2	3	4
・ 健康になったから……………	1	2	3	4
・ 健康が維持されたから……………	1	2	3	4
・ 疲れにくくなったから……………	1	2	3	4
・ 体を動かすことによってストレス解消になったから……………	1	2	3	4
・ 運動技術が向上したから……………	1	2	3	4
・ ダイエットになったから……………	1	2	3	4
・ 体型が美しくなったから……………	1	2	3	4
・ 運動によってコミュニケーション能力が向上したから……………	1	2	3	4
・ 体力がついたから……………	1	2	3	4
・ 家族（父、母、兄弟姉妹）と一緒にだったから……………	1	2	3	4
・ 親がそのスポーツを好きだったから……………	1	2	3	4
・ 運動について親にほめられたことがあったから……………	1	2	3	4
・ 親の励ましやサポートがあったから……………	1	2	3	4
・ 友達ができたから……………	1	2	3	4
・ 友達にいじめられなくなかったから……………	1	2	3	4
・ 友達がみんな運動するから……………	1	2	3	4
・ 友達が一緒にスポーツをしていたから……………	1	2	3	4
・ 運動について友達にほめられたことがあったから……………	1	2	3	4
・ 友達の応援があったから……………	1	2	3	4
・ 体育の先生や運動コーチの指導、激励があったから……………	1	2	3	4
・ 運動する場所が近かったから……………	1	2	3	4
・ 施設が快適で運動ができたから……………	1	2	3	4
・ 季節や気候にあまり影響されず運動ができたから……………	1	2	3	4
・ 送り迎えしてくれる人がいたから……………	1	2	3	4

ご協力どうもありがとうございました。

資料 2-2 <韓国の大學生用>

일본과 한국의 대학생의 운동과 스포츠활동에 대한 조사

이 조사는, 일본과 한국의 대학생의 운동과 스포츠활동의 상황, 운동에 대한 의식을 파악해서 운동계속에 필요한 요인에 관한 연구를 하기 위한 것입니다. 여기서 얻은 데이터는 연구이외에 사용하지 않습니다. 또, 데이터의 취급에 관해서도 세심한 주의를 하겠으므로, 자신의 상황이나 기분에 정직하게 대답해 주시기 바랍니다. 부디 잘 부탁드립니다.

일본여자영양대학대학원 발육건강학연구실

김 미진

Doctorate Program Student

Graduate School of Nutrition and Health Sciences

Kagawa Nutrition University

E-mail : kmb092@eiyo.ac.jp

※양케이트를 잘 읽고, 해당되는 번호에 ○를 하거나, 알맞게 기입해 주시기 바랍니다.

- 성 별 1. 남자 2. 여자
- 계 열 ①문과계 ②이과계 ③예술계 ④보건·의료계 ⑤체육계 ⑥그 외()
- 전 공 ()
- 학 년 1학년 2학년 3학년 4학년 그 외()
- 연 령 (세)
- 병역 경험(남자의 경우) 있음() 없음()
- 중·고등학교 시절의 특별활동에 대해서
- ①중·고등학교에 특별활동부가 있었다
(활동한 특별활동명—중학교 : 고교 :)
- ②중학교에 특별활동부가 있었지만, 고등학교에는 없었다
(활동한 중학교 특별활동명 :)
- ③중학교에 특별활동부가 없었지만, 고등학교에는 있었다
(활동한 고교 특별활동명 :)
- ④중학교에도 고등학교에도 특별활동부는 없었다

1-1. 현재, 정기적인 운동이나 스포츠를 하고 있습니까?

- ① 예
- | | |
|----------|------------|
| 1) 종목() | 기간(년 개월간) |
| 빈도(주 회) | 활동장소() |
| 2) 종목() | 기간(년 개월간) |
| 빈도(주 회) | 활동장소() |
| 3) 종목() | 기간(년 개월간) |
| 빈도(주 회) | 활동장소() |
- ② 아니오

1-2. 지금 운동이나 스포츠를 하고 있는 분은, 언제까지 계속하고 싶습니까?

- 1) 대학졸업까지 2) 취직할 때까지
- 3) 생애 계속해서 4) 가까운 시일 내에 그만두고 싶다 5) 그 외()

2. 스포츠를 하거나 신체를 움직이는 것에 대해서, 어떻게 생각합니까? 1~4의 해당되는 번호에 ○를 해 주세요.

	정말로 그렇게 생각한다	그럭저럭 그렇게 생각한다	별로 그렇게 생각하지 않는다	전혀 그렇게 생각하지 않는다
1) 좋아한다	1	2	3	4
2) 즐겁다	1	2	3	4
3) 건강에 좋다	1	2	3	4
4) 운동은 중요하다	1	2	3	4
5) 운동은 습관이다	1	2	3	4
6) 체력이 필요하다	1	2	3	4
7) 근육이 붙는다	1	2	3	4
8) 살이 빠진다	1	2	3	4
9) 동료가 생긴다	1	2	3	4
10) 밝은 성격이 된다	1	2	3	4
11) 인내력이 강해진다	1	2	3	4
12) 능력을 타인에게 인정받을 수 있다	1	2	3	4
13) 타인과 경쟁하는 것이다	1	2	3	4
14) 스트레스 해소가 된다	1	2	3	4
15) 폭 잠들 수 있다	1	2	3	4
16) 기분전환이 된다	1	2	3	4
17) 피로 회복에 도움이 된다	1	2	3	4
18) 공부에 방해가 된다	1	2	3	4
19) 시간낭비다	1	2	3	4
20) 피곤할 뿐이다.....	1	2	3	4

3. 어릴 적부터 지금까지, 학교 체육수업이외의 운동이나 스포츠를 한 적이 있습니까?

- 1) 없다 → 질문 4-1, 4-2번으로
2) 있다 → 질문 5, 6, 7번으로 (뒷면으로)

4-1. 위의 3.의 질문에서 「없다」라고 대답한 이유는 무엇입니까?

- 1) 신체를 움직이는 것을 별로 좋아하지 않았다
2) 누구도 권하지 않았다
3) 학교체육이외에 스포츠나 운동을 할 수 있는 장소나 환경이 되어 있지 않았다
4) 공부하기에 바빴다
5) 흥미가 없었다
6) 건강상의 문제가 있었다
7) 경제적인 문제가 있었다
8) 부모의 반대가 있었다
9) 그 외()

4-2. 위의 3.의 질문에서 「없다」라고 대답한 사람은, 운동이나 스포츠를 할 기회가 있다면 이제부터라도 해 보고 싶다고 생각합니까?

- 1) 생각한다 → 어떤 운동이나 스포츠를 생각하고 있습니까?
2) 생각하지 않는다 → 그 이유는 무엇입니까? ()

질문3. 에서 「없다」라고 대답한 분은 이것으로 질문을 마칩니다.

5. 위의 질문 3.에서 운동이나 스포츠경험이 「있다」라고 대답한 분에게 묻습니다.

유아기부터 현재까지, 학교 체육수업이외에 정기적으로 한 운동이나 스포츠에 대해서 기입해 주시기 바랍니다.

같은 종목이라도 중단한 기간이 있는 경우, 다시 시작한 시기를 기입해 주시기 바랍니다.

예 : (유·초·중·고·대학 3)학년~(유·초·중·고·대학 2)학년

종목(수영), 빈도(주 3 일), 활동장소(스포츠센터)

※유는 「유아기」라고 하는 것으로 연령을 기입해 주십시오→(유·초·중·고·대학 4세)학년

※활동장소의 예 : 학교 특별활동, 스포츠센터, 스포츠소년단, 동아리, YMCA 등

① (유·초·중·고·대학)학년~(유·초·중·고·대학)학년

종목(), 빈도(주 일), 활동장소()

② (유·초·중·고·대학)학년~(유·초·중·고·대학)학년

종목(), 빈도(주 일), 활동장소()

③ (유·초·중·고·대학)학년~(유·초·중·고·대학)학년

종목(), 빈도(주 일), 활동장소()

④ (유·초·중·고·대학)학년~(유·초·중·고·대학)학년

종목(), 빈도(주 일), 활동장소()

⑤ (유·초·중·고·대학)학년~(유·초·중·고·대학)학년

종목(), 빈도(주 일), 활동장소()

⑥ (유·초·중·고·대학)학년~(유·초·중·고·대학)학년

종목(), 빈도(주 일), 활동장소()

⑦ (유·초·중·고·대학)학년~(유·초·중·고·대학)학년

종목(), 빈도(주 일), 활동장소()

6. 과거에 해 왔던 운동이나 스포츠를 그만 둔 사람은 그 이유는 무엇이었습니다? (복수회답가능)

- | | |
|------------------------------------|----------------------|
| 1)바빠져서 운동할 수 있는 시간이 없어졌다 | 2)흥미를 잃어 버렸다 |
| 3)환경이 좋지 않게 되어서 할 수 없게 되어서 | 4)공부가 더 중요하다라고 생각해서 |
| 5)건강상의 문제로 | 6)경제적인 문제로 |
| 7)부모님이 반대하니까 | 8)친구가 그만두었기 때문에 |
| 9)학교의 교육방침상, 공부와 운동이 병행할 수 없으니까 | |
| 10)학교의 분위기가 운동을 중요시하지 않으니까 | 11)운동몸치라서 |
| 12)운동기술이 습득이 되어서 이 정도면 충분하다라고 생각해서 | |
| 13)대학에 진학할 때, 전공으로 하지 않으니까 | |
| 14)다른 취미가 생겨서 | 15)개인적인 자유시간을 갖고 싶어서 |
| 16)아르바이트를 하고 싶어서 | |
| 17)이사로 그 장소에 갈 수 없게 되어서 | 18)그 외() |

7. 운동이 과거・현재에 있어서 계속할 수 있었던 이유는 무엇이었습니까? 1~4의 해당되는 번호에 ○를 해 주시기 바랍니다.

	정말로 그렇게 생각한다	그럭저럭 그렇게 생각한다	별로 그렇게 생각하지 않는다	전혀 그렇게 생각하지 않는다
• 운동을 좋아했기 때문에.....	1	2	3	4
• 운동이 즐거웠기 때문에	1	2	3	4
• 생애 계속해서 하고 싶었기 때문에.....	1	2	3	4
• 직업으로까지 이어질 수 있다라고 생각해서.....	1	2	3	4
• 좋아하는 스포츠선수가 있어서.....	1	2	3	4
• 본래 운동에 소질이 있어서.....	1	2	3	4
• 친구들보다 뛰어난 운동능력이 있다라고 생각해서.....	1	2	3	4
• 나에게는 끝까지 해낼 수 있는 힘이 있다라고 생각해서.....	1	2	3	4
• 계속한다면 기술이나 기록이 좋아진다고 생각해서.....	1	2	3	4
• 조금 어려운 운동이라도 노력한다면 할 수 있다라고 생각해서...	1	2	3	4
• 내가 세운 계획대로 해낼 때 큰 만족감을 느꼈기 때문에.....	1	2	3	4
• 운동달성감이 큰 자신감으로 이어진다고 생각해서.....	1	2	3	4
• 건강해졌기 때문에.....	1	2	3	4
• 건강이 유지가 되었기 때문에.....	1	2	3	4
• 쉽게 피곤해지지 않게 되었기 때문에.....	1	2	3	4
• 스트레스가 해소되었기 때문에.....	1	2	3	4
• 운동기술이 향상되었기 때문에.....	1	2	3	4
• 다어어트에 도움에 되었기 때문에.....	1	2	3	4
• 체형이 멋지게 변했기 때문에.....	1	2	3	4
• 운동으로 인해서 커뮤니케이션 능력이 향상되었기 때문에.....	1	2	3	4
• 체력이 생겼기 때문에.....	1	2	3	4
• 가족(부모, 형제자매)와 함께여서.....	1	2	3	4
• 부모가 그 스포츠를 좋아했기 때문에.....	1	2	3	4
• 운동에 대해서 부모에게 칭찬받은 적이 있어서.....	1	2	3	4
• 부모의 격려와 지원이 있었기 때문에.....	1	2	3	4
• 친구가 생겼기 때문에.....	1	2	3	4
• 친구들에게 놀림을 당하고 싶지 않았기 때문에.....	1	2	3	4
• 친구들이 전부 운동을 하니까.....	1	2	3	4
• 친구와 함께 스포츠를 하고 싶었기 때문에.....	1	2	3	4
• 운동에 대해서 친구에게 칭찬받은 적이 있었기 때문에.....	1	2	3	4
• 친구의 응원이 있었기 때문에.....	1	2	3	4
• 체육교사나 운동코치의 지도, 격려가 있었기 때문에.....	1	2	3	4
• 운동하는 장소가 가까웠기 때문에.....	1	2	3	4
• 운동시설이 쾌적해서 운동하기에 좋았기 때문에.....	1	2	3	4
• 계절이나 기후에 관계없이 운동이 가능했기 때문에	1	2	3	4
• 데려다 주거나 데리러 오는 사람이 있었기 때문에.....	1	2	3	4

감 사 합 니 다.